HONDA

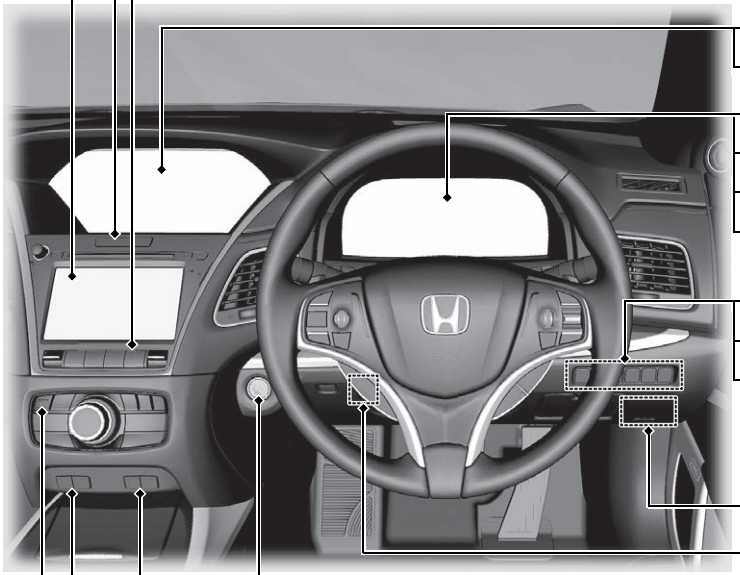
Legend

Honda SENSING Elite

オーナーズマニュアル

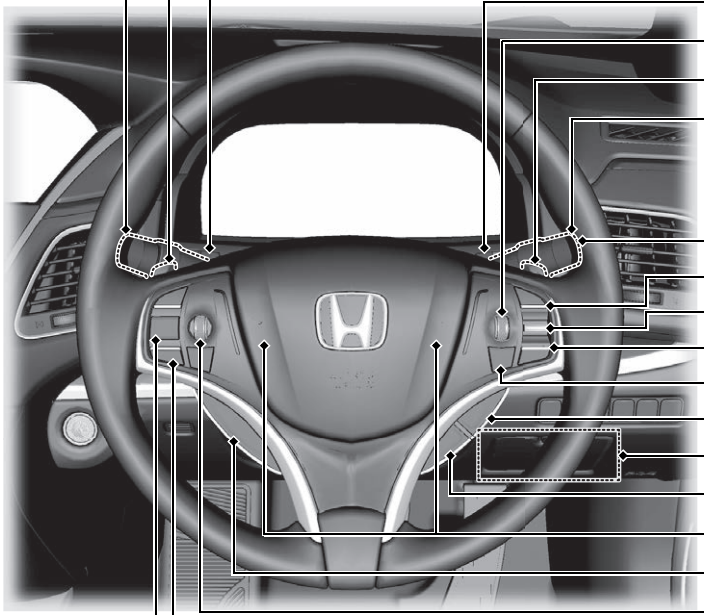
クイックガイド
安全なドライブ
計器の見かた
各部の操作
オーディオ
運転
メンテナンス
万一の場合には
資料
索引

ビジュアル目次



- オンデマンド・マルチユース・ディスプレイ P. 208
- オートエアコン P. 206
- 非常点滅表示灯(ハザードスイッチ)
- リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラー/ フロントガラス熱線スイッチ P. 173
- オーディオ/インフォメーション画面※
- Honda インターナビシステム※
- メーター P. 107
- 警告灯 P. 93
- 表示灯 P. 101
- マルチインフォメーションディスプレイ P. 111
- (VSA OFF)スイッチ P. 244
- パーキングセンサースイッチ P. 370
- (安全支援情報)スイッチ P. 268, 275, 280, 284, 289
- ボンネット解除ノブ P. 419
- ハンドル位置調節スイッチ P. 178
- POWER スイッチ P. 160
- フロントシートヒーター/ ベンチレーションスイッチ P. 204
- (Honda パーキングパイロット)スイッチ P. 389

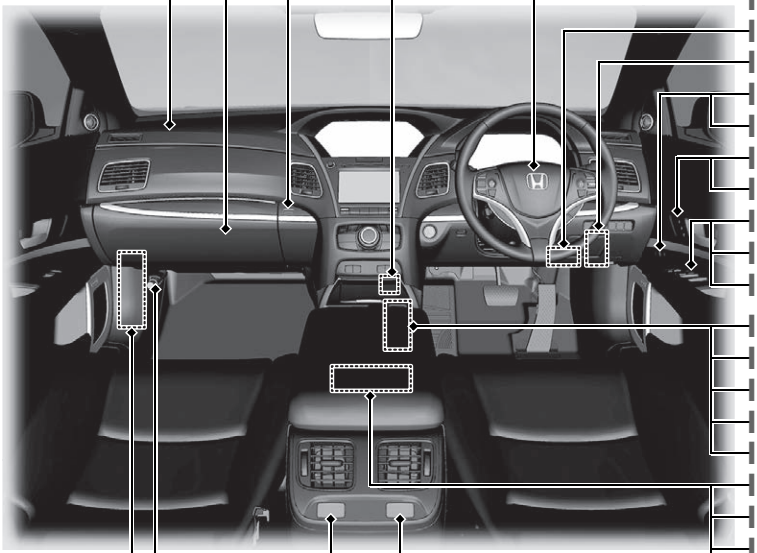
※：別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書を参照してください。



- ワイパー/ ウォッシャースイッチ P. 170
- シフトスイッチ(シフトダウン) P. 239
- イルミネーションコントロールボタン P. 174
- ヘッドアップディスプレイボタン P. 118, 175
- インフォメーション(ⓘ)ホイール P. 112, 124
- シフトスイッチ(シフトアップ) P. 239
- 方向指示器(ウィンカー)/ ライトスイッチ P. 165, 163
- (CAMERA)スイッチ P. 377
- (MAIN)スイッチ P. 303, 313
- RES/+SET/- スイッチ P. 306
- CANCEL スイッチ P. 309
- MENU スイッチ P. 307
- (高度車線変更支援)スイッチ P. 337
- ETC 車載器 ※2
- TRIP ボタン P. 109
- ホーンスイッチ(周辺)
- ステアリングヒーター P. 203
- オーディオリモートコントロールスイッチ ※1
- 発話スイッチ ※1
- 取り消しスイッチ ※1

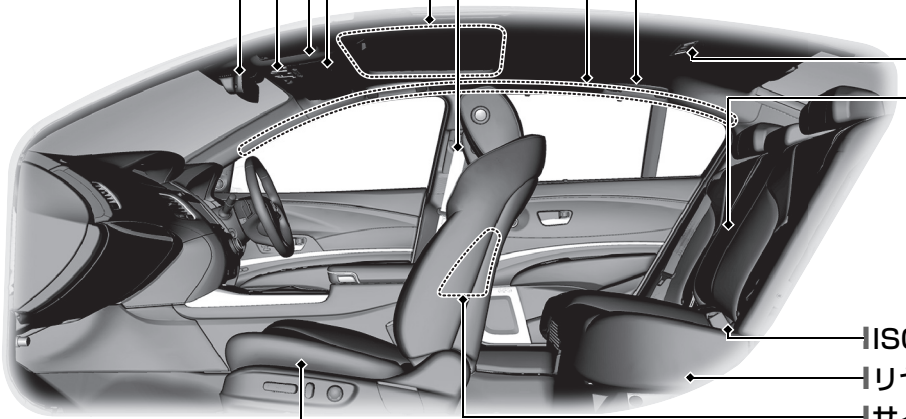
※1 : 別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書を参照してください。
※2 : ETC 車載器については、別冊の取扱説明書を参照してください。

ビジュアル目次



- SRS エアバッグシステム(助手席用) P. 61
- グローブボックス P. 191
- グローブボックスボタン P. 191
- アクセサリーソケット P. 197
- SRS エアバッグシステム(運転席用) P. 61
- 運転席 ニーエアバッグ P. 64
- 室内運転席側ヒューズボックス P. 483
- トランクオープナー P. 146
- フューエルリッドオープナー P. 412
- メモリーボタン P. 177
- セットボタン P. 177
- ドアミラー調節スイッチ P. 180
- マスタードアロックスイッチ P. 142
- パワーウィンドースイッチ P. 155
- パーキングスイッチ P. 233
- オートマチックブレーキホールドスイッチ P. 361
- SPORT モードスイッチ P. 240
- シフトポジションスイッチ P. 233
- パーキングブレーキスイッチ P. 357
- アクセサリーソケット P. 197
- AUX ジャック※
- USB ジャック※
- HDMI® ジャック※
- リヤシートヒータースイッチ P. 205
- 発炎筒 P. 447
- 室内助手席側ヒューズボックス P. 484

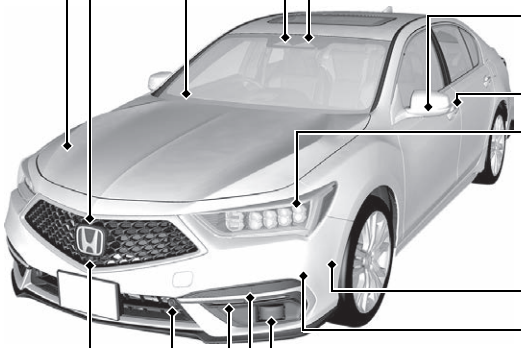
※：別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書を参照してください。



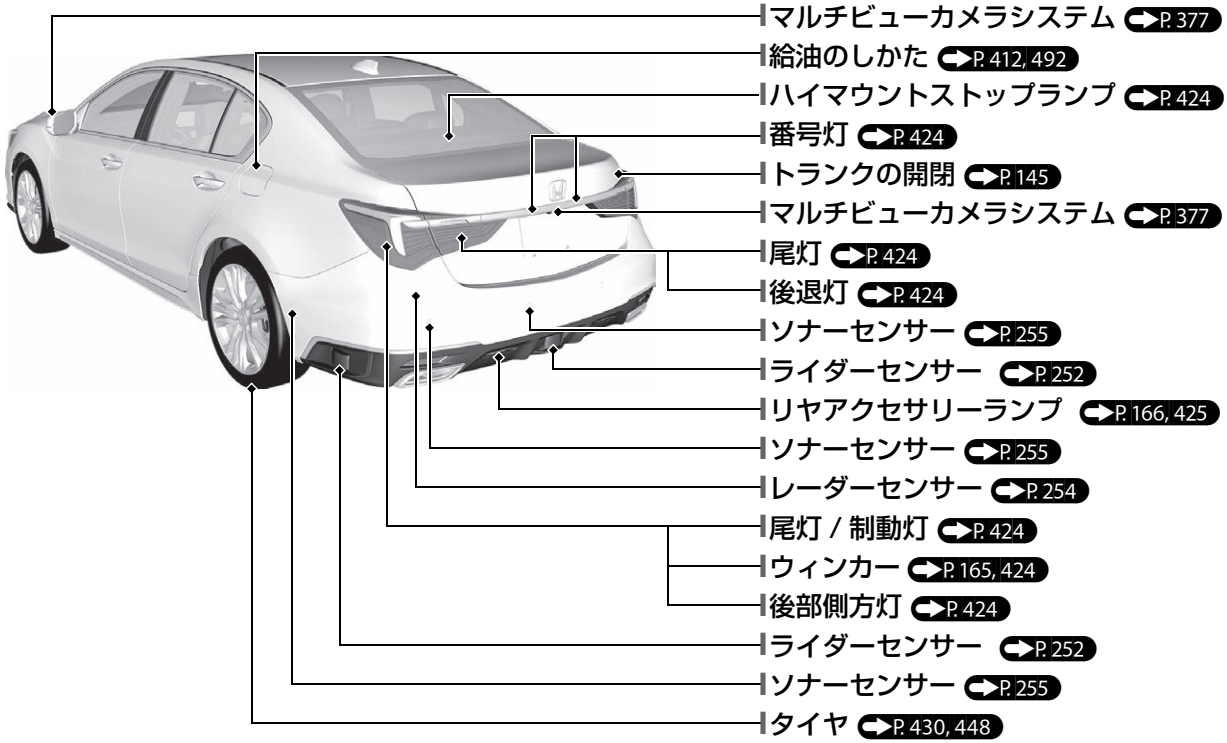
ルームミラー P. 179
前席室内灯 / マップランプ P. 189, 190
リヤサンシェードスイッチ P. 201
サングラスボックス P. 199
サンバイザー
バニティミラー
サンルーフ P. 158
シートベルト P. 53
サイドカーテンエアバッグシステム P. 68
グラブレール
コートフック P. 198
後席室内灯/マップランプ P. 190
リヤアームレスト内蔵コントロールパネル P. 217
リヤサンシェードスイッチ P. 201
USB ジャック(充電専用)※
ISOFIX/i-Size 取付装置 P. 83
リヤシート P. 186
サイドエアバッグシステム P. 66
フロントシート P. 182

※：別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書を参照してください。

ビジュアル目次



エンジンルーム内のメンテナンス P. 418
レーダーセンサー P. 254
ワイパー P. 170, 427
フロントセンサーカメラ P. 253
ドアミラー P. 180
ドアミラーウィンカー P. 165, 423
ドアの施錠 / 解錠 P. 132
ヘッドライト P. 163, 423
フロントサイドマーカー P. 423
ウィンカー P. 165, 423
車幅灯 / デイタイムランニングライト P. 163, 423
ソナーセンサー P. 255
レーダーセンサー P. 254
ライダーセンサー P. 252
ソナーセンサー P. 255
フロントアクセサリーランプ P. 166, 425
ソナーセンサー P. 255
マルチビューカメラシステム P. 377

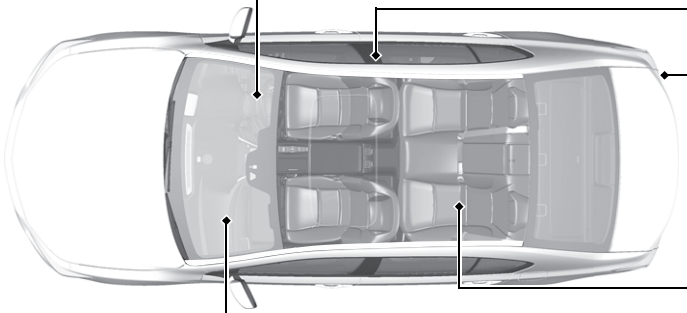

マルチビューカメラシステム P. 377
給油のしかた P. 412, 492
ハイマウントストップランプ P. 424
番号灯 P. 424
トランクの開閉 P. 145
マルチビューカメラシステム P. 377
尾灯 P. 424
後退灯 P. 424
ソナーセンサー P. 255
ライダーセンサー P. 252
リヤアクセサリーランプ P. 166, 425
ソナーセンサー P. 255
レーダーセンサー P. 254
尾灯 / 制動灯 P. 424
ウィンカー P. 165, 424
後部側方灯 P. 424
ライダーセンサー P. 252
ソナーセンサー P. 255
タイヤ P. 430, 448

安全なドライブ P.50

●正しい運転姿勢でシートベルトを着用してください。
●同乗者にも必ずシートベルトを着用させます。
●妊娠中のかたは腹部を圧迫しないようにシートベルトを着用してください。

運転を始める前の確認 P.222

●運転前にフロントシートの位置、ヘッドレスト、ハンドルの位置、ミラー類の角度を調節します。



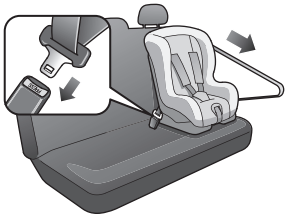
シートベルト P.53

排気ガスについて P.89

●車の排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれているため、ガレージなどの密閉された場所ではパワーシステムを起動しないでください。

お子さまの安全 P.74

●シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、チャイルドシートをお使いください。お子さまの安全のために、チャイルドシートはリヤシートに取り付けてください。

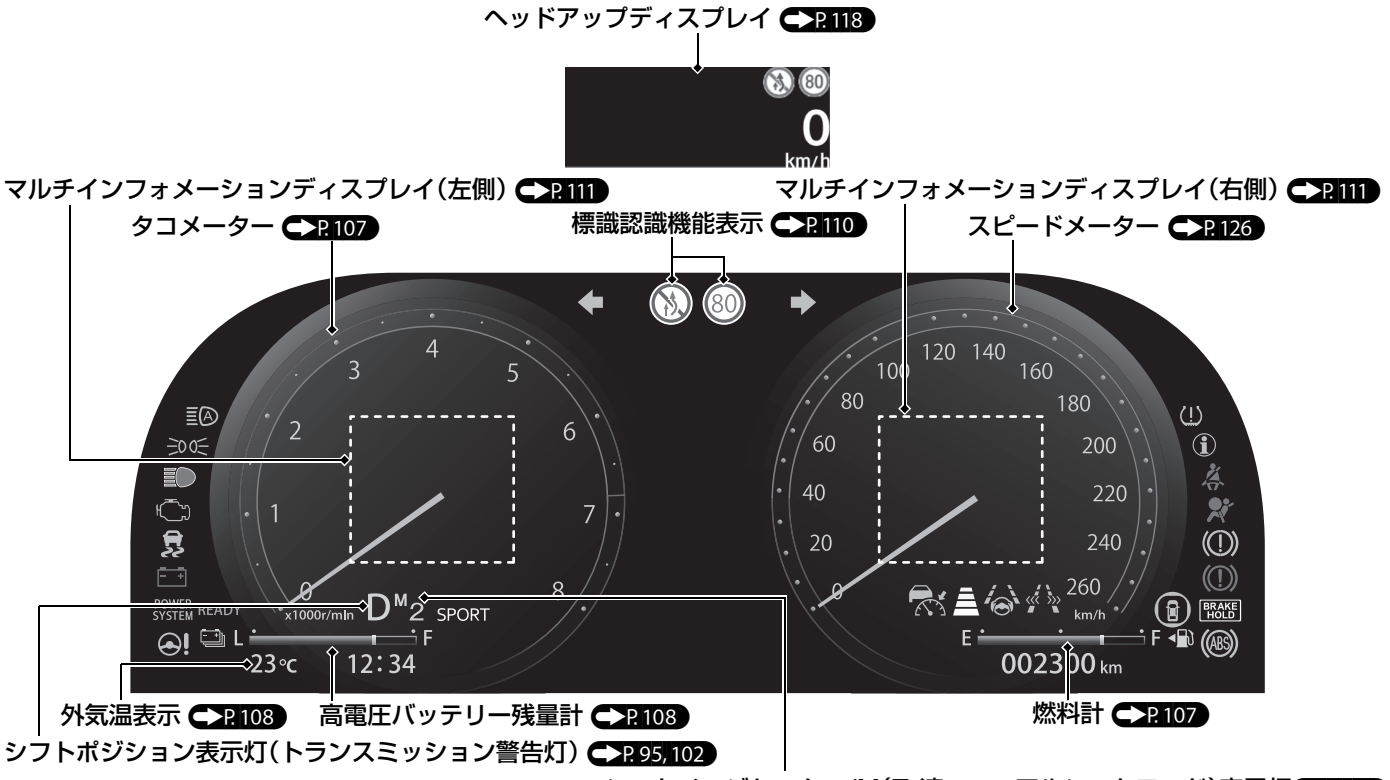


エアバッグ P.61

●万一の衝突の際に、乗員への衝撃を緩和するために、エアバッグが装備されています。

計器の見かた P. 90

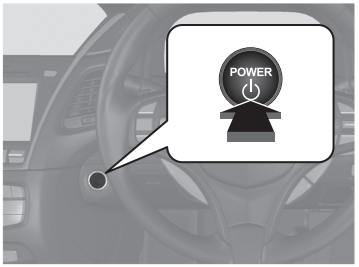
警告灯 P. 93/ 表示灯 P. 101/ メーター P. 107/ マルチインフォメーションディスプレイ P. 111/ ヘッドアップディスプレイ P. 118



各部の操作 P.130

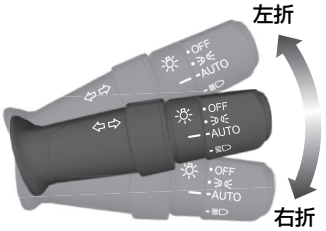
POWER スイッチ P.160

スイッチを押すと、パワーモードが切り換わります。



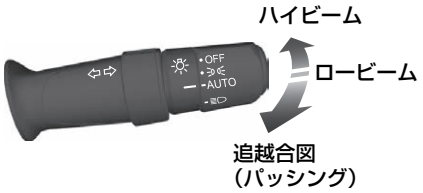
ウィンカー P.165

方向指示器(ウィンカー)スイッチ



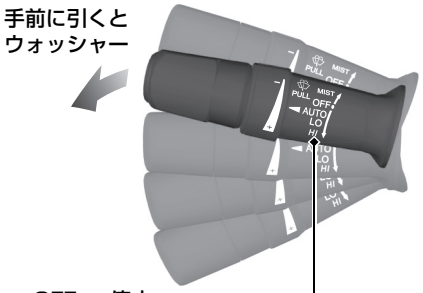
ライト P.163

ライトスイッチ



ワイパー P.170

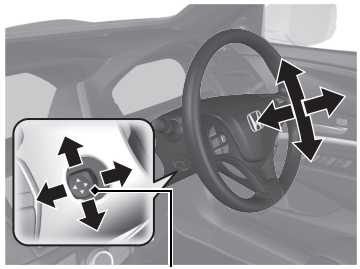
ワイパー/ ウォッシャースイッチ



- OFF　停止
- AUTO　自動作動
- LO　低速
- HI　高速

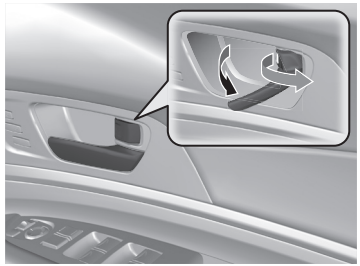
ハンドル位置の調節 P. 178

●調節スイッチを押し、ハンドルの位置を調節します。



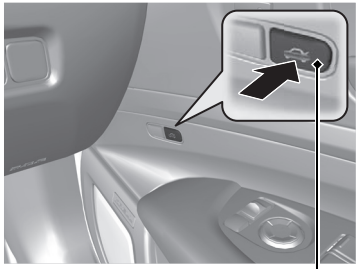
運転席ドアハンドルでの解錠 P. 142

●運転席ドアは、内側のハンドルを引くと施錠していてもドアが開きます。



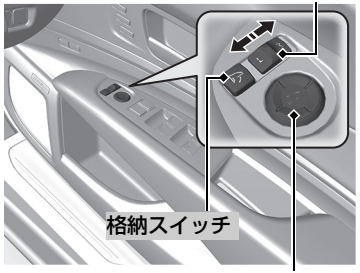
トランク P. 145

●トランクは、運転席ドアにあるトランクオープナーを押すか、HONDA スマートキーのトランク解錠ボタン、トランクオープンスイッチを押して開きます。



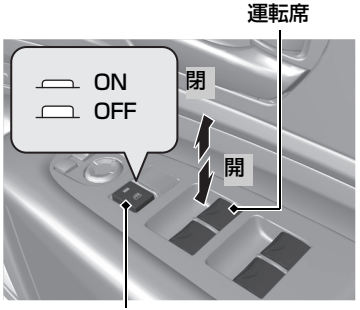
ドアミラー P. 180

●パワーモードが ON モードのとき、左右のドアミラーの格納または角度の調節ができます。



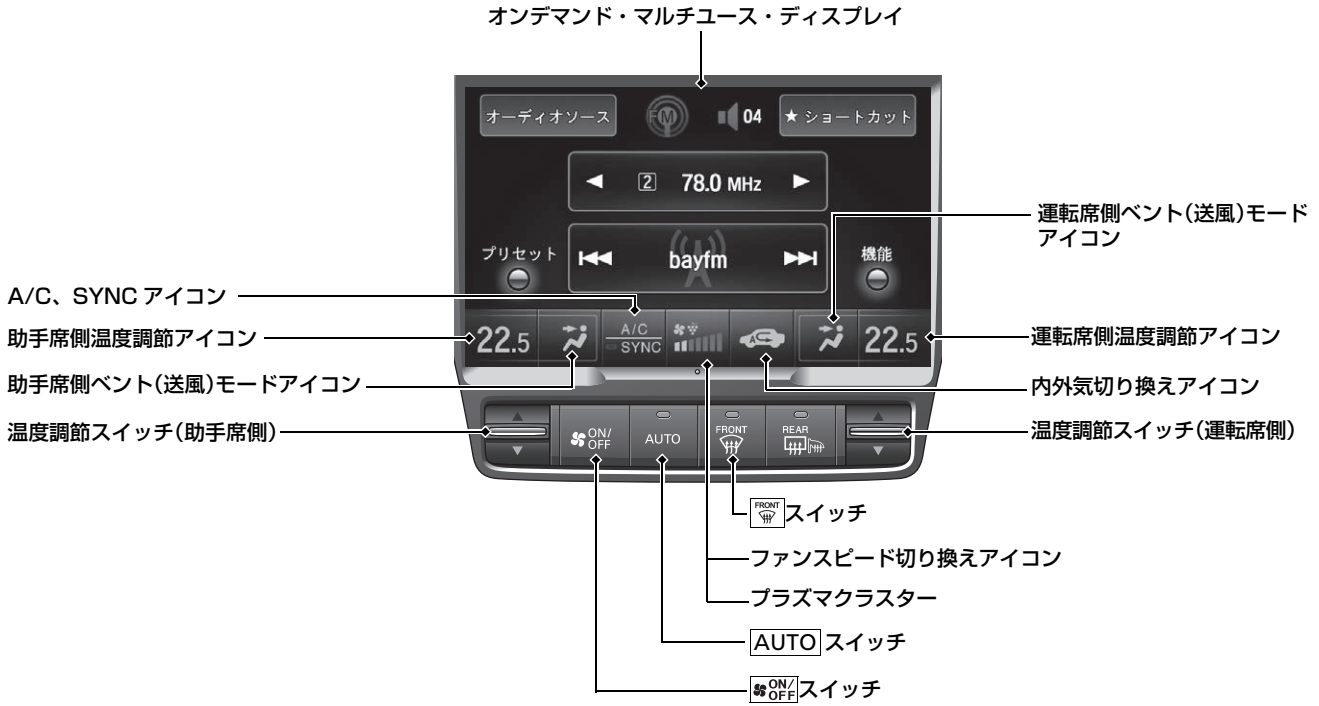
パワーウィンドー P. 155

●パワーモードが ON モードのとき、ウィンドーの開閉ができます。
●パワーウィンドーロックボタンが OFF のとき、全てのウィンドーが操作できます。
●パワーウィンドーロックボタンが ON のとき、運転席以外のウィンドーが非作動になります。



エアコン P. 206

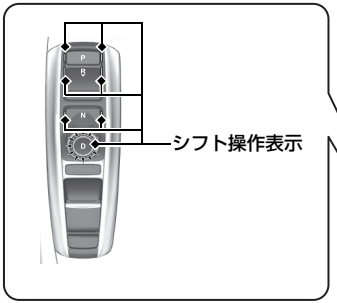
●AUTO を押すと、オートエアコンが作動します。
●ON/OFFを押すと、止まります。
●前面ガラスの曇りを取るには、FRONTを押します。



運転 P.221

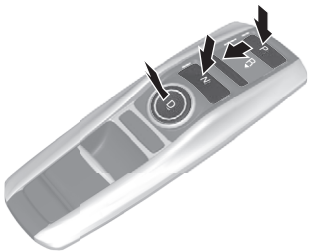
電子制御シフトポジションスイッチ P.233

●パーキングスイッチを押し、ブレーキを踏みながらパワーシステムを起動します。
●シフトポジションの選択



シフトポジション表示灯
選択されたシフトポジションと現在のギアポジションが表示されます。

シフトポジション表示灯



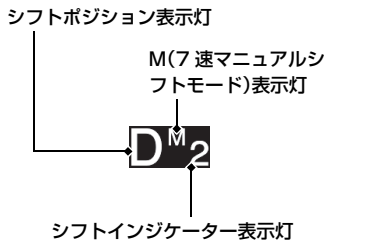
P パーキング
駐車またはパワーシステムを起動するとき

R リバース
車を後退

N ニュートラル
駆動力が伝達されない状態

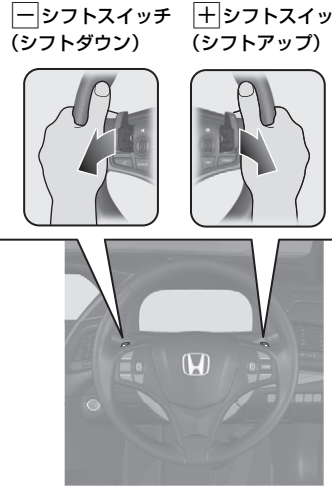
D ドライブ
- 通常走行
- 一時的に 7 速マニュアルシフトモードにするとき
- 7 速マニュアルシフトモードにするとき （SPORT モード走行時）

7 速マニュアルシフトモードP. 239



シフトポジションがDで、SPORT モードスイッチが OFF のとき

- ハンドルから手を放さずシフトスイッチを引いて、シフト操作ができます。
- ハンドルにあるシフトスイッチを引くと、一時的に 7 速マニュアルシフトモードになります。シフトインジケーターにギヤ位置が表示されます。



シフトポジションがDで、SPORT モードスイッチが ON のとき

- ハンドルにあるシフトスイッチを引くと、7 速マニュアルシフトモードになります。M(7 速マニュアルシフトモード)表示灯が点灯し、シフトインジケーターにギヤ位置が表示されます。

VSA の ON と OFF

P. 243

- VSA とは、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。
- パワーシステムを起動すると自動的に VSA は ON になります。
- VSA を停止(OFF)状態にするには、VSA OFF を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。再度、使用(ON)するには VSA OFF を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。

タイヤ空気圧警報システム（TPMS）

P. 247

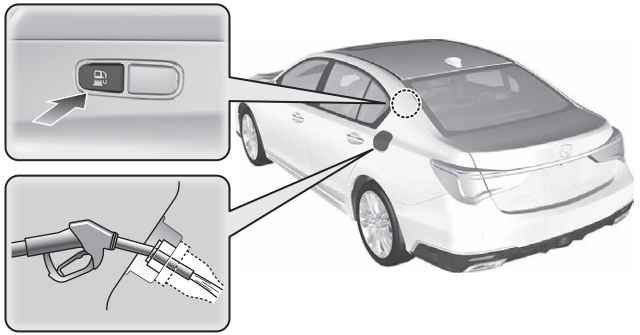
- TPMS はタイヤの空気圧を監視します。
- TPMS はパワーシステムを起動するごとに自動的に作動します。

ガソリンを入れる

P. 411

指定燃料：
無鉛プレミアムガソリン
プレミアムバイオ混合ガソリン(E10/ETBE22)
タンク容量：57 リットル

1. 運転席ドアにあるフューエルリッドオープナーを押してリッドを開ける。
2. 給油ノズルの自動停止後、約5秒待ってから給油ノズルを抜く。



Honda SENSING Elite

衝突被害の軽減、衝突事故の回避、また、運転者の負担を軽減するために、運転者のアクセル・ブレーキ・ハンドル操作などを支援します。また、高速道路や自動車専用道本線上の渋滞時の特定の走行環境条件内において、運転者は自動運行装置※1 を用いて運転することができます。

■ご使用にあたり

Honda SENSING Elite の各システムを理解して安全運転を心がけてご使用ください。

●Honda SENSING Elite の各システムには制限があります。
Honda SENSING Elite の制限 P. 258

●メーターなどにお知らせがあった場合は指示にしたがってください。

●運転者による操作は、システムによる操作より優先されます。

●自動運行装置を用いた運転中であっても、周囲の状況確認および操作が可能な状態を保ってください。

例えば：

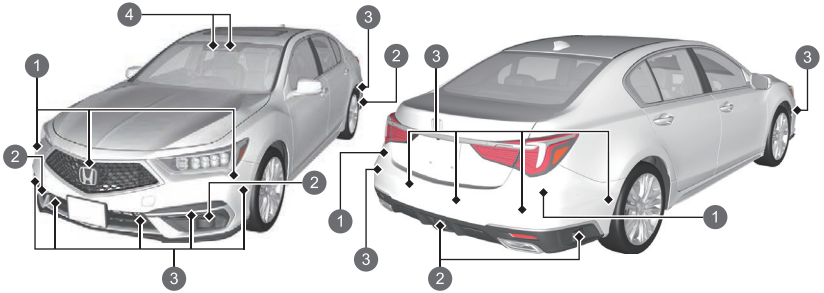
- シートを大きくリクライニングしたり、居眠りしたりしないでください。
- メーター、ハンドルなどの表示類やドライバーモニタリングカメラを隠さないでください。
- すぐに運転操作に移れない行為（読書、食事、PC の操作、スマートフォンの操作など）をしないでください。
- 視界を確保するために窓ガラスの曇りを取ってください。

※1：道路運送車両法の定める自動運行装置とは特定の走行環境条件内において、センサー類やコンピューターを用いて、自動車の操縦に必要な「認知・予測・判断・操作 」を行う機能をすべて有し、かつ、作動状態記録装置を備えるものです。
トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能） P. 343

Honda SENSING Elite の各システムは自車周辺の状況把握、自車位置の特定、運転者の状況把握をすることで作動します。

自車周辺の状況把握

❶ レーダーセンサー P. 254
❷ ライダーセンサー P. 252
❸ ソナーセンサー P. 255
❹ フロントセンサーカメラ P. 253

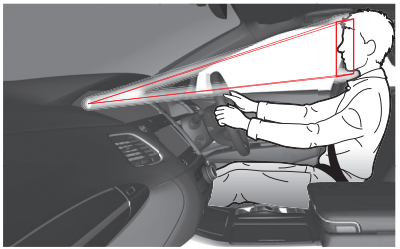


自車位置の特定

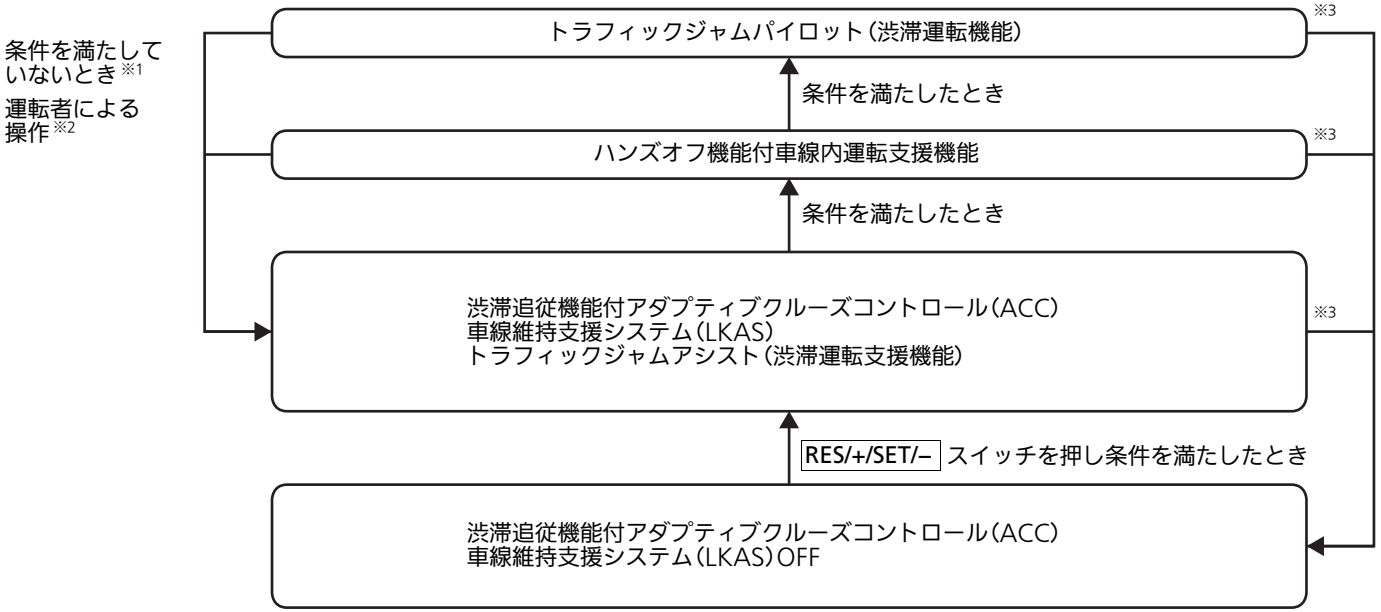
●全球測位衛星システム GNSS (Global Navigation Satellite System) P. 257
●高精度地図 P. 257
●Honda インターナビシステム
➲ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

運転者の状況把握

●ドライバーモニタリングカメラ P. 256



高速道路や自動車専用道本線上で渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、車線維持支援システム(LKAS)、トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)を作動させ、条件を満たしたときにはハンズオフ機能付車線内運転支援機能またはトラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が作動します。



※1 ：自車位置を特定できなくなったときなど、操作要求があった場合は指示にしたがってください。
※2 ：ハンドルやペダル操作など
※3 ：ブレーキ操作や CANCEL スイッチなどの操作を行った場合は、これらのシステムが解除されます。また天候や道路状況などの条件により操作をしない場合でもシステムが解除される場合があります。操作要求にしたがってください。

その他の機能は状況に応じて作動します。
●衝突軽減ブレーキ（CMBS） P. 264
●踏み間違い衝突軽減システム P. 272
●歩行者事故低減ステアリング P. 278
●車線変更時衝突抑制機能 P. 283
●路外逸脱抑制機能 P. 287
●先行車発進お知らせ機能 P. 291
●標識認識機能 P. 295
●オートハイビーム P. 167
●ハンズオフ機能付車線変更支援機能 P. 331
●ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能 P. 335
●緊急時停車支援機能 P. 352

高速道路での機能の作動例

システムの作動状態

本線走行中

作動例を示しています

定速走行や追従走行するための
加減速・停車や車線内走行を
維持するためのハンドル操作を支援します

通常走行

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）&車線維持支援システム（LKAS）

メーターの表示

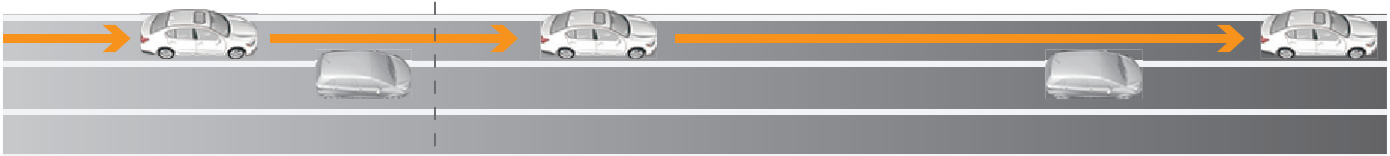
操作

(MAIN) スイッチを押し、渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）、車線維持支援システム（LKAS）を ON にします。

RES/+/SET/- スイッチを下に押し渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）、車線維持支援システム（LKAS）を作動させます。

本線走行中

車線内走行を維持し定速走行や追従走行するための
加減速・停車・ハンズオフでのハンドル操作を支援します



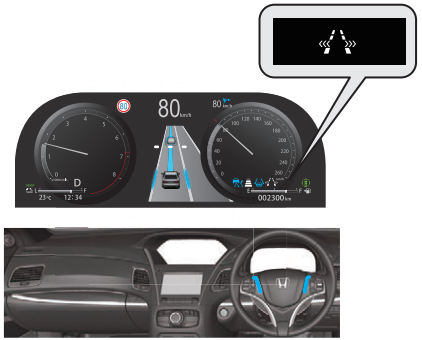
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）、車線維持支援システム（LKAS）

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能

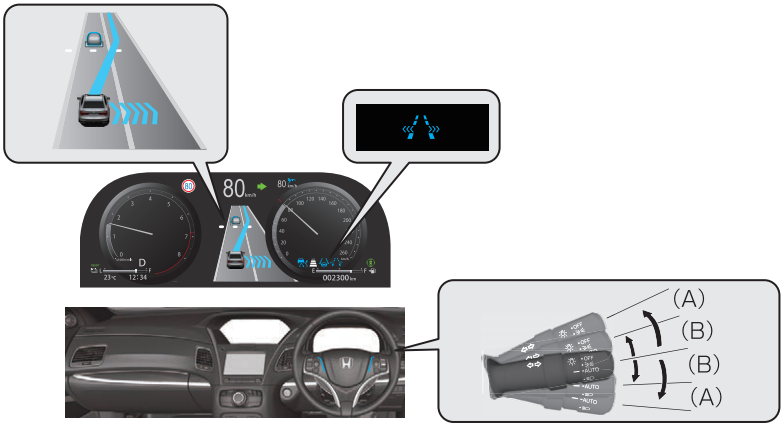
車線変更（運転者によるウインカー操作）

高速道路や自動車専用道本線上で、方向指示器（ウィンカー）スイッチ操作により、
車線変更に伴なう加減速・ハンズオフでのハンドル操作を支援します
車線変更先の状況を含めた周囲の状況を確認してください

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能



ハンズオフ機能付車線変更支援機能



車線変更したい方向に方向指示器（ウインカー）スイッチを（B）の位置で保持し、「ピ」とブザーが鳴ったら離します。

車線変更（システムによる追い越し）

（高度車線変更支援）スイッチが ON の状態で、自車よりも遅い前走車がいた場合は、システムが追い越しを行います
車線変更先の状況を含めた周囲の状況を確認してください

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能の作動中に（高度車線変更支援）スイッチを押し、システムをONにします。

ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能

ウインカースイッチの操作は必要ありません。

渋滞時

システムが車線内走行を維持し追従走行するための
周辺監視・加減速・停車・ハンドル操作を行います

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能

トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）

システムの起動に追加でスイッチなどの操作は必要ありません。

渋滞解消時

渋滞が解消するとシステムが操作要求を行います

運転者がハンドルを操作すると ACC、LKAS が作動します

一定時間経過後、再度ハンズオフ機能付車線内運転支援機能が作動します

トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）

メーターなどの表示にしたがって運転操作してください。

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）& 車線維持支援システム（LKAS）

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能

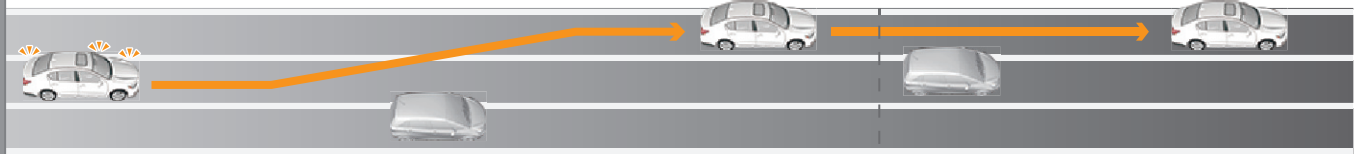
システムの作動状態

本線から出口へ（Honda インターナビシステムで目的地設定している場合）

（高度車線変更支援）スイッチが ON の状態で、Honda インターナビシステムで目的地設定している場合は、

ジャンクションや出口に近い車線に向けて、システムが車線変更を行います

車線変更先の状況を含めた周囲の状況を確認してください



ハンズオフ機能付車線内運転支援機能

ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能

メーターの表示

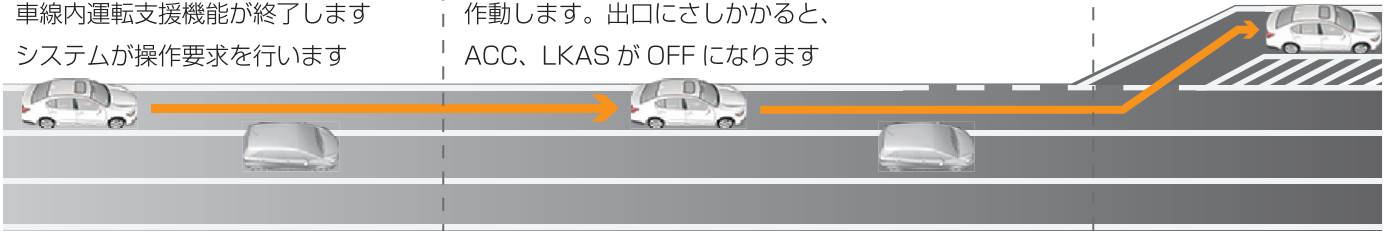
操作

本線から出口へ（Honda インターナビシステムで目的地設定している場合）

出口

出口に近づくとハンズオフ機能付車線内運転支援機能が終了しますシステムが操作要求を行います

運転者がハンドルを操作すると ACC、LKAS が作動します。出口にさしかかると、ACC、LKAS が OFF になります



ハンズオフ機能付車線内運転支援機能

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）、車線維持支援システム（LKAS）

通常走行

ハンドル操作してください
車線内運転支援区間が
終了します

ピピ

メーターなどの表示にしたがって運転操作してください。

ハンドル操作を継続し
周囲の安全を確認ください

ピンポン

まもなく
クルーズキャンセルします

すべての操作をしてください。

Honda SENSING Elite 各機能一覧

衝突軽減ブレーキ（CMBS） P. 264

前走車への追突や歩行者などへの衝突のおそれがあるときにブレーキ操作を支援します。

踏み間違い衝突軽減システム P. 272

アクセルペダルの踏み間違いにより壁などの障害物に衝突のおそれがあるときに駆動力の抑制やブレーキ操作を支援します。

歩行者事故低減ステアリング P. 278

路側帯や歩道の歩行者との衝突を回避するためのハンドル操作を支援します。

車線変更時衝突抑制機能 P. 283

車線変更時に後側方車両との衝突を回避するためのハンドル操作を支援します。

路外逸脱抑制機能 P. 287

路外逸脱を回避するためのハンドル操作を支援します。

先行車発進お知らせ機能 P. 291

停車時に先行車が発進したことをお知らせします。

標識認識機能 P. 295

道路標識情報を表示します。

オートハイビーム P. 167

夜間にヘッドライトのハイビームとロービームを自動的に切り換えます。

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC） P. 301

高速道路や自動車専用道本線上で、定速走行や追従走行するための加減速・停車を支援します。

車線維持支援システム（LKAS） P. 312

高速道路や自動車専用道本線上で、車線内走行を維持するためのハンドル操作を支援します。

トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能） P. 318

高速道路や自動車専用道本線上の渋滞時に、車線内走行を維持し追従走行するための加減速・停車・ハンドル操作を支援します。

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能 P. 323

高速道路や自動車専用道本線上で、車線内走行を維持し定速走行や追従走行するための加減速・停車・ハンズオフでのハンドル操作を支援します。

ハンズオフ機能付車線変更支援機能 P. 331

高速道路や自動車専用道本線上で、方向指示器（ウィンカー）スイッチ操作により、車線変更に伴なう加減速・ハンズオフでのハンドル操作を支援します。

ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能 P. 335

高速道路や自動車専用道本線上で、車線変更に伴なう方向指示器(ウィンカー)・加減速・ハンズオフでのハンドル操作を支援します。

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)

P. 343

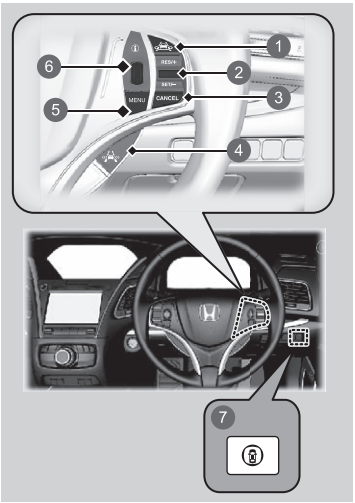
高速道路や自動車専用道本線上の渋滞時に、車線内走行を維持し追従走行するための周辺監視・加減速・停車・ハンドル操作を行います。

緊急時停車支援機能

P. 352

操作要求に応じなかった場合、周囲に警告を行いながら減速・停車を支援します。

各システムの作動・設定のためのスイッチと表示



❶ (MAIN)スイッチ
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、車線維持支援システム(LKAS)、トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)の ON/OFF の設定を行ないます。

❷ RES/+/SET/– スイッチ
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、車線維持支援システム(LKAS)の設定を行ないます。条件成立時はトラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が作動します。
設定車速の調整と復帰を行ないます。

❸ CANCEL スイッチ
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、車線維持支援システム(LKAS)、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)の解除を行ないます。

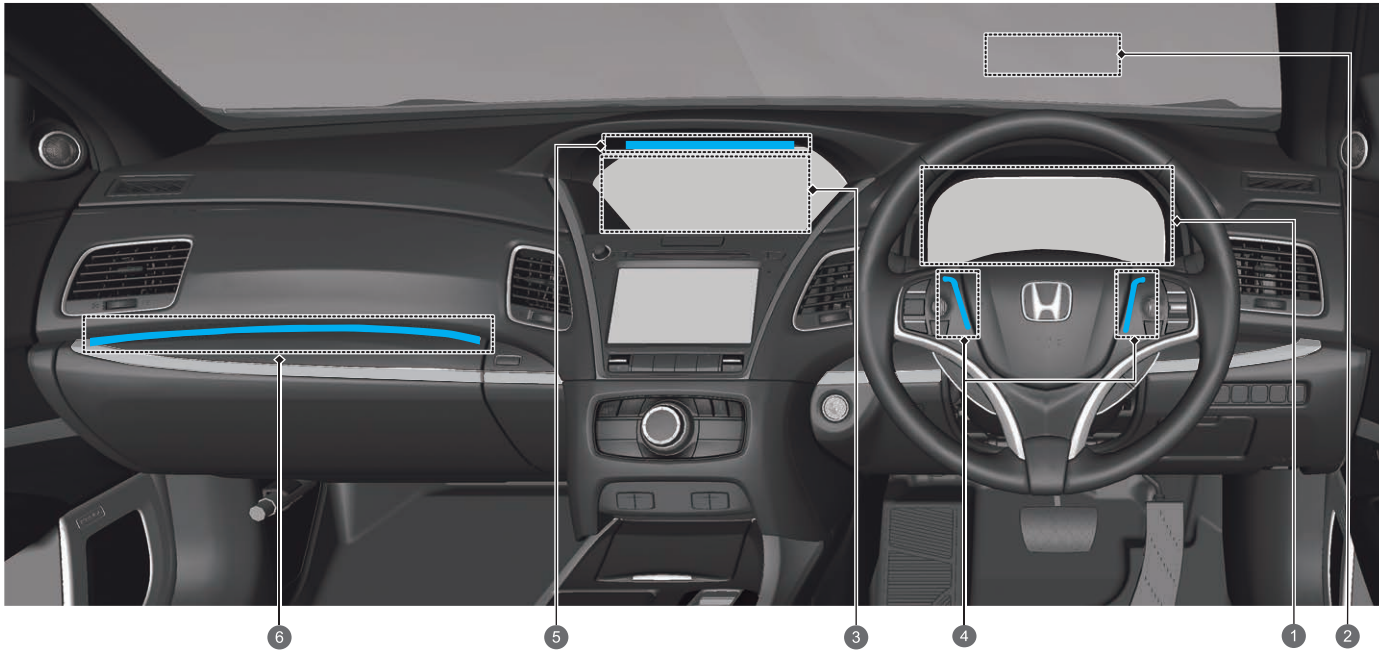
❹ (高度車線変更支援)スイッチ
ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能の ON/OFF の設定を行ないます。

❺ MENU スイッチ
車間設定や車線維持支援システム(LKAS)の ON/OFF の設定を行ないます。

❻ インフォメーション(🛈)ホイール
マルチインフォメーションディスプレイとヘッドアップディスプレイの表示内容の選択・決定を行ないます。
MENU の選択・決定を行ないます。

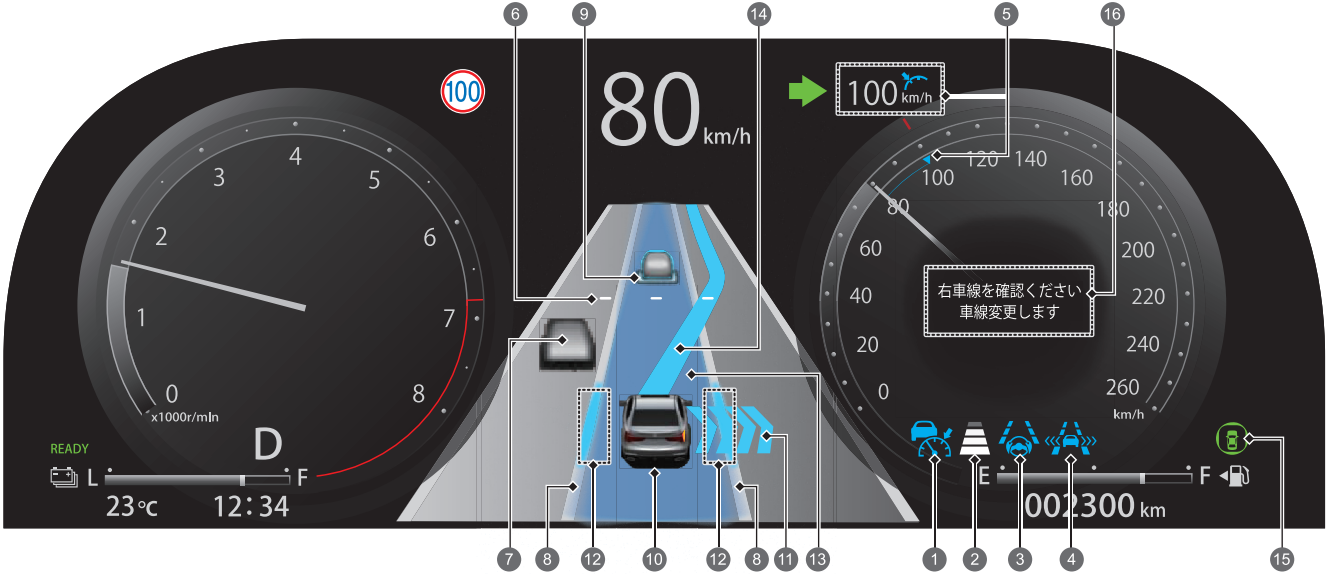
❼ (安全支援情報)スイッチ
安全支援情報表示灯に関連する機能の ON/OFF の設定を行ないます。

■各機能の表示について



❶ メーター
❷ ヘッドアップディスプレイ
❸ オーディオ / インフォメーション画面
❹ Honda SENSING Elite 表示灯ハンドル(ブルー/ オレンジ)
❺ Honda SENSING Elite 表示灯オーディオ / インフォメーション画面上部(ブルー/ オレンジ)
❻ Honda SENSING Elite 表示灯グローブボックス(ブルー/ オレンジ)

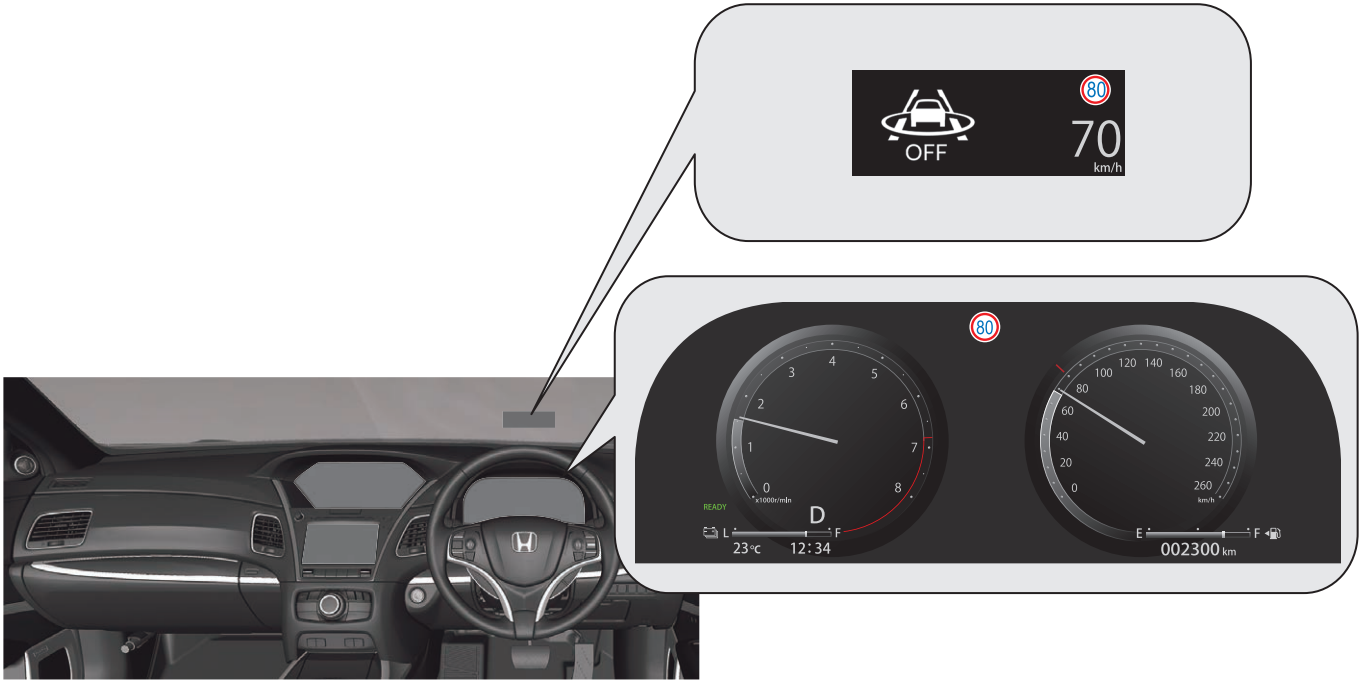
Honda SENSING Elite のメーター表示



車線について：実際の走行環境と同じ車線数、形状で表示されないことがあります。
前走車両・周辺車両について：実際の走行環境と同じ車両数、形状で表示されないことがあります。

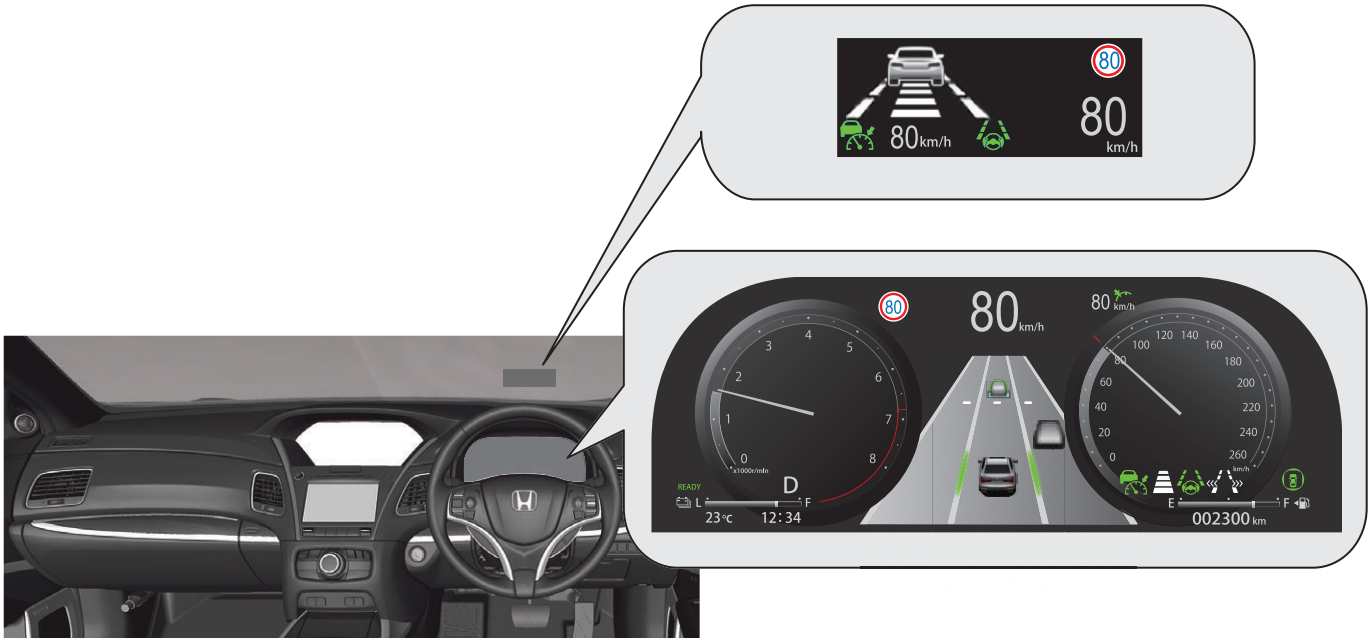
❶ 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯(ホワイト / グリーン / ブルー) P. 104
❷ 車間距離設定表示灯 P. 105
❸ 車線維持支援システム(LKAS)表示灯(ホワイト / グリーン / ブルー) P. 104
❹ ハンズオフ機能付車線変更支援機能表示灯(ホワイト / グリーン / ブルー)/ ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能表示灯(ホワイト / ブルー) P. 104, 105
❺ 設定車速表示
❻ 設定車間表示
❼ 周辺車両表示
❽ 車線検知表示(ホワイト / ブラック)
❾ 前走車認識車両表示
❿ 自車表示
⓫ 車線変更表示(グリーン / ブルー)
⓬ 車線維持表示(グリーン / ブルー)
⓭ 誘導車線表示
⓮ 誘導経路表示
⓯ 安全支援情報表示灯(グリーン / グレー) P. 105
⓰ マルチインフォメーションディスプレイ

(MAIN)スイッチを押していないとき



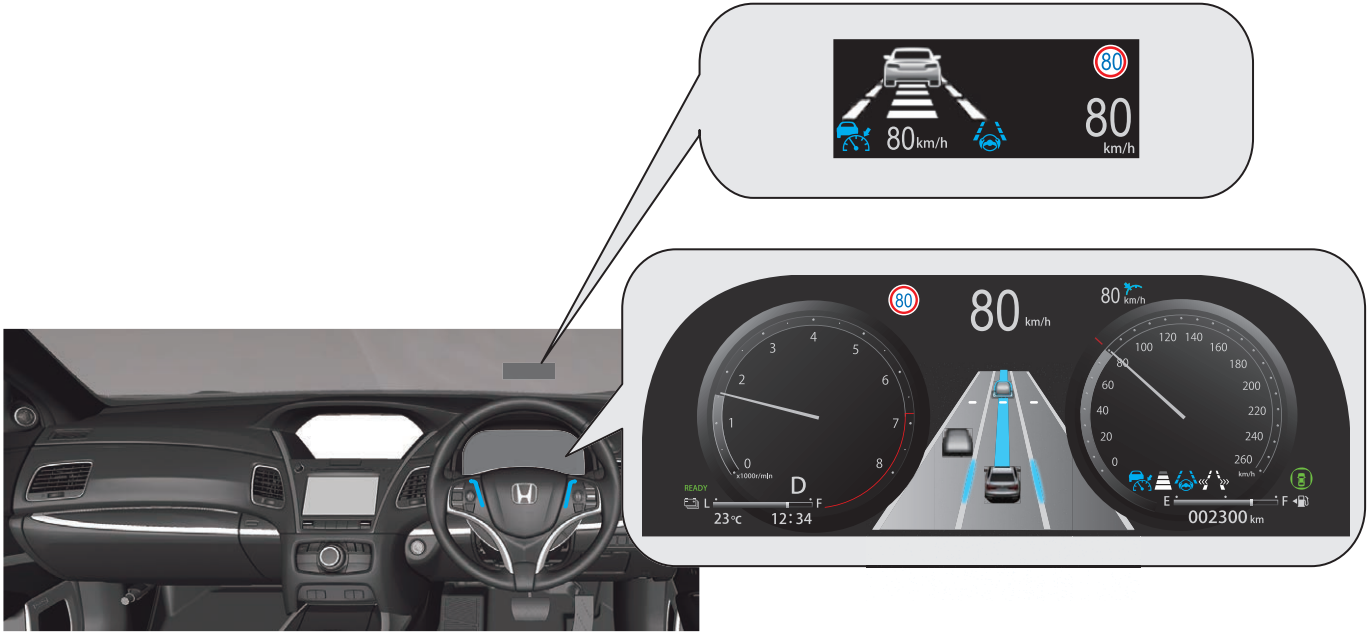
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)/ 車線維持支援システム(LKAS)作動時の表示

●渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯 / 車線維持支援システム(LKAS)表示灯がグリーンで点灯



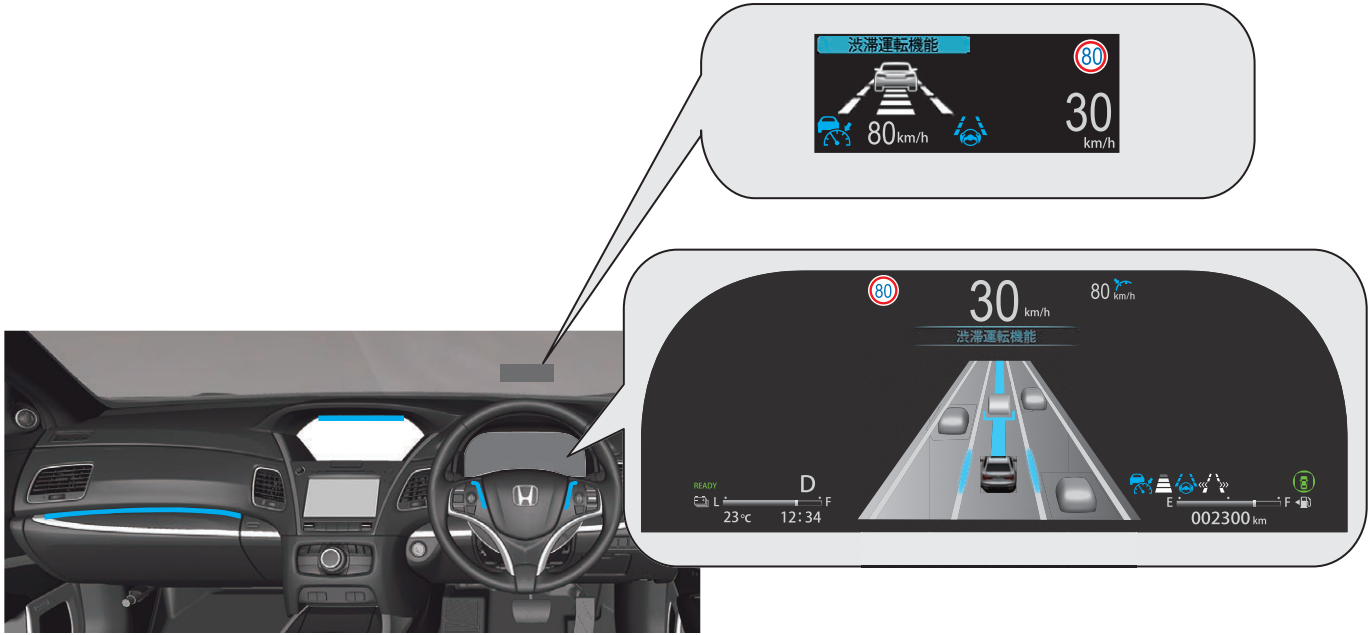
ハンズオフ機能付車線内運転支援機能作動時の表示

●渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯 / 車線維持支援システム(LKAS)表示灯がブルーで点灯
●Honda SENSING Elite 表示灯ハンドルがブルーで点灯



トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)作動時の表示

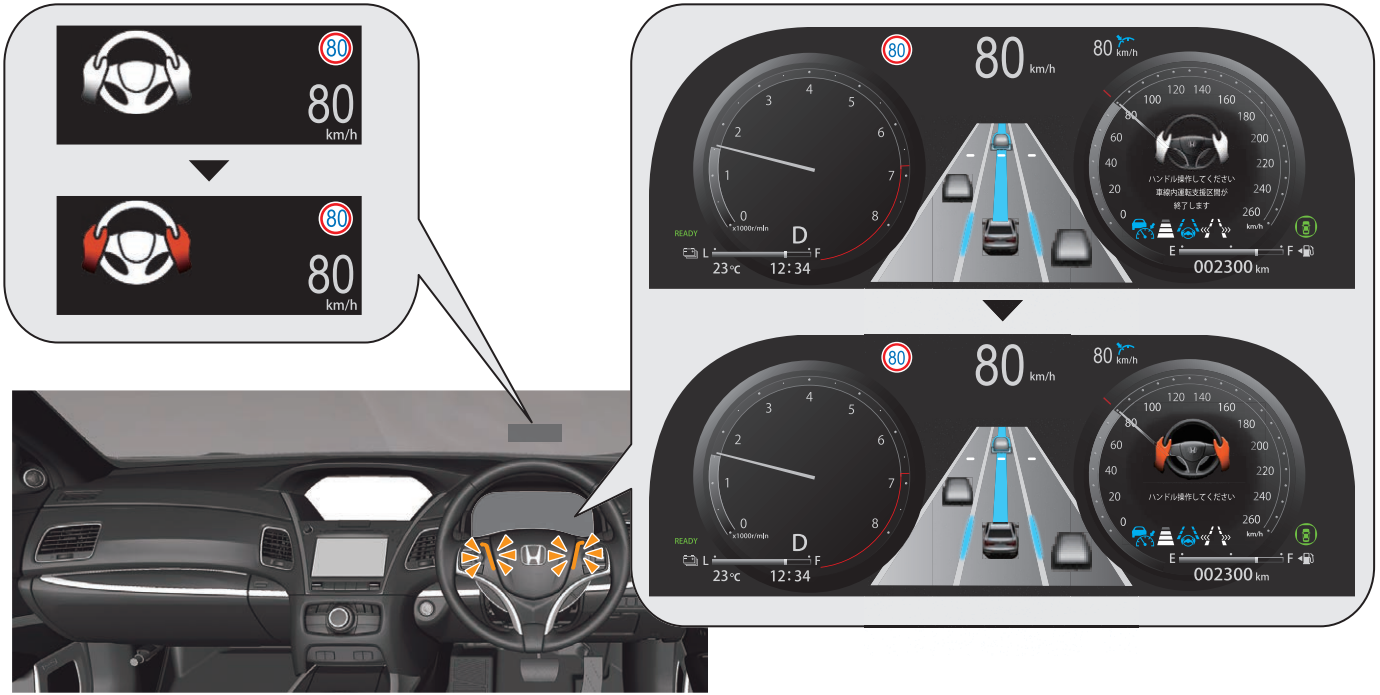
●スピードメーター、タコメーターの表示が消え、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)メーターに変化
●渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯 / 車線維持支援システム(LKAS)表示灯がブルーで点灯
●Honda SENSING Elite 表示灯ハンドル、オーディオ / インフォメーション画面上部、グローブボックスがブルーで点灯



ハンズオフ機能付車線内運転支援機能作動中の操作要求の表示

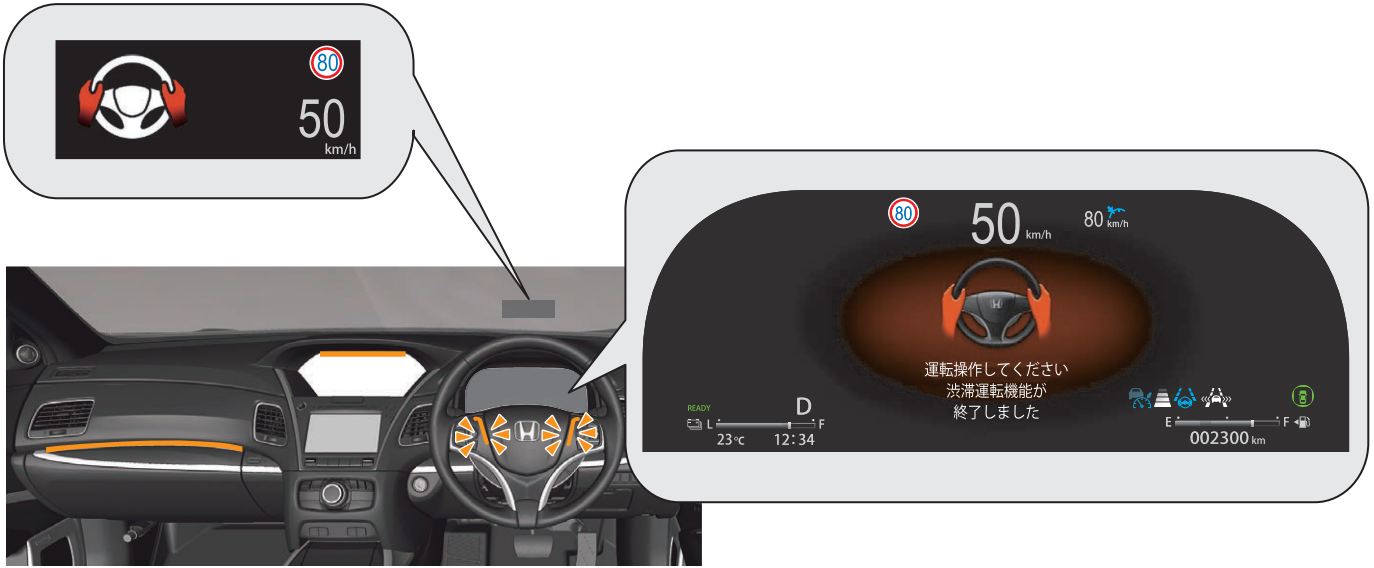
●マルチインフォメーションディスプレイ内に “ハンドル操作してください　車線内運転支援区間が終了します” と表示、その後 “ハンドル操作してください” と表示

●Honda SENSING Elite 表示灯ハンドルがオレンジで点滅



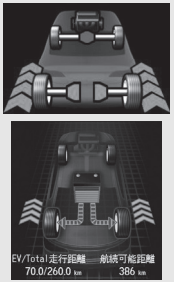
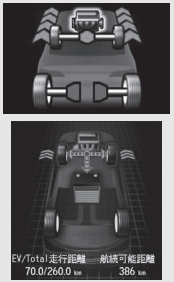
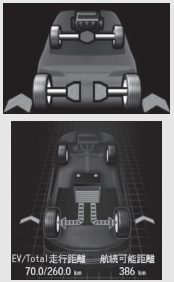
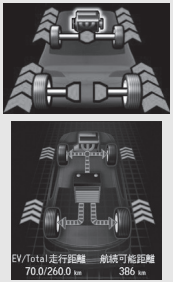
トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)作動中の操作要求の表示

●メーター内に “運転操作してください　渋滞運転機能が終了しました” と表示
●Honda SENSING Elite 表示灯ハンドルがオレンジで点滅、Honda SENSING Elite 表示灯オーディオ / インフォメーション画面上部、グローブボックスがオレンジで点灯

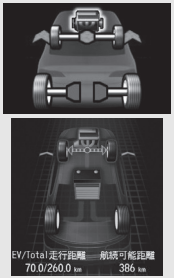
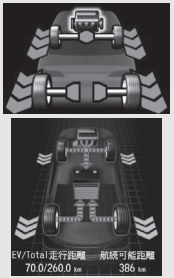
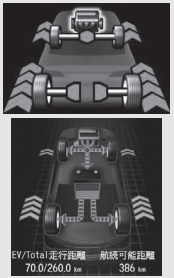


SPORT HYBRID SH-AWD (Super Handling All-Wheel-Drive)

SPORT HYBRID SH-AWD は、モーターとガソリンエンジンを搭載しており、その両方を動力源として使用します。そして、モーターは高電圧バッテリーから供給された電力により作動します。

走行モード	EV 走行(発進加速時)	エンジン走行	EV 走行(低速クルーズ時)	ハイブリッド走行
走行状態	発進加速時 • リヤモーターの動力のみで走行	ゆるやかな加速時 • エンジンの動力のみで走行	低速クルーズ時 • リヤモーターの動力のみで走行	しっかりとした加速時 • エンジンとモーターの動力で走行
パワーフローモニター※1				
フロントモーター	停止	発電 / 出力なし	停止	発電 / 作動
リヤモーター	作動	出力なし	作動	作動
エンジン	停止	作動	停止	作動
高電圧バッテリー	放電	充電 / 放電	放電	充電 / 放電

※1 ：上段：ヘッドアップディスプレイ、下段：オーディオ / インフォメーション画面

走行モード	エンジン走行	回生	AWD モード
走行状態	高速クルーズ走行中 • エンジンの動力のみで走行	減速中 • モーターが回生ブレーキで得た電力を高電圧バッテリーへ供給します。	滑りやすい状況 • エンジンとモーターの動力で走行しつつ、リヤモーターで発電
パワーフローモニター※1			
フロントモーター	発電 / 出力なし	回生	発電
リヤモーター	出力なし	回生	作動
エンジン	作動	停止	作動
高電圧バッテリー	充電 / 放電	充電	充電 / 放電

※1 ：上段 : ヘッドアップディスプレイ、下段 : オーディオ / インフォメーション画面

エネルギー効率について

通常のガソリンエンジン搭載車と同じように、この車の燃費や航続可能距離は、運転のしかたによって変わります。急加速をおこなうと、動力源がエンジンへ切り換わりやすくなります。また暖房負荷や冷房負荷が高いとき、航続可能距離が変わります。いずれの場合も高電圧バッテリーの残量は早く低下します。

バッテリーのタイプ

2 種類のバッテリーが装備されています。エアバッグ、ライト類や電気アクセサリーを使用するための 12V バッテリーと、モーターの駆動と 12V バッテリーを充電する高電圧バッテリーです。

回生エネルギーと回生ブレーキ

減速時または下り坂では、モーターは発電機として働き、加速時に使った電力を回生エネルギーとして取り戻します。
この回生ブレーキ機能は、エンジンブレーキと同じような働きをします。

ハイブリッド車について

高電圧部位や高電圧配線部は電磁シールド構造になっています。
従来の車や家電製品と比べて電磁波が多いということはありません。

エンジンの自動停止・始動

エンジンが自動的に始動や停止します。そのため、停車時にエンジンが停止状態から始動することがあります。特に、次のようなときは、エンジンが自動的に停止しないことがあります。

●急加速、登坂、高速走行時など、瞬間的に駆動力が足りず補助が必要なとき
●暖房負荷や冷房負荷が高いとき
●高電圧バッテリーの温度が高いとき、または低いとき
●高電圧バッテリーの充電量が低いとき
●SPORT モードスイッチを ON しているとき➡P.240
これらの状態以外でも、エンジンが自動的に停止しない場合があります。

次のようなときは、エンジンが自動的に始動することがあります。
●シフトポジションが P のまま、運転席のシートベルトをはずし、運転席ドアを開けたとき

ハイブリッド車特有の音について

パワーシステム起動時や走行中に、次のような音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

聞こえるとき	状況
エンジンの始動・停止時	トランスミッションの作動音が車両前方から聞こえます。
加速時	モーター作動音、エンジン作動音がエンジンルーム内、車両後方から聞こえます。
減速時	エネルギーを回生するために、モーター回生動作音がエンジンルーム内、車両後方から聞こえます。 また、低速走行でブレーキを踏んだときやブレーキシステムが切り換わるときにブレーキ装置から、音が聞こえることがありますが、異常ではありません。
エアコン、ヒーター作動時	コンプレッサーやヒーターシステムの作動音がエンジンルーム内から聞こえます。

ご使用時の注意

冷却風取り入れ口をふさがない

冷却風取り入れ口がふさがれると高電圧バッテリーの温度が上昇するおそれがあります。高電圧バッテリーを保護するために出力が制限され、パワーシステム警告灯や 12V バッテリー充電警告灯が点灯することがあります。

高電圧システムには触れない

高電圧システムの分解や配線取り外しなどを行うと感電するおそれがあります。点検・修理は、必ず Honda 販売店にご相談ください。

事故が起きたとき

●感電に注意する

▶ 車体が大きく破損・変形するような事故が起きたときは、感電するおそれがあります。高電圧部位やそれらを接続する配線（オレンジ色）には、絶対に触れないでください。

●高電圧バッテリー液に触れない

▶ 高電圧バッテリー液がもれているときは、バッテリー液が目や皮膚に付くとその部分が侵されますので、十分に注意してください。万一付着したときは、すぐに清浄な水で数分間洗浄した後、ただちに医師の診察を受けてください。

●火災が発生したら電気火災用消火器を使用する

▶ 少量の水での消火は、かえって危険な場合がありますので、水はかけないでください。

●Honda 販売店で修理を受ける。

▶ 車体が損傷を受けたときは、必ず Honda 販売店で修理を受けてください。

高電圧遮断システム

事故などにより車体が衝撃を受けたときに、高電圧遮断システムが作動する場合があります。システムが作動すると、高電圧システムが自動的に OFF になり、走行可能状態になりません。高電圧システムを再始動するには、Honda 販売店にご連絡ください。

高電圧バッテリーは、リチウムイオンバッテリーを使用しています。廃棄処分については特別な取り扱いが必要です。廃車するときは、必ず下記にご相談ください。

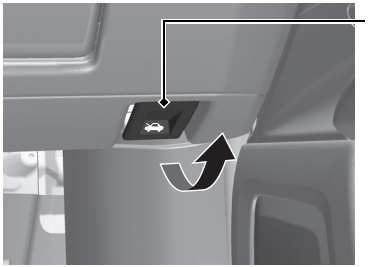
ホンダバッテリー回収窓口 0120-910574（フリーダイヤル）

メンテナンス P. 414

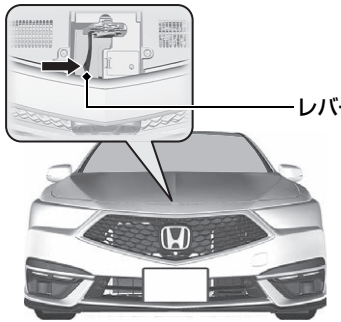
エンジンルーム P. 418

●冷却水、ウォッシャー液の補給を行います。
●12V バッテリーを点検します。

❶ 運転席足元のボンネット解除ノブを引く。

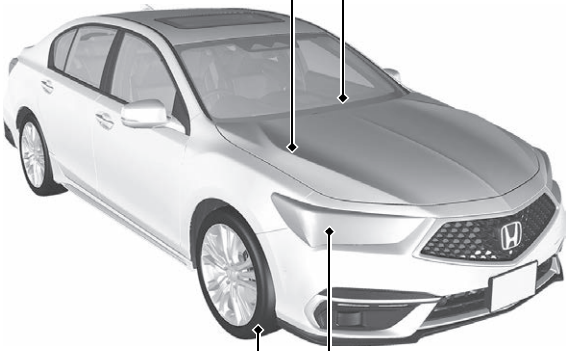


❷ レバーを右に押してボンネットを開ける。



ワイパーブレード P. 427

●拭きムラがある場合は、ワイパーブレードラバーを交換します。



タイヤ P. 430

●タイヤ、ホイールを点検します。
●降雪地域では、スノータイヤ、タイヤチェーンが必要です。

ライト P. 423

●ヘッドライト電球などの点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。
●ヒューズの交換については、「万一の場合には」を参照してください。

トランク P. 418

●12V バッテリーを点検します。

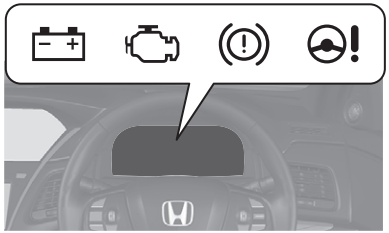
万一の場合には P. 446

パンクした P. 448

●安全な場所に停車し、タイヤパンク応急修理キットで応急修理します。

警告灯が点灯した P. 472

●詳細を確認し、取扱説明書にしたがってください。

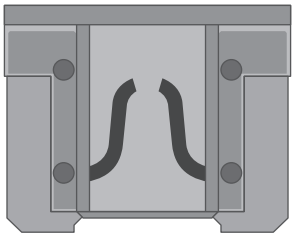


パワーシステムが起動しない P. 461

●バッテリーあがりが考えられます。救援車のバッテリーを利用してパワーシステムを起動します。

ヒューズが切れた P. 479

●室内とエンジンルーム内にヒューズボックスがあります。切れているヒューズを取り換えます。



オーバーヒートした

P. 469

●安全な場所に停車し、蒸気が出ていなければボンネットを開けてください。

けん引してもらいたい

P. 489

●必ず専門業者に依頼してください。

こんなときは

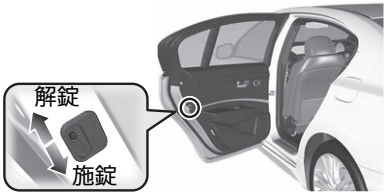
Q ブレーキペダルを踏んだらガタガタと振動した

A
- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これは ABS が作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。

▶ ABS(アンチロックブレーキシステム) P. 363

Q 後席ドアが車内から開けられない

A
- チャイルドプルーフが施錠の位置になっていませんか？後席ドアを外から開け、チャイルドプルーフのレバーを解錠の位置にしてください。



Q ドアを解錠したはずなのに施錠されている

A
- Honda スマートキーシステムで解錠してから、約 30 秒以内にドア、トランクを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。

Q 運転席ドアを開けるとブザーが鳴る

A
- パワーモードをアクセサリー モードにしていませんか？
- ライトを消し忘れていませんか？

Q 走行するとブザーが鳴る

A
- 運転席または助手席シートベルトを着用していますか？

Q **(!)マーク(オレンジ)が点灯した**

A
- タイヤの空気圧が著しく低いときに点灯します。
  タイヤの空気圧を確認してください。
  ▶ タイヤ空気圧警報システム警告灯が点灯 / 点滅した P. 477

Q **走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする**

A
- ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。Honda 販売店で点検を受けてください。

Q **パーキングブレーキスイッチを押してもパーキングブレーキが解除できない**

A
- ブレーキペダルを踏んでスイッチを操作していますか？

Q **アクセルペダルを踏んでもパーキングブレーキが自動で解除できない**

A
- 運転席シートベルトを着用していますか？
- シフトポジションが、 P 、 N 以外になっていますか？

Q **車を後退させるとき、後方を確認するために運転席ドアを開けるとシフトポジションが P になって車が停止した**

A
- 運転席シートベルトを着用していますか？
  運転席ドアを閉めて、改めてシフト操作を行ってください。
  ▶ ドア Open 自動パーキング選択制御 P. 236

Q **プレミアム(ハイオク)ガソリン仕様車にレギュラーガソリンを使用しても大丈夫ですか？**

A
- プレミアムガソリンが入手できないときはレギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合、本来のエンジン性能を発揮できません。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠危険	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠警告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠注意	指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

下記の表示を使って記載しています。

アドバイス
お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。

車両データの記録

■車両データの記録について

この車には、車両の操作や制御、車両に搭載された各機能の作動履歴などに関するデータを記録する機能が装備されています(一部のデータについては、無線通信で Honda のサーバーに送信され記録されます。)。

各機能の作動時や操作状況、走行場所により、主に次のようなデータを記録します(車内の映像や音声は記録しません。)。

- 車両の状態(車速、エンジン回転数など)
- 運転状態(アクセル、ブレーキ、ステアリング等の操作状況、運転者の挙動)
- SRS エアバックシステムの作動状況
- 運転支援システム等の作動履歴
- 衝突軽減ブレーキ作動時の前方カメラ画像
- 高速道路本線走行中の車両周辺のカメラ画像
- 車両の位置情報
- 車両の故障診断情報

■データの取り扱いについて

Honda および Honda が委託した第三者は、記録されたデータを、不具合解析のための技術的診断や、Honda の車両の研究開発、品質向上のために、取得し利用することがあります。

Honda は、取得したデータを、以下の場合を除き、第三者に開示または提供することはありません。

- お車の使用者の同意(リース車、レンタカーの場合は借主の同意)がある場合
- 警察、裁判所、政府機関等からの、法的強制力のある要請に基づく場合
- 統計的な処理を行う等、所有者や使用者、お車が特定できないように加工したデータを、研究機関等に提供する場合

ワイヤレスによるシステムアップデートについて

この車のアプリケーションは、Honda SENSING Elite のソフトウェアの更新を自動的に Honda のサーバーへ問い合わせます。アプリケーションは、次の内容を定期的に Honda のサーバーに送信します。

車両および接続されたデバイス情報、車台番号、モデルタイプ識別番号、ハードウェアおよびソフトウェアの部品番号、シリアル番号、ソフトウェアバージョン、設定言語、インターネットプロトコルアドレス、データ処理のログ(アラートまたは更新の表示、更新のダウンロードとインストール、ソフトウェアステータス等)

お客様の個人情報
Honda に送信された前述の情報がお客様の個人情報となる場合、当該情報は、個人情報保護法に従って扱われます。

Honda は、送信された情報をソフトウェアのアップデートに利用するほか、Honda のプライバシーポリシーに従って取扱います。詳細については、Honda Web サイト(https://www.honda.co.jp/privacy/hm/)を参照してください。

目次

安全なドライブ P.50

安全なドライブのために 51　シートベルト 53　エアバッグ 61
ポップアップフードシステム 71　お子さまの安全 74　排気ガスの危険性 89

計器の見かた P.90

警告灯と表示灯 91　メーターとインフォメーションディスプレイ 107

各部の操作 P.130

時刻の設定 131　ドアの施錠と解錠 132　トランクの開閉 145　セキュリティシステム 151
ウィンドーの開閉 155　サンルーフ 158　ハンドルまわりのスイッチ操作 160
ミラー類の調節 179　シートの調節 182　室内装備品 189
エアコン 206

オーディオ P.219

オーディオ装置 220

運転 P.221

運転の前に 222　運転操作 225　Honda SENSING Elite 250
ブレーキ操作 357　駐停車操作 366　マルチビューカメラシステム 377
Honda パーキングパイロット 389　給油 411

メンテナンス P.414

メンテナンスの前に 415　エンジンルーム / トランク内のメンテナンス 418　電球の交換 423
ワイパーブレードラバーの点検と整備 427　タイヤの点検と整備 430　Honda スマートキー 435
エアコンのお手入れ 437　清掃 439　アクセサリーと改造 444

万一の場合には P.446

工具、発炎筒 447　パンクしたとき 448　ジャッキの取り扱い 459
パワーシステムが起動しない 461　12V バッテリーがあがったとき 465
オーバーヒート 469　警告灯の点灯 / 点滅 472　ヒューズ 479　けん引 489
フューエルリッドが解錠できないとき 490　トランクが開かないとき 491
給油 492

資料 P.493

仕様 494　ソフトウェアに関する重要なお知らせ 495

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

安全なドライブ

この章には、安全運転のために必要な重要情報が記載されています。
運転を始める前によくお読みいただき、運転者と同乗者の安全を
確保してください。

安全なドライブのために 51
シートベルト
シートベルトについて 53
シートベルトの着用..... 57
シートベルトの点検..... 60
シートベルトのアンカーポイント 60
エアバッグ
エアバッグの種類 61
SRS エアバッグ 61
運転席ニーエアバッグ 64
サイドエアバッグ 66
サイドカーテンエアバッグ..... 68
エアバッグシステム警告灯..... 70
エアバッグのお手入れ 70
ポップアップフードシステム
ポップアップフードシステムのしくみ 71
ポップアップフードシステムのお手入れ.....73
お子さまの安全
お子さまの安全を守るために 74
乳幼児の安全 75
大きなお子さまの安全 87
排気ガスの危険性
一酸化炭素について..... 89

安全のための確認事項

安全なドライブのために、走行前に下記の項目を確認してください。

- ドア、トランクは完全に閉まっているか？
  ▶すべてのドア、トランクが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認してください。
  ➔ **車内での施錠 / 解錠** P.141
- 運転しやすい姿勢にシート位置を調節しているか？
  ▶正しい運転姿勢がとれるよう、シート位置やヘッドレストの調節をしてください。
  ➔ **フロントシート** P.182
- 同乗者のシートも、安全が保たれるよう調節しているか？
  ▶ダッシュボードからできるだけ離れた位置までシートを下げてください。
  ➔ **フロントシート** P.182
- 乗員全員が正しくシートベルトを着用しているか？
  ▶運転者と乗員が正しくシートベルトを着用していることを確認してください。
  ➔ **シートベルトの着用** P.57
- エアバッグシステム警告灯などが点灯していないか？
  ▶エアバッグに関する説明をあらかじめお読みいただき、シートの位置などを調節してください。
  ➔ **エアバッグ** P.61
- お子さまの安全を守るために、チャイルドシートやシートベルトを着用しているか？
  ▶お子さまが同乗する場合は、お子さまの年齢や身長・体重に応じてチャイルドシートやシートベルトなどで安全を確保するようにしてください。
  ➔ **お子さまの安全** P.74
- 坂道で駐車するときは、パーキングブレーキをかけ、シフトポジションを P にしているか？
  ▶さらにタイヤに輪留めをすると効果があります。
  ➔ **シフト操作** P.233

次ページに続く

安全のための確認事項

ドアやトランクが開いていたり、完全に閉まっていないと警告表示がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

ドア、トランクをもう一度正しく閉め直してください。警告表示は消灯し、正常な状態に戻ります。

- 車から離れるときは、お子さまや介護を必要とされる方、ペットを車内に残していないか？
  ▶ 炎天下などでは車内が高温になることがあります。車内にお子さまや介護を必要とされる方、ペットを残したままにしないようにしてください。

シートベルトについて

シートベルトは、シートに体を固定することで安全を確保するための安全装置です。

■三点式シートベルト

体の動きに合わせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。
すべての席に三点式シートベルトが装備されています。

■シートベルトの着用

シートベルトの着用にあたっては、以下の点に注意してください。

- 運転者は正しい運転姿勢で、シートベルトを必ず着用
- 同乗者にも必ずシートベルトを着用
- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまを乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用
- 1本のシートベルトを2人以上で使用しない
- ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけない

シートベルトについて

⚠警告

シートベルトは乗員全員が必ず正しく着用する。
シートベルトを正しく着用しないと、エアバッグが装備されていても、衝突したときに重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

乗車中は正しい姿勢を保つ。
正しい姿勢ですわらないと、衝突したときに傷害を受ける危険性が高くなります。

シートベルトを着用した状態で事故にあったときは、Honda 販売店で点検を受け、ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

シートベルトがロックした場合、一度ベルトを強く引いてからゆるめ、ベルトをゆっくり引き出してください。

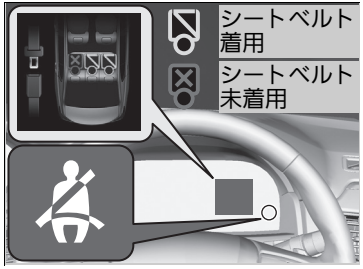
次ページに続く

■シートベルトリマインダー

■フロントシート

パワーモードをONモードにしたときや走行したとき、運転席または助手席のシートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、ブザーと警告灯でお知らせします。

マルチインフォメーションディスプレイにも警告が表示されます。



■リヤシート

パワーモードをONモードにしたときや後席ドアを開閉したりリヤシートベルトを着脱すると、マルチインフォメーションディスプレイに各座席の装着状態が表示されます。

運転中にリヤシートベルトを外すと、ブザーと警告灯でお知らせします。

シートベルトリマインダー

- 助手席シートに荷物などを置くと、センサーが重量を検知して警告灯が点滅しブザーが鳴ることがあります。
- 助手席にお子さまや小柄な方を乗せたりクッションなどを使用すると、センサーが乗員を検知せず正常に作動しないことがあります。
- 運転席または助手席のシートベルトを着用せずに走行した場合、停車するとブザーは止まります。また、走行している場合でも一定時間を超えるとブザーは止まります。
- シフトポジションを R に入れたときは後退位置警報装置のチャイムが鳴るため、シートベルト非着用の警告ブザーは鳴りません。

■シートベルトプリテンショナー

フロントシートにはシートベルトプリテンショナーを装備しています。
シートベルトプリテンショナーは、一定以上の前方向や側面からの衝撃を受けると自動的にシートベルトを引き込み、拘束します。

シートベルトプリテンショナー

⚠注意

シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしない。
誤作動や故障の原因となります。

シートベルトプリテンショナーは、一度作動すると使用できません。
衝突によりシートベルトプリテンショナーが作動するとエアバッグシステム警告灯が点灯します。
衝突したときは、Honda 販売店で点検を受け、作動済みの場合は交換してください。

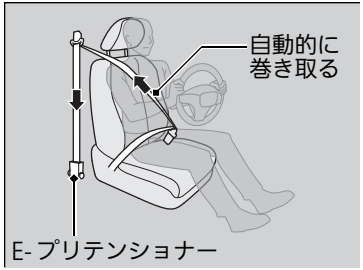
側面からの衝突により、シートベルトプリテンショナーが作動します。

SRS エアバッグとシートベルトプリテンショナーはかならずしも同時に作動しません。

次ページに続く

■ E- プリテンショナー

CMBS や電子制御ブレーキアシスト、VSA 横滑り抑制機能と連動して、モーターでシートベルトを巻き取ります。
また、システムが緊急回避操舵や衝撃を検知した場合にも作動します。作動後は、巻き取ったシートベルトをもとの状態に戻します。

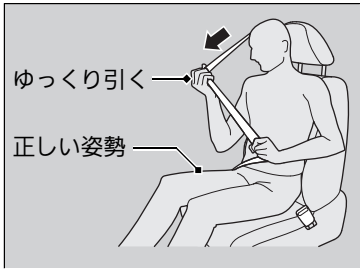


≫E- プリテンショナー

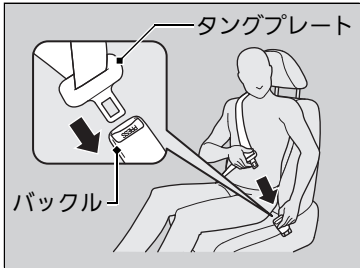
E-プリテンショナーのみが作動したときは、交換する必要はありません。

E- プリテンショナー警告メッセージが表示されたときは、E- プリテンショナーは作動しません。

シートベルトの着用



1. 正しい姿勢でシートにすわる。
2. シートベルトをゆっくり引き出す。



3. タングプレートをバックルに差し込む。
▶ このとき、ベルトにねじれや引っかかりがないようにしてください。
▶ 運転席もしくは助手席のバックルにタングプレートを挿入すると、シートベルトが自動的に巻き取られます。

シートベルトの着用

⚠注意

肩ベルトは腕の下に通したり、首の後ろに回さない。
シートベルトを正しく着用しないと、本来の機能を果たさず衝突時などに、けがをするおそれがあります。

シートベルトを外すには、バックルの赤色の PRESS を押してください。
そのとき、ベルトが完全に収納されるようベルトに手を添えてください。

シートベルトを十分に機能させるため、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。

シートベルトの分解、改造はしないでください。正常に作動しないおそれがあります。

次ページに続く

4. シートベルトが正しく着用できているか確認する。
- ▶ 肩ベルトは鎖骨の中心を通るように合わせ、首やあごに当たらないようにしてください。
- ▶ 腰ベルトは腰骨のできるだけ低い位置に合わせてください。
- ▶ ベルトにたるみやねじれがないようにしてください。

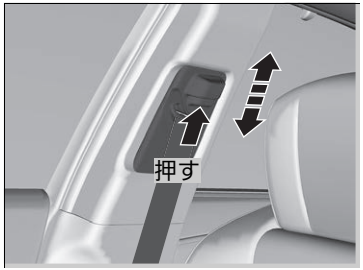
5. ベルトを引っ張り、バックルが固定されていることを確認する。

シートベルトの着用

シートベルトが完全に引き込まれた位置でロックされた場合、一度シートベルトをしっかりと引っ張り、そしてもう一度巻き取らせることでロックが解除できます。
シートベルトロックを解除することが出来ない場合、そのシートに着座しないでください。

➔ **シートベルトについて** P.53
➔ **シートベルトの点検** P.60

■ショルダーアンカーの高さ調節

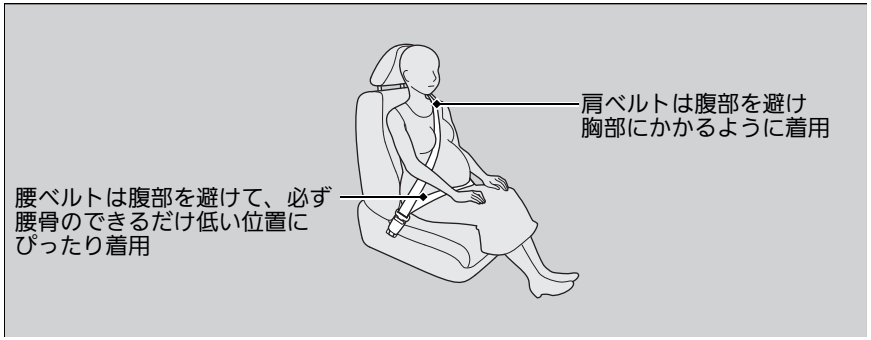


フロントシートのシートベルトは、座高に合わせて、ショルダーアンカーの高さを調節してください。

1. ショルダーアンカーの解除ボタンを押しながら、アンカーを上下に動かす。
2. ちょうどよい高さで解除ボタンを離し、ショルダーアンカーを固定する。

■妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

妊娠中のかたが運転または同乗するときは、ご自身と赤ちゃんを守るために、常に三点式シートベルトを着用してください。



⩙ショルダーアンカーの高さ調節

⚠注意

調節後は、ショルダーアンカーが確実に固定されているか確認する。

安全性を高めるため、肩ベルトが肩から胸にかかっていることを確認してください。

ベルトが首やあごに当たるときは、下げて調節してください。

⩙妊娠中のかたのシートベルト着用のしかた

⚠注意

妊娠中のシートベルト着用は、医師に確認する。

万一のとき、腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがあります。

妊娠中のかたは以下の点を注意してください。万一の衝突時にフロントエアバッグによって、ご自身と赤ちゃんが傷害を受ける危険性が軽減されます。

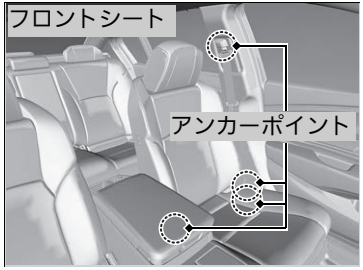
- 運転するときは上体を起こして、運転に支障のない範囲でシートをなるべく後ろに下げる
- 助手席にすわる場合も、シートはできるだけ後ろに下げる

シートベルトの点検

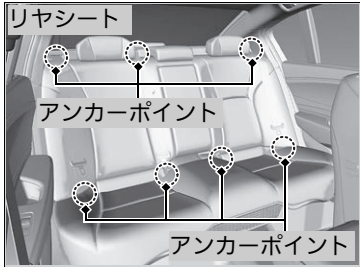
シートベルトを安全にお使いいただくために、定期的な点検を行ってください。
点検の確認ポイントは下記のとおりです。

- すべてのベルトをいっぱいまで引き出し、ほつれ、破れ、焼けこげ、すり切れがないか？
- バックルが確実に固定されるか？
- ベルトがスムーズに巻き取られるか？

シートベルトのアンカーポイント



シートベルトを交換する場合、図の中で示されるアンカーポイントを使用してください。
フロントシートには三点式シートベルトが使われています。



リヤシートには三点式シートベルトが使われています。

シートベルトの点検

ベルトがスムーズに巻き取られない場合、ベルトが汚れていないことを確認してください。
ベルトが汚れているとスムーズに巻き取られない場合があります。まず、ベルトに汚れがないか確認してください。汚れを落とすと動きが元に戻ることがあります。

ベルトが破損していたり、正しく作動しない場合は、ベルトを交換してください。

エアバッグの種類

エアバッグは、パワーモードがONモードのときに車体が衝突による衝撃を受けると膨らみ、運転者および同乗者の受ける衝撃を緩和させます。
エアバッグには下記の種類があり、衝突の方向や条件などにより作動が異なります。

- **SRS エアバッグ**：フロントシートの前方向エアバッグ
- **運転席ニーエアバッグ**：ハンドルの下にあるエアバッグ
- **サイドエアバッグ**：フロントシートの横方向エアバッグ
- **サイドカーテンエアバッグ**：窓側の天井部両側についたエアバッグ

SRS エアバッグ

運転席と助手席についています。前方向からの衝突により、SRS エアバッグが膨らんで運転者と助手席の同乗者の頭と胸部への衝撃を緩和します。

SRS：サプリメンタルレストレイントシステム(Supplemental Restraint System)の略で、シートベルトの補助拘束の意味。

■格納場所

運転席側はハンドルの中央、助手席側はダッシュボードに SRS エアバッグが格納されています。どちらも「SRS AIRBAG」と表示されています。

■作動のしくみ

SRS エアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で前方向から衝突したときです。このとき、センサーが衝突による急激な減速を検知し、コントロールユニットのはたらきにより運転席と助手席の SRS エアバッグが膨らみます。

次ページに続く

⚠警告

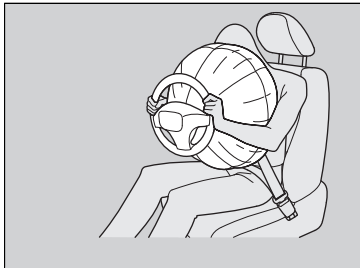
エアバッグ装備車でもシートベルトは必ず使用する。
エアバッグは、衝撃を緩和するためのシステムで、シートベルトの補助拘束具です。エアバッグ装備車であっても、必ず正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しないと、衝突時にエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

⚠注意

エアバッグが膨らんだ直後は、構成部品に触れない。
エアバッグの構成部品が熱くなっているため、やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

エアバッグは非常に速い速度で膨らみます。
エアバッグとの接触により、すり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。

■ SRS エアバッグの作動



前方向から衝突すると、シートベルトが乗員の下半身と胴体を拘束し、SRSエアバッグが頭と胸部を保護します。

運転者の視界を妨げたり、ハンドル操作の邪魔にならないように、SRSエアバッグは膨らんだあとすぐにしぼみます。

SRS エアバッグは、次のような場合に作動します。

- 20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき
- 車両の前方左右約 30 度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

衝撃を吸収できるもの(車やガードレールのように変形するもの)に衝突した場合、作動するときの車速は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受け、SRS エアバッグが作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

▶SRS エアバッグの作動

⚠警告

インストルメントパネルに手をついたり頭や胸を近づけた状態で乗車しない。
SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

ハンドルやインストルメントパネル上面に、ステッカーを貼ったり、ものを置いたりしない。
SRSエアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだときに置いたものが飛んで運転者や同乗者がけがをする原因になります。

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。
この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。
安全を確認後、ただちに車外に出てください。

エアバッグの作動は、衝突状況とシートベルト着用の有無により異なります。
そのため、運転席または助手席のエアバッグが片側のみ作動することがあります。

次のような場合、SRS エアバッグが作動しないことがあります。
- 電柱、立ち木などへの衝突
- トラックなどへの潜り込み
- 部分的な衝突や斜め方向からの衝突

車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRS エアバッグの作動は必ずしも一致しません。

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。
- 横方向からの衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、SRS エアバッグが作動することがあります。

SRS エアバッグの作動

⚠注意

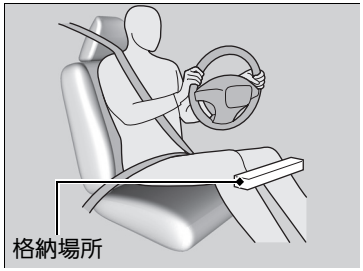
SRS エアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。

運転席ニーエアバッグ

運転席の膝の前にあるエアバッグです。前方向からの衝突により、エアバッグが膨らみ、運転者の衝撃緩和を補助します。

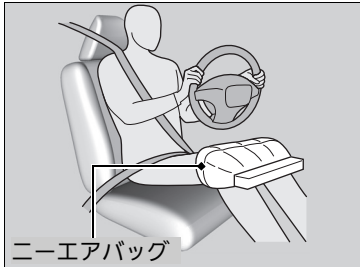
■格納場所



ニーエアバッグは、運転席のハンドル下側に格納されています。

「SRS AIRBAG」と表示されています。

■作動のしくみ



運転席のSRSエアバッグが膨らむと、ニーエアバッグも膨らみます。

衝突がSRSエアバッグを展開するほどの衝撃でなくとも、ニーエアバッグだけ膨らむことがあります。

≫運転席ニーエアバッグ

⚠注意

ニーエアバッグ格納部やその周辺にステッカーなどを貼ったり、アクセサリーなどをつけたりしない。
ニーエアバッグが正常に機能しなくなったり、エアバッグが膨らんだ時にものが飛んでけがをする原因になります。

■作動条件

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受け、ニーエアバッグが作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

次のような場合、ニーエアバッグが作動しないことがあります。

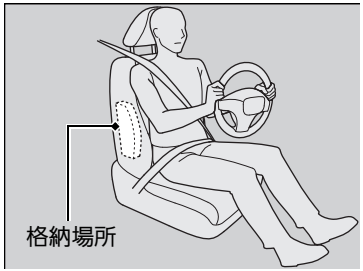
- 電柱、立ち木などへの衝突
- トラックなどへの潜り込み
- 部分的な衝突や斜め方向からの衝突

車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とニーエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

サイドエアバッグ

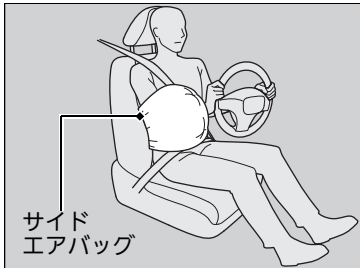
フロントシートの背もたれの外側にあるエアバッグです。
側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、運転者と助手席の同乗者の胸部への衝撃を緩和します。

■格納場所



運転席、助手席ともにシートの背もたれ外側に格納されています。
どちらも「SIDE AIRBAG」と表示されています。

■作動のしくみ



センサーが一定以上の衝撃で側面方向から衝突を検知し、コントロールユニットのはたらきにより検知した側のサイドエアバッグが膨らみます。

▶サイドエアバッグ

⚠注意

ドアやその周辺にアクセサリーなどを取り付けたり、ものを置いたりしない。
正常に作動しなかったり、作動時にこれらのものが飛ぶことがあります。

サイドエアバッグ収納部に衝撃や無理な力を加えない。

サイドエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。
サイドエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

サイドエアバッグがシートカバーによっては、正常に機能できなくなります。
フロントシートへのシートカバー装着にあたっては Honda 販売店にご相談ください。

■作動条件

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受け、サイドエアバッグが作動することがあります。

- 縁石や地面の突起物に衝突したとき
- 深い溝や穴に落ちたとき
- 高いところから落ちたとき

次のような場合、サイドエアバッグが作動しないことがあります。

- 乗員付近以外の側面への衝突

サイドエアバッグは乗員の受ける衝撃の大きさによって作動するようになっていますので、車両の損傷状態の大小とサイドエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果がないので作動しません。

- 正面衝突
- 後部からの衝突
- 横転または転覆

事故の状況、形態によっては、サイドエアバッグが作動することがあります。

サイドエアバッグ

⚠注意

ドアに寄りかからない。
サイドエアバッグの格納部に手や顔を必要以上に近づけない。
後席の同乗者は、フロントシートの背もたれを抱えない。
サイドエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け傷害を受けるおそれがあります。

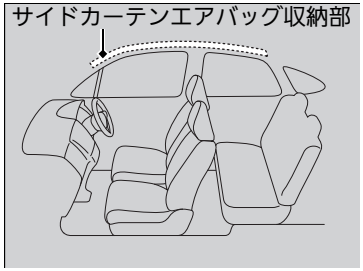
サイドエアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

エアバッグが膨らむときに、空中に粉が舞うことがあります。
この粉は無害ですが、場合によっては一時的に不快感をおぼえることがあります。
安全を確認したら、ただちに車外に出てください。

サイドカーテンエアバッグ

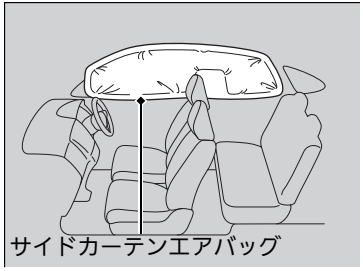
窓側の天井部にあるエアバッグです。側面からの衝突により、エアバッグが膨らみ、乗員の頭部への衝撃を緩和します。

■格納場所



運転席側、助手席側ともに窓側の天井部に格納されています。
どちらも「SIDE CURTAIN AIRBAG」と表示されています。

■作動のしくみ



サイドカーテンエアバッグが作動するのは、一定以上の衝撃で側面方向から衝突したときです。運転席側または助手席側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

■作動条件

サイドカーテンエアバッグの作動条件は、サイドエアバッグと同じ条件です。

作動条件 P.67

▶サイドカーテンエアバッグ

⚠注意

サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりすることがあるので、以下のことに注意する。

- フロントガラス、ドアガラス、フロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーなどを取り付けない
- グラブレールにものをかけない
- コートフックに重いものやとがったものをかけない

サイドカーテンエアバッグは、シートベルトを着用し上体を起こしてシートに深く腰かけているときに保護効果を発揮します。
サイドカーテンエアバッグの保護効果を維持するために、シートベルトは正しく着用してください。

サイドカーテンエアバッグは衝撃を受けた側のみ作動します。
サイドカーテンエアバッグは側面からの衝突に対して作動するため、衝撃を受けた側のみ作動します。また、助手席側が衝撃を受けた場合は、助手席側に乗員がいないときでもサイドカーテンエアバッグが作動します。

■前方向から衝突したときの作動

前方向からの衝突時、横方向に一定以上の力がかかると、SRS エアバッグが膨らんだあと必要な側のサイドカーテンエアバッグが膨らみます。

サイドカーテンエアバッグ

⚠注意

サイドカーテンエアバッグ収納部に衝撃を加えない。
収納部に傷が付いていたり、ひび割れがあるときは、Honda 販売店で交換してください。

サイドカーテンエアバッグの分解、取り外しはしない。
不適切な取り扱いは故障や誤作動の原因となります。

エアバッグシステム警告灯

エアバッグやシートベルトプリテンショナーの異常などを、警告灯やマルチインフォメーションディスプレイで知らせます。

■エアバッグシステム警告灯

■パワーモードを ON モードにしたとき

パワーモードを ON モードにすると、エアバッグシステム警告灯が数秒間点灯し、消灯すれば正常です。

■異常が発生したとき

エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常があるときに点灯します。

エアバッグのお手入れ

エアバッグシステムは、メンテナンスを必要とせず、部品交換の必要もありません。 ただし、以下の場合は Honda 販売店で点検を受けてください。

■エアバッグが作動し、膨らんだとき

一度作動したエアバッグは、コントロールユニットやその他の関連部品とともに必ず交換する必要があります。
また、シートベルトプリテンショナーも同様に、一度作動した場合は新品と交換する必要があります。

≫エアバッグシステム警告灯

⚠警告

エアバッグシステム警告灯を無視しない。
エアバッグシステム警告灯を無視すると、エアバッグシステム、プリテンショナーシステムが正しく機能せず、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。
エアバッグシステム警告灯が点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

エアバッグシステム警告灯が点灯状態のときは、Honda 販売店で点検を受けてください。
パワーモードを ON モードにしたときにエアバッグシステム警告灯が点灯しない場合も、エアバッグシステムまたはプリテンショナーシステムに異常がある可能性があります。ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

≫エアバッグのお手入れ

エアバッグ関連部品の再利用はしないでください。

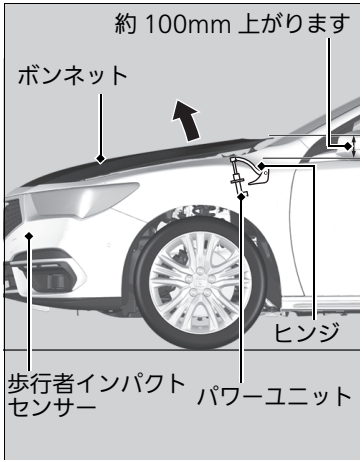
ポップアップフードシステムのしくみ

ポップアップフードシステムは前方向からの衝突時にボンネットを持ち上げてエンジンルーム内の空間を確保し、歩行者の頭部への衝撃緩和を補助します。

■作動のしくみ

設定速度以上の走行時に車両が歩行者やその他の物体に衝突したときに作動します。

■どのように作動するか



歩行者インパクトセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、ポップアップフードシステムが作動し、ボンネットの後部が持ち上がります。

パワーユニットは、左右のヒンジの車両前方に搭載されています。

▶ポップアップフードシステムのしくみ

⚠警告

ポップアップフードシステムが作動した後は、パワーユニットが非常に熱くなっているため、やけどをするおそれがあります。冷めるまではパワーユニットに触れないでください。

ポップアップフードシステムが作動した後はボンネットを開けないでください。システム作動後、持ち上がったボンネットが視界の妨げにならないことを確認した後、速度を落とし十分に注意して運転してください。

ボンネットが完全に閉まっていないと、十分な効果を得られない場合があります。
走行前にボンネットが完全に閉まっていることを確認してください。

次ページに続く

システムは以下の状況でも作動することがあります。
- 車両下側に大きな衝撃を受けたとき
- 高速で突起物の上を乗り越えたとき、または深い溝の上を乗り越えたとき
- 歩行者インパクトセンサーに物がぶつかったとき

システムは以下の状況では作動しないことがあります。
- 後部または横方向からの衝突
- 横転または転覆
- 斜め方向や横からの歩行者との衝突

ポップアップフードシステムは、衝突時の位置、角度、車速などその他の条件によって作動しないことがあります。

≫ポップアップフードシステムのしくみ

ポップアップフードシステムが正常に機能するために、以下のことをお守りください。
- 四輪とも同一指定サイズのタイヤをお使いください。サイズの異なるタイヤを使用すると、システムが車両速度を誤認識することがあります。
- パワーユニットに荷重を加えないでください。ボンネットを激しく閉めるとパワーユニットが損傷するおそれがあります。
- フロントバンパー内の歩行者インパクトセンサーに衝撃を与えないでください。

■ポップアップフードシステム警告表示

■パワーモードをON モードにしたとき

ポップアップフードシステムに異常があると考えられる場合、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されます。

ポップアップフードシステムのお手入れ

ポップアップフードシステムは、お客様自身でのメンテナンスを必要とせず、部品交換の必要もありません。

ただし、ポップアップフードシステムが作動したときは、Honda 販売店でコントロールユニットやその他の関連部品の交換を依頼してください。

ポップアップフードシステム警告表示

⚠警告

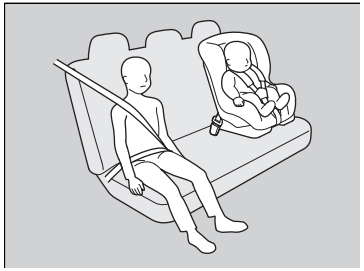
警告表示を無視すると、ポップアップフードシステムの異常につながることがあります。
異常が発生すると、歩行者との衝突時に、歩行者の深刻な傷害や死亡につながるおそれがあります。
ポップアップフードシステムの警告が表示されたときはすみやかに Honda 販売店で点検を受けてください。

ポップアップフードシステムのお手入れ

フロントバンパー周辺を損傷したときは、システムが作動していなくても Honda 販売店で点検を受けてください。

お子さまの安全を守るために

お子さまが乗車するときは、下記の注意点を確認し、お子さまの安全を確保してください。



- お子さまはリヤシートに乗せる
  ▶ お子さまを助手席に乗せると、不意の動作が気になったり、スイッチ類をいたずらしたりするなど運転の妨げになるおそれがあります。
  また、SRS エアバッグが膨らむ際、強い衝撃があります。
- お子さまにも必ずシートベルトを着用させる
  ▶ お子さまを抱えたり、ひざの上に乗せないでください。衝突したときに支えることができません。 正しい着用方法でお子さまにもシートベルトをしてください。
- 乳幼児にはチャイルドシートを使用する
  ▶ 乳幼児を乗せるときは、必ずチャイルドシートを使用します。
- 車外に手や顔、ものを出さない
  ▶ 走行中や一時停止時などに、お子さまが車外に手や顔、ものなどを出さないようにしてください。思わぬ障害物により事故のおそれがあります。
- ドア、ウィンドー、シートなどの操作は必ず大人が行う
  ▶ 思わぬけがの原因となりますので、お子さまにはドア、ウィンドー、シートなどの操作をさせないでください。
- 車を離れるときは、お子さまを連れて出る
  ▶ お子さまだけを車内に残さないでください。特に、炎天下の車内は高温になります。また、お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

»お子さまの安全を守るために

⚠警告

チャイルドシートは後席に設置する。
助手席に設置するとSRSエアバッグが作動したときの衝撃で、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

⚠警告

シート前方の作動可能なエアバッグで保護されたシートには、後ろ向きチャイルドシートを絶対に取り付けないでください。
お子さまが死亡、または重大な傷害を受けるおそれがあります。

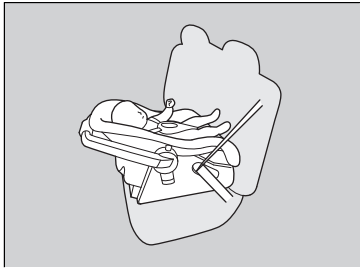
お子さまを助手席に乗せることをおすすめしない理由は下記の通りです。

- お子さまが助手席のシートに正しく乗車できないと、SRSエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある
- お子さまの体の一部がサイドエアバッグの作動範囲に入ると、サイドエアバッグが膨らんだときに重大な傷害を負うおそれがある

乳幼児の安全

■乳児のチャイルドシート

首のすわっていない乳児は、乳児用のチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■後ろ向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートに設置することができます。

- ▶ 推奨するのは、助手席の真後ろの席への設置です。その場合、助手席には人を乗せず助手席のシートをできるだけ前に出してください。
- ▶ 設置したチャイルドシートとフロントシートが接触していないことを確認してください。

≫乳児のチャイルドシート

⚠警告

後ろ向きのチャイルドシートを前向きにして使わない。

前向きにして使うと前方から衝突したときに、乳児が重大な傷害を負うおそれがあります。

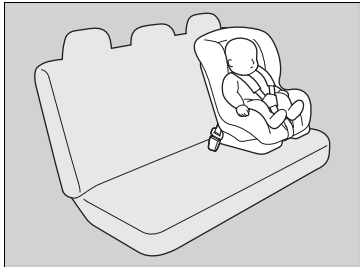
後ろ向きのチャイルドシートは助手席に設置しない。

助手席の SRS エアバッグが膨らんだときに、チャイルドシートの背面にエアバッグが当たり、乳児が重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

次ページに続く

■幼児のチャイルドシート

チャイルドシートメーカーが指定する範囲内の幼児は、前向きのチャイルドシートを正しく固定し、乗せてください。



■前向きのチャイルドシートの設置場所

リヤシートへの設置を推奨します。

≫幼児のチャイルドシート

⚠警告

助手席に前向きのチャイルドシートを設置しない。

助手席に前向きのチャイルドシートを設置すると、助手席のシートが前に出すぎていたり、衝突したときに幼児の頭が前に投げ出されるとSRSエアバッグで強い衝撃を受けるため、重大な傷害を負ったり死亡したりするおそれがあります。

やむをえず助手席に前向きのチャイルドシートを設置する場合は、助手席のシートをできるだけ後ろに下げて設置してください。

■チャイルドシートの選びかた

チャイルドシートを購入するときは、シートベルト固定タイプチャイルドシートまたは ISOFIX/i-Size チャイルドシートをお選びください。
シートベルト固定タイプチャイルドシートは、シートベルトを用いて座席に固定します。
ISOFIX/i-Sizeチャイルドシートは、リヤシート外側2座席に付属している下部取付金具とトップテザー取付金具またはサポートレッグで固定するため取り付けが簡単です。

■チャイルドシート選択の条件

チャイルドシートが適切な保護効果を発揮するためには、以下の3つの条件を満たしている必要があります。

- チャイルドシートが一覧表に案内されているお子さまに合ったタイプとサイズであること
- チャイルドシートが取り付ける車の座席にあったものであること
- チャイルドシートが安全基準に適合したものであること
  UN R44/R129 に適合したチャイルドシートをお勧めします。

■チャイルドシートの規格

UN 基準の認可を受けたシートベルト固定タイプチャイルドシートまたは ISOFIX/i-Size チャイルドシートには、認可マークが表示されています。チャイルドシートについている認可マークを確認してください。

次ページに続く

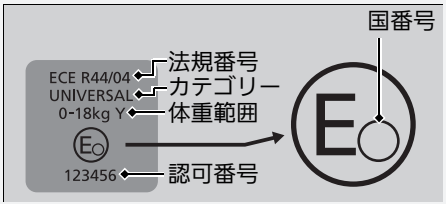
チャイルドシートの選びかた

ISOFIX/i-Sizeチャイルドシートは取り付けが簡単です。

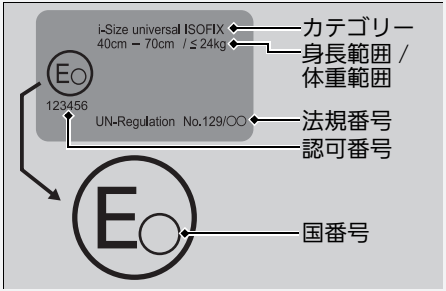
ISOFIX/i-Sizeチャイルドシートは取り付けを簡単にすることで、不適切な取り付けが原因で起きる傷害を減らすために開発されたものです。

Honda 純正のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際しては Honda 販売店にご相談ください。

UN-ECE R44 認可表示(例)



UN-ECE R129 認可表示(例)



■ ISOFIX/i-Size チャイルドシートについて

この車のリヤシートの外側 2 座席には、ISOFIX/i-Size チャイルドシートを取り付けるための下部取付金具とトップテザー取付金具を装備しています。
次ページの表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

■ISOFIX チャイルドシート

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

重量区分	サイズ等級	固定具	座席位置				推奨チャイルドシート※1
			前席	後席			
			助手席	左席	右席	中央席	
キャリコット	F	ISO/L1	X	X	X	X	—
	G	ISO/L2	X	X	X	X	—
0 ～ 10kg	E	ISO/R1	X	IL	IL	X	Honda ISOFIX Neo(後ろ向き)
0 ＋ ～ 13kg	E	ISO/R1	X	IL	IL	X	Honda ISOFIX Neo(後ろ向き)
	D	ISO/R2	X	IL	IL	X	Honda ISOFIX Neo(後ろ向き)
	C	ISO/R3	X	IL	IL	X	Honda ISOFIX Neo(後ろ向き)
I 9kg ～ 18kg	D	ISO/R2	X	IL	IL	X	—
	C	ISO/R3	X	IL	IL	X	—
	B	ISO/F2	X	IUF	IUF	X	Honda ISOFIX Neo(前向き)
	B1	ISO/F2X	X	IUF	IUF	X	Honda ISOFIX Neo(前向き)
	A	ISO/F3	X	IUF	IUF	X	Honda ISOFIX Neo(前向き)
II 15kg ～ 25kg	—	—	X	X	X	X	—
III 22kg ～ 36kg	—	—	X	X	X	X	—

ISOFIX/i-Size チャイルドシートについて

チャイルドシートをご購入する際は、ISOFIX サイズ等級に一致したものをお選びください。

固定具	お子さまの大きさ	使用の向き	形状、大きさ
ISO/L1	乳児	左	寝台式
ISO/L2	乳児	右	寝台式
ISO/R1	乳児	後ろ	—
ISO/R2	幼児	後ろ	小型
ISO/R3	幼児	後ろ	大型
ISO/F2	幼児	前	低型
ISO/F2X	幼児	前	低型
ISO/F3	幼児	前	全高

Honda 純正 Honda Baby ISOFIX または Honda ISOFIX Neo のご購入は Honda 販売店にご相談ください。

次ページに続く

記号の説明

IUF ：汎用(ユニバーサル)ISOFIX チャイルドシートを前向きに備えることができることを示す。

IL ：表中に記載された特定 ISOFIX 幼児拘束装置(CRS)が備えることができることを示す。この ISOFIX CRS は「特定」「限定」または「準汎用」カテゴリーのものである。

X ：ISOFIX チャイルドシートを装備できないことを示す。

※1 ：ホンダ推奨の純正チャイルドシートです。詳しくは販売店にお問い合わせください。
他のチャイルドシートも使用に適しているものもありますが、チャイルドシートメーカーにご確認ください。

■i-Size チャイルドシート

	着席位置				推奨チャイルドシート※1
	前席	後席			
	左席	左席	右席	中央席	
i-Size チャイルドシート	X	i-U	i-U	X	Honda Baby&Kids i-Size

記号の説明

i-U ：前向き及び後ろ向きの i-Size「汎用」幼児拘束装置に適している。

X ：i-Size「汎用」幼児拘束装置には適さない着席位置

※1 ：ホンダ推奨の純正チャイルドシートです。詳しくは販売店にお問い合わせください。
他のチャイルドシートも使用に適しているものもありますが、チャイルドシートメーカーにご確認ください。

■シートベルトで固定するチャイルドシートについて

この車には様々なタイプのチャイルドシートが利用可能ですが、すべてのタイプが適当であるというわけではありません。
次の表を参照して、それぞれの着席位置で、どのチャイルドシートが使用できるかを選択してください。

シートベルトで固定するチャイルドシートについて

チャイルドシートに関する国連の安全基準であるUN R44に適合しているチャイルドシートには、シートベルトで固定する機構が付いています。

チャイルドシートをご購入する際は、重量グループに一致したものをお選びください。

チャイルドシートの種類や取り付けの向きにより固定金具(ロッキングクリップ)が必要になる場合があります。

次ページに続く

■シートベルト固定タイプチャイルドシート

詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

重量区分	座席位置				推奨チャイルドシート※1
	前席	後席			
	助手席	左席	右席	中央席	
グループ 0 ～ 10kg	X	U	U	U	Honda スタンダード
グループ 0 ＋ ～ 13kg	X	U	U	U	Honda スタンダード
グループ I 9kg ～ 18kg	UF※2	U	U	U	Honda スタンダード
グループ II 15kg ～ 25kg	UF※2	U	U	U	Honda ジュニアシート
グループ III 22kg ～ 36kg	UF※2	U	U	U	Honda ジュニアシート

記号の説明

U　：汎用(ユニバーサル)チャイルドシートを備えることができることを示す。

UF　：汎用(ユニバーサル)チャイルドシートを前向きに備えることができることを示す。

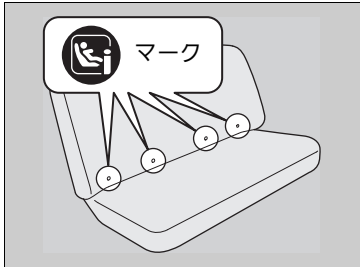
X　：チャイルドシートを装備できないことを示す。

※1　：ホンダ推奨の純正チャイルドシートです。詳しくは販売店にお問い合わせください。
他のチャイルドシートも使用に適しているものもありますが、チャイルドシートメーカーにご確認ください。

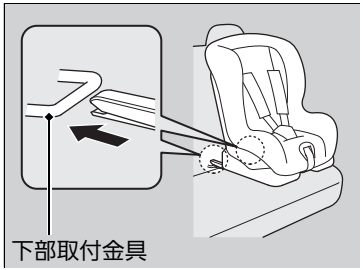
※2　：シートの前後位置を最後方位置に調整し、シートバックを最も前のロック位置に調節すること。

■ ISOFIX/i-Size チャイルドシートの取り付け

ISOFIX/i-Size チャイルドシートは、リヤシート外側 2 座席に設置できます。チャイルドシートは、下部取付金具とトップテザー取付金具で固定します。



1. マークの下にあるシートの切れ目から下部取付金具を確認する。



2. チャイルドシートを座席に置き、チャイルドシートの取扱説明書にしたがって下部取付金具に取り付ける。

▶取り付けの際に、異物やシートベルトなどが下部取付金具にかみ込まないようにしてください。

ISOFIX/i-Size チャイルドシートの取り付け

⚠注意

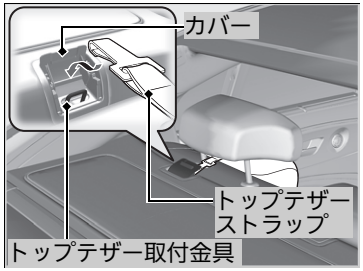
下部取付金具周辺に、異物やシートベルトのかみ込みがないか確認する。

異物やシートベルトをかみ込むとチャイルドシートが確実に固定されず、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

ISOFIX/i-Sizeチャイルドシートは、シートベルトで固定する必要はありません。

チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

次ページに続く



3. ヘッドレストの後ろにあるカバーを開ける。

4. ヘッドレストを調節して最上段で固定し、トップテザーストラップをヘッドレストの下に通す。

▶ このときトップテザーストラップがねじれないように注意してください。

5. トップテザーストラップをトップテザー取付金具に引っかけ、ストラップを締める。

6. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

▶ISOFIX/i-Size チャイルドシートの取り付け

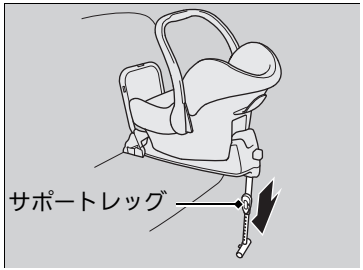
⚠注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。

確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

トップテザー取付金具シンボルが無いフックに、トップテザーストラップを使用しないでください。



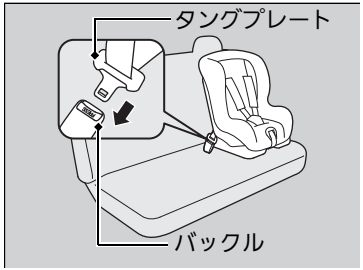
サポートレッグ付きチャイルドシート

サポートレッグをチャイルドシートの取扱説明書にしたがってフロア につくまで伸ばす。

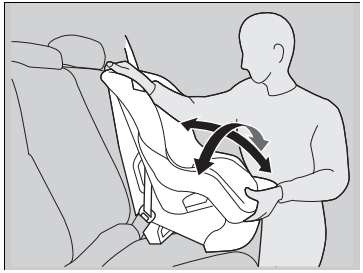
- ▶ サポートレッグを設置するフロア面は水平な面であることを確認してください。サポートレッグの設置フロア面が水平ではない場合、安定しないことがあります。
- ▶ 設置したチャイルドシートとフロントシートが接触していないことを確認してください。

次ページに続く

■シートベルトでの取り付け



1. チャイルドシートを座席に置く。
2. シートベルトをチャイルドシートに通し、タングプレートをバックルに差し込む。
   ▶ このとき、バックルが「カチッ」という音がするまできちんと差し込んでください。



3. チャイルドシートに付属の取扱説明書にしたがって取り付ける。
4. チャイルドシートを前後左右にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

■チャイルドシートの取り外し

バックルを外し、シートベルトをチャイルドシートから引き抜きます。

▶▶シートベルトでの取り付け

⚠注意

チャイルドシートが確実に固定されているか確認する。
確実に固定されていないと、ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートが飛び出し、傷害を受けるおそれがあります。

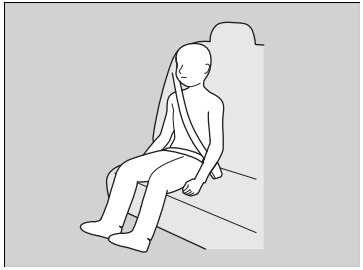
チャイルドシートに付属の取扱説明書をよく読んでください。

チャイルドシートの種類によりシートベルトの固定に固定金具(ロッキングクリップ)が必要になります。

大きなお子さまの安全

■シートの使用について

幼児用のチャイルドシートの使用条件を超えるお子さまは、リヤシートに乗せて三点式シートベルトを着用させてください。お子さまをシートに深くすわらせ、以下の確認項目でひとつでも適合しない場合、ジュニアシートの使用が必要です。



■確認項目

- お子さまのひざがシートの前端で無理なく曲がっているか？
- 肩ベルトがお子さまの首と腕の間にかかっているか？
- 腰ベルトが低い位置にあり、お子さまの太ももに触れているか？
- 乗車中、無理なくすわっていられるか？

大きなお子さまの安全

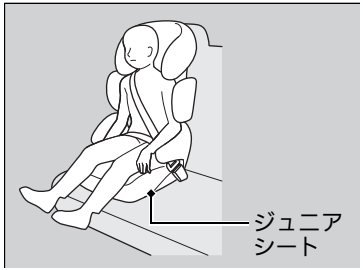
⚠警告

お子さまは助手席に乗せない。
お子さまを助手席に乗せると、SRS エアバッグが膨らんだときに、重大な傷害を負うおそれがあります。
やむをえず、助手席にお子さまを乗せる場合は、できるだけシートを後方に下げ、必要ならばジュニアシートを使用し、適切にシートベルトを着用してすわらせてください。

やむをえずお子さまを助手席に乗せる場合は、次ページの注意事項を厳守してください。

次ページに続く

■ジュニアシートについて



三点式シートベルトを使用できず、ジュニアシートを用いる必要があるお子さまは、ジュニアシートをリヤシートに設置して使用してください。
安全のため、お子さまがジュニアシートの使用に適した範囲に入っているか確認してください。

■やむをえず、お子さまを助手席に乗せる場合

正しい姿勢ですわる、走行中にシートベルトを着用するなどの規則をお子さまが守ることができ、お子さまを助手席に乗せても安全と判断した場合、下記の項目を守ってお子さまを乗車させてください。

- 取扱説明書をよく読み、シートベルトに関する指示と安全に関して十分に理解する
- 助手席を一番後ろまで下げる
- 上体を起こし、シートに深く腰かけるように指示する
- お子さまのシートベルトが正しい位置で、しっかり固定されているか確認する

▶ジュニアシートについて

ジュニアシートの取り付けについては、ジュニアシートに付属の取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。

ジュニアシートには、座高の高いものと低いものがあります。お子さまが適切にシートベルトを着用できるものを選択してください。

一酸化炭素について

この車の排気ガスには一酸化炭素が含まれています。車をきちんと保守していれば、一酸化炭素が車内に入ることはありません。
以下の場合は、排気ガスのもれがないか Honda 販売店で点検を受けてください。

■点検が必要な場合

- 排気音に異常を感じたとき
- 車が衝突し、排気システムが損傷した可能性があるとき

一酸化炭素について

⚠警告

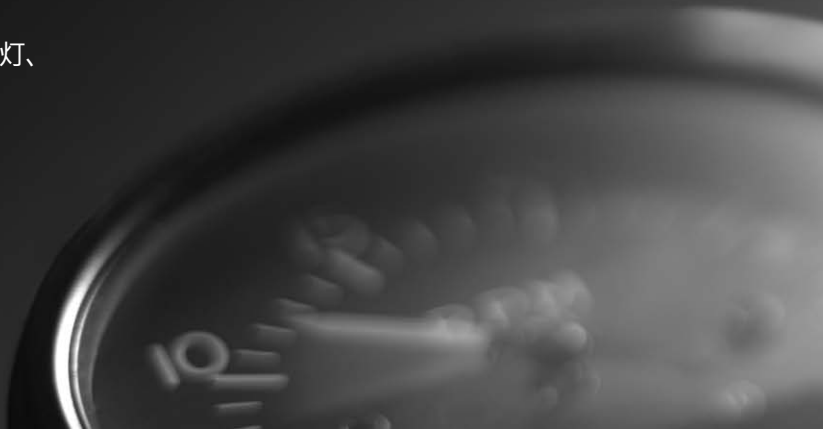
一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。
一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。
密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、パワーシステムを起動したままにしない。
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。
エンジンが始動している場合は、車両の周囲の雪を取り除くなどしてください。

ガレージなどの密閉された場所は、一酸化炭素が急に充満するおそれがあります。
ガレージのドアを閉めたままパワーシステムを起動させないでください。ドアが開いている場合でも、ガレージから車を出す直前にパワーシステムを起動するようにしてください。

計器の見かた

この章では、運転中に使用するスイッチや警告灯・表示灯、
メーター類に関する情報を記載しています。



警告灯と表示灯
警告灯 93
表示灯 101
メーターとインフォメーションディスプレイ
メーター 107
マルチインフォメーションディスプレイ（左側） 111
マルチインフォメーションディスプレイ（右側） 111
ヘッドアップディスプレイ 118

警告灯と表示灯

警告灯や表示灯は、車両状態に応じて点灯 / 点滅します。
点灯 / 点滅と同時にマルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されることがあります。メッセージの内容に従いHonda 販売店に連絡するなどして対処してください。

次ページに続く

※1 ブレーキ警告灯(レッド) P.93

※1 ブレーキシステム警告灯(オレンジ) P.94

パワーシステム警告灯 P.94

※1 12V バッテリー充電警告灯 P.94

 ※1 PGM-FI 警告灯 P.94

燃料残量警告灯(オレンジ) P.94

トランスミッション警告灯 P.95

※1 EPS(電動パワーステアリング)システム警告灯 P.95

シートベルト非着用警告灯 P.96

※1 ABS(アンチロックブレーキシステム)警告灯 P.96

※1 エアバッグシステム警告灯 P.96

※1 VSA(ビークルスタビリティアシスト)警告灯 P.96

 ※1 VSA OFF 警告灯 P.97

※1 タイヤ空気圧警報システム警告灯 P.97

方向指示器 / 非常点滅表示灯 P.101

ハイビーム表示灯 P.101

ライト点灯表示灯 P.101

※1 オートハイビーム表示灯 P.101

シフトポジション表示灯 P.102

シフトインジケーター表示灯 P.102

M(7 速マニュアルシフトモード)表示灯 P.102

インフォメーション表示灯 P.102

イモビライザーシステム表示灯 P.103

セキュリティアラームシステム作動表示灯 P.103

オートマチックブレーキホールドシステム表示灯 P.105

オートマチックブレーキホールド表示灯 P.105

READY READY 表示灯 P.106

SPORT SPORT モード表示灯 P.106

※1 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)警告灯(オレンジ) P.98

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯(ホワイト / グリーン / ブルー) P.104

※1 車線維持支援システム(LKAS)警告灯(オレンジ) P.98

車線維持支援システム(LKAS)表示灯(ホワイト / グリーン / ブルー) P.104

※1 ハンズオフ機能付車線変更支援機能警告灯(オレンジ) P.98

ハンズオフ機能付車線変更支援機能表示灯(ホワイト / グリーン / ブルー) P.104

※1 ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能表示灯(ホワイト / ブルー) P.105

※1 安全支援情報警告灯(オレンジ) P.99

安全支援情報表示灯(グリーン / グレー) P.105

車間距離設定表示灯 P.105

※1 ： これらの警告灯と表示灯は、パワーモードを ON モードにしたときに点灯し、パワーシステム起動後または、数秒後に消灯します。
点灯しない場合や消灯しないときは、システム異常のおそれがありますので、取扱説明書の指示に従い対処してください。

警告灯

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	ブレーキ警告灯(レッド)	• パーキングブレーキをかけると点灯	• パワーモードが OFF モードのときにパーキングブレーキをかけるとしばらく点灯した後、消灯。 • パーキングブレーキがかかっているときにパワーモードを ON モードから OFF モードにするとしばらく点灯した後、消灯。
		• ブレーキフルード量が低下したときに点灯	• 走行中に点灯したりパーキングブレーキを解除しても点灯するときは、ただちに安全な場所に停車してブレーキフルードを点検し、下限より減っている場合はHonda 販売店にご連絡ください。 ➔ **ブレーキ警告灯(レッド)が点灯 / 点滅した** P.474
		• ブレーキシステムが異常のときに点灯	• ABS 警告灯と同時に点灯した場合も、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 • ブレーキシステム警告灯(オレンジ)と同時に点灯した場合は、ただちにHonda 販売店で点検を受けてください。このとき、ブレーキペダルの操作が重くなることがありますので、ブレーキペダルをしっかり踏んでください。 ➔ **ブレーキ警告灯(レッド)が点灯 / 点滅した** P.474
		• 電子制御パーキングブレーキが異常のときに点滅	• パーキングブレーキが故障して作動しません。 ➔ **ブレーキ警告灯(レッド)が点灯 / 点滅した** P.474

次ページに続く

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	ブレーキシステム警告灯(オレンジ)	• ブレーキに関係するシステムが異常のときに点灯	• 常時点灯する場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。
		• 電子制御パーキングブレーキシステム、オートマチックブレーキホールドシステムが異常のときに点灯	• 点灯したときは、パーキングブレーキを使用せずに、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
	パワーシステム警告灯	• パワーシステムが異常のときに点灯	• ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 • マルチインフォメーションディスプレイに「走行できません」が表示した場合は、ただちに安全な場所に停車し、Honda 販売店にご連絡ください。
	12V バッテリー充電警告灯	• 充電システムに異常があるときに点灯	• 走行できません。ただちに安全な場所に停車し、Honda 販売店にご連絡ください。
	PGM-FI 警告灯	• エンジンの排気ガス制御システムに異常があると点灯 • エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅	**PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した** P.473
	燃料残量警告灯(オレンジ)	• 燃料の残量が少なくなると点灯	• 点灯したら早めに給油してください。 • 点灯するのは、タンクに残っている残量がおよそ 7 リットルになったときです。
		• 燃料計に異常があるときは点滅	• ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	トランスミッション警告灯	• トランスミッションが異常のときに点滅	• ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 • マルチインフォメーションディスプレイに「走行できません」が表示した場合は、ただちに安全な場所に停車し、Honda 販売店にご連絡ください。
		• トランスミッションの異常が発生し、シフトポジションを P にできないとき、選択しているシフトポジションもしくは全てのシフトポジションが点滅	• 停車するときはパーキングブレーキをかけてください。 • ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ➡ **トランスミッション警告灯が点滅しメッセージが表示した** P.478
	EPS（電動パワーステアリング）システム警告灯	• EPS システムが異常のときに点灯	• 常時点灯した場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 ➡ **EPS（電動パワーステアリング）システム警告灯が点灯した** P.475

次ページに続く

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	シートベルト非着用警告灯	• 運転席および助手席のシートベルトを着用しないと点灯 • パワーモードをONモードにしたときに、運転席のシートベルトを着用していないとブザーが鳴り、ブザーが鳴っている間は警告灯が点滅 • パワーモードがONモードのときに、後席のシートベルトを外すとしばらく点灯 • 走行中にシートベルトを着用していないとブザーが鳴り、ブザーが鳴っている間は警告灯が点滅	• シートベルトを正しく着用するとブザーがやみ、警告灯が消灯します。 • シートベルトを正しく着用していても警告灯が点灯する場合は、センサーの誤検知などの要因が考えられます。 ➡ **シートベルトリマインダー** P.54
	ABS(アンチロックブレーキシステム)警告灯	• ABSが異常のときに点灯	• ただちにHonda販売店で点検を受けてください。なお、点灯の場合でも通常のブレーキ機能としての性能は確保されていますが、ABSは作動しません。 ➡ **ABS(アンチロックブレーキシステム)** P.363
	エアバッグシステム警告灯	• エアバッグシステム、プリテンショナーシステムが異常のときに点灯	• ただちにHonda販売店で点検を受けてください。
	VSA(ビークルスタビリティアシスト)警告灯	• VSAが作動しているときは点滅	—
		• ブレーキアシストシステム、VSAシステムのいずれかが異常のときに点灯	• ただちにHonda販売店で点検を受けてください。なお、点灯の場合でも通常のブレーキ機能としての性能は確保されています。注意して運転してください。 ➡ **VSA(ビークルスタビリティアシスト)** P.243

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	VSA OFF 警告灯	• VSA を OFF にすると点灯	**VSA（ビークルスタビリティアシスト）** P.243
	タイヤ空気圧警報システム警告灯	• いずれかのタイヤの空気圧が著しく低いときに点灯	• 走行中に点灯したときは、ただちに安全な場所に車を停車し、タイヤの空気圧を点検してください。 • タイヤの空気圧が低いときは、指定空気圧まで空気を補充してください。 **タイヤ空気圧の補充** P.457
		• タイヤ空気圧警報システムに異常があるときに約 1 分間点滅したあと、点灯	• 点滅したあと点灯したときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

次ページに続く

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)警告灯(オレンジ)	• 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)システムが異常のときに点灯	• ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 • 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、ハンズオフ機能付車線変更支援機能、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)は作動しません。
	車線維持支援システム(LKAS)警告灯(オレンジ)	• 車線維持支援システム(LKAS)が異常のときに点灯	• ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 • 車線維持支援システム(LKAS)、トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、ハンズオフ機能付車線変更支援機能、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)は作動しません。
	ハンズオフ機能付車線変更支援機能警告灯(オレンジ)	• ハンズオフ機能付車線変更支援機能が異常のときに点灯	• ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。 • ハンズオフ機能付車線変更支援機能、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能は作動しません。

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	安全支援情報警告灯（オレンジ）	• 路外逸脱抑制機能・歩行者事故低減ステアリング、車線変更時衝突抑制機能、踏み間違い衝突軽減システム、衝突軽減ブレーキ(CMBS)が異常のときに点灯	• ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
		• トンネルなど、閉鎖された空間を通過すると警告灯が一時的に点灯することがあります。	• しばらく走行してください。 • 消灯しないときは Honda 販売店で点検を受けてください。
		• レーダーセンサー、ライダーセンサー、ソナーセンサーが汚れ、氷、霜などの遮蔽物があるときに点灯	• 安全な場所に停車してエンブレムとバンパーの汚れなどの遮蔽物を取り除いてください。 • 汚れが落ちるとシステムは復帰します。 • 復帰するまでに時間がかかることがあります。 ➔ **レーダーセンサー** P.254 ➔ **ライダーセンサー** P.252 ➔ **ソナーセンサー** P.255
		• フロントガラス上部にあるカメラ内部の温度が高温になると点灯	• エアコンで室内温度を下げるなどしてカメラ内部の温度を下げてください。温度が下がるとシステムは復帰します。
		• フロントガラス上部にあるカメラ付近に汚れ、氷、霜などの遮蔽物があるとき点灯 雨、霧、雪など悪天候のときも点灯することがあります	• 走行中はウォッシャーとワイパーで汚れなどの遮蔽物を取り除いてください。 • 安全な場所に停車してカメラ付近のフロントガラスの汚れなどの遮蔽物を取り除いてください。 • 汚れが落ちるとシステムは復帰します。

次ページに続く

警告灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	安全支援情報警告灯（オレンジ）	• 各種センサーの温度が高温になると点灯	• 温度が下がるとシステムは復帰します。

表示灯

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	方向指示器 / 非常点滅表示灯	• 方向指示器と対応し、左右どちらかが点滅 • 非常点滅表示灯スイッチを押すと、左右同時に点滅	• 点滅しない / 点滅の周期が速いときは、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
		• 高速で走行中に急ブレーキをかけると、左右同時に点滅	**エマージェンシーストップシグナル** P.365
	ハイビーム表示灯	• ヘッドライトを上向きにしたときに点灯	—
	ライト点灯表示灯	• 車幅灯、尾灯などが点灯しているときに点灯	**ライトの使い方** P.163
	オートハイビーム表示灯	• オートハイビームの作動条件がすべてそろったときに点灯	**オートハイビーム** P.167

次ページに続く

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	シフトポジション表示灯	• 現在のポジションで点灯	➔ **シフト操作** P.233
	シフトインジケーター表示灯	• 7 速マニュアルシフトモードのとき、ギヤ位置を表示 • シフト操作しても変速しないと点滅	➔ **シフト操作** P.233
	M (7 速マニュアルシフトモード)表示灯	• SPORTモードのときに7速マニュアルモードにすると点灯	➔ **シフト操作** P.233
	インフォメーション表示灯	• 異常を検知すると警告音が鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示され、同時に点灯	• メッセージは、警告が解除されるか、インフォメーション(ⓘ)ホイールを回すまで通常表示に戻りません。 • 点灯しているときにインフォメーション(ⓘ)ホイールを回し、メッセージを再表示させることができます。 ➔ **表示の切り換えかた** P.112

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	イモビライザーシステム表示灯	• POWER を押したとき、イモビライザーシステムがキーの情報を認識できないと点滅	• POWER を押したあと、点滅しているときは、パワーシステムを起動することはできません。 パワーモードをいったん OFF モードにしてから、もう一度 ON モードにしてください。 • 頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますのでHonda 販売店で点検を受けてください。 • POWER スイッチのそばに、別のキーや金属があるとイモビライザーシステムがキーの情報を読み取れないことがあります。
	セキュリティアラームシステム作動表示灯	• セキュリティアラームシステムがセットされているときに点滅	➔ セキュリティアラームシステム P.151

次ページに続く

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯(ホワイト / グリーン / ブルー)	• 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)が ON のときにホワイトで点灯 • 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)が作動するとグリーンで点灯 • ハンズオフ機能付車線内運転支援機能または、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が作動するとブルーで点灯	➔ **渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)** P.301 ➔ **ハンズオフ機能付車線内運転支援機能** P.323 ➔ **トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)** P.343
	車線維持支援システム(LKAS)表示灯(ホワイト / グリーン / ブルー)	• 車線維持支援システム(LKAS)が ON のときにホワイトで点灯 • 車線維持支援システム(LKAS)が作動するとグリーンで点灯 • 車線内運転支援機能または、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が作動するとブルーで点灯	➔ **車線維持支援システム(LKAS)** P.312 ➔ **ハンズオフ機能付車線内運転支援機能** P.323 ➔ **トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)** P.343
	ハンズオフ機能付車線変更支援機能表示灯(ホワイト / グリーン / ブルー)	• ハンズオフ機能付車線変更支援機能が作動できる状態のときにホワイトで点灯 • ハンズオフ機能付車線変更支援機能が作動中はグリーンまたは、ブルーで点灯	➔ **ハンズオフ機能付車線変更支援機能** P.331

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
	ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能表示灯(ホワイト / ブルー)	• (高度車線変更支援)スイッチを押し、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能が作動できる状態のときにブルーで点灯、作動できない状態のときにホワイトで点灯	➡ **ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能** P.335
	安全支援情報表示灯(グリーン / グレー)	• 路外逸脱抑制機能・歩行者事故低減ステアリング、車線変更時衝突抑制機能、踏み間違い衝突軽減システム、衝突軽減ブレーキ(CMBS)がすべて ON のときグリーンで点灯 • いずれかが OFF のときにグリーン / グレーで点灯 • すべてがOFFのときにグレーで点灯	➡ **衝突軽減ブレーキ(CMBS)** P.264 ➡ **踏み間違い衝突軽減システム** P.272 ➡ **路外逸脱抑制機能** P.287 ➡ **歩行者事故低減ステアリング** P.278 ➡ **車線変更時衝突抑制機能** P.283
	車間距離設定表示灯	• 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)が作動しているときに点灯	• 前走車との車間距離設定を 4 段階に表示します。 ➡ **渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)** P.301
	オートマチックブレーキホールドシステム表示灯	• オートマチックブレーキホールドシステムが ON のときに点灯	➡ **オートマチックブレーキホールド** P.361
	オートマチックブレーキホールド表示灯	• オートマチックブレーキホールドが作動しているときに点灯	➡ **オートマチックブレーキホールド** P.361

次ページに続く

表示灯	名称	点灯 / 点滅する状況	知識
READY	READY 表示灯	• 走行の準備が完了すると点灯	➔ **パワーシステムの起動** P.225
SPORT	SPORT モード表示灯	• パワーモードが ON モードのとき、SPORT モードスイッチを押すと点灯	• SPORT モードのとき、メーターは赤色で点灯 ➔ **SPORT モードスイッチ** P.240

メーター

メーターには、スピードメーター、燃料計などの種類があります。
パワーモードが ON モードのとき表示されます。

■スピードメーター

走行速度を km/h で表示します。

■燃料計

燃料タンクに残っている、燃料の量を表示します。

■タコメーター

1 分間あたりのエンジン回転数を表示します。

燃料計

燃料計が E に近づいたら、早めに給油してください。
燃料がなくなるとエンジンが点火しなくなり、触媒装置を損傷することがあります。

実際の燃料残量と、メーターに表示される量は異なる場合がありますので、ご注意ください。

タコメーター

エンジン故障の原因となりますので限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないよう運転してください。
特に、高速走行時にシフトダウンするときには、注意してください。

シフトポジションが R のときや、空ぶかしをしたときは、エンジンの限界回転数より低い回転数でも、トランスミッション保護のため燃料供給が停止されます。

次ページに続く

■外気温表示

外気温を測定し表示します。

■外気温表示を補正するには

外気温とメーターの表示温度に差がある場合、±3 ℃の範囲で補正することができます。

補正するには、オーディオ / インフォメーション画面のカスタマイズ機能を使用します。

➲ 別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

■高電圧バッテリー残量計

高電圧バッテリー内の充電量を表示します。

外気温表示

温度センサーはフロントバンパー付近に付いています。

速度がおよそ 30km/h 以下のときは、表示される温度が、路面の熱、エンジンの熱、周囲の車の排気ガスの影響を受けることがあります。

また、温度の読み取り値が安定するまで更新されないため、温度表示の更新に数分かかることがあります。

外気温表示の補正は、温度が安定してから行ってください。

高電圧バッテリー残量計

次のような場合は、高電圧バッテリー残量表示が下がることがあります。

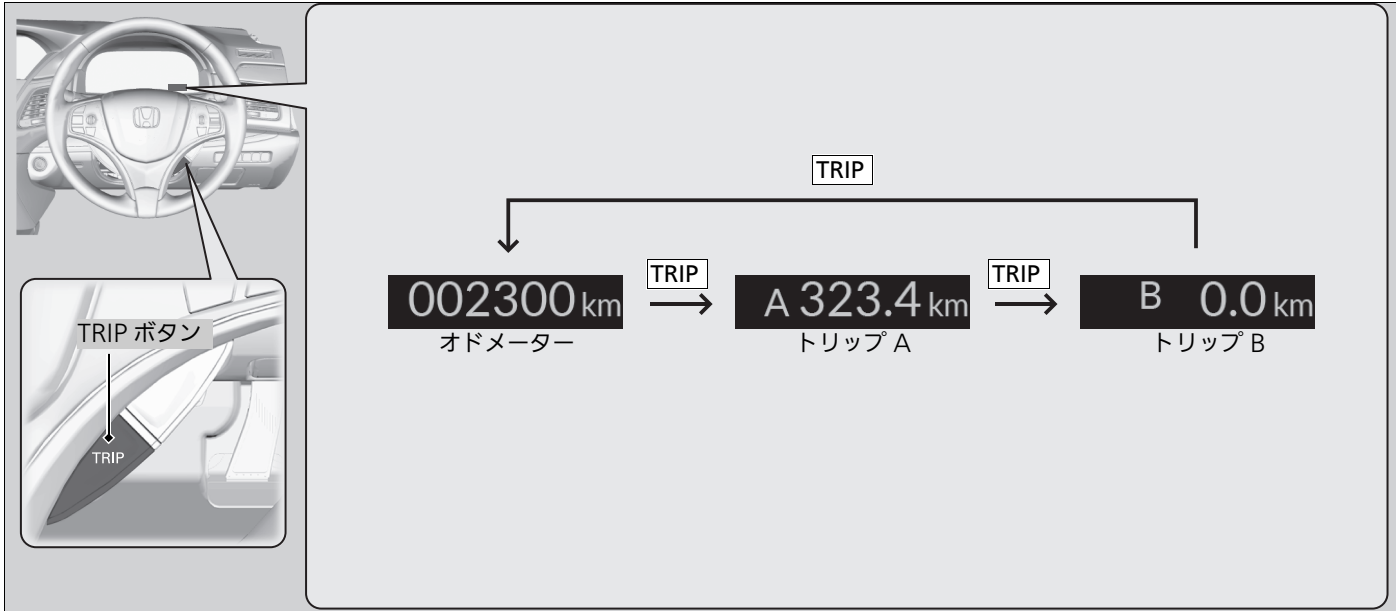
- 12V バッテリーを交換したとき
- 12V バッテリーの端子を外したとき
- 高電圧バッテリー制御システムが残量の誤差を補正したとき

走行すると自動的に充電されます。

高電圧バッテリーの温度が変化すると、充電容量が上下することがあります。そのため充電量が変わらなくても、高電圧バッテリー残量計の表示が変化することがあります。

■オドメーター/ トリップメーター

TRIP ボタンを押すごとに画面が切り換わります。



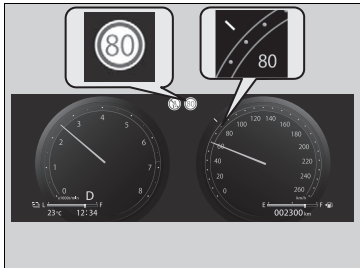
次ページに続く

■オドメーター
走行距離の累計を km で表示します。

■トリップメーター
リセットしてからの走行距離を km で表示します。
トリップメーターA と、トリップメーターB があり、それぞれ独立して計測するため 2 つの走行距離を知ることができます。

トリップメーターをリセットするには
リセットしたいトリップメーターが表示されている状態で、 TRIP ボタンを押し続けてください。トリップメーターが 0.0 にリセットされます。

■標識認識機能表示



走行中に認識した道路標識情報を表示します。
認識した最高速度の道路標識に対して、速度超過したときは点滅してお知らせします。
➔ **標識認識機能** P.295

■時計
時刻を表示します。

トリップメーター

トリップメーターは走行距離が 9999.9km を超えると、0.0km に戻ります。

トリップメーターA とトリップメーターBは、 TRIP ボタンを押して切り換えられます。

時計

カスタマイズの詳細は、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

マルチインフォメーションディスプレイ(左側)

オーディオやハンズフリーテレフォンの情報を表示します。

別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

マルチインフォメーションディスプレイ(右側)

マルチインフォメーションディスプレイには、航続可能距離や燃費などの情報や、車両状態などのメッセージが表示されます。

警告メッセージが表示された場合は、メッセージの内容を確認して必要に応じて Honda 販売店にご連絡し、点検を受けてください。

マルチインフォメーションディスプレイに「エンジン油圧異常」または、「エンジン冷却水高温」が表示した場合は、下記を参照してください。

「エンジン油圧異常」の警告メッセージが表示された P.472

オーバーヒート P.469

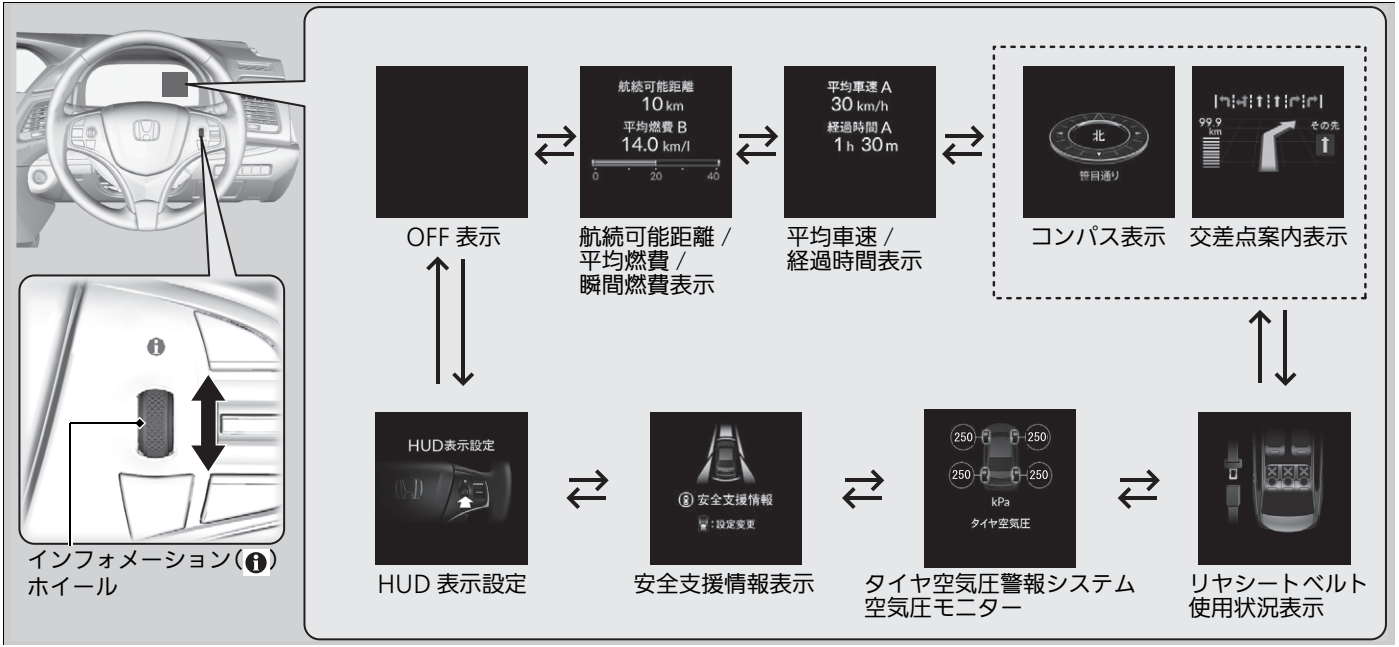
マルチインフォメーションディスプレイ(左側)

ヘッドアップディスプレイがONのときはオーディオやハンズフリーテレフォンの情報は表示されません。

次ページに続く

■表示の切り換えかた

インフォメーション（ⓘ）ホイールを回すごとに画面が切り換わります。



■航続可能距離表示 / 平均燃費表示 / 瞬間燃費表示

■航続可能距離表示

高電圧バッテリーの残量と燃料、平均燃費をもとに推定航続可能距離を km で表示します。

■平均燃費表示

トリップメーターA、B と連動し、それぞれの平均燃費を一定時間ごとに更新して km/l で表示します。
トリップメーターA、B をリセットすると、平均燃費表示 A、B、平均車速表示 A、B、経過時間表示 A、B も同時にリセットされます。

■瞬間燃費表示

瞬間燃費をバーグラフに km/l で表示します。

航続可能距離表示

表示される航続可能距離は、実際に航続可能な距離とは異なる場合があります。

平均燃費表示

表示される平均燃費は、実際に走行した燃費とは異なる場合があります。

トリップメーターA、B と平均燃費表示 A、B を給油と連動させて自動的にリセットさせることができます。

➡ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

停車時または低速走行中にリセットした場合は、走行を始めてから燃費の計算を開始します。

次ページに続く

■平均車速表示 / 経過時間表示

■平均車速表示

トリップメーターA、B をリセットしてからの平均車速を km/h で表示します。

■経過時間表示

トリップメーターA、B をリセットしてからの経過時間を表示します。

平均車速表示

トリップメーターA、B と平均車速表示 A、B を給油と連動させて自動的にリセットさせることができます。

➡ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

経過時間表示

経過時間表示は 99 時間 59 分まで表示できます。

トリップメーターA、B と経過時間表示 A、B を給油と連動させて自動的にリセットさせることができます。

➡ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

■ナビゲーション

■コンパス

コンパスが表示されます。

■交差点案内表示

ナビゲーションシステムによるルート案内の際に、交差点や分岐点などで進路案内を表示します。

➔ 別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

■リヤシートベルト使用状況表示

リヤシートベルトの使用状況を表示します。

➔ シートベルトリマインダー P.54

■タイヤ空気圧警報システム空気圧モニター

タイヤの空気圧を表示します。

➔ タイヤ空気圧警報システム（TPMS） P.247

»ナビゲーション

交差点案内表示の ON/OFF を選択することができます。

➔ 別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

次ページに続く

■安全支援情報

安全支援情報は、路外逸脱抑制機能・歩行者事故低減ステアリング、車線変更時衝突抑制機能、踏み間違い衝突軽減システム、衝突軽減ブレーキ(CMBS)の作動状態を表示します。

- グリーン：作動中
- グレー：停止中
- オレンジ：システムが異常のとき

▶▶安全支援情報

オレンジで表示された場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

各機能のONとOFFを切り換えるには、インフォメーション(🛈)ホイールを回して機能を選択し、次にインフォメーション(🛈)ホイールを押してON/OFFを切り換えます。

➡ **衝突軽減ブレーキ(CMBS)** P.264
➡ **踏み間違い衝突軽減システム** P.272
➡ **歩行者事故低減ステアリング** P.278
➡ **車線変更時衝突抑制機能** P.283
➡ **路外逸脱抑制機能** P.287

歩行者事故低減ステアリングは、路外逸脱抑制機能がONのときに作動します。

各機能の状態は、安全支援情報警告灯・表示灯でも確認できます。

➡ **安全支援情報警告灯（オレンジ）** P.99
➡ **安全支援情報表示灯(グリーン / グレー)** P.105

踏み間違い衝突軽減システムアイコンがグリーンのときでも、パーキングセンサーシステムをリヤのみ OFF にしている場合は、後退時のブレーキ支援が作動しません。

➡ **リヤセンサーの OFF** P.372

■ HUD 表示設定

ヘッドアップディスプレイの表示内容選択画面を表示します。

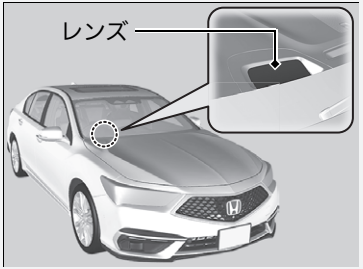
➔ **表示内容の切替** P.124

ヘッドアップディスプレイ

ヘッドアップディスプレイには、スピードメーターやシフトインジケーターなどの情報や、渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)/車線維持支援システム(LKAS)などの現在の状態が表示されます。パワーモードが ON モードのときに表示され、表示内容はマルチインフォメーションディスプレイで選択します。

ヘッドアップディスプレイ

ヘッドアップディスプレイのレンズは、ダッシュボード前方にあります。
レンズを物でふさいだり、液体をこぼしたりしないでください。

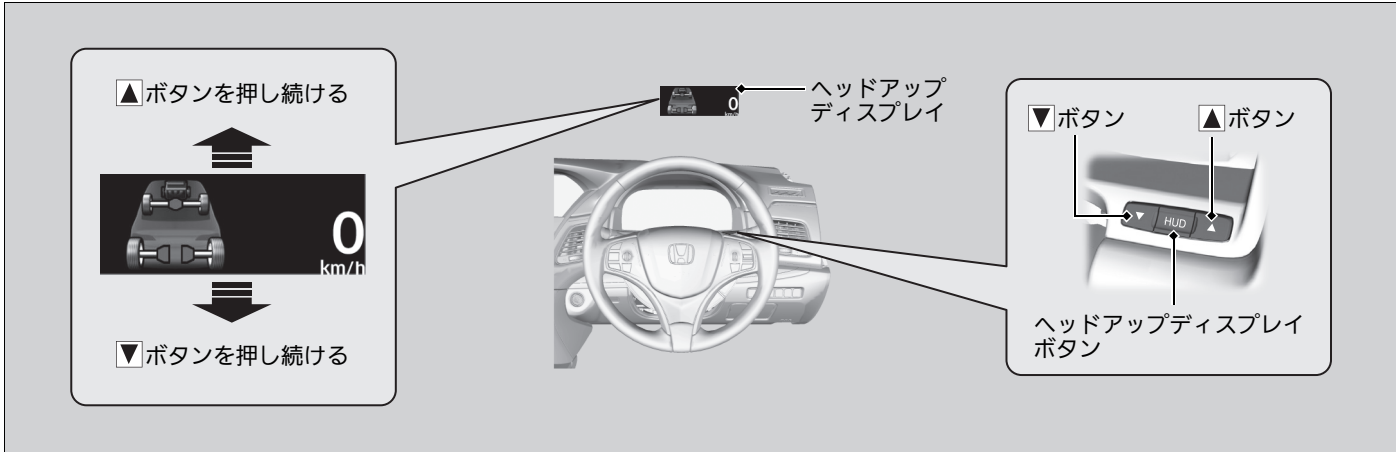


画面の高さは、Honda スマートキーで解錠して運転席ドアを開けると、DRIVER1 のキーと DRIVER2 のキーを判別して、記憶した位置に自動調節されます。

ヘッドアップディスプレイの明るさを調整することができます。
ヘッドアップディスプレイ P.175

ヘッドアップディスプレイを ON/OFF するには：ヘッドアップディスプレイボタンを押します。

画面は目の高さに合わせて上下に移動できます。
ヘッドアップディスプレイの表示位置を上下に移動させるには：好みの位置になるまで、▲または▼ボタンを長押しします。



次ページに続く

インフォメーション表示灯

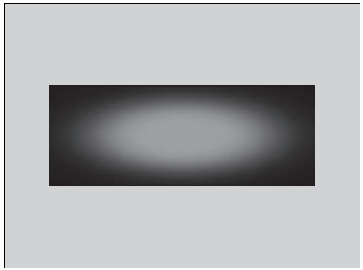
車両情報のほか、以下が表示されます。

- インフォメーション表示灯：異常を検知すると、マルチインフォメーションディスプレイの警告メッセージと同時に表示されます。
  ➡ **インフォメーション表示灯** P.102

車線逸脱警報

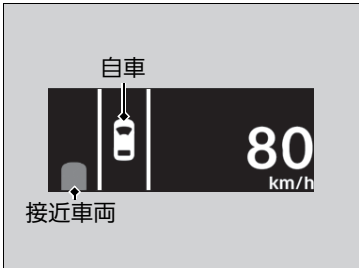
- 車線逸脱警報：車線を越えそうになるとハンドルの振動による警告と同時に表示されます。
  ➡ **路外逸脱抑制機能** P.287

- トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）：現在の状態を表示します。
  ➡ **トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）** P.343



- ヘッドアップワーニング
  CMBS が作動し、マルチインフォメーションディスプレイに が表示されると点滅します。
  ➔ **衝突軽減ブレーキ(CMBS)** P.264
  渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、またはトラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が作動中に、マルチインフォメーションディスプレイに が表示されると点滅します。
  ➔ **渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)** P.301
  ➔ **トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)** P.318
  ➔ **ハンズオフ機能付車線内運転支援機能** P.323
  ➔ **トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)** P.343

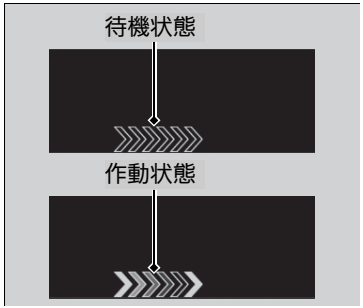
次ページに続く



車線変更時衝突抑制機能が作動中に後ろ側方車両と衝突の恐れがある場合に表示します。

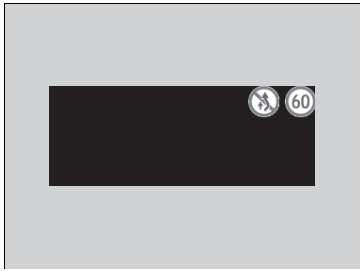
車線変更時衝突抑制機能 P.283

ヘッドアップディスプレイに左の表示が出たときは、マルチインフォメーションディスプレイのメッセージ内容に従い対処してください。



- ハンズオフ機能付き車線変更支援機能、ハンズオフ機能付き高度車線変更支援機能：機能が作動すると表示します。

➔ **ハンズオフ機能付車線変更支援機能** P.331
➔ **ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能** P.335



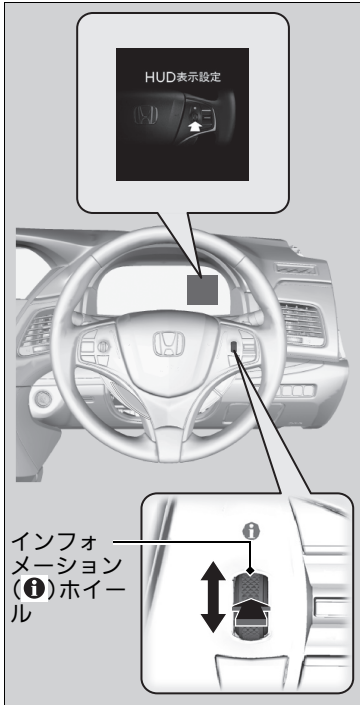
- 標識認識機能表示：走行中に認識した道路標識情報を表示します。
認識した最高速度の道路標識に対して、速度超過したときは点滅してお知らせします。

➔ **標識認識機能** P.295

次ページに続く

■表示内容の切替

ヘッドアップディスプレイに車速とともに表示される車両情報を変更するには、以下の操作を行います：



1. インフォメーション(ⓘ)ホイールを回して「HUD 表示設定」を選択し、インフォメーション(ⓘ)ホイールを押して決定する。

表示の切り換えかた P.112

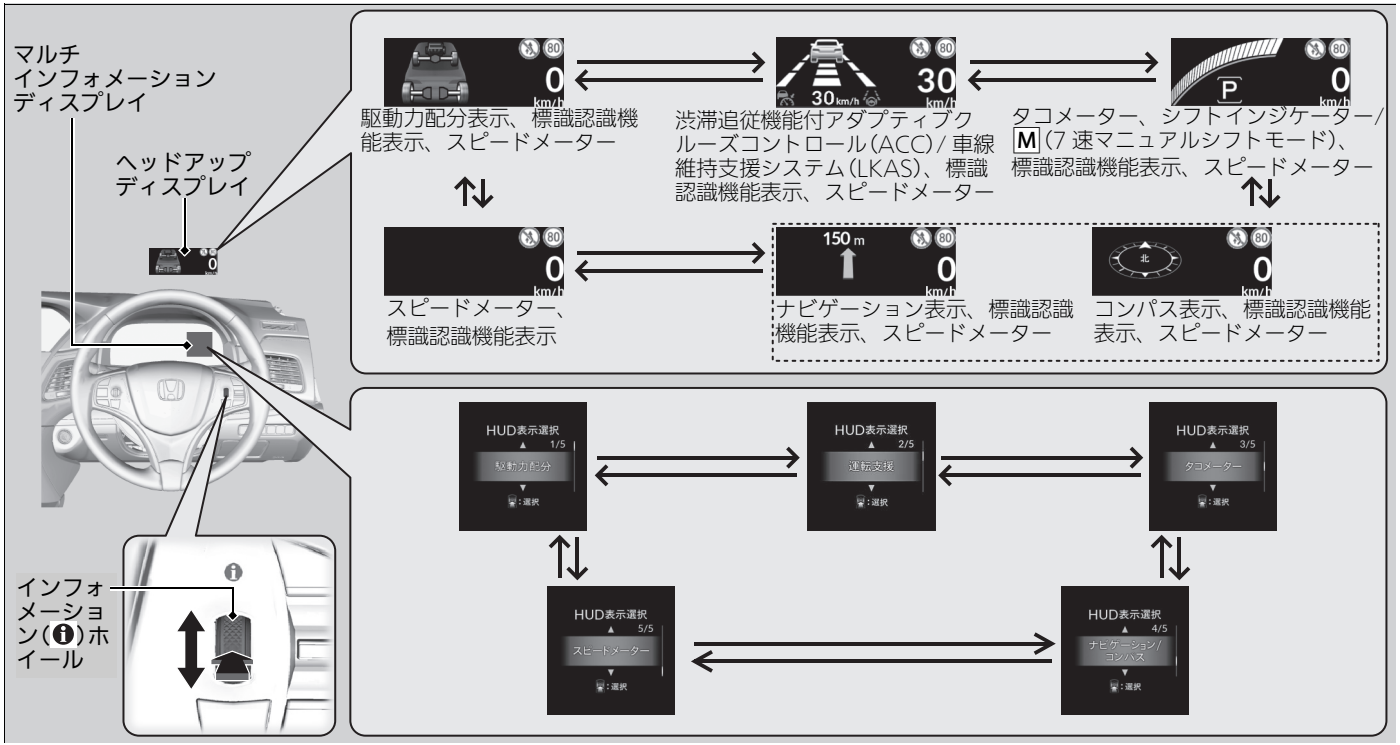
表示内容の切替

マルチインフォメーションディスプレイの「HUD 表示設定」を選ぶには、「ヘッドアップディスプレイ ON」にしてください。

「HUD 表示設定」は、マルチインフォメーションディスプレイに「安全支援情報」以外の画面が表示されているときに、インフォメーション(ⓘ)ホイールを押しても選ぶことができます。

2. インフォメーション(🛈)ホイールを回して表示させたい車両情報を選択し、インフォメーション(🛈)ホイールを押して決定する。

- マルチインフォメーションディスプレイで決定した車両情報が、ヘッドアップディスプレイに表示されます。



次ページに続く

■スピードメーター

走行速度を km/h で表示します。

■渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)/ 車線維持支援システム(LKAS)表示

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、車線維持支援システム(LKAS)などの現在のモードを表示します。

➡ **渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)** P.301
➡ **車線維持支援システム(LKAS)** P.312
➡ **トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)** P.318
➡ **ハンズオフ機能付車線内運転支援機能** P.323
➡ **トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)** P.343

■タコメーター/ シフトインジケーター / M (7 速マニュアルシフトモード)表示

タコメーター：エンジン回転数をバーグラフで表示します。
シフトインジケーター/ M (7 速マニュアルシフトモード)：現在のシフトポジションを表示します。

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)/ 車線維持支援システム(LKAS)表示

メインスイッチを押していないときは下記の表示になります。

■ナビゲーション表示 / コンパス表示

ナビゲーションシステムによるルート案内の際に、交差点や分岐点などで進路案内を表示します。

➔ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

■標識認識機能表示

走行中に認識した道路標識情報を表示します。

認識した最高速度の道路標識に対して、速度超過したときは点滅してお知らせします。

➔ **標識認識機能** P.295

ナビゲーション表示 / コンパス表示

ナビゲーション表示 / コンパス表示を選択しているとき、案内する情報がない場合はコンパスが表示されます。

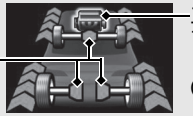
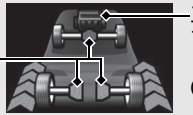
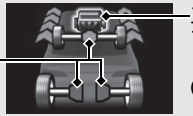
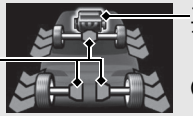
交差点案内表示の ON/OFF を選択することができます。

➔ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

次ページに続く

■駆動力配分表示

駆動力配分表示は、モーターとエンジンのどちらの動力をタイヤに伝達しているか、およびバッテリーへの入出力状態のフローを表示します。

走行状態	ヘッドアップディスプレイ	パワーフロー色
ハイブリッド走行		ブルー
EV 走行		ブルー
エンジン走行		ブルー
回生		グリーン

≫駆動力配分表示

駆動力配分表示は、オーディオ / インフォメーション画面に表示させることもできます。

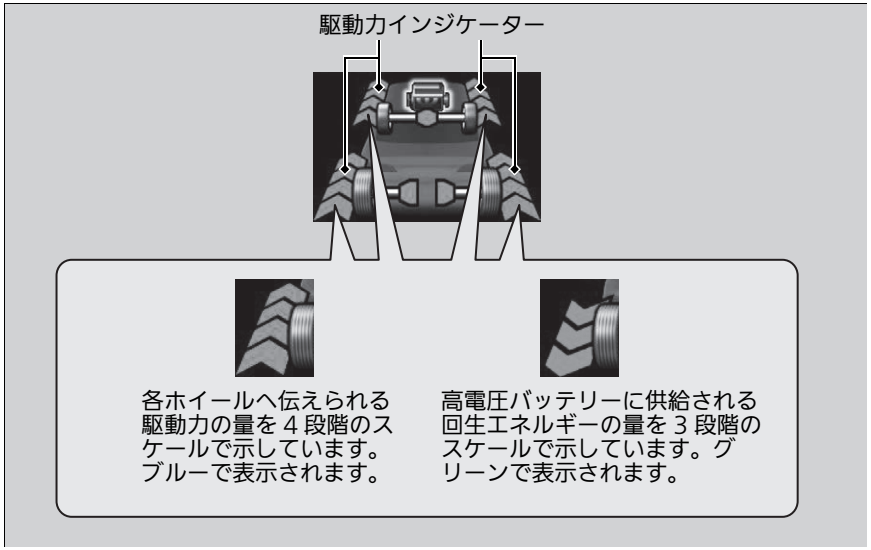
➡ 別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

アイドリング中で、高電圧バッテリーを充電していないとき下記が表示されます。

■ SH-AWD 駆動力配分表示

画面表示は、各タイヤへ伝えられる駆動力の量、または高電圧バッテリーに供給される回生エネルギーの量を表示します。

➔ SPORT HYBRID SH-AWD (Super Handling All-Wheel-Drive) P.246

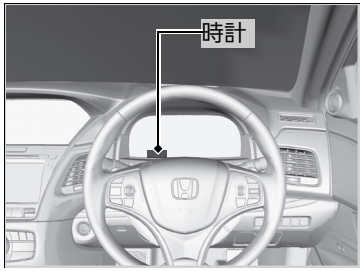


各部の操作

この章では、運転に必要な各部の操作方法について記載しています。

時刻の設定..... 131
ドアの施錠と解錠
キー..... 132
Honda スマートキーの微弱電波 134
車外でのドアの施錠 / 解錠..... 135
車内での施錠 / 解錠..... 141
チャイルドプルーフ..... 143
衝撃感知ドアロック解除システム 144
オートドアロック/オートドアアンロック 144
トランクの開閉 145
セキュリティシステム
イモビライザーシステム 151
セキュリティアラームシステム..... 151
超音波センサー..... 154
ウィンドーの開閉..... 155
サンルーフ..... 158
ハンドルまわりのスイッチ操作
POWER スイッチ..... 160
ライトの使い方..... 163
オートハイビーム 167
ワイパー/ ウォッシャー 170
リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラー / フロントガラス熱線スイッチ..... 173
イルミネーションコントロール..... 174
ドライビングポジションシステム 176
ハンドルの調節..... 178
ミラー類の調節 179
シートの調節
フロントシート 182
ヘッドレスト 185
アームレスト 188
室内装備品..... 189
エアコン
エアコンの吹き出し口 206
オートエアコンの使いかた..... 207
オートエアコンのセンサー..... 218

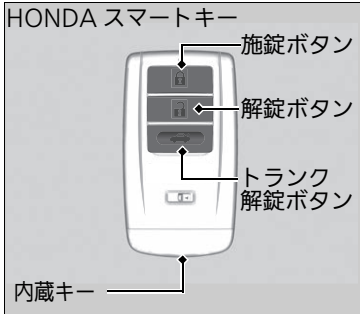
時刻の設定



時計は人工衛星からの情報を利用していますので、時刻合わせは不要です。

キー

この車には、以下のキーが付いています。



パワーシステムの起動、停止のほかに、すべてのドア、トランクの施錠・解錠に使用できます。

キー

キーの故障を防ぐため、下記の点をお守りください。

- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に置かない
- キーを落としたり、重いものをのせない
- キーに液体をかけない
- 砂や埃を避ける
- 分解をしない
- 火であぶらない
- テレビ、オーディオなど磁気を帯びた機器の近くに置いたりしない

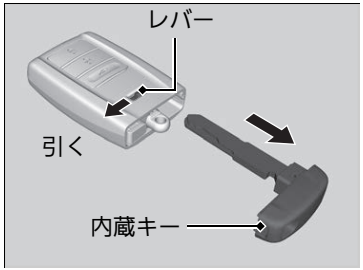
すべてのキーには、イモビライザーシステムがついています。イモビライザーシステムは、車両を盗難から守るためのシステムです。

イモビライザーシステム P.151

キーの電子部品が故障すると、パワーシステムの起動やリモート発信が作動しなくなることがあります。

キーが正常に作動しなくなった場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

■内蔵キー

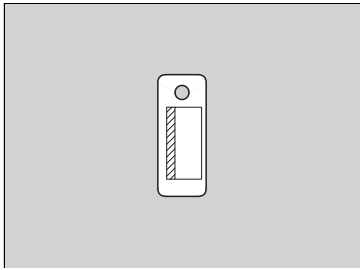


Honda スマートキーの電池が切れたときや車の 12V バッテリーがあがったときは、内蔵キーを使用してください。
内蔵キーは、レバーを引きながら取り出します。

収納するときは、「カチッ」と音がするまで差し込みます。

Honda スマートキーの電池の消耗や故障したときのことを考慮して、内蔵キーは Honda スマートキーに収納しておいてください。

■キーナンバータグ



キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。

キー

Honda スマートキーは、特定小電力無線設備の技術基準適合証明を受けています。以下のことをお守りください。

- 日本国内でのみ使用する
- 電池交換時以外は分解しない
- 改造しない
- キーの内部にある技術基準適合表示を故意に消去、改ざんしない

分解、改造したものを使用することは法律で禁止されています。

➡ **Honda スマートキーの電池が切れたとき**
P.463

キーナンバータグ

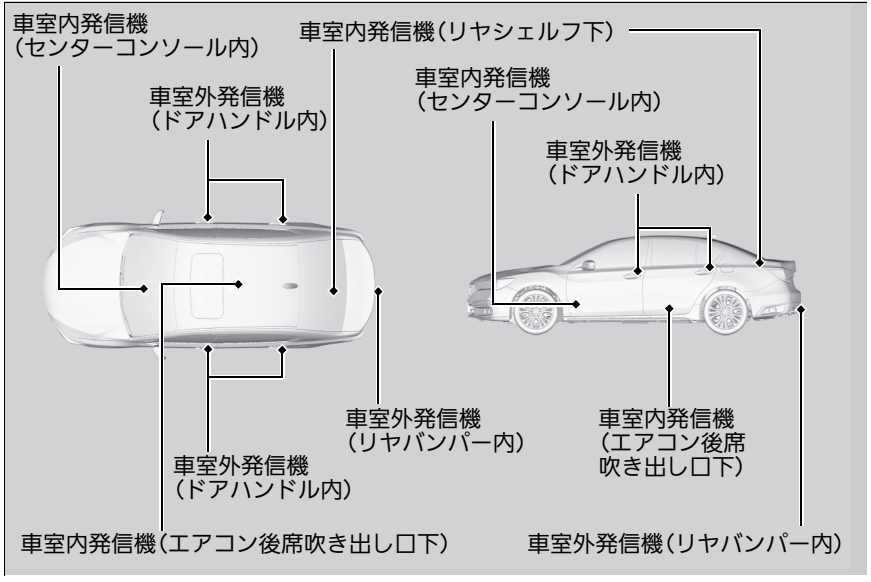
キーナンバータグは、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。
キーナンバータグには、キーを購入する際に必要となる番号が記載されています。キーと一緒に保管せず、車両以外の場所に大切に保管してください。キーを紛失したときや、追加購入したいときは、Honda 販売店に依頼してください。

Honda スマートキーの微弱電波

Honda スマートキーを使用してドア、トランクの施錠 / 解錠操作をするときやパワーシステムを起動するとき、Honda スマートキーとの電子照合を行うために車両から電波が発信されます。

そのため、次のような場合正常に作動しなかったり、不安定な動作となったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話や無線機などの通信機器やノートパソコンと一緒に Honda スマートキーを携帯しているとき
- Honda スマートキーが金属物に触れていたり覆われていたりするとき



▶Honda スマートキーの微弱電波

⚠注意

植込み型心臓ペースメーカや植込み型除細動器などの医療機器を装着されているかたは、車両に搭載されている発信機から 22cm 以内に近づかない。

Honda スマートキーシステムで発信されている電波が、機器の作動に影響を与える可能性があります。医療用電子機器を使用しているかたは、医師や医療用機器製造者に影響を確認してからご使用ください。

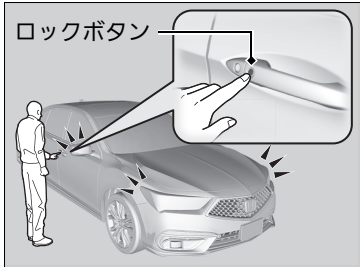
Honda スマートキーは車両との通信のために常時受信動作をしているため、常に電池を消耗しています。電池寿命は、使用状況により異なりますが約 2 年間です。

また、強い電波を受信し続けると電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くには置かないでください。

車外でのドアの施錠 / 解錠

■ Honda スマートキーシステムでの施錠 / 解錠

Honda スマートキーを携帯し、ロックボタン、ドアハンドルを操作することでドア、トランクの施錠や解錠ができます。
施錠 / 解錠が作動するのは、ドアハンドルから周囲約 80cm 以内です。



■施錠するには

ドアハンドルのロックボタンを押します。

▶「ピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が1回点滅し、すべてのドア、トランクが施錠されます。

車外でのドアの施錠 / 解錠

ドアを解錠すると、室内灯が点灯します。
室内灯のスイッチがドアと連動する位置にあるとき、解錠すると室内灯が点灯します。
約 30 秒点灯し、徐々に暗くなります。30 秒以内にドアを施錠すると、室内灯は直ちに消灯します。
➔ **室内灯** P.189

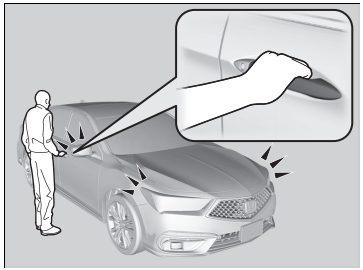
Honda スマートキーシステムでの施錠 / 解錠

Honda スマートキーシステムで解錠操作をした場合、30 秒以内にドア、トランクを開けないと、再び自動的に施錠されます。

パワーモードが OFF モード以外のときは Honda スマートキーシステムによる施錠解錠はできません。

- Honda スマートキーは運転者が携帯し、車内に残したまま降車しないでください。
- 同じ作動範囲に Honda スマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもロックボタンやドアハンドル、トランクオープンスイッチで施錠 / 解錠操作ができます。

次ページに続く



■解錠するには

ドアハンドルを握ります。

▶「ピピッ」というアンサーバック音が鳴り非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドア、トランクが解錠されます。

Honda スマートキーシステムでの施錠 / 解錠

- 革製やスキー用の手袋などを着用しているときは、ドアハンドルでの解錠操作が遅れたりできなかったりすることがあります。
- 作動範囲内に Honda スマートキーがあるときは、大雨や洗車などで大量の水がドアハンドルにかかると、解錠されることがあります。
- 施錠後約 2 秒間は、ドアハンドルを握っても解錠操作はできません。
- ドアハンドルを握った直後、もしくはトランクオープンスイッチを押した直後はドア、トランクが開かないことがあります。ドアハンドルを握りなおすか、トランクオープンスイッチを押しなおして解錠されていることを確認してから開けてください。
- ドアハンドル、トランクオープンスイッチより約 80cm 以内の距離でも、Honda スマートキーが地面の近くや高い位置にあるときは作動しないことがあります。
- ドアやドアガラス、トランクに近づきすぎていると作動しないことがあります。

Honda スマートキーシステムでの施錠 / 解錠

カスタマイズ機能について

施錠 / 解錠時に鳴るアンサーバックブザーは、オーディオ / インフォメーション画面を使って音量を変えたりブザーが鳴らないようにすることができます。

別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

カスタマイズ機能	選択できる設定内容
アンサーバック ブザー音量	大※、小
アンサーバック ブザー作動	作動※、非作動

※：工場出荷時の設定

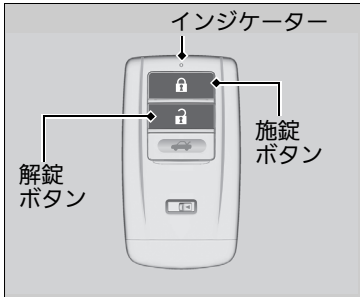
すべてのドアが施錠されているとき、Honda スマートキーを携帯し、Honda スマートキーシステムの作動範囲に入ると、すべてのドアのアウターハンドルのライトが約 30 秒点灯します。

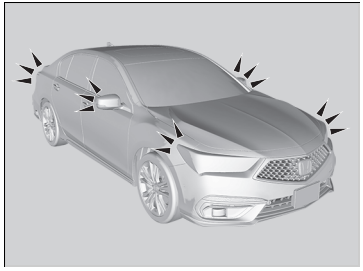
数日間ドアが施錠されているときや、5 分以上作動範囲内にいたときは点灯しません。

ドアを解錠してから施錠し、再び作動範囲内に入るとアウターハンドルのライトが点灯します。

次ページに続く

■キーレスエントリーシステムでの施錠 / 解錠





■施錠

施錠ボタンを押します。

▶ 非常点滅表示灯が1回点滅し、すべてのドアとトランクが施錠されます。

■解錠

解錠ボタンを押します。

▶ 非常点滅表示灯が2回点滅し、すべてのドアとトランクが解錠されます。

»キーレスエントリーシステムでの施錠 / 解錠

パワーモードが OFF モード以外のときは、キーレスエントリーシステムによる施錠 / 解錠はできません。

キーレスエントリーシステムで解錠操作をした場合、30 秒以内にドアを開けないと、ドアは再び自動的に施錠されます。
オーディオ / インフォメーション画面を使ってキーレスリロック時間をカスタマイズすることができます。

➔ 別冊のHonda インターナビシステム取扱説明書

キーレスエントリーシステムは微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。

ドア、トランクが開いているときは、キーレスエントリーシステムで施錠できません。

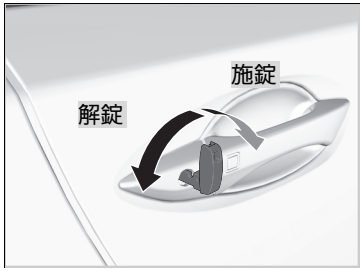
作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。
ボタンを押したときに、インジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。

➔ 電池交換のしかた P.435

■キーを差し込んでの施錠 / 解錠

Honda スマートキーのボタンで施錠 / 解錠できない場合は内蔵キーを使用してください。

➔ **内蔵キー** P.133



キーを確実に差し込んで、回します。

キーを差し込んでの施錠 / 解錠

運転席ドアに内蔵キーを差し込んで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドアとトランクが同時に施錠 / 解錠されます。

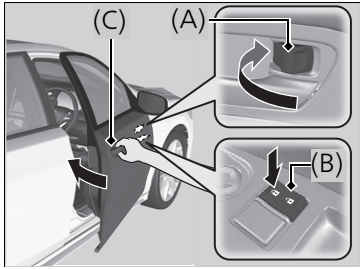
セキュリティアラームシステムがセットされているとき、内蔵キーで解錠すると警報装置が作動します。

➔ **セキュリティアラームシステム** P.151

次ページに続く

■キーを使わない施錠

キーが正常に作動しなくなったときや、キーを所持していないときに、キーを使わずに施錠することができます。



■運転席のドアの施錠

ノブ(A)を押し込むか、マスタードアロックスイッチ(B)を施錠のほうに押し、外側のドアハンドル(C)を引いたままドアを閉めます。

■運転席以外のドアの施錠

ノブを押し込み、ドアを閉めます。

■キー閉じ込み防止装置

Honda スマートキーが車内の作動範囲内に置いてあると、施錠できません。

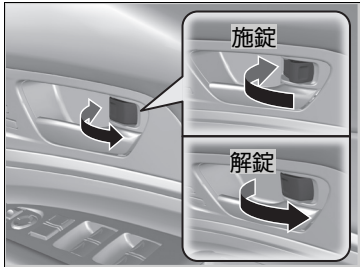
»キーを使わない施錠

運転席ドアで施錠すると、ほかのすべてのドアとトランクも同時に施錠されます。

施錠の際は車内にキーを置き忘れないようにしてください。

車内での施錠 / 解錠

■ノブでの施錠 / 解錠



■施錠するには
ノブを押し込みます。

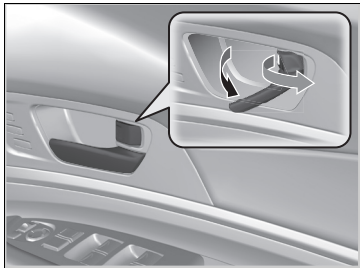
■解錠するには
ノブを引きます。

ノブでの施錠 / 解錠

運転席ドアのノブで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドア、トランクも同時に施錠 / 解錠されます。

次ページに続く

■運転席ドアハンドルでの解錠

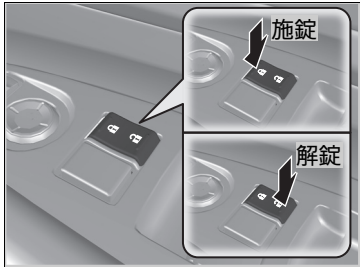


運転席ドアは、内側のハンドルを引くと施錠していてもドアが開きます。

≫運転席ドアハンドルでの解錠

走行中でも運転席の内側のハンドルを引くとドアが解錠します。走行中はドアハンドルを操作しないでください。

■マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠



マスタードアロックスイッチを施錠 / 解錠のほうに押します。

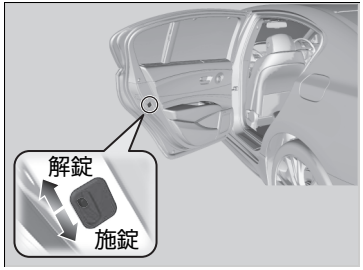
≫マスタードアロックスイッチでの施錠 / 解錠

運転席または助手席ドアのマスタードアロックスイッチで施錠 / 解錠すると、ほかのすべてのドア、トランクも同時に施錠 / 解錠されます。

チャイルドプルーフ

チャイルドプルーフとは、走行中などにお子さまが車外に放り出されることを防止するため、ノブの位置に関係なく、後席ドアを車内から開けることができないようにする機能です。
お子さまをリヤシートに乗せるときなどにお使いください。

■チャイルドプルーフのセット



後席ドアについているツマミを、施錠の位置にしてドアを閉めます。

■ドアを開ける場合

外側のハンドルで開けます。

チャイルドプルーフ

チャイルドプルーフセット時に車内から開けたい場合は、ノブを解錠状態にして後席ウィンドーを下げ、窓から手を出して外側のドアハンドルを引いてください。

衝撃感知ドアロック解除システム

車両に衝撃が加わったときに、自動的にすべてのドア、トランクを解錠するシステムです。
作動するのは以下の場合です。

- 正面からの衝撃：SRS エアバッグが作動したとき
- 側面からの衝撃：サイドエアバッグ/サイドカーテンエアバッグが作動したとき
- 後面からの衝撃：衝撃が大きいとき

いずれの場合も、安全性を考慮して衝撃を受けてから約 10 秒後に解錠します。

» 衝撃感知ドアロック解除システム

衝撃の加わりかたや大きさによっては解錠しない場合があります。

オートドアロック / オートドアアンロック

■オートドアロック

■車速連動

車速が約 15km/h 以上になるとすべてのドア、トランクが自動的に施錠される機能です。

» オートドアロック / オートドアアンロック

オーディオ / インフォメーション画面を使ってオートドアロック / オートドアアンロックの条件をカスタマイズすることができます。

➔ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

■オートドアアンロック

■シフトポジション連動

ブレーキペダルを踏んでシフトポジションを P にすると、すべてのドア、トランクが自動的に解錠される機能です。

トランク開閉時の注意

トランク開閉をするときは、下記の点に注意してください。

■トランクを開けているとき

- 風の強い日は、風にあおられて閉まらないように注意する。
- トランクを開けたまま走行しない。
  ▶車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。
  一酸化炭素について P.89

■トランクを閉めるとき

- Honda スマートキーを、トランク内に置き忘れないように注意する。

トランク開閉時の注意

⚠注意

トランクを閉めるときは、頭をぶつけたり手をはさまないよう注意する。

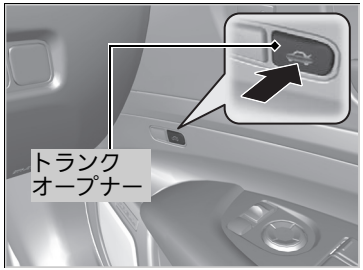
エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないようにする。
やけどなどの思わぬけがをすることがあります。

トランクルーム内には、人を乗せない。
ブレーキや加速、衝突のときにけがをするおそれがあります。

トランク内にお子さまが入らないように注意する。
トランクは中から開けることはできません。

運転席ドアが施錠されているとき：
トランクを閉めると、トランクも施錠されます。
運転席ドアが解錠されているとき：
トランクを閉めても、施錠されません。

トランクオープナーで開ける



運転席ドアにあるトランクオープナーを押すと、トランクが解錠され全開します。

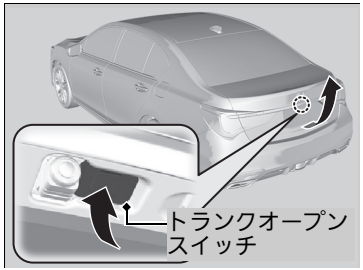
トランクが開かないとき P.491

キーレスエントリーシステムで開ける

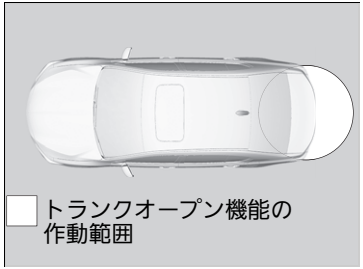
トランク解錠ボタンを約1秒押すと、トランクが解錠され全開します。

パワーモードが OFF モード以外のときは、キーレスエントリーの解錠ボタンでは開けられません。

トランクオープンスイッチで開ける



運転席ドアを解錠し、トランクオープンスイッチを押すとトランクが全開します。



Honda スマートキーを携帯して、トランクオープンスイッチを押すとトランクが解錠され全開します。このときアンサーバックブザーが「ピッ」と 1 回鳴ります。

トランクオープンスイッチで開ける

- Honda スマートキーは運転者が携帯し、トランク内に置かないようにしてください。
- 作動範囲内に Honda スマートキーを携帯している人がいるときは、携帯していない人でもトランクオープンスイッチでトランクを開けることができます。
- トランク内に Honda スマートキーを置いたままトランクを閉めると、ブザーが鳴りトランクが開きます。Honda スマートキーを取り出してから、再度トランクを閉めてください。
- トランクを閉めるときは、Honda スマートキーを後席に置かないでください。

パワートランク

パワートランクが全開のとき、パワートランクにあるクローズスイッチを押して、自動で閉めることができます。

パワートランク

⚠警告

パワートランクを閉めるときは、パワートランクの周囲の安全を十分確認する。
トランクが動いているときは触ったり、近づいたりしないでください。トランクに手や顔などをはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

⚠注意

パワートランクを確実に閉め切るため、閉め切る直前の部分にはさみ込みを検知しないエリアがあります。指などをはさみ込まないように、注意してください。

パワートランクが自動的に作動しているときは、パワートランクを押したり引っ張ったりしないでください。
作動中に無理な力を加えるとパワートランクが歪む可能性があります。

パワートランク

次のような場合はパワートランクが確実に閉まらないことがあります。

- 開閉中にエンジンを始動したとき
- 傾斜している場所
- 風が強いとき
- パワートランクに雪が積もっているとき(開閉する前に雪を取り除いてください)

すべてのドアがロックされているときにパワートランクを閉じると、自動的にロックします。

パワートランクが開いているときに12Vバッテリーまたはヒューズを交換すると、パワートランクが無効になることがあります。パワートランクを手動で閉じると再開します。

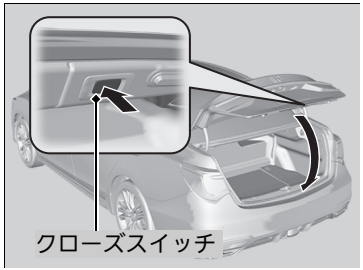
パワートランクに、この車専用(Honda 純正品)以外のアクセサリーや字光式ナンバープレートを取り付けないでください。
パワートランクが開閉できないことがあります。

走行する前にパワートランクが完全に閉じていることを確認してください。

パワートランクが開いているときに、パワーモードをONにしてトランスミッションを[P]以外の位置に切り換えるとブザーが鳴ります。

次ページに続く

■クローズスイッチで閉める



クローズスイッチを押すと、パワートランクが閉まります。このとき、「ピー」とブザーが鳴ります。
閉じている間にクローズスイッチを押すと、パワートランクが反対側に動きます。

■イージートランククローザー

手動でパワートランクを半ドア状態の位置まで閉めると、自動的に閉まります。

クローズスイッチで閉める

トランクが自動的に閉まっている間に障害物に接触するとブザーが鳴りパワートランクが反対側に動きます。

イージートランククローザー

アドバイス

イージートランククローザー作動中はトランクに無理な力を加えないでください。故障の原因となります。

イモビライザーシステム

車両とキーで電子照合をしており、登録されたキーでないとパワーシステムを起動することが出来ないシステムです。

POWER スイッチを押すときは、下記の点に注意してください。
- POWER スイッチの近くに強い電波を発するものを近づけない
- キーを金属に触れさせたり、覆ったりしない
- ほかの車両のイモビライザーシステムのキーを近づけない
- 磁気を帯びたキーホルダーなどをキーと一緒に取り付けない

セキュリティアラームシステム

セキュリティアラームシステムは、キーレスエントリーシステムあるいは Honda スマートキーシステムを使わずにドア、トランク、ボンネットを開けると、警報装置が作動するシステムです。

■作動すると
ホーンが断続的に鳴り、非常点滅表示灯が点滅します。

■停止させるには
Honda スマートキーシステムまたはキーレスエントリーシステムで解錠するか、パワーモードをONモードにしてください。システムが停止し、ホーンと点滅も停止します。

イモビライザーシステム

システムの改造や追加をしないでください。
システムが故障するおそれがあります。

セキュリティアラームシステム

システムの改造や追加をしないでください。
システムが故障するおそれがあります。

警報装置はセキュリティアラームシステムを停止させるまで、約５分間作動します。
ホーンおよび非常点滅表示灯は、1回の作動につき約 30 秒間作動し、その警報作動が 10 回行われます。
状況によっては、5分以上作動する場合があります。

次ページに続く

■セットするには

セキュリティアラームシステムは、以下の条件が整うと自動的にセットされます。

- パワーモードがOFFモードのとき
- ボンネットが閉まっているとき
- Honda スマートキーシステムまたはキーレスエントリーシステム、内蔵キーですべてのドアとトランクが施錠されているとき

■セットされると

メーター内にある作動表示灯が点滅し、約15秒後に点滅間隔が長くなります。

■セットを解除するには

Honda スマートキーシステムまたはキーレスエントリーシステムで解錠するか、パワーモードをONモードにすると解除されます。同時に作動表示灯が消灯します。

セキュリティアラームシステム

車内に人が乗っているときやウィンドーが開いているときでも、セキュリティアラームシステムは作動します。警報装置の思わぬ作動を防ぐために、人が乗っていたりウィンドーが開いているときには、セキュリティアラームシステムをセットしないでください。

セキュリティアラームシステムをセットした後に12Vバッテリーがあがり、12Vバッテリーの充電、交換をすると、警報装置が作動することがあります。

そのときは、Honda スマートキーシステムまたはキーレスエントリーシステムでドアを解錠し、セキュリティアラームシステムを解除してください。

セキュリティシステムがセットされているとき、内蔵キーで解錠するとセキュリティシステムが作動します。

セキュリティアラームシステム

以下のような場合、超音波センサーが車両の振動や騒音、車内の動きを検知し、セキュリティアラームシステムが作動することがあります。

- 機械式立体駐車場に駐車したとき
- フェリー、トレーラーなどで車両を運搬するとき
- 高圧洗浄機や自動洗車機などを使うとき
- 大雨などの悪天候のとき
- 雪や氷を取り除くとき

超音波センサーによるセキュリティアラームシステムの作動を OFF することができます。

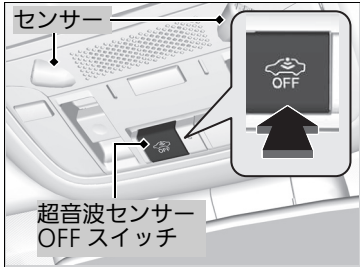
➡ **超音波センサーOFF 機能** P.154

超音波センサーを正しく作動させるために以下のことを守ってください。

- センサーの穴をふさがない
- センサーの穴に向かって、直接消臭スプレーなどを噴霧しない

超音波センサー

超音波センサーは、セキュリティアラームシステムをセットしたときに機能します。
不正に車内に入り込んだ侵入者の動きを超音波で検知し、警報装置を作動させるシステムです。ドアを開けず、ガラスを割って乗り込んだ侵入者なども検知できます。



■超音波センサーOFF 機能

セキュリティアラームシステムをセットした際に超音波センサー機能をOFFすることができます。

1. パワーモードを OFF モードにする。
2. 超音波センサーOFF スイッチを押す。
   ▶ OFF が赤色に点灯します。
   ▶ もう一度スイッチを押すと、OFF 機能は解除されます。
3. セキュリティアラームシステムをセットする。

➔ **セキュリティアラームシステム** P.151

セキュリティアラームシステムを解除する度に、超音波センサーOFF機能は解除されます。再び超音波センサーOFF機能を使用する場合は、毎回同様の操作を行ってください。

超音波センサー

超音波センサーの作動にかかわらず、セキュリティアラームシステムは、内蔵キーでは解除できません。

セキュリティシステムは、次のような場合に超音波センサーによって誤って作動する場合があります。

- 車内に人が乗っているとき
- サンルーフや窓が開いているとき
- マスコットやアクセサリーをぶら下げたり、コートフックに衣類がかけてあるなど、動きやすいものが車内にあるとき

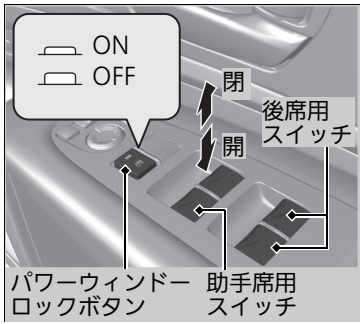
パワーウィンドーの開閉

パワーモードがONモードのときに、パワーウィンドーの開閉操作を行うことができます。開閉はそれぞれのドアにあるスイッチで行います。

運転席のスイッチでは、すべてのウィンドーの開閉操作を行うことができます。運転席以外のウィンドーの開閉は、運転席のパワーウィンドーロックボタンをOFFにしてから行います。パワーウィンドーロックボタンをOFFにすると、ボタンにある表示灯が消灯します。

パワーウィンドーロックボタンを ON(表示灯点灯)にしておくと、運転席以外のウィンドーは作動しません。お子さまを乗せているときなどは、パワーウィンドーロックボタンを ON にしておいてください。

■ウィンドーの開閉



■手動開閉

開けるとき：スイッチを軽く押す
閉めるとき：スイッチを軽く引き上げる
希望の位置で手を離すことで、窓の開閉を調節します。

■自動開閉

開けるとき：スイッチを強く押す
閉めるとき：スイッチを強く引き上げる
自動的に全開 / 全閉します。途中で止めるには、スイッチを反対側に軽く上げ / 下げします。

次ページに続く

パワーウィンドーの開閉

⚠警告

パワーウィンドーを閉めるときは、同乗者が窓から手や顔などを出していないことを確認する。
手や顔などをパワーウィンドーにはさむと、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気をつけてください。

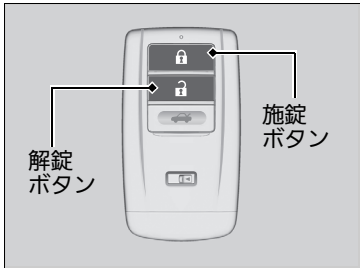
⚠注意

指などをはさみ込まないように注意する。
確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

お子さまだけを車内に残さない。必ず Honda スマートキーを携帯しドアをロックしてお子さまと一緒に車外に出てください。

パワーモードをOFFモードにしても、約10分間は自動開閉機能付きのパワーウィンドーを開閉できます。
この場合、運転席のドアを開閉すると、ウィンドーの開閉はできなくなります。

■キーレスエントリーシステムでのパワーウィンドーの開閉



キーレスエントリーシステムを使用してパワーウィンドーの開閉が行えます。

開けるとき： キーレスエントリーシステムで解錠後、10 秒以内に再度、解錠ボタンを押し続ける

閉めるとき： キーレスエントリーシステムで施錠後、10 秒以内に再度、施錠ボタンを押し続ける

希望の位置で手を離すことで、ウィンドーの開閉を調節します。ウィンドーの開閉中に停止したときは、再度同じ操作を繰り返してください。

パワーウィンドーの開閉

自動開閉機能付きのパワーウィンドーを自動で閉めているときに障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりウィンドーの動きが逆転し止まります。

故障などではさみ込み防止機構が作動し、自動でウィンドーを閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。

路面や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

キーレスエントリーシステムでのパワーウィンドーの開閉

キーレスエントリーシステムを使用してパワーウィンドの開閉をすると、サンルーフも連動して開閉します。

■キーシリンダーでウィンドーを閉める

運転席ドアのキーシリンダーを使用してパワーウィンドーを閉めることができます。
運転席ドアのキーシリンダーに内蔵キーを差し込んで施錠後、内蔵キーを戻してから10 秒以内に再度、施錠側いっぱいに内蔵キーを回したままにします。

希望の位置で手を離すことで、ウィンドーの位置を調節します。ウィンドーを閉めている途中に停止したときは、再度同じ操作を繰り返してください。

キーシリンダーでウィンドーを閉める

キーシリンダーを操作してパワーウィンドーを閉めると、サンルーフも連動して閉まります。

サンルーフの開閉

パワーモードがONモードのときに、サンルーフの開閉操作を行うことができます。開閉は前席の天井にあるスイッチで行います。

■開閉

■自動開閉
開けるとき：スイッチを後ろ側へ強く引く
閉めるとき：スイッチを前側へ強く押す
自動的に全開 / 全閉します。

■手動開閉
開けるとき：スイッチを後ろ側へ軽く引く
閉めるとき：スイッチを前側へ軽く押す
希望の位置で手を離すことで、サンルーフの開閉を調節します。

■チルトアップ
開けるとき：スイッチを上へ押す
閉めるとき：スイッチを前側へ強く押すと自動で全閉
スイッチを前側へ軽く押したときは離した位置で停止

▨サンルーフの開閉

⚠警告

サンルーフを開閉するときは、手や顔などをはさまないよう注意する。
サンルーフにはさまれて、重大な傷害を負うおそれがあります。特にお子さまには気を付けてください。

⚠注意

指などをはさみ込まないように注意する。
確実に閉めるため、閉め切る直前の部分に、はさみ込みを検知しないエリアがあります。

走行中や停車中にルーフ開口部から頭や手、ものなどを出さない。
障害物や急ブレーキなどで思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまだけを車内に残さない。必ず Honda スマートキーを携帯しドアをロックしてお子さまと一緒に車外に出てください。

パワーモードを OFF モードにしても、約 10 分間はキーオフオペレーションによりサンルーフを開閉できます。
この場合、運転席のドアを開閉すると、サンルーフの開閉はできなくなります。

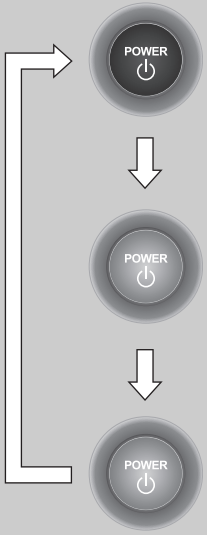
サンルーフ

サンルーフを自動で閉じているときに障害物を検知すると、はさみ込み防止機構によりサンルーフの前進が停止し、自動で後退します。

故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、サンルーフを閉めることができなくなる場合があります。スイッチを軽く閉方向に約 15 秒間押し続けると、応急処置としてはさみ込み防止機構が解除され、断続的にサンルーフを閉めることができます。サンルーフが完全に閉まるまで、スイッチを押し続けてください。応急処置後は Honda 販売店で点検を受けてください。

POWER スイッチ

■パワーモードの切り換えかた



OFF モード
- スイッチが消灯
- 全ての電源が OFF になります

アクセサリーモード
- スイッチが赤色で点滅
- パワーシステムを起動させずに、オーディオシステムなどのアクセサリーを使用するときの位置

ON モード
- スイッチが赤色で点滅
- すべてのアクセサリーが使用可能

（ブレーキペダルを踏んでいない状態）
⇨ スイッチを押す

POWER スイッチ

Honda スマートキーが車内にある場合パワーモードを ON モードにできます。Honda スマートキーをインストルメントパネル上、トランク内やグローブボックス、ドアポケットなどの各種小物入れに置いた場合、電波状態によってはパワーモードのON機能が作動しないことがあります。

■ パワーモード ON の作動範囲

Honda スマートキーの電池が消耗した状態で POWER ボタンを押してもパワーシステムが起動できない場合があります。その時は、下記ページを参照ください。

Honda スマートキーの電池が切れたとき
P.463

Honda スマートキーが車外にあっても、ドアやドアガラスに近づきすぎていると、パワーモードをONモードにできることがあります。

■パワーモードオートオフ機能

シフトポジションが P でパワーモードがアクセサリーモードのときに 30 分～60分経過すると、12V バッテリー保護のため自動的にパワーモードがOFF モードになります。

■パワーモード警告ブザー

次の状態で車を離れようとして運転席ドアを開けた場合、警告ブザーが鳴ります。

- パワーモードがアクセサリーモードのとき

次ページに続く

■ Honda スマートキー持ち去り警告

パワーモードが OFF モード以外のときに Honda スマートキーを車外に持ち出しドアを閉めると警告ブザーが鳴ります。警告状態が続くときは Honda スマートキーの携帯位置を変更してください。

■パワーモードがアクセサリーモードのとき

車外警告ブザーが鳴ります。

■パワーモードが ON モードのとき

車外と車内から警告ブザーが鳴ります。また、メーター内に警告が表示されます。

»Honda スマートキー持ち去り警告

パワーモード ON の作動範囲内に Honda スマートキーを戻してドアを閉めると、警告が解除されます。

Honda スマートキーを持ち出した状態で、パワーモードを OFF モードにすると、パワーモードの操作ができなくなります。
パワーモードを操作するときは、Honda スマートキーを持っていることを確認してください。

窓からの受け渡しでは、Honda スマートキー持ち去り警告は作動しません。

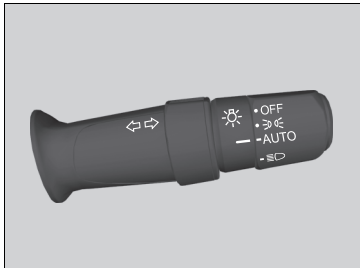
Honda スマートキーを、インストルメントパネル、グローブボックスなどに置いた場合、電波状態により警告ブザーが鳴ることがあります。

Honda スマートキーがパワーモード ON の作動範囲内にあっても、周囲の環境や電波状態により Honda スマートキー持ち去り警告が行われることがあります。

ライトの使い方

■ヘッドライト・車幅灯

車外の明るさに応じて自動で点灯します。手動で点灯 / 消灯させることもできます。



パワーモードがONモードのとき、ライトスイッチを AUTO にすると自動点灯が作動します。

■手動点灯 / 消灯

ヘッドライト・車幅灯の点灯：

ライトスイッチを ≣D にします。

車幅灯の点灯：

ライトスイッチを ⇨D⇦ にして手を放します。

- ▶ ヘッドライトは車外の明るさに応じて自動点灯します。
- ▶ 停車中に行うとヘッドライトは消灯します。低速でしばらく走行するか一定以上の車速で走行するとヘッドライトの自動点灯が再開します。
- ▶ 車幅灯の自動点灯を再開するにはスイッチを ≣D にしたあと、AUTO にします。

ライトの使い方

ライト類が点灯するとメーター内の表示灯が点灯します。

➔ **表示灯** P.101

ヘッドライト・車幅灯

車幅灯が点灯しているときはフロントサイドマーカーライト、尾灯、後部側方灯、番号灯も点灯します。

スイッチを ≣D にしたままパワーモードをOFF モードにすると、運転席のドアを開けた時にライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。このとき、Honda スマートキーシステム、または、キーレスエントリーシステムですべてのドア、トランクを施錠すると、ライトが消灯します。

パワーシステムが停止しているときにライト類を点灯したままにしていると、12V バッテリー上がりの原因となります。

次ページに続く

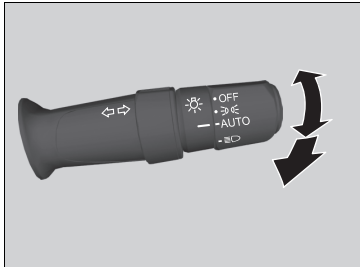
ヘッドライト・車幅灯の消灯：

停車中にライトスイッチを[OFF]にして手を放します。

▶ 発進すると車幅灯の自動点灯が再開します。低速でしばらく走行するか一定以上の車速で走行するとヘッドライトの自動点灯が再開します。

■ハイビーム

ヘッドライトが点灯しているとき、レバーを前方に押すとハイビームに切り換わります。手前に引くとロービームに戻ります。



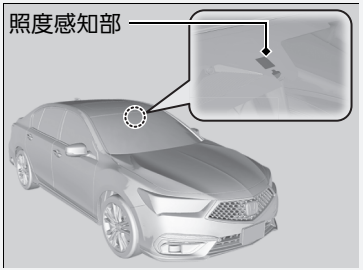
■パッシング

レバーを手前に引くとハイビームが点灯します。

▶ レバーを放すとレバーはロービームの位置に戻ります。

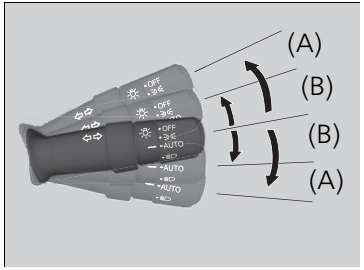
▩ヘッドライト・車幅灯

照度感知センサーは、図の位置にあります。



■方向指示器(ウィンカー)

パワーモードが ON モードのときに使用できます。



■(A): 方向指示器

進行方向に応じてレバーを下または上に押し込むと方向指示器が点滅します。

■(B): ワンタッチターンシグナル

レバーを下または上に軽く押してレバーを放すと、方向指示器が 3 回点滅します。

■デイタイムランニングライト

デイタイムランニングライトは以下の条件をすべて満たしたときに点灯します。

- パワーモードが ON モード
- 車両の周囲が明るい
- ヘッドライトが消灯している

停車しているときにライトスイッチを OFF にして手を放すとデイタイムランニングライトは消灯します。

車両を発進させると再び点灯します。

方向指示器(ウィンカー)

方向指示器が点滅するとメーター内の方向指示器表示灯が点滅します。

➡ **表示灯** P.101

レバーを(B)の位置で「ピ」とブザーが鳴るまで軽く押し下げ / 押し上げた状態を保持すると、ハンズオフ機能付車線変更支援機能が作動条件を満たしている場合に作動します。

➡ **ハンズオフ機能付車線変更支援機能** P.331

デイタイムランニングライト

デイタイムランニングライトと車幅灯は光源を共用しています。

デイタイムランニングライトは車幅灯よりも明るく点灯します。

車幅灯を手動点灯させたときはデイタイムランニングライトは点灯しません。

オーディオ / インフォメーション画面でデイタイムランニングライトの ON/OFF 設定を変更することができます。

➡ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

次ページに続く

■アクセサリーランプ

車両前後のアクセサリーランプはパワーモードが ON モードのときに点灯します。

停車しているときにライトスイッチを OFF にして手を放すとアクセサリーランプは消灯します。

車両を発進させると再び点灯します。

■ヘッドライトオートオフ機能

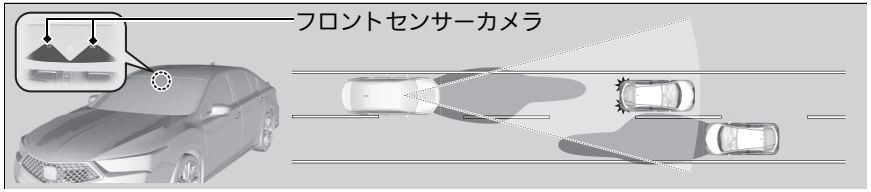
パワーモードを OFF モードにして、Honda スマートキーシステム、またはキーレスエントリーシステムですべてのドア、トランクを施錠すると、ヘッドライト、アクセサリーランプ、車幅灯、フロントサイドマーカーライト、尾灯、後部側方灯、番号灯やインストルメントパネルの照明が消灯します。

▶ 運転席ドアを開けると再び点灯し、ライト消し忘れ警告ブザーが鳴ります。

ライトスイッチを AUTO にしているときはパワーモードを OFF モードにすると消灯します。

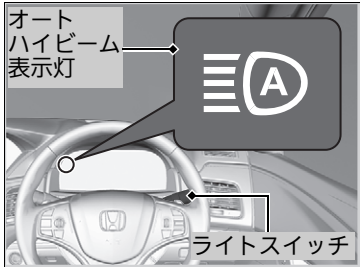
オートハイビーム

夜間走行時にフロントセンサーカメラで前方車両のライトや街灯などを検知し、状況に応じてヘッドライトのハイビームとロービームを自動で切り換えるシステムです。



■オートハイビームの使いかた

以下の条件をすべて満たすとオートハイビーム表示灯が点灯し、オートハイビームが作動します。



- パワーモードが ON モード
- ライトスイッチが AUTO の位置
- レバーがロービームの位置
- ヘッドライトが自動で点灯している
- 車両の周囲が暗い

上記の条件を満たしていてもオートハイビーム表示灯が点灯しないときは、続けて以下のいずれかの操作を行うことで、オートハイビーム表示灯が点灯します。

- レバーを手前(パッシングの位置)に引いた後すぐに手を放す
- ライトスイッチを≡Dに回したあと、 AUTO に戻す

次ページに続く

オートハイビーム

オートハイビームはあらゆる状況で作動する機能ではありません。あくまでも、運転者をアシストするための機能です。常に周囲の状況を確認し、必要に応じて手動でハイビームとロービームを切り換えてください。

カメラが認識できる範囲や距離は周囲の状況により変化します。

フロントガラス上部に装備されているカメラの取り扱いについては下記を参照してください。
➡ **フロントセンサーカメラ** P.253

オートハイビームを正しく動作させるために次のことをお守りください。

- インストルメントパネルの上に光を反射するものを置かない
- カメラ付近のガラスはきれいにしておく
- フロントガラスのお手入れのときは、ガラスクリーナーがレンズに付着しないようにする
- カメラ付近のガラスにアクセサリー、ステッカーやフィルムを取り付けない
- カメラのレンズに触れない

カメラに強い衝撃が加わったときやカメラ周辺の修理を行うときは Honda 販売店にご相談ください。

■ハイビーム / ロービームの自動切り換え

オートハイビームが作動しているとき、以下の条件によりハイビームとロービームが自動で切り換わります。

ハイビームへの切り換え：	ロービームへの切り換え：
以下の条件をすべて満たすとハイビームに切り換わります。 • 車速が 30km/h 以上 • 前方にライトを点灯した車両がいない • 前方に街灯などの光が少ない	以下の条件のいずれかを満たすとロービームに切り換わります。 • 車速が 24km/h 以下 • 前方にライトを点灯した車両がいる • 前方に街灯などの光が多い

■ハイビーム / ロービームの手動切り換え

ハイビームとロービームを手動で切り換えたい場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。このとき、オートハイビーム表示灯が消灯し、オートハイビームが停止します。

レバーによる操作：

レバーを手前(パッシングの位置)に引いた後すぐに手を放す。または、レバーを前方(ハイビームの位置)に押す。

▶ オートハイビームを復帰させる場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。

- レバーを手前(パッシングの位置)に引いた後すぐに手を放す
- レバーがロービームの位置のときにライトスイッチを≡Dに回した後、AUTOに戻す

  このとき、オートハイビーム表示灯が点灯します。

ライトスイッチによる操作：

ライトスイッチを≡Dに回す。

▶ オートハイビームを復帰させる場合は、レバーがロービームの位置のときにライトスイッチを AUTO に戻してください。このとき、オートハイビーム表示灯が点灯します。

≫ハイビーム / ロービームの自動切り換え

次のような場合、ヘッドライトの切り換えタイミングが変化したり適切に切り換えが行われない場合があります。運転者の感覚に合わない場合は手動で切り換えを行ってください。

- 対向車や先行車のランプが明るい場合や暗い場合、片側点灯や無灯火の場合
- 天候の状況(雨、雪、霧、フロントガラスの霜など)
- 周囲にある街灯、電光掲示、信号機などの光源が明るいとき
- 周囲の明るさが連続的に変わるとき
- カーブが多い道、起伏の激しい道路を走行しているとき
- 前方の車両が突然現れたり、適切な方向を向いていないとき
- トランク内に重い荷物を積んで車が傾いているとき
- 車両前方に標識やミラーなどの光を強く反射するものがあるとき
- 中央分離帯、街路樹などで対向車が見え隠れするとき
- 対向車や先行車が二輪車、自転車などのとき

フロントワイパーが高速(HI)作動しているとき、または、フロントセンサーカメラが濃霧と判断しているときは、ロービームが継続します。

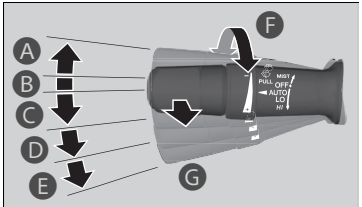
オートハイビーム

オーディオ / インフォメーション画面でオートハイビームの ON/OFF 設定を変更することができます。

➔ 別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

ワイパー/ ウォッシャー

■フロントワイパー/ ウォッシャー



Ⓐ MIST：（レバーを操作している間作動）
Ⓑ OFF：停止
Ⓒ AUTO：自動作動
Ⓓ LO：低速（普通の雨量のとき）
Ⓔ HI：高速（雨量が多いとき）
Ⓕ センサー感度の調節
Ⓖ ウォッシャー

パワーモードが ON モードのときに使用できます。

■MIST

レバーを押し上げている間、高速で作動します。
霧や小雨のときに使用します。

■ワイパースイッチ（OFF、AUTO、LO、HI）

雨量に応じてワイパースイッチを切り換えて使用します。

■ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くと、ウォッシャー液が噴射します。
レバーを 1 秒以上引くとワイパーが作動します。レバーを離すと数回ワイパーが作動して止まります。

≫ワイパー/ ウォッシャー

⚠注意

寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射させない。
ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

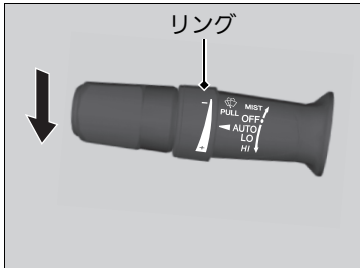
ワイパーを乾拭きさせないでください。
ガラスが傷付いたりブレードラバーを傷めたりします。

アドバイス

ウォッシャー液が出ないときは、スイッチを切ってください。
ポンプ故障の原因となります。

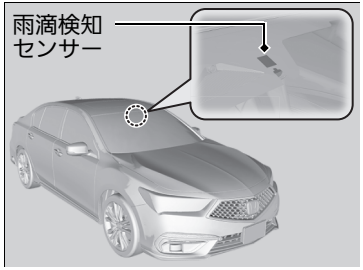
ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
ワイパーモーターの負荷が大きい状態が続いたときなどは、ブレーカーが作動し一時的にワイパーが停止することがあります。
数分経過すると、ブレーカーが復帰し、通常通り使用できるようになります。

■オートワイパー



レバーを AUTO の位置にするとワイパーが 1 回作動し、その後は自動作動に切り換わります。

フロントガラス上部にある雨滴検知センサーが検出した雨滴量に応じて、停止、間欠作動、低速作動、高速作動のいずれかの作動をします。



■センサー感度の調節

リングを回して、雨滴検知センサーの感度を調節します。

低感度：雨滴に対して、より鈍感に反応してワイパーを作動します。

高感度：雨滴に対して、より敏感に反応してワイパーを作動します。

ワイパー/ ウォッシャー

寒冷時、凍結によりワイパーブレードがガラスに張りつくことがあります。

ワイパー故障の原因となりますので、デフロスターやフロントガラス熱線でフロントガラスを暖めてから、ワイパーを作動させてください。

オートワイパー

⚠注意

フロントガラスのお手入れをするときは、レバーを必ず OFF にしてください。

パワーモードが ON モードでレバーが AUTO のとき、雨滴センサー上部のガラス面に手で触れたり、布で拭き取ったりすると、ワイパーが作動することがあり、手をけがしたりワイパーが損傷するおそれがあります。

ワイパー作動中に雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してください。

ワイパースイッチを OFF、パワーモードをアクセサリーモードまたは OFF モードにしてから、ワイパーが作動できるように障害物を取り除いてください。

次ページに続く

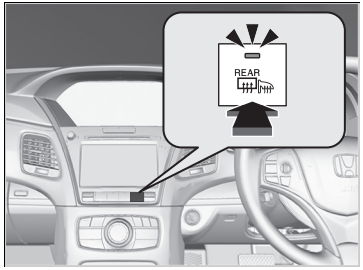
オートワイパー

レバーを AUTO の位置にしたときのワイパーの作動を以下のようにカスタマイズすることが可能です。

- オート：フロントガラスへの雨滴量に応じて間欠 / 低速 / 高速作動を自動で調整します。
- 車速連動：間欠時間はリングをまわして調節できます。また、車速が速くなると間欠時間が停止時より数秒短くなります。
- 間欠動作：間欠時間をリングをまわして調節できます。

別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラー/ フロントガラス熱線スイッチ



パワーモードが ON モードのときにスイッチを押すと、リヤガラスとドアミラーを暖めて、曇りをとることができます。
また、フロントガラスの右端と下端を暖め、雪の固着や凍結によるワイパーブレードラバーの損傷を防ぐことができます。

外気温に応じて約 10 ～ 30 分経過すると、システムは自動的に停止します。ただし、外気温が 0℃以下のときは自動的に停止しません。

リヤデフロスター/ ヒーテッドドアミラー/ フロントガラス熱線スイッチ

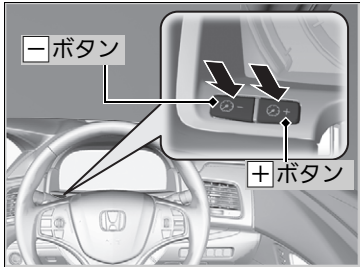
この装置は消費電力が大きいので、曇りが取れたら OFF にしてください。
また、パワーシステムが停止しているときに長時間使わないでください。12V バッテリー容量が低下し、パワーシステムの起動に影響することがあります。

パワーモードをON モードにしたとき、外気温が5℃以下の場合、ヒーテッドドアミラーのみ約 10 分間作動することがあります。

外気温が 4 ℃以下の場合、フロントデフロスターを作動させると、フロントガラス熱線が作動することがあります。
フロントガラス熱線は、フロントデフロスターを停止するか、外気温が6℃以上になると自動的に停止します。

イルミネーションコントロール

■インストルメントパネル



車外の明るさに応じて、メーター内の照明の明るさが自動で変化します。

- 周囲が暗いときは照明が暗くなる
- 周囲が明るいときは照明が明るくなる

■手動で明るさを調節する

メーター内の明るさを手動で調節することができます。

明るくする：＋ボタンを押す

暗くする：−ボタンを押す

▶ 周囲が明るいときも設定変更はできますが、画面の明るさが変わらないことがあります。

■明るさ調節表示

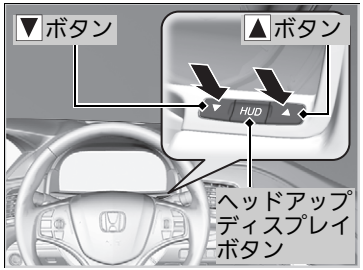
＋/−ボタンを押すとマルチインフォメーションディスプレイが明るさ調節表示に切り換わります。

目盛が右に増えていくほど、メーター照明が明るくなります。

イルミネーションコントロール

明るさの調節後、数秒経過するとマルチインフォメーションディスプレイが元の表示に戻ります。

■ヘッドアップディスプレイ



車外の明るさに応じて、ヘッドアップディスプレイの明るさが自動で変化します。

- 周囲が暗いときは表示が暗くなる
- 周囲が明るいときは表示が明るくなる

■手動で明るさを調節する

ヘッドアップディスプレイの明るさを手動で調節することができます。マルチインフォメーションディスプレイに明るさ調整表示が表示されるまでヘッドアップディスプレイボタンを長押しします。

明るくする：▲ボタンを押す

暗くする：▼ボタンを押す

▶周囲が明るいときも設定変更はできますが、画面の明るさが変わらないことがあります。

■明るさ調節表示

目盛が右に増えていくほど、ヘッドアップディスプレイが明るくなります。

ヘッドアップディスプレイ

インフォメーション(ⓘ)ホイールを操作すると、画面が切り替わります。

明るさの調節後、数秒経過するとマルチインフォメーションディスプレイが元の表示に戻ります。

ドライビングポジションシステム

シート(ランバーサポート以外)、ハンドルおよびドアミラーの位置を2種類記憶させ、それぞれの位置に自動で調節させることができます。

Honda スマートキーで解錠して運転席ドアを開けると、DRIVER1 のキーと DRIVER2 のキーを判別して、マルチインフォメーションディスプレイに表示し、記憶したシートおよびドアミラー位置に自動で調節されます。

DRIVER1 で解錠して運転席ドアを開けたとき：メモリーボタン 1 で記憶したドライビングポジションに自動調節

DRIVER2 で解錠して運転席ドアを開けたとき：メモリーボタン 2 で記憶したドライビングポジションに自動調節

■シート / ステアリング自動乗降モード

乗車や降車をしやすくするため、以下の条件のときに運転席が後ろに下がります。

- 停車したとき
- シフトポジションを P にしたとき
- パワーモードを OFF モードにしたとき
- 運転席ドアを開けたとき
- メモリーボタン(1 または 2)の記憶位置が最後部以外のとき

パワーモードをアクセサリーモードにすると、シートとハンドルは記憶された DRIVER1 または 2 の位置に調節されます。

▶ドライビングポジションシステム

カスタマイズ機能について

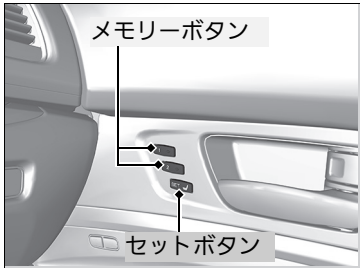
オーディオ / インフォメーション画面を使ってドライビングポジションシステムの作動をカスタマイズすることができます。

➡ 別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

以下のとき、シート / ステアリング自動乗降モードは作動しません。

- 車速が 5km/h 以上になったとき
- シートが移動しているときに、メモリーボタン(1 または 2)を押したとき
- シートが移動しているときに、シート位置を調節したとき
- メモリーボタン(1 または 2)の記憶位置が最後部であるとき

■記憶のさせかた



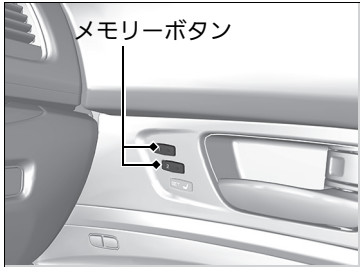
1. パワーモードを ON モードにし、運転席シート、ハンドルおよびドアミラーを希望の位置に調節します。
2. セットボタンを押す。
▶「ピッ」と音が鳴り、メモリーボタンの表示灯が点滅します。
3. セットボタンを押してから5秒以内にメモリーボタンの1か2を「ピッピッ」と音が鳴るまで押す。
▶記憶されると押したボタンの表示灯が点灯します。

記憶のさせかた

セットボタンを押した後、以下のような状況になったときは記憶操作がキャンセルされます。

- 5 秒経過してもメモリーボタンを押さなかったとき
- シート位置、ドアミラー、ハンドルを調節したとき
- パワーモードを ON モード以外にしたとき

■記憶の呼び出しかた



1. シフトポジションを P にする。
2. メモリーボタン(1 または 2)を押す。
▶「ピッ」と音が鳴り、表示灯が点滅します。

記憶させた位置までシート、ハンドルおよびドアミラーが自動的に移動し、移動が完了すると「ピッピッ」と音が鳴り、表示灯が点灯します。

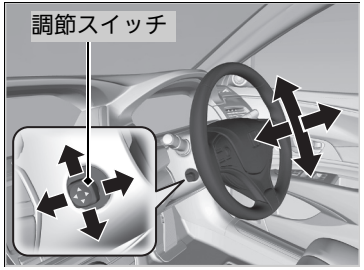
記憶の呼び出しかた

自動でシートが移動しているときに、以下のような操作を行うとシートの移動が止まります。

- セットボタン、またはメモリーボタン(1 または 2)を押したとき
- シート位置、ドアミラー、ハンドルを調節したとき
- シフトポジションを P 以外にしたとき

ハンドルの調節

適切な運転姿勢で無理なくハンドルを握れるように、ハンドルの位置を調節することができます。



調節スイッチを押し続けると、ハンドルが上下前後方向に移動します。

調節した位置で、メーターや表示灯が見えることを確認してください。

ハンドルの調節

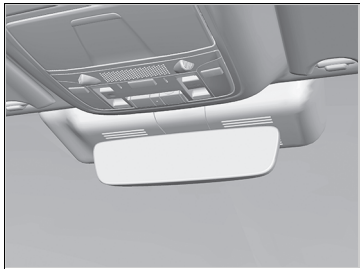
⚠注意

走行中にハンドル位置を調節しない。
走行中に調節すると、ハンドル位置が動き、正確なハンドル操作ができないことがあり、衝突して重大な傷害を負うおそれがあります。ハンドルの調節は、必ず停車中に行ってください。

ルームミラー

ルームミラーの角度は、正しい運転姿勢ですわった位置でミラーを調節してください。

■自動防眩ミラー/ ドアミラー



夜間走行時、後続車のヘッドライトの反射を自動的に弱くできます。
パワーモードがON モードのときに作動します。

ミラー類の調節

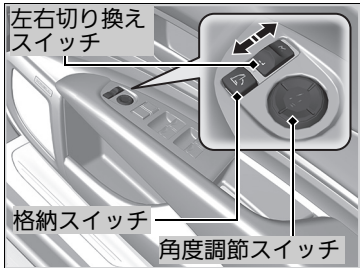
ミラー類の調節は走行前に行ってください。

ルームミラーおよびドアミラーが汚れている場合は、ミラーを清掃してください。

自動防眩ミラー/ ドアミラー

シフトポジションを R に入れているときは、自動防眩ミラー/ ドアミラーは解除されます。

ドアミラー



ドアミラーの操作は、パワーモードが ON モードのときに行います。

■角度調節

左右切り換えスイッチ：右か左を選択するスイッチです。角度調節後、中央の位置に戻します。

角度調節スイッチ：上下左右に鏡面を動かすスイッチです。

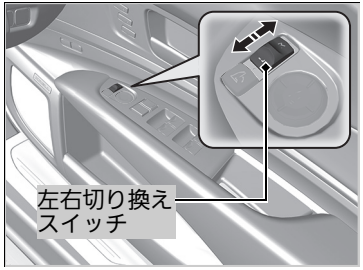
■格納

格納スイッチを押すごとに ON と OFF が切り換わります。

	格納スイッチの状態	ミラーの状態
ON		
OFF		

■リバース連動ドアミラー

後退時、車両の側面の視界をよりよく確保するため、シフトポジションの R と連動して左右どちらかのドアミラーが自動的に下向きになります。



パワーモードがONモードで、ドアミラーの左右切り換えスイッチが左右どちらかにあることを確認します。

シフトポジションを R の位置にすると、ドアミラーが下向きになります。

シフトポジションを R 以外の位置にすると元の位置に戻ります。

■オートリトラミラー

キーレスエントリーシステムや Honda スマートキーシステムでのドアの施錠や解錠に連動して、パワーモードが OFF モードの状態でも、ドアミラーの格納や元の状態への復帰が行えます。

格納するとき：

- Hondaスマートキーの施錠ボタンもしくはHondaスマートキーを携帯し、ドアのロックボタンを押してください。

元の位置に戻すとき：

- Hondaスマートキーの解錠ボタンもしくはHondaスマートキーを携帯しドアを解錠してください。
- パワーモードを ON モードにする

リバース連動ドアミラー

次の場合にも、ミラーが元の位置に戻ります。

- 左右切り換えスイッチを中央の位置にしたとき
- パワーモードを ON モード以外にしたとき

リバース連動ドアミラーは、ドアミラーの左右切り換えスイッチが中央の位置にあるときは作動しません。作動させるには左右切り換えスイッチを左右どちらかにしてください。

オートリトラミラー

オーディオ / インフォメーション画面を使ってオートリトラミラー機能をカスタマイズすることができます。

別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

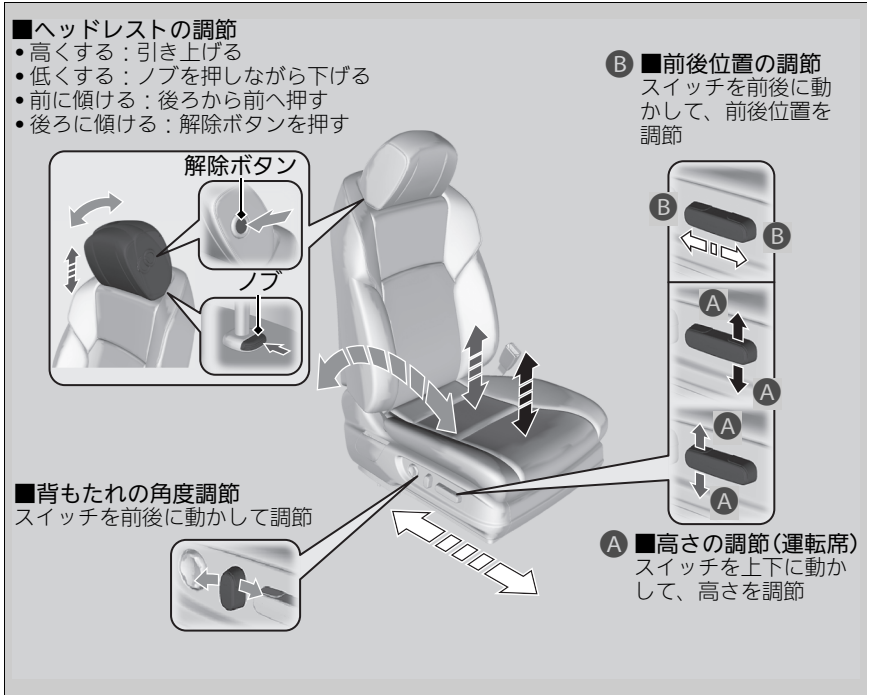
格納スイッチを押してドアミラーを格納した場合、オートリトラミラー機能ではドアミラーを元の位置に戻せません。

ロックノブまたはマスタードアロックスイッチを使用し、車両内側から施錠した場合、オートリトラミラー機能は作動しません。

フロントシート

運転者は、正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。
正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドル操作が楽にできる姿勢をいいます。

■シートの動かしかた



»シートの動かしかた

⚠注意

走行中にシートの調節はしない。
走行中に調節すると思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行前に行ってください。

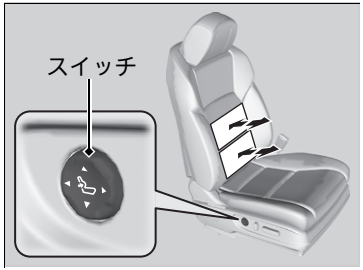
シートを操作するときは、手や足などをはさまないように十分注意する。

フロントシートの下にものを置かない。
物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントシートは、エアバッグからなるべく離れた位置に調節してください。

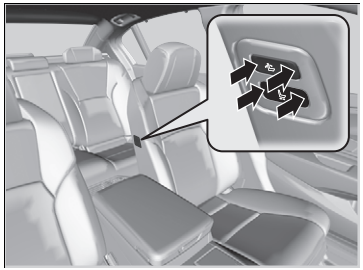
同乗者もシートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

■ランバーサポートの調節



シート腰部の固さを調節できます。
上部を硬くする：スイッチを上側に押す
下部を硬くする：スイッチを下側に押す
▶ 上部はやわらかくなります。
全体を硬くする：スイッチを前側に押す
全体をやわらかくする：スイッチを後ろ側に押す

■後席や運転席からの助手席の調節



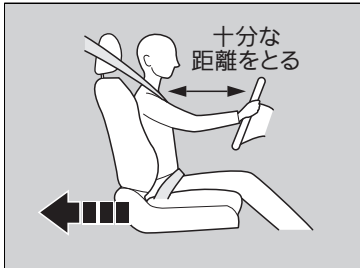
助手席の背もたれと前後位置は、後席や運転席から調節できます。
背もたれを起こす：スイッチの前側を押す
背もたれを倒す：スイッチの後ろ側を押す
前方へ調節する：スイッチの前側を押す
後方へ調節する：スイッチの後ろ側を押す

シートの動かしかた

サイドエアバッグがシートカバーによっては、正常に機能できなくなります。
フロントシートへのシートカバー装着にあたっては Honda 販売店にご相談ください。

次ページに続く

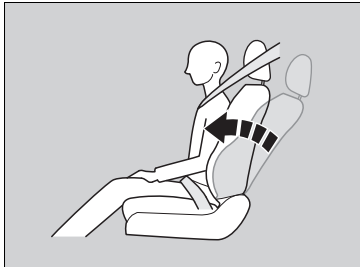
■フロントシートの調節



■シート位置の調節

運転者とハンドルとの間に十分な距離をとれるように、シートをできるだけ後ろに下げます。

助手席の同乗者のシートも同様に、ダッシュボードのSRSエアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げます。



■背もたれ角度の調節

シートに深く腰かけ、楽な姿勢ですわれるように背もたれを起こし調節します。

助手席の同乗者のシートも同様に、楽な姿勢ですわれるように背もたれ角度を調節します。

フロントシートの調節

⚠警告

SRS エアバッグからできるだけ離れた位置までシートを下げる。
ハンドルやダッシュボードに近づきすぎると、フロントエアバッグが膨らむ際に重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

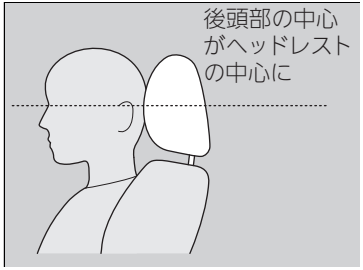
背もたれを必要以上に倒さない。
背もたれを必要以上に倒すと、衝突したときに重大な傷害を受けたり、死亡したりするおそれがあります。

⚠注意

背もたれと背中の間にクッションなどを入れない。
正しい運転姿勢がとれません。また、シートベルトなどの効果が十分に発揮されません。

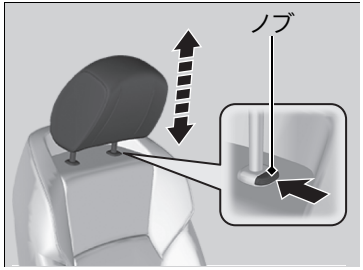
ヘッドレスト

■フロントシート、リヤシート(外側)ヘッドレストの調節



後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調節します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。
低くするとき：ノブを押しながら下げます。



≫ヘッドレスト

⚠警告

ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。
ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッドレストの効果が低くなり、衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

ヘッドレストを外した状態で走行しない。
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

ヘッドレストのステーにテーブル、テレビなどの用品を取り付けない。
万一追突されたときにアクティブヘッドレストの機能が損なわれるおそれがあります。

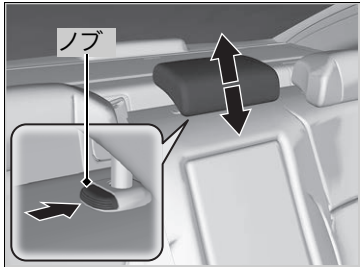
次ページに続く

■ヘッドレストの傾き調節

フロントシートのヘッドレストは、姿勢に合わせ傾きを調節してください。

前方へ調節するとき：ヘッドレストを後ろから前へ押します。
後方へ調節するとき：ヘッドレストの後ろを手で支えながら解除ボタンを押します。

■リヤシート(中央)ヘッドレストの位置変更



乗車するときは、走行する前にヘッドレストを引き上げて、確実に固定します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げます。
低くするとき：ノブを押しながら下げます。

リヤシート(中央)ヘッドレストの位置変更

⚠警告

リヤシート(中央)のヘッドレストを下げた状態で走行しない。
衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

■ヘッドレストの取り外しと取り付け

ヘッドレストは、掃除や修理のために取り外すことができます。

ヘッドレストの取り外し：
ヘッドレストを引き上げ、ノブを押して取り外します。

ヘッドレストの取り付け：
ヘッドレストの脚を元の位置に差し込んでください。ノブを押しながらヘッドレストの位置を適切な位置に合わせてください。ヘッドレストを軽く上下させ、確実に固定します。

アームレスト

■リヤシートアームレストの操作

前に倒して使用します。

≫アームレスト

⚠警告

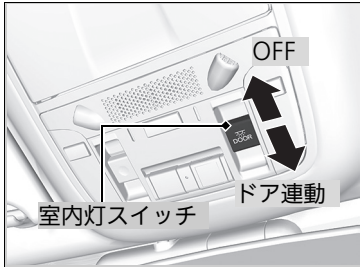
シートベルト着用時にアームレストに引っかけない。
万一のときにシートベルトの機能が発揮できず、重大な傷害を負うおそれがあります。

アドバイス

アームレストに腰をかけたり荷物を載せるなどの大きな力を加えないでください。
アームレストが破損するおそれがあります。

室内灯

■室内灯スイッチ



■ON
ドアの開閉に関係なく室内灯が点灯。

■ドア連動
以下のときに室内灯が点灯
- いずれかのドアを開けたとき
- 運転席ドアを解錠したとき
- パワーモードを OFF モードにしたとき

■OFF
ドアの開閉に関係なく室内灯が消灯。

» 室内灯

ドア連動で室内灯が点灯している場合は、ドアを閉めると約30 秒後に減光しながら消灯します。

以下の場合も約 30 秒後に消灯します。
- 運転席ドアを解錠してドアを開けなかったとき
- パワーモードをOFFモードにしてドアを開けなかったとき

室内灯の消灯する時間をカスタマイズすることができます。

➡ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

また、以下の操作を行うと室内灯はすぐに消灯します。
- 運転席のドアを施錠したとき
- パワーモードがOFFモード以外の状態でドアを閉めたとき
- パワーモードを ON モードにしたとき

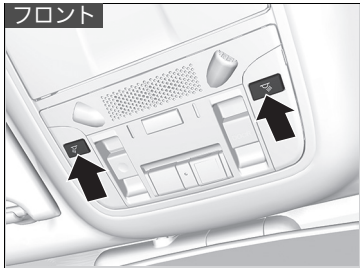
パワーモードが OFF モードのときにいずれかのドアを開けたままにすると、約 15 分後に室内灯は消灯します。

12V バッテリーが上がる恐れがあるため、パワーシステムが停止しているときは室内灯を長時間点灯させないでください。

次ページに続く

■マップランプスイッチ

フロント



リヤ

夜間、車を停めて地図を見るときなどに使用するライトです。

スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

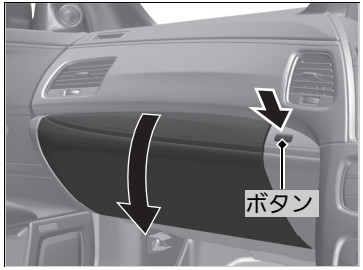
マップランプスイッチ

以下のときスイッチを押しても消灯できません。

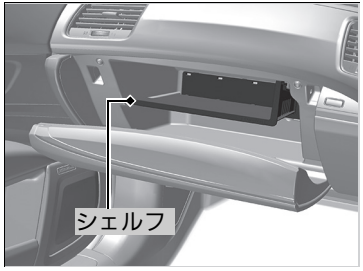
- 室内灯スイッチが ON のとき
- 室内灯スイッチがドア連動のときで、ドアが開いているとき

収納装備

■グローブボックス

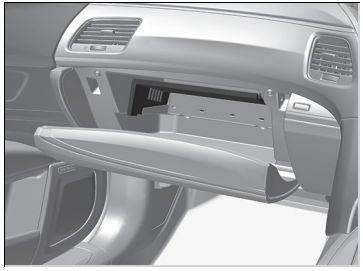


ボタンを押すと開きます。



■シェルフ

グローブボックス内にあるシェルフは、手前に引き抜いて取り外すことができます。



取り外したシェルフは反対向きにして取り付けることもできます。

次ページに続く

グローブボックス

⚠警告

走行中は必ずグローブボックスを閉める。
グローブボックスが開いていると、衝突したときに同乗者が重大な傷害を負うおそれがあります。

インジケータが点灯しているとき、グローブボックス照明灯が点灯します。

■バレット機能

オンデマンド・マルチユース・ディスプレイからパスワードを入力して、グローブボックス、トランクやナビシステムをロックすることができます。

ロックする：

1. ショートカットを選択する。
2. バレットを選択する。
3. ロックエリアからパスワードで保護させたい項目を選択し、決定を選択する。

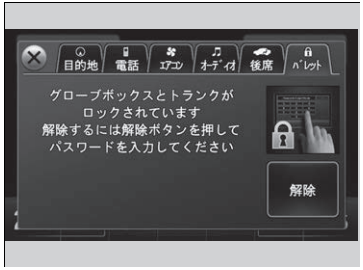
▶▶バレット機能

他人にキーを渡す必要があるときは、リヤシート(中央)の背もたれ内のカバーをロックして、内蔵キーを取り出したスマートキーをバレットキーとして渡してください。

➔ **トランクが開かないとき** P.491

4. 前回のパスワードが表示されるので、決定を選択する。
▶確認メッセージがディスプレイに表示されますので、決定を選択します。

初めてパスワードを入力するとき、またはパスワードを変更したいとき：
1. ショートカットを選択する。
2. バレットを選択する。
3. ロックエリアからパスワードで保護させたい項目を選択し、決定を選択する。
4. 4桁のパスワードを入力し、 決定を選択する。
5. 同じパスワードを再入力し、決定を選択する。
▶確認メッセージがディスプレイに表示されますので、決定を選択します。



解錠する：
1. バレットを選択する。
2. 解錠を選択する。
3. 設定した4桁のパスワードを入力し、決定を押す。

バレット機能

以下のボタンを押したときにも、パスワード入力画面が表示されます。
- グローブボックスオープンボタン
- 運転席ドア、トランク、またはスマートキー(グローブボックスまたはトランクがパスワード保護されている場合)のトランク解錠ボタン

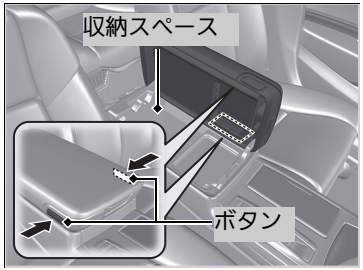
ナビゲーション、電話、オーディオの項目をロックすると、パワーモードがアクセサリーモードのときにパスワード入力画面が表示されます。

パスワードを忘れたときは：
グローブボックス、またはトランクをロックしたときは、トランクをトランク解錠ハンドルで開けると、すべての項目のバレット機能を解除できます。
➡ **トランクが開かないとき** P.491

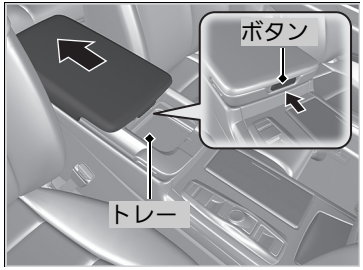
ナビゲーション、電話、オーディオの項目のみをロックしたときは、トランク解錠ハンドルではバレット機能を解除できません。パスワードを忘れた場合は、Honda 販売店にご相談ください。

次ページに続く

■スリーアクセスコンソール



収納スペース、トレーがあります。
左右にボタンがあります。開きたい方のボタンを押してフタを開けます。



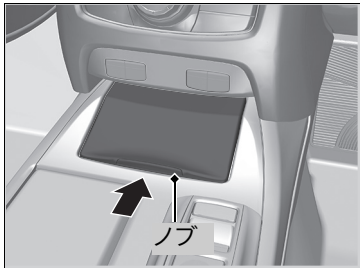
トレーに小物をおくことができます。
前側のボタンを押すとフタが開きます。
もう一度押すと自動的に閉まります。

スリーアクセスコンソール

インジケータが点灯しているとき、コンソールボックス照明灯が点灯します。

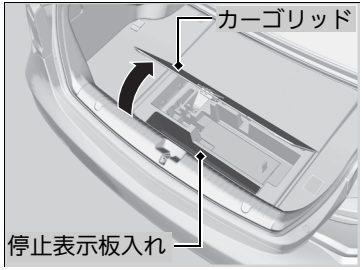
アームレストとして使用することもできます。

■センターポケット



ノブを押してフタを開けます。
再度ノブを押し込むと自動的に戻ります。

■停止表示板入れ



カーゴリッドの下に停止表示板入れがあります。

≫センターポケット

⚠注意

灰皿として使用しない。
灰皿として使用すると、タバコなどの火により、車両火災につながるおそれがあります。

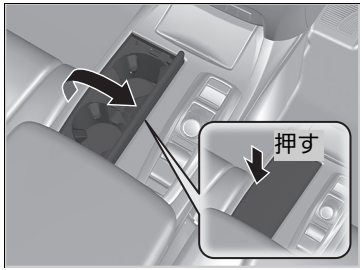
≫停止表示板入れ

収納可能な停止表示板のサイズは以下の通りです。

- 長さ …545mm 以下
- 高さ …130mm 以下
- 幅 …50mm 以下

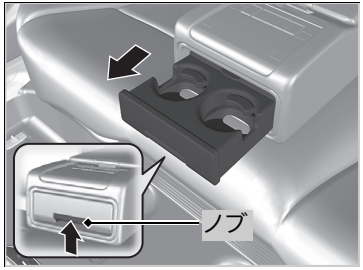
次ページに続く

■ドリンクホルダー



■フロントシート用ドリンクホルダー

矢印部を押すとフタが開きます。
下に押して閉めます。



■リヤシート用ドリンクホルダー

リヤシートアームレストにあります。
ノブを押し込むと自動的に出てきます。

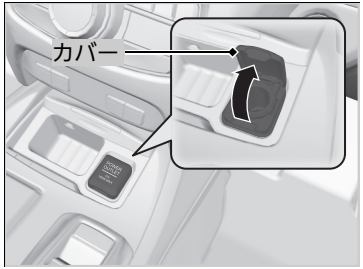
▶ドリンクホルダー

⚠注意

飲みものなどを電装品にこぼさないように注意する。
スイッチなどの電装品に飲みものがかかると故障の原因となったり車両火災につながったりするおそれがあります。

その他の室内装備品

■アクセサリーソケット

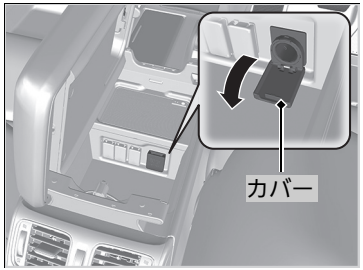


パワーモードがアクセサリーモードまたはON モードのときに使用できます。

■センターポケットのアクセサリーソケット

センターポケットのフタを開けてからカバーを開けて使います。

➔ センターポケット P.195



■スリーアクセスコンソールのアクセサリーソケット

スリーアクセスコンソールのフタを開けてからカバーを開けて使います。

➔ スリーアクセスコンソール P.194

アクセサリーソケット

⚠注意

アクセサリーソケットや USB ジャックなどの電装品に液体がかかったり、異物が入ったりしないように注意する。

電装品に水がかかったり、ゴミやほこりなどの異物が入ったりすると故障の原因となったり車両火災につながったりする恐れがあります。

消費電力 180W(15A)以下のアクセサリーに、直流 12V の電源を供給します。

シガレットライターは差し込まないでください。

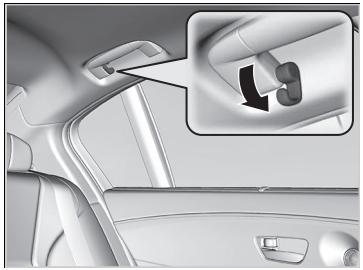
発熱するおそれがあります。

12V バッテリーあがりを防ぐため、パワーシステムが起動している状態でご使用ください。

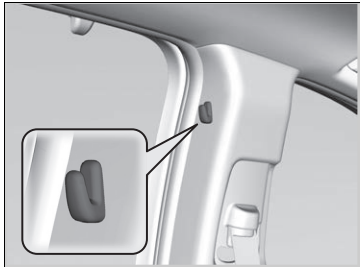
使用しないときは異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。

次ページに続く

■コートフック



リヤシート両側のグラブレールに付いています。
回転させて使います。



両側のドアピラーに付いています。

▶コートフック

⚠注意

グラブレールにものをかけたり、コートフックに重いものやとがったものをかけたりしない。
サイドカーテンエアバッグが正常に作動しなかったり、作動時にものが飛んだりしてけがをするおそれがあります。

■サングラスボックス

矢印部を押すと開きます。
もう一度押すと格納されます。

サングラスなどを入れることができます。

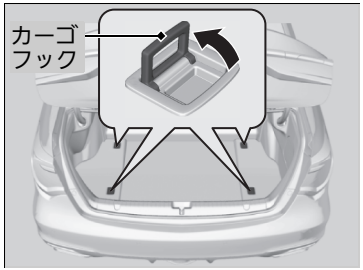
サングラスボックス

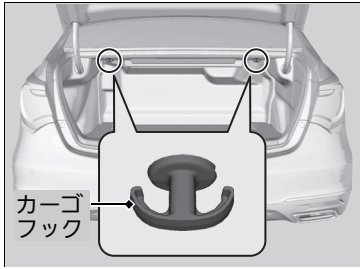
炎天下での駐車は高温になりますので、メガネなどを入れたままにしないでください。
レンズやフレームが、変形やひび割れをおこすことがあります。

開閉は停車中に行い、走行中は必ず閉めておいてください。

次ページに続く

■カーゴフック





カーゴフックは市販のカーゴネットを使用して、収納したものを固定しておくときに便利です。

≫カーゴフック

アドバイス

重い荷物はできるだけ前に積んでください。
荷物を積むとき、荷重が1か所に集中しないように配置してください。

■電動リヤサンシェード

パワーモードがONモードのとき、スイッチを押すごとに上昇 / 下降します。
シフトポジションを[R]にすると自動的にリヤサンシェードが下降します。

▶ 15km/h 以上で走行、またはシフトポジションを[P]にすると、サンシェードは元の位置に戻ります。

パワーモードをOFFモードにしても、約1分間はサンシェードを操作できます。

次ページに続く

電動リヤサンシェード

⚠警告

リヤサンシェードに手をかけない。
巻き込まれてけがをするおそれがあります。また、故障の原因となり、後方の視界を確保できなくなるおそれがあります。

アドバイス

リヤシェルフの上に荷物を置いたり、リヤサンシェードに無理な力を加えないでください。
故障の原因になります。

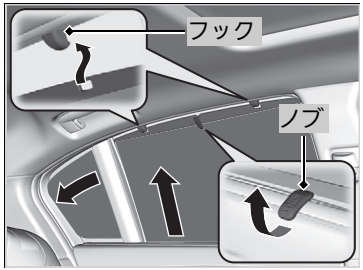
リヤサンシェードの操作中に、途中で止まった場合は、障害物の有無を確認してください。

頻繁に上昇 / 下降を繰り返すと、一時的に作動が停止することがあります。
故障ではありませんので、数秒後にスイッチを押して操作を再開してください。

お手入れの際は、フレームやスクリーンを強く引っ張らないように汚れを落としてください。

リヤサンシェードが動かなくなった場合はHonda販売で点検を受けてください。

■リヤドアサンシェード



ノブを持って引き上げて使います。
フックにかけます。

▶リヤドアサンシェード

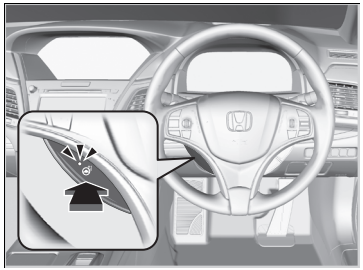
⚠注意

リヤドアサンシェードは、ウィンドーを開けたまま使用しない。
風にあおられるなどしてリヤドアサンシェードがフックから外れて、けがをするおそれがあります。

以下の場合、サンシェードが破損するおそれがあります。

- 斜めに収納したり、勢いよく収納する
- フックにかけたままスクリーン部分をめくる

■ステアリングヒーター



パワーモードが ON モードのときに使用できます。
スイッチを押すと表示灯が点灯し、ハンドルを暖めることができます。停止するときは、再度スイッチを押し、表示灯を消します。

ステアリングヒーター

⚠注意

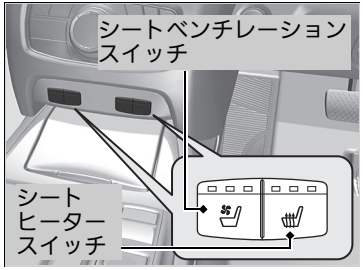
低温やけどに注意する。
次のようなかたは、低温やけどに十分注意してください。

- 乳幼児、お年寄り、体の不自由なかた
- 皮膚の弱いかた
- 疲労の激しいかた

この装置は消費電力が大きいので、パワーシステムが停止しているときは長時間使わないでください。
12V バッテリーの容量が低下し、パワーシステムの起動に影響することがあります。

次ページに続く

■フロントシートヒーター/ ベンチレーション



パワーモードがONモードのときに使用できます。
シートヒーター：シートを暖めたいときに使用します。
シートベンチレーション：シート表面を通気させたいときに使用します。冷房を作動させながら使用するとシートの温度が下がりやすくなります。
スイッチを押すたびに設定が切り換わります。
1回目 - 強 / 高：インジケーターが3個点灯
2回目 - 中 / 中：インジケーターが2個点灯
3回目 - 弱 / 低：インジケーターが1個点灯
4回目 -OFF：インジケーターが消灯

パワーモードを一度OFFモードにしてから再度ONモードにしても、前回と同じ設定で復帰します。

▶フロントシートヒーター/ ベンチレーション

⚠注意

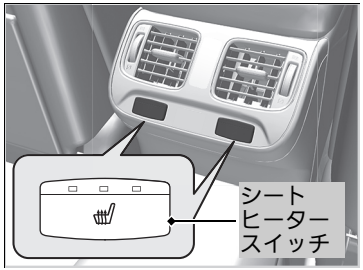
低温やけどに注意する。
次のようなかたは、低温やけどに十分注意してください。
- 乳幼児、お年寄り、体の不自由なかた
- 皮膚の弱いかた
- 疲労の激しいかた

また、毛布などの保温性の高いものをかけて使用すると低温やけどをすることがあります。

この装置は消費電力が大きいので、パワーシステムが停止しているときは長時間使わないでください。
12V バッテリーの容量が低下し、パワーシステムの起動に影響することがあります。

一定時間経過するとシートヒーターの設定が自動で 1 段階低くなり、最終的に OFF になります。
設定が自動で低くなるまでの時間は室内温度などによって異なります。

■リヤシートヒーター



パワーモードがONモードのときに使用できます。

中央のリヤシートにはヒーターが付いていません。
スイッチを押すたびに設定が切り換わります。
1回目 - 高：インジケーターが3個点灯
2回目 - 中：インジケーターが2個点灯
3回目 - 低：インジケーターが1個点灯
4回目 -OFF：インジケーターが消灯

≫リヤシートヒーター

⚠注意

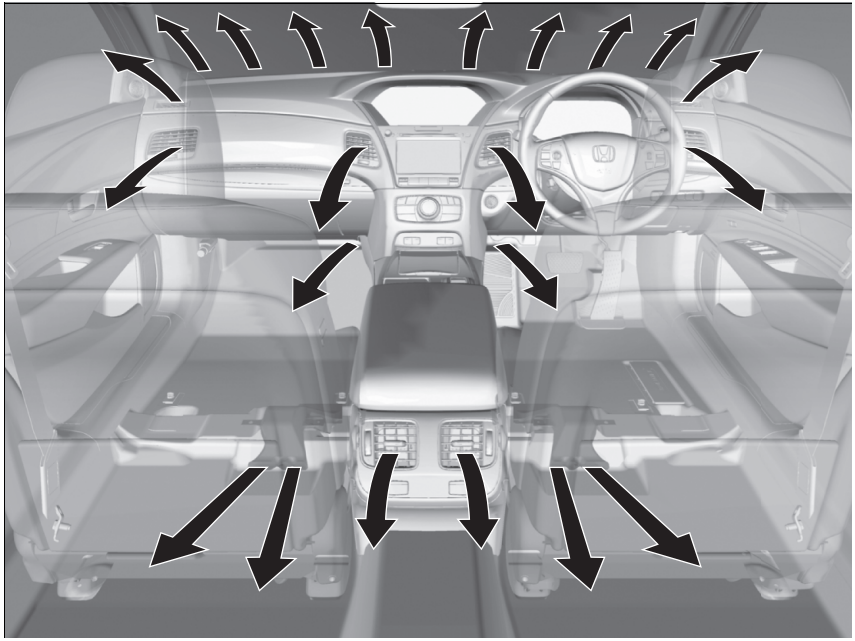
低温やけどに注意する。
次のようなかたは、低温やけどに十分注意してください。
- 乳幼児、お年寄り、体の不自由なかた
- 皮膚の弱いかた
- 疲労の激しいかた

また、毛布などの保温性の高いものをかけて使用すると低温やけどをすることがあります。

この装置は消費電力が大きいので、パワーシステムが停止しているときは長時間使わないでください。
12V バッテリーの容量が低下し、パワーシステムの起動に影響することがあります。

一定時間経過するとシートヒーターの設定が自動で1段階低くなり、最終的にOFFになります。
設定が自動で低くなるまでの時間は室内温度などによって異なります。

エアコンの吹き出し口



オートエアコンの使いかた

パワーシステムを起動した状態で使用します。

1. AUTO を押す。

2. 運転席側 / 助手席側温度調節スイッチで温度を設定する。

3. 停止するときは、ON/OFFを押す。

オンデマンド・マルチユース・ディスプレイの画面からも操作ができます。

次ページに続く

オートエアコンの使いかた

オート(AUTO)で使用中いずれかのスイッチを押すと、押したスイッチの機能が優先されます。

このとき「AUTO」の表示灯は消灯しますが、押したスイッチ以外の機能は自動制御されます。

外気温が低いときは、冷風の吹き出しを防ぐため、 AUTO を押してもすぐにファンが回転しないことがあります。

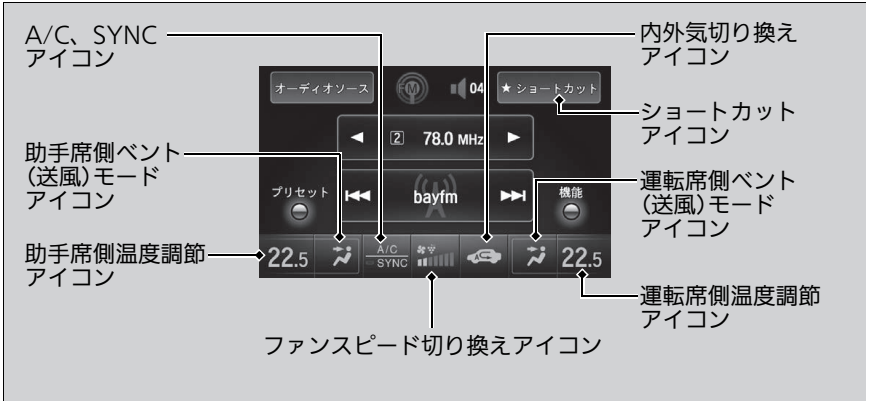
炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

ON/OFFを押すたびに ON や OFF に切り換わります。ON すると OFF する前の状態に戻ります。

Honda スマートキーで解錠すると、Driver 1のキーとDriver 2のキーを判別し、パワーモードをONモードにすると記憶したエアコン設定に自動で調整されます。

高電圧バッテリーの充電量が低下すると、エアコンの効きが弱くなることがあります。

■オンデマンド・マルチユース・ディスプレイ



オートエアコンの使いかた

エアコン設定を 2 種類記憶させ、オンデマンド・マルチユース・ディスプレイを使ってそれぞれの設定を呼び出すことができます。
また、後席エアコンの温度設定もできます。

ショートカット P.213

■温度設定の変えかた

運転席側または助手席側の温度調整アイコンを選択します。
以下の方法で設定してください。

温度調節バー：希望の温度設定の位置を選択
左に行くほど温度が低く、右に行くほど温度が高くなる。

▲/▼: 1 回押すごとに 0.5 ℃ずつ温度が上昇 / 下降

▲/▼を押し続けると、温度が連続して上昇 / 下降

MAX COOL ON/OFF：急速に室内を冷やしたいときに選択

▶ AUTO スイッチのインジケーターが点灯します。再度選択すると、前の設定に戻ります。

MAX HEAT ON/OFF：急速に室内を暖めたいときに選択

▶ AUTO スイッチのインジケーターが点灯します。再度選択すると、前の設定に戻ります。

▩オートエアコンの使いかた

設定温度表示で Lo は最大冷房を、Hi は最大暖房を示します。

MAX COOL/MAX HEAT を選択したときは、それぞれ MAX COOL/MAX HEAT が表示されます。

次ページに続く

■ベント(送風)モードの切り換えかた

1. 運転席側または助手席側のベント(送風)モードアイコンを選択します。

2. 希望のベント(送風)モードアイコンを選択します。

運転席MODE AUTO/助手席MODE AUTOを選択すると、最適な送風モードへ自動的に切り替わる

: 上半身送風、センターコンソールボックス後部から送風

: 足元送風、上半身送風、センターコンソールボックス後部から送風

: 足元送風、センターコンソールボックス後部から送風

: 足元送風、窓ガラスの曇り取り(運転席側のみ)、センターコンソールボックス後部から送風

»ベント(送風)モードの切り換えかた

エアコンを AUTO にすると、運転席 MODE AUTO または助手席 MODE AUTO が選択されます。

■A/C(エアコン)の ON と OFF の切り換えかた

1. A/C を選択する。
2. A/C の ON または OFF を選択する。

■連動作動(シンクロ)モードの切り換えかた

1. SYNC を選択する。
2. 連動作動モードにするには SYNC の ON を、独立モードにするには OFF を選択する。
▶ 連動作動モードにすると、助手席側の設定温度とベント(送風)モードが運転席側と同じ設定になります。
3. 運転席側の温度を調節するか、ベント(送風)モードを変更する。

連動作動(シンクロ)モードの切り換えかた

FRONT ボタンを押すと、連動作動モードに切り換わります。

独立モードの場合は、エアコンの設定温度とベント(送風)モードを運転席側と助手席側で個別に設定できます。

助手席側の設定温度を変更する、またはベント(送風)モードを切り換えた場合も、独立モードになります。

室内の温度は、オートエアコンの各センサーと人工衛星の情報を利用して調節されます。

次ページに続く

■ファンスピードの切り換えかた

ファンスピードレベル
インジケーター

1. を選択する。
2. 以下の方法で設定する。
   ▶ファンスピードレベルインジケーター：ファンスピードを調節します。希望のスピードレベルを選択します。インジケーターが小さいほど遅く、大きいほど速くなります。
   +/−：押すごとにレベルが増減する
3. ファン AUTO を選択すると、最適なファンスピードに自動的に切り換わります。

ファンスピードの切り換えかた

エアコンを AUTO にすると、ファン AUTO が選択されます。

■プラズマクラスター

エアコンもしくは送風に連動してプラズマクラスターも作動し、マークが点灯します。

プラズマクラスター

プラズマクラスターマークおよびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社プラズマクラスターの登録商標です。

■内気／外気の切り換えかた

状況に合わせて、内外気切り換えアイコンを選択します。

（内気循環モード）：トンネルや渋滞などで、汚れた空気を車内に入れたくない場合

（オートモード）：室外の排ガスの状況に合わせて、内気循環と外気導入を自動的に切り換える場合

気温が低いときは窓ガラスの曇りを防ぐために、内気循環に切り換わらない場合があります。

（外気導入モード）：換気を行う場合

■ショートカット

好みのエアコン設定(温度、ファンスピード、送風モード)をショートカットに登録することができます。エアコン設定は2 種類登録することができます。

また、後席エアコンの温度を設定することができます。

内気／外気の切り換えかた

エアコンをAUTOにすると、 が選択されます。

ショートカット

12V バッテリーの交換や消耗などで電源が切れた場合、プリセットメモリーは消去されます。

次ページに続く

■前席エアコン

編集するには：

1. 好みの設定に調節する。
2. ショートカットを選択する。
3. エアコンを選択する。
4. 編集を選択する。
5. 追加を選択する。
6. プリセット 1 またはプリセット 2 を選択する。

設定を呼び出すには：

1. ショートカットを選択する。
2. エアコンを選択する。
3. プリセット 1 またはプリセット 2 を選択する。

プリセットを消去するには：

1. ショートカットを選択する。
2. エアコンを選択する。
3. 編集を選択する。
4. 消去を選択する。
5. プリセット 1 またはプリセット 2 を選択する。

▶前席エアコン

手順3の後、プリセット番号を押し続けても、設定を登録することができます。

設定温度表示で Lo は最大冷房を、Hi は最大暖房を示します。

■後席エアコン

セットするには :

1. ショートカットを選択する。

2. 後席を選択する。

3. 後席側の操作をロックする場合はONを、解除する場合は OFF を選択する。

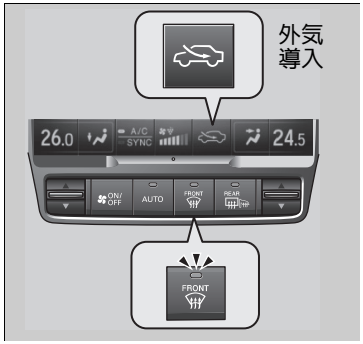
4. エアコンの温度を調節する。

▲/▼ : 1回押すごとに0.5℃ずつ温度が上昇 / 下降

▲/▼を押し続けると、温度が連続して上昇 / 下降

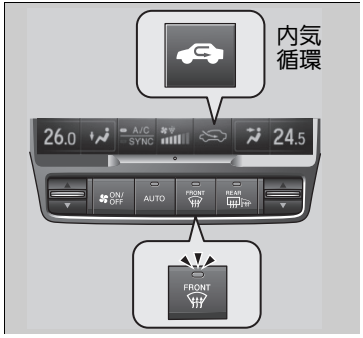
次ページに続く

■前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた



FRONTを押すとエアコンが作動し、自動的に外気導入に切り換わります。

FRONTをもう一度押すと曇り止めが停止し、前の状態に戻ります。



■急速に霜を取りたいとき

1. FRONTを押す。
2. を選択する。

➡ **内気／外気の切り換えかた** P.213

»前面・側面ガラスの曇り止め(デフロスター)の使いかた

安全のため、運転する前に視界が確保されていることを確認してください。

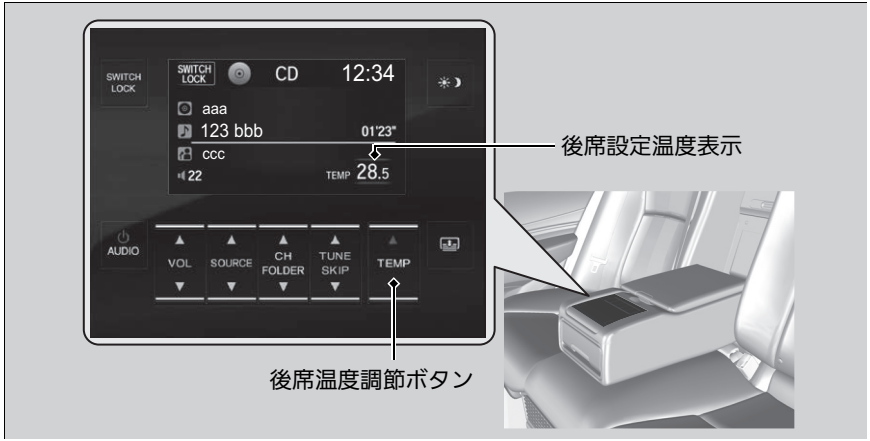
設定温度を最大冷房付近にしないでください。
冷風が前面ガラスに当たると、ガラスの外側が曇ることがあります。

側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風が側面ガラスに当たるよう、側面吹き出し口を調節してください。

»急速に霜を取りたいとき

霜が取れたら、ただちに外気導入またはオートモードに切り換えてください。
内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。

■リヤアームレスト内蔵コントロールパネル



前席のエアコンが ON のときに使用できます。

1. 後席温度調節ボタンで温度設定する。

2. 停止するときは、前席エアコンを OFF にする。

リヤアームレスト内蔵コントロールパネル

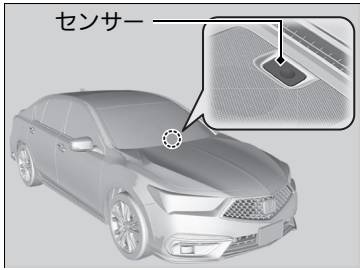
後席の温度調節は独立で制御することができます。

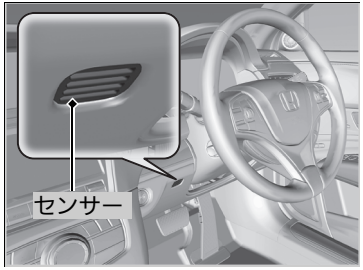
リヤアームレスト内蔵コントロールパネルは、エアコンのほかに電動リヤサンシェードやオーディオの操作ができます。

➡ **電動リヤサンシェード** P.201

オーディオ操作の詳細は、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

オートエアコンのセンサー





オートエアコンには、センサーが付いています。センサーの上にものを置いたり、水をかけたりしないでください。

オーディオ

この章では、オーディオに関する情報を記載しています。

オーディオ装置 220

オーディオ装置

オーディオ・テレビ・DVD の取り扱いについては、別冊の「Honda インターナビシステム」取扱説明書をご覧ください。

運転

この章では、運転操作、給油などについて記載しています。

運転の前に 222
運転操作
パワーシステムの起動..... 225
走行時の注意点 229
トランスミッションについて 232
シフト操作..... 233
SPORT モードスイッチ 240
リアクティブフォースペダル..... 241
車両接近通報装置..... 242
VSA(ビークルスタビリティアシスト)... 243
アジャイルハンドリングアシスト..... 245
SPORT HYBRID SH-AWD (Super Handling All-Wheel-Drive) 246
タイヤ空気圧警報システム(TPMS) .. 247
高電圧バッテリーの特性 249
Honda SENSING Elite
各種センサー 252
Honda SENSING Elite の制限.....258
衝突軽減ブレーキ(CMBS) 264
踏み間違い衝突軽減システム.....272
歩行者事故低減ステアリング.....278
車線変更時衝突抑制機能.....283
路外逸脱抑制機能.....287
先行車発進お知らせ機能.....291
標識認識機能.....295
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC) 301
車線維持支援システム(LKAS).....312
トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能) 318
ハンズオフ機能付車線内運転支援機能 ... 323
ハンズオフ機能付車線変更支援機能 .. 331
ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能 ... 335
トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能) 343
緊急時停車支援機能 352
ソフトウェアの更新と確認..... 355
ブレーキ操作..... 357
駐停車操作 366
マルチビューカメラシステム..... 377
Honda パーキングパイロット..... 389
給油 411

運転の準備

運転を始める前に下記の項目を確認してください。

■車外での確認項目

- 窓やミラーの視界、灯火器類の光をさえぎるものがないか？
  ▶霜、雪、氷が付着している場合は取り除きます。
  ▶屋根に雪が積もっている場合は、走行時に滑り落ちて視界をさえぎる可能性があるため取り除きます。
  氷結しているときは、氷が溶けてから取り除いてください。
  ▶足回りに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないよう注意しながら取り除きます。
- ボンネットは完全に閉まっているか？
  ▶走行中にボンネットが開くと、視界がさえぎられて危険です。
- タイヤは正常か？
  ▶空気圧、亀裂、損傷や異常な摩耗がないか確認します。
  ➡ **タイヤの点検と整備** P.430
- 車の周囲に子供はいないか？
  車の周りに障害物はないか？
  ▶運転席から見えない死角や、バックミラーでは確認できない死角がありますので、乗車する前に確認します。

»車外での確認項目

アドバイス

ドアが凍結しているときは、無理にはがさずお湯をかけて溶かしてください。
無理にはがすと、ドアまわりのゴムがはがれます。お湯をかけた後は、凍結防止のため、水分をよく拭き取ってください。

ドアのキー穴部には、お湯をかけないでください。
凍結すると、キーが差し込めなくなります。

エンジンルーム内に可燃物の置き忘れや、燃えやすいものがないか確認してください。
車両を長期間使用しなかった場合や、メンテナンスの後は、特に注意してください。火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。

■車内での確認項目

- フロアマットがペダルに引っかかっていないか？
- フロアマットが固定されているか？
- フロアマットを重ねていないか？
  ▶ ブレーキやアクセルの操作が確実にできないおそれがあり危険です。
- 積み込んだ荷物が適切に固定されているか？
  ▶ 不適切な荷物の積み込みは、タイヤに負担をかけたり走行中のバランスを維持できず危険です。
- 荷物はシートの高さを越えていないか？
  ▶ 後方視界を妨げたり急ブレーキのときに荷物が飛び出したりするおそれがあり危険です。
- フロントシートの足元にものを置いていないか？
- 動物を乗せるときは、動きまわらないようにしているか？
  ▶ 運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあり危険です。
- ドア、トランクが確実に閉まっているか？
  ▶ 走行前にすべてのドア、トランクが完全に閉まり、正しく施錠されていることを確認します。
  車内での施錠 / 解錠 P.141
- シート位置などが適切に調節されているか？
  ▶ 不適切なシート位置での走行は危険です。
  シートの調節 P.182
- ルームミラー、ドアミラー、ハンドルは適切に調節したか？
  ▶ 正しい運転姿勢ですわり、それぞれ適切な位置に調節します。
  ミラー類の調節 P.179
  ハンドルの調節 P.178

次ページに続く

車内での確認項目

運転者は、ハンズフリー以外の方法で携帯電話を走行中に使用しないでください。
運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながる恐れがあります。

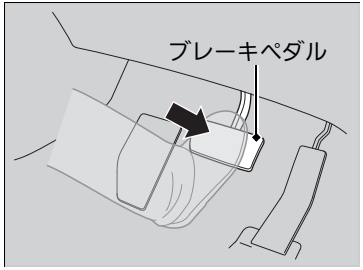
車に合ったフロアマットをお使いください。

- すべての乗員がシートベルトを締めているか？
  ▶ すべての乗員は必ずシートベルトを着用します。
  ➔ **シートベルトの着用** P.57
- パワーシステムを起動したとき、メーターに異常を示す警告灯などが点灯していないか？
  ▶ 異常を示す警告灯の異常を解決してから走行します。
  ➔ **警告灯** P.93

パワーシステムの起動

1. パーキングブレーキスイッチをゆっくりと確実に引き上げる。

▶パーキングブレーキがかかっていると、ブレーキ警告灯(レッド)が約 15 秒間点灯します。



2. 右足でブレーキペダルを踏む。

パワーシステムの起動

⚠警告

12V バッテリー液が不足しているときは、パワーシステムを起動しない。
12V バッテリーが破裂するおそれがあります。

⚠注意

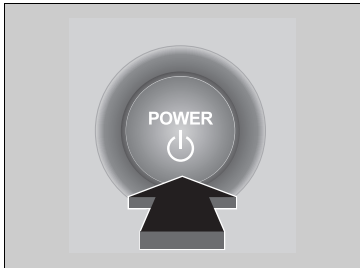
パワーシステムを起動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏む。

寒いときのパワーシステムの起動は、すべての電気アクセサリーをOFFにしてから行います。
寒いときのパワーシステムの起動は、12V バッテリーの消耗を防ぐためライト類、エアコン、リヤデフロスターなどの電気アクセサリーをすべて OFF にしてから行ってください。

車を盗難から守るため、イモビライザーシステムのキーを採用しています。そのため、あらかじめ登録されたキーでないとパワーシステムの起動ができません。

➡**イモビライザーシステム** P.151

次ページに続く



3. ブレーキを踏んだままアクセルペダルを踏まずに、 POWER を押す。

4. READY 表示灯の点灯を確認する。

▶ READY 表示灯が点灯するまでブレーキペダルを踏み続けてください。

▶ パワーシステムが起動すると、READY 表示灯が点灯し運転することができます。

▶ 外気温が極端に低いときは、条件が整うまで走行することができません。このとき、READY 表示灯が点灯せず、他のメッセージが表示されます。

マルチインフォメーションディスプレイ（右側） P.111

パワーシステムの起動

Honda スマートキーの電池が切れたときは、キーで POWER に触れてください。

Honda スマートキーの電池が切れたとき P.463

Honda スマートキーが強い電波を受けていると、パワーシステムが起動しないことがあります。

パワーシステムが起動しない場合は、30 秒以上待ってから操作してください。

パワーモードを ON モードにしたとき、ブレーキペダルが押し込まれる感じを受けることがありますが、ブレーキ装置の作動によるものであり、異常ではありません。

排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えないときは、排気系や燃料系の異常が考えられます。
Honda 販売店で点検を受けてください。

POWER は、エンジンが始動するまで押し続ける必要はありません。

パワーシステムの起動

走行可能な状態でも、エンジンが始動しないことがあります。
READY 表示灯が点灯していれば走行可能です。
READY 表示灯が点灯している状態で、ブレーキペダルを踏んで POWER を押すとパワーモードが OFF になり、走行できなくなります。

READY 表示灯 P.106

次ページに続く

■発進時の操作

1. 右足でブレーキペダルを踏んだまま、READY 表示灯の点灯を確認し、シフトポジションを D にする。
▶ 後退する場合は R にします。
2. パーキングブレーキをかけたまま、ブレーキペダルを離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。
▶ ブレーキ警告灯(レッド)が消灯したことを確認してください。
▶ 運転席シートベルトを装着していないと、発進時でも電子制御パーキングブレーキは自動解除されません。
➔ **電子制御パーキングブレーキ** P.357

■ヒルスタートアシストシステム

急な坂道からの発進をするときに、ブレーキペダルから足を離した後、ブレーキ力を約1 秒間保持することで車両の後退を緩和し、発進を容易にするシステムです。

■パワーシステムの停止

車が完全に停止しているとき、パワーシステムを停止することができます。
1. シフトポジションを P にする。
2. POWER を押す。

▶発進時の操作

⚠注意

アクセルペダルを踏んだまま、シフトポジションを操作しない。
急発進して思わぬ事故の原因となります。

パーキングブレーキスイッチの操作で解除することもできます。
下り坂の場合、アクセルペダルを踏まずにパーキングブレーキを手動で解除すると、よりスムーズに発進することができます。

ハイブリッド車は走行可能な状態でも、通常の車のように、エンジン音や振動がでないことがあるため、走行可能な状態であることに気がつかない場合があります。
READY 表示灯が点灯しているかどうかを確認し、発進操作をしてください。

▶ヒルスタートアシストシステム

緩やかな坂道ではシステムが作動しないことがあります。

走行時の注意点

■霧が出たときは

霧が出たときは視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレール、前走車のテールランプなどを目安にして、速度を落として走行してください。

■風が強いときは

風が強く車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に落として進路を立て直します。
トンネルの出口、橋、土手の上、山を削った切り通しの走行時や大型トラックの追い越し時などには、特に横風の影響を受けやすいため、十分に注意してください。

走行時の注意点

⚠注意

シフトダウンする際の車速には、十分注意する。
滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。

アドバイス

停車中や極低速のときハンドル操作を繰り返したり、ハンドルに力をかけ保持するなどして EPS(電動パワーステアリング)システムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。
システムの温度が下がると復帰しますが、システム保護がはたらくような使いかたを断続的に繰り返すと、システム破損の原因となります。

走行中はパワーシステムを停止しないでください。
下記のような状態になり危険です。
- ブレーキの倍力装置が作動しないため、ブレーキの効きが悪くなる
- パワーステアリングのパワー装置が作動しないためハンドル操作が重くなる

次ページに続く

走行時の注意点

走行中はシフトポジションを N にしないでください。
回生ブレーキが全く効かず、思わぬ事故の原因となります。

車を移動するときは、必ずパワーシステムを起動してください。
下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故の原因となります。

1,000km 走行するまでは、エンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け、控えめな運転をしてください。

■雨が降っているときは

雨天時は路面が滑りやすくなっているため、急ブレーキ、急加速、急ハンドルを避け通常より注意深く運転してください。
わだちなどの水のたまりやすい場所ではハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。モーターや駆動系の破損、電装品の故障につながるおそれがあります。

■その他の注意点

走行中、床下に強い衝撃を受けたときは、思わぬ事故につながるおそれがあるため、ただちに安全な場所に停車してブレーキフルードや燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

雨が降っているときは

ハイドロプレーニング現象に注意してください。
ハイドロプレーニング現象とは、路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いてハンドルやブレーキが効かなくなる状態のことをいいます。

トランスミッションについて

■クリープ現象

パワーシステムが起動しているとき、シフトポジションがP N以外に入っているとオートマチック装備のガソリン車と同様に、クリープ現象によりアクセルペダルを踏まなくても、車がゆっくり動き出します。

■キックダウン

シフトポジションがDで走行中にアクセルペダルを素早く踏み込むと低速ギヤにシフトダウンし、力強い加速を得ることができます。

クリープ現象

上り坂での停車時、クリープ現象による前進の力よりも、後退しようとする力のほうが大きくなり、車が後退する場合があります。
ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。

キックダウン

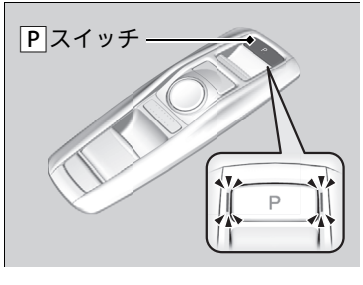
上り坂などでアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより急にエンジン回転が上がり、速度が出すぎてしまうことがあります。
アクセルペダルは慎重に操作してください。滑りやすい路面やカーブでは、特に注意が必要です。

シフト操作

走行状態に応じてシフトポジションスイッチを押して切り換えます。

■シフトポジションの名称とはたらき

■パーキングスイッチ



パワーモードがONモードで車が停止しているとき、スイッチを押すとシフトポジションがPになり、スイッチのシフト操作表示が点灯します。

シフト操作

車を後退させるときは、トランスミッション保護のため、車速が制限されることがあります。

高電圧バッテリーの充電量が満充電に近い状態のとき、または高電圧バッテリーの温度が低いときは、回生ブレーキの効きが弱くなることがあります。

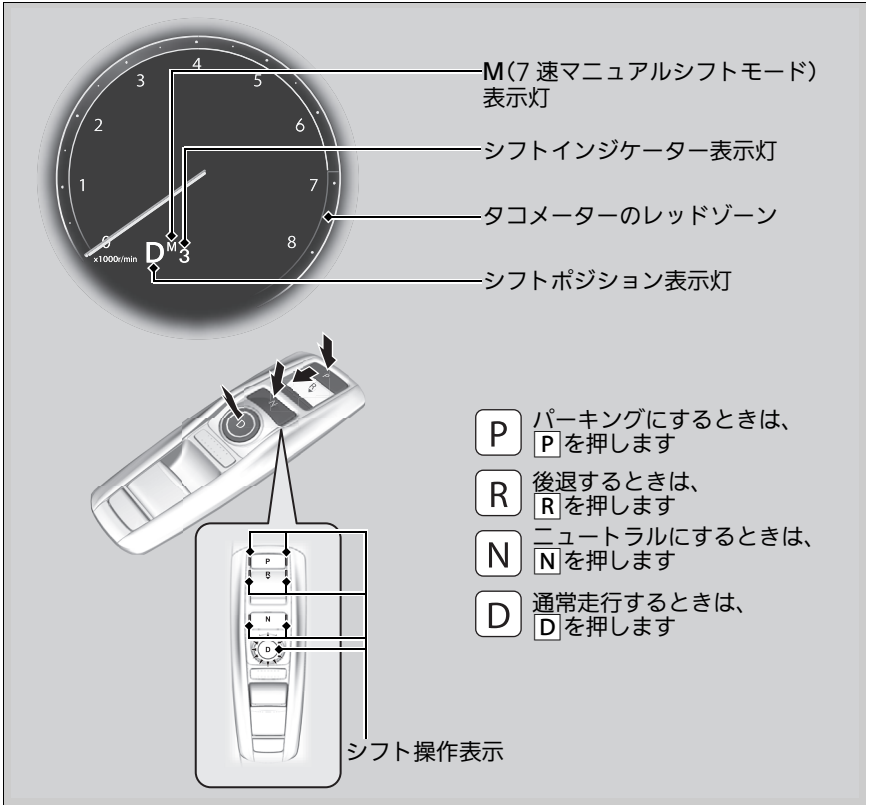
故障と予期しない作動を防止するため：

- シフトポジションスイッチに液体などをこぼさないでください。
- シフトポジションスイッチやまわりに、衝撃を与えたりものを落とさないでください。
- お子様や運転者以外の方がシフトポジションスイッチを操作しないようご注意ください。

高電圧バッテリーの充電状態が著しく低いとき、Rを選択すると、車両が動き出すまでに通常より時間がかかることがありますが、故障ではありません。

次ページに続く

■シフトポジションの操作



シフトポジションの操作

車両を完全に停止させ、ブレーキペダルを踏んだままシフトポジションを D から R または R から D に切り換えてください。

車を発進させるときは、思い違いによる事故を防ぐためにシフトポジション表示灯でもシフトポジションの位置を確認してください。

選択しているシフトポジションの表示灯が点滅しているときは急加速を避け、Honda 販売店で点検を受けてください。
全てのシフトポジションで、表示灯が点滅する場合は、ただちに安全な場所に車を停車してください。
異常なければ消灯しますが、Honda 販売店で点検を受けてください。

エンジンの回転をあやまってタコメーターのレッドゾーン(限界回転数)以上で運転した場合、エンジン保護装置により燃料供給が停止されます。
そのとき、軽い衝撃を感じることがありますが、異常ではありません。

シフトポジションの操作

外気温が非常に低い(マイナス 30 度以下)とき、シフトポジションの表示の切り替わりが少し遅れることがあります。走行前は必ずシフトポジションを確認してください。

N, P又はRを選択しているときに、エンジン回転数が高い状態が続くと、燃料供給が停止されることがあります。

Rのポジションのときは、チャイム音が鳴り運転者にシフトポジションがRの位置になっていることを知らせます。

次ページに続く

■ドア Open 自動パーキング選択制御

パワーモードが ON モードで車が停止、または、車速が 2ｋm/h 以下のときに、Pに以外のシフトポジションのまま、運転席のシートベルトをはずし運転席ドアを開けるとシフトポジションが自動でPになります。

▶ その後シフト操作を行い、他のシフトポジションを選択しても、ブレーキペダルを離すと再度自動でPになります。

■パワーモード Off 自動パーキング選択制御

停止中にシフトポジションがP以外のまま、パワーモードを OFF モードにすると、シフトポジションが自動でPになります。

ドア Open 自動パーキング選択制御

駐車をするときは、安全のために、運転席ドアを開ける前にシフトポジションをPにし、適切な方法により行ってください。

駐停車操作 P.366

この制御によりPになった後、発進する場合は、ドアを閉めてシートベルトを装着し、シフト操作をしてください。

■シフトポジションの選択制限

不正な操作をすると、安全のため、シフトポジションの選択が制限されます。

操作前のシフトポジション	1. 操作・走行状態	2. パーキングスイッチ・シフトポジションの操作	3. 操作後のシフトポジション	対処のしかた
P	ブレーキペダルを踏んでいない	他のシフトポジションを選択する	P	アクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏む
	アクセルペダルを踏んでいる			
N	低速走行中で、ブレーキペダルを踏んでいない		N	
	低速走行中で、アクセルペダルを踏んでいる			
N D	前進している	R		停車する
R N	後退している	D		
R N D	走行中	P		
P N	READY 表示灯が点灯していない	P N以外を選択する	P N	READY 表示灯の点灯を確認する

次ページに続く

■ 7 速マニュアルシフトモードとは

ハンドルにあるシフトスイッチで、ハンドルから手を離さずに手動で1～7速まで変速することができます。走行中にシフトスイッチを引くと、7 速マニュアルシフトモードへ切り換わります。エンジンブレーキが必要なときにも、使用してください。

■シフトポジションが D で、SPORT モードスイッチが OFF のとき

シフトスイッチを引くと、一時的に7 速マニュアルシフトモードとなり、シフトインジケーターが点灯します。

EV 走行中に 7 速マニュアルシフトモードにすると、自動的にエンジンが始動し、モード作動中はエンジンで走行します。

定速走行の状態になると、7 速マニュアルシフトモードは自動的に解除され、シフトインジケーターが消灯します。また、 + のシフトスイッチ(右側)を数秒間引き続けることでも解除することができます。

カーブの手前など、一時的に減速したいときに便利です。

■シフトポジションが D で、SPORT モードスイッチが ON のとき

シフトスイッチを引くと、7 速マニュアルシフトモードとなり、M表示灯とシフトインジケーターが点灯します。

モードを解除する場合は、SPORT モードスイッチを押すか、 + のシフトスイッチ(右側)を数秒間引き続けてください。7 速マニュアルシフトモードが解除され、M 表示灯とシフトインジケーターが消灯します。

»7 速マニュアルシフトモードとは

以下の走行状態のときに、シフトスイッチを引くと変速せず表示灯が点滅します。

- 操作後のエンジン回転数が許容範囲外のとき
- 車速が各ギヤの許容範囲外のとき

また、車両状態によって、変速ができないこともあります。

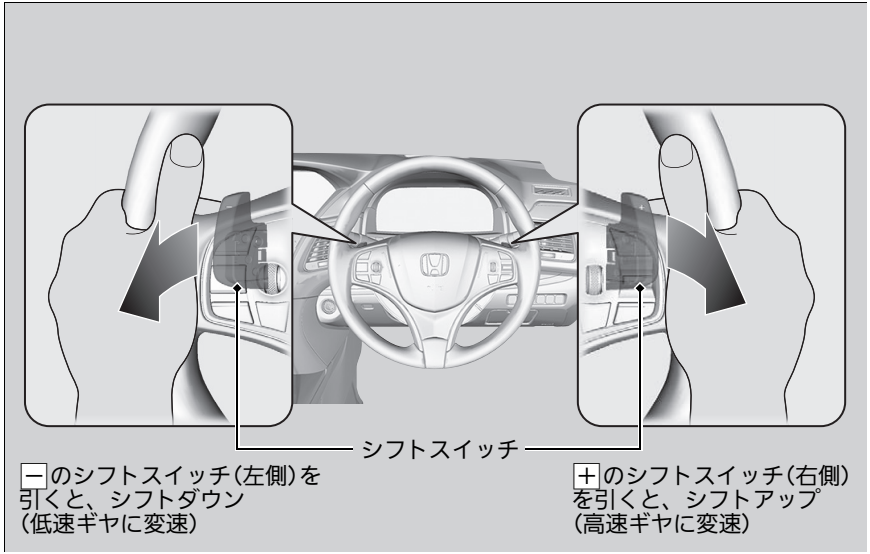
エンジンやトランスミッションを保護するために、自動的にシフトアップやシフトダウンすることがあります。このとき該当する表示灯が点灯します。

以下のとき、自動的に 7 速マニュアルシフトモードを解除することがあります。

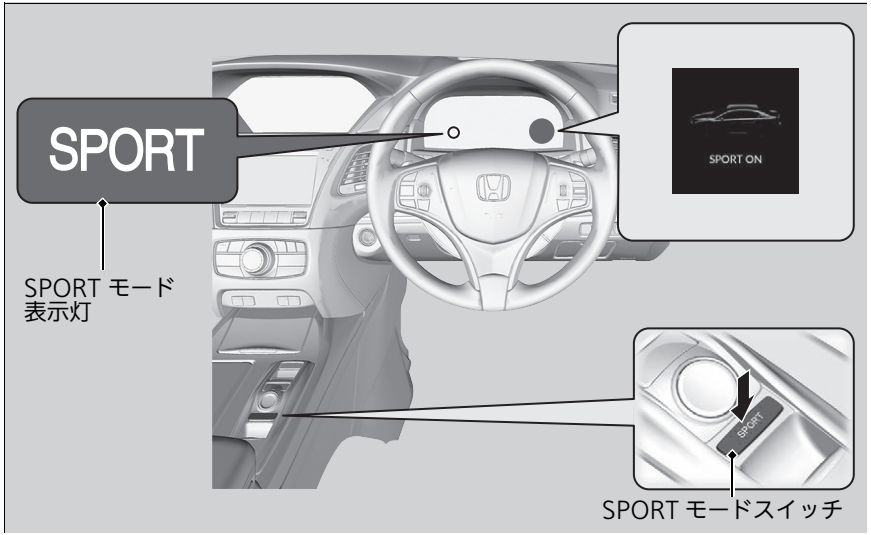
- トランスミッション保護が必要なとき
- 高電圧バッテリーの残量が低下したとき
- モード作動中に、滑りやすい路面でタイヤがロックしたとき

■ 7 速マニュアルシフトモードの操作

1 回のシフトスイッチ操作で、ギヤは 1 段変速します。



SPORT モードスイッチ



パワーモードが ON モード のときにスイッチを押すと、SPORT モードが ON になります。

スイッチを押すとエンジン、トランスミッション、モーターの作動を制御して、素早い発進加速や力強く伸びのある走行を可能にします。

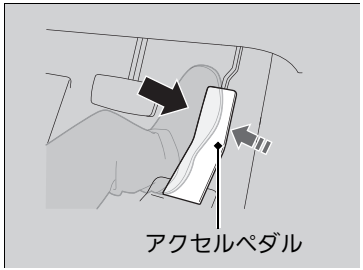
パワーモードをアクセサリーモードまたは OFF モードにすると SPORT モードは自動的に OFF になります。

SPORT モードスイッチ

(MAIN)スイッチを押したあと SPORT モードスイッチを押しても SPORT モードになりません。

SPORT モードが ON のとき(MAIN)スイッチを押すと SPORT モードが OFF になります。

リアクティブフォースペダル



アクセルペダルを踏み込んだときに、条件によりアクセルをやや重くすること(反力)で、運転を補助するシステムです。

アクセルペダルを踏み込んだときに、加速に応じてアクセルペダルに反力をかけることにより、踏みすぎを抑制することで、省燃費運転を手助けします。

凍結、積雪や雨(激しい降雨)など滑りやすい路面では、アクセルペダルの踏みすぎを抑制することで、タイヤの空転を防ぎ、スムーズな発進を手助けします。

リアクティブフォースペダル

アクセルペダルの踏み込み操作を制限するシステムではありません。

衝突軽減ブレーキ(CMBS)、踏み間違い衝突軽減システム、後退出庫サポートが車両などの衝突のおそれのある障害物を検知したとき、アクセルペダルに断続的に反力を発生させます。

➡ **衝突軽減ブレーキ(CMBS)** P.264
➡ **踏み間違い衝突軽減システム** P.272
➡ **後退出庫サポート** P.373

反力の強さを変更することができます。

➡ **別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書**

SPORT モードが ON のときは、システムは作動しません。

車両接近通報装置

約 25km/h 以下で走行しているときに、歩行者に車両の接近を知らせるため、走行音を発生させるシステムです。

VSA(ビークルスタビリティアシスト)

VSA とは、ABS 機能、TCS 機能および横滑り抑制機能を総合的に制御し、急激な車両の挙動変化を抑制しようとする装置です。

■ABS(アンチロックブレーキシステム)機能 P.363

■TCS(トラクションコントロールシステム)機能
滑りやすい路面などでの駆動輪の無駄な空転を防止し、駆動力、操舵能力を確保しようとする機能です。

■横滑り抑制機能
急激なハンドル操作や滑りやすい路面などでの旋回時に、車輪の横滑りなどを抑制することで車両の安定性を確保しようとする機能です。
さらに、緊急制動時に運転者のブレーキ操作を補助する電子制御ブレーキアシストも装着しています。
電子制御ブレーキアシスト P.364

■ VSA の作動と警告灯

TCS 機能または横滑り抑制機能作動中は、VSA 警告灯が点滅します。

VSA(ビークルスタビリティアシスト)

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、VSA が正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

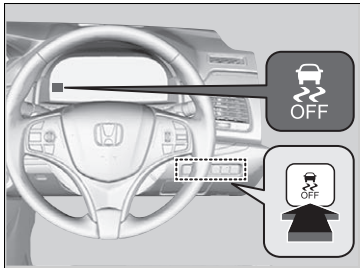
VSA 警告灯が運転中に点灯するときや、パワーモードをON モードにしても点灯しない場合は、システムの異常が考えられます。
通常の運転には支障はありませんが、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

VSA が作動した状態でも車両の安定性の確保には限界がありますので、無理な運転はしないでください。
- カーブ手前では十分に速度を落とす
- 雪道、凍結路を走行するときは、スノータイヤまたはタイヤチェーンを装着し控えめな速度で運転する

新雪やぬかるみから脱出したいときに、VSA OFF でVSA を OFF にすると TCS 機能が制限され、低速で駆動輪が回転しやすくなるので効果的な場合があります。

次ページに続く

■ VSA の ON と OFF



VSA 機能を部分的に停止(OFF)状態にするには、を「ピッ」とブザーが鳴るまで押してください。
TCS機能が制限され、低速で駆動輪が回転しやすくなります。

再度使用(ON)するには、を「ピッ」とブザーが鳴るまで押します。

前回の走行時にOFFにした場合でも、再度パワーシステムを起動させると自動的にONになります。

VSA(ビークルスタビリティアシスト)

新雪やぬかるみから脱出した後は、すみやかにVSAをONにしてください。
VSAをOFFにしたままでの走行は、お勧めしません。

パワーシステムの起動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

アジャイルハンドリングアシスト

運転者のハンドル操作に応じて、4 輪それぞれに軽いブレーキをかけることで、車両の動きを滑らかにし、安定感のあるコーナリングを可能とする機能です。

アジャイルハンドリングアシスト

アジャイルハンドリングアシストはすべての走行条件で安定性を向上させる機能ではありません。
安全のために、カーブ走行時は状況に応じた適正な速度で、十分に車間距離をとって走行してください。

走行中に VSA 警告灯が点灯したままのときは、アジャイルハンドリングアシストが作動しません。

アジャイルハンドリングアシストが作動中、エンジンルームから音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

SPORT HYBRID SH-AWD (Super Handling All-Wheel-Drive)

SPORT HYBRID SH-AWD とは、運転状況に合わせて、エンジンやモーターの駆動力を制御して各車輪に伝達します。

SPORT HYBRID SH-AWD は、積雪地、砂地、ぬかるみ、急坂路など滑りやすい路面において、2WD 車(二輪駆動車)に比べて走破性にすぐれていますが、万能ではありませんので以下の点に注意してください。

- アクセル、ハンドル、ブレーキ操作は一般の車と同じく慎重に行う
- 滑りやすい路面では十分に車間距離をとって走行する

SPORT HYBRID SH-AWD (Super Handling All-Wheel-Drive)

冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、SPORT HYBRID SH-AWD が正常に機能しないことがあります。

タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

➔ **タイヤの点検** P.430

タイヤ空気圧警報システム(TPMS)

タイヤ空気圧警報システムとは、走行中にタイヤの空気圧を監視するシステムです。空気圧が著しく下がっている場合は、タイヤ空気圧警報システム警告灯が点灯し、マルチインフォメーションディスプレイに警告が表示されます。

タイヤ空気圧警報システム(TPMS)

タイヤ空気圧警報システムが正常に機能しないことがあるので、タイヤを交換する場合は、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを使用してください。

➡ **タイヤとホイールの交換** P.432

外気温が低いときや気圧の変化があるようなタイヤの空気圧に直接影響がある状況によっては、タイヤ空気圧警報システム警告灯が点灯する場合があります。

➡ **タイヤ空気圧警報システム警告灯が点灯 / 点滅した** P.477

タイヤ空気圧の変化について：

- 気温が高くなると、空気圧は高くなります
- 気温が低くなると、空気圧は低くなります

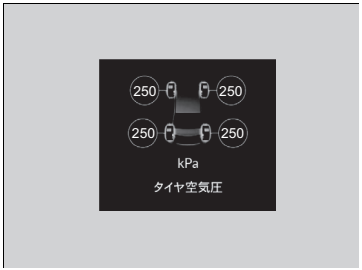
タイヤ空気圧警報システム警告灯は、指定より高い空気圧になっても点灯しません。

専用のタイヤ空気圧警報システムセンサーを装備したホイールを使用していますので、純正ホイールを使用してください。
タイヤ空気圧警報システムセンサーを装着せずに走行するとタイヤ空気圧警報システム警告灯が一定時間走行後に点滅した後に点灯します。

➡ **タイヤとホイールの交換** P.432

次ページに続く

■タイヤ空気圧警報モニター



タイヤ空気圧モニターを表示するには、パワーシステムを起動し、タイヤ空気圧画面が表示されるまで、インフォメーション（ⓘ）ホイールを回してください。

空気圧が著しく下がっている場合は、「タイヤの空気圧が低下しています　速やかに空気圧を点検してください」がマルチインフォメーションディスプレイに表示され、該当するタイヤが表示されます。

タイヤ空気圧警報モニター

マルチインフォメーションディスプレイに表示された空気圧は、空気圧測定器で測定した数値と異なることがあります。
測定した空気圧と表示された空気圧が極端に異なるときや指定空気圧になるまで空気を注入してもタイヤ空気圧警報システム警告灯とマルチインフォメーションディスプレイに表示されたメッセージが消えないときは、故障のおそれがあります。
Honda 販売店で点検を受けてください。

システムに異常があると、「タイヤ空気圧警報システム異常　空気圧は直接点検してください」がマルチインフォメーションディスプレイに表示されます。

高電圧バッテリーの特性

長期間駐車をすると、高電圧バッテリーは少しずつ放電をします。
バッテリーの性能を維持するために、少なくとも 3 か月に一度、30 分以上走行をしてください。走行によりバッテリーに充電されます。
長期間走行をしないと、高電圧バッテリー充電容量が低下したり、寿命が縮む原因となります。
バッテリーの寿命を長くするために、夏場は日陰への駐車をおすすめします。

衝突被害の軽減、衝突事故の回避、また、運転者の負担を軽減するために、運転者のアクセル・ブレーキ・ハンドル操作などを支援します。また、高速道路や自動車専用道本線上の渋滞時の特定の走行環境条件内において、運転者は自動運行装置※1を用いて運転することができます。

■ご使用にあたり

Honda SENSING Elite の各システムを理解して安全運転を心がけてご使用ください。

- Honda SENSING Elite の各システムには制限があります。
  ➡ **Honda SENSING Elite の制限** P.258
- メーターなどにお知らせがあった場合は指示にしたがってください。
- 運転者による操作は、システムによる操作より優先されます。
- 自動運行装置を用いた運転中であっても、周囲の状況確認および操作が可能な状態を保ってください。

例えば：

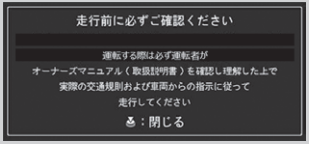
- シートを大きくリクライニングしたり、居眠りしたりしないでください。
- メーター、ハンドルなどの表示類やドライバーモニタリングカメラを隠さないでください。
- すぐに運転操作に移れない行為（読書、食事、PC の操作、スマートフォンの操作など）をしないでください。
- 視界を確保するために窓ガラスの曇りを取ってください。

※1：道路運送車両法の定める自動運行装置とは特定の走行環境条件内において、センサー類やコンピューターを用いて、自動車の操縦に必要な「認知・予測・判断・操作」を行う機能をすべて有し、かつ、作動状態記録装置を備えるものです。

➡ **トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）** P.343

Honda SENSING Elite

Honda インターナビシステムを起動すると、警告画面が表示されます。よくお読み頂き操作してください。



作動させるためにスイッチ操作が不要な機能

衝突軽減ブレーキ(CMBS) ➔P.264、踏み間違い衝突軽減システム ➔P.272、歩行者事故低減ステアリング ➔P.278、車線変更時衝突抑制機能 ➔P.283、路外逸脱抑制機能 ➔P.287、先行車発進お知らせ機能 ➔P.291、標識認識機能 ➔P.295、オートハイビーム ➔P.167

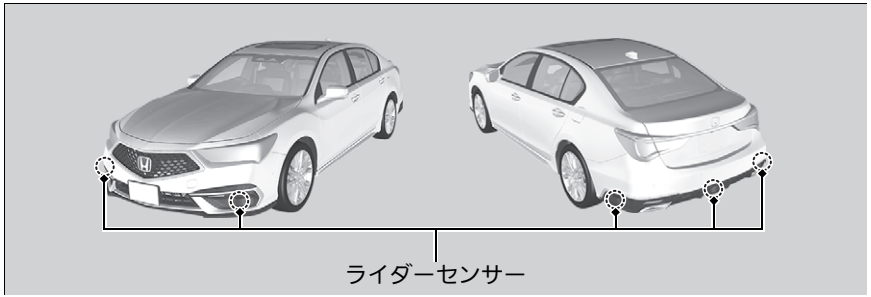
作動させるためにスイッチ操作が必要な機能

機能	(MAIN)スイッチ	RES/+/SET/–スイッチ	方向指示器(ウィンカー)スイッチ	(高度車線変更支援)スイッチ
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)※1 ➔P.301	○	○		
車線維持支援システム(LKAS)※1 ➔P.312				
トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能) ➔P.318				
ハンズオフ機能付車線内運転支援機能※2 ➔P.323				
ハンズオフ機能付車線変更支援機能 ➔P.331			○	
ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能※3 ➔P.335				○
トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)※4 ➔P.343				

※1 ：渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)と車線維持支援システム(LKAS)は連動して作動
※2 ：渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)と車線維持支援システム(LKAS)作動後一定条件下で作動
※3 ：ハンズオフ機能付車線内運転支援機能作動中に(高度車線変更支援)スイッチを押し一定条件下で作動
※4 ：ハンズオフ機能付車線内運転支援機能作動中に一定条件下で作動

各種センサー

■ライダーセンサー



ライダーセンサーはバンパー下部に設置されています。
自車周辺の車両・障害物を検知しています。

ライダーセンサー

ライダーセンサーは自車周辺の状況把握をしているため、システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。

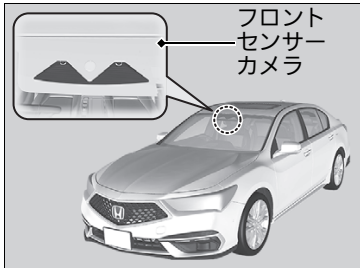
- 常にきれいにしておく
- お手入れにベンジン、シンナー類やクレンザーなどの磨き粉類を使わない
- 塗装したりステッカーを貼らない
- 取付位置周辺に装飾品などを取り付けない
- 強い衝撃を与えたり、荷重をかけたりしない
- キズをつけない
- 取付位置周辺部品を取り外さない
- ライダーセンサーにコーティング加工をしない

次の場合は、Honda 販売店にご相談ください。

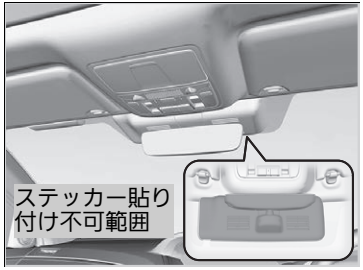
- ライダーセンサーに衝撃・荷重が加わったとき
- 取付位置周辺の修理を行うとき
- ライダーセンサー表面にキズがついたとき
- コーティング加工をするとき

ライダーセンサー表面が破損したときは内部を覗きこまないでください。目に悪影響を与える可能性があります。

■フロントセンサーカメラ



フロントセンサーカメラはフロントガラス上部に設置されています。
前方の車両、白線、標識、歩行者などを検知しています。



フロントガラスにフィルムを貼ったり、カメラの視野を遮るものを取り付けないでください。

フロントセンサーカメラ

フロントセンサーカメラは自車周辺の状況把握をしているため、システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。

- カバーや周辺に水やガラスクリーナーなどの液体をかけない
- 強い衝撃を与えたり、荷重をかけたりしない
- フロントセンサーカメラへの反射を防ぐためにインストルメントパネル上部に物を置かない
- 反射サンシェードを使用する場合、フロントセンサーカメラの温度上昇を防ぐためカメラを覆わない
- フロントセンサーカメラの視野内のフロントガラスにキズをつけない
- 取り外さない

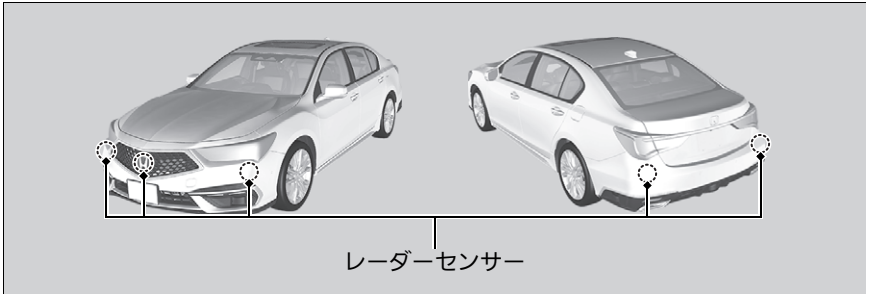
次の場合はHonda販売店にご相談ください。

- フロントセンサーカメラ及び周辺部に衝撃・荷重が加わったとき
- キズ、打痕、損傷によりフロントガラスの修理や交換をするとき
- センサーカバーを取り外すとき

フロントガラスが曇った場合は曇りをとってください。
必要に応じてデフロスターを使用してください。

次ページに続く

■レーダーセンサー



レーダーセンサーはバンパーとフロントグリルの内側に設置されています。
自車周辺の車両を検知しています。

▨レーダーセンサー

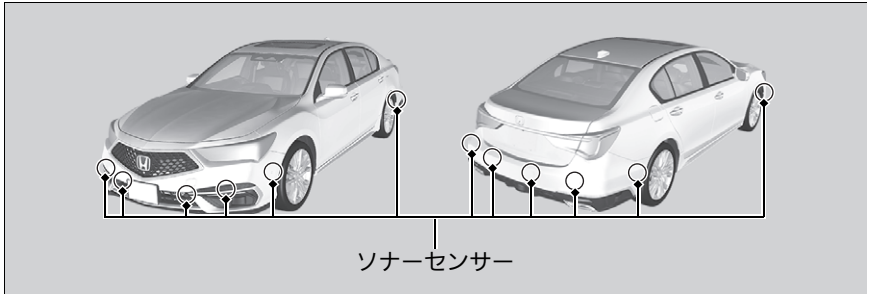
レーダーセンサーは自車周辺の状況把握をしているため、システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。

- 取付位置周辺は常にきれいにしておく
- 取付位置周辺のお手入れにベンジン、シンナー類やクレンザーなどの磨き粉類を使わない
- 取付位置周辺を塗装したりステッカーを貼らない
- 取付位置周辺に装飾品などを取り付けない
- 荷重を与えない
- 取付位置周辺の周囲に強い衝撃を与えない
- フロントグリルやバンパーを取り外さない

次の場合は、Honda 販売店にご相談ください。

- バンパーやフロントグリルに衝撃・荷重が加わったとき
- 取付位置周辺の修理を行うとき
- バンパーやフロントグリルにキズがついたとき
- バンパーやフロントグリルにコーティング加工をするとき

■ソナーセンサー



ソナーセンサーはフロントバンパーおよびリヤバンパーに設置されています。

ソナーセンサー

ソナーセンサーは自車周辺の状況把握をしているため、システムを正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。

- 取付位置周辺は常にきれいにしておく
- 取付位置周辺のお手入れにベンジン、シンナー類やクレンザーなどの磨き粉類を使わない
- 取付位置周辺を塗装したりステッカーを貼らない
- 取付位置周辺に装飾品などを取り付けない
- 荷重を与えない
- 取付位置周辺の周囲に強い衝撃を与えない
- フロントグリルやバンパーにキズをつけない
- フロントグリルやバンパーを取り外さない

次の場合は、Honda 販売店にご相談ください。

- ソナーセンサーに衝撃・荷重が加わったとき
- 取付位置周辺の修理を行うとき
- フロントグリルやバンパーにキズがついたとき

次ページに続く

■ドライバーモニタリングカメラ

カメラはナビ画面左側に内蔵されています。
カメラの認識範囲において、顔の向きや位置、目等を検知します。

ドライバーモニタリングカメラ

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)と運転支援機能の一部を正しく作動させるために、必ず次のことをお守りください。

- 強い衝撃を与えない
- 荷重を与えない
- カメラ周辺にものをおいたり、ステッカー(透明な物を含む)を貼ったり、アクセサリーなどを取り付けない
- カメラ周辺部はきれいにしておく
- カメラを取り外さない

以下のような場合運転者を正しく検出しないことがあります。

- 顔を隠したり、マスク、マフラーなど身につけているとき
- 近赤外光を通しにくいサングラスをしているとき
- メガネやサングラスのレンズに風景が強く映りこんでいるとき
- 眼帯やメガネのフレームで目が隠れているとき
- 目をしばらく閉じたり、頻繁に瞬きしたとき
- 目を細めたときや伏し目のとき
- ドライバーモニタリングカメラのレンズが太陽光に照らされているとき

近赤外線光源部から赤い LED 光が見えることがあります。

高精度地図 / 全球測位衛星システム GNSS (Global Navigation Satellite System)

高精度地図

高速道路や自動車専用道の車線情報や道路構造、道路標識などさまざまな道路情報を記録した地図です。

高精度地図はサーバーとの通信接続により更新データが取得され、パワーモードをONモードのとき自動で更新されます。更新には時間がかかることがあります。

全球測位衛星システム GNSS (Global Navigation Satellite System)

全球測位衛星システム GNSS (Global Navigation Satellite System) は衛星測位システムの総称で、自車位置の特定に利用されます。

高精度地図と、全球測位衛星システム GNSS (Global Navigation Satellite System) のデータや、各制御センサーの情報を用いて、自車位置の特定を行います。

高精度地図 / 全球測位衛星システム GNSS (Global Navigation Satellite System)

「高精度地図」は、ダイナミックマップ基盤株式会社が整備する高精度3次元位置情報に株式会社ゼンリンが情報を付加し、作成したものです。

高精度地図情報の調査時期と更新時期により地図情報と道路が異なる場合や、地震や地殻変動などで大きく変動した場合は、高精度地図を利用した機能の一部が制限されます。

高精度地図とHondaインターナビシステムの地図情報は別のものを使用しています。

Honda SENSING Elite の制限

各システムには天候や道路状況などにより限界があります。
状況に応じて運転操作してください。

また各システムには固有の制限があります。

■自車の状態

- フロントガラスが曇り、雨粒、シール、汚れ、泥、湿った雪などで覆われているとき
- フロントグリルやフロントバンパーやリアバンパー周辺が雨粒、シール、汚れ、泥、湿った雪などで覆われているとき
- 夜間やトンネル内などの暗いところで、ヘッドライトが点灯していない状態で走行しているとき
- ヘッドライトのレンズが汚れて照射が弱いときや光軸がずれているとき
- 各種センサーの温度が高温のとき
- パワーシステムを起動後、約 15 秒の間
- 駐車場のターンテーブル上などで回転中にパワーモードを ON モードにしたとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着していたり、タイヤ空気圧が適切でないとき

■天候などの道路環境

- 雨、霧、雪などの悪天候のとき
- 夜間やトンネル内などで周囲が暗く、車両、歩行者および移動する自転車の全体が照らされていないとき
- トンネルの出入り口や、木、建物の影など、周辺の明るさが急に変わるとき
- 夜明けや夕暮れ時に太陽に向かって走行するとき

≫Honda SENSING Elite の制限

下記の状況の時は、渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、車線維持支援システム(LKAS)、トラフィックジャムアシスト (渋滞運転支援機能)、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、ハンズオフ機能付車線変更支援機能、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)を使用しないでください。タイヤの空転や車両のふらつきなどにより車のコントロールを失う場合があります。

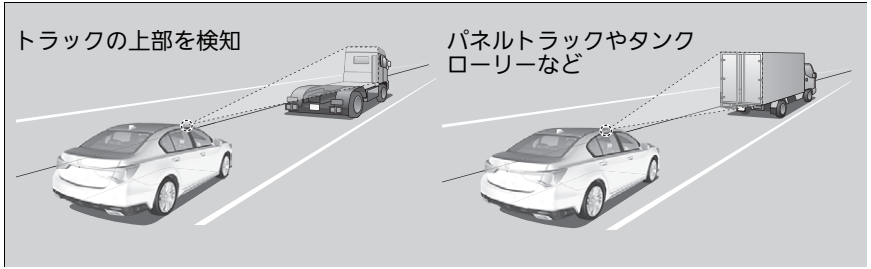
- 路面が凍結しているとき
- 路面に雪が積もっているとき
- 強い横風が吹いているとき

- 強い光が車両や歩行者、移動する自転車および路面に反射しているとき
- 水しぶきや雪の巻上げがあるとき
- 白線(黄線)の付近に影が映っているとき(木々、建物、ガードレール、車両など)
- 太陽の光など強い光が直接または間接的にフロントセンサーカメラに入るとき

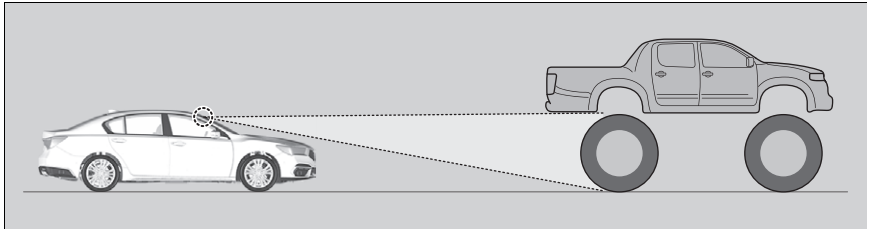
次ページに続く

■自車周辺車両の状態

- 前走車との車間距離が短いとき
- 自車の前方に車両が急に割り込んだとき
- 幅寄せがあったとき
- 車両が特殊な形状の車両のとき



- 車両の最低地上高が極端に高いとき



- 荷物を積んでいないトラックなど前側に対して後側の高さが低い、もしくは幅が狭い車両
- 暗がりで前方の車両が無灯火のとき
- 前方の車両、対向車両が横、または斜めを向いているとき

■道路状況

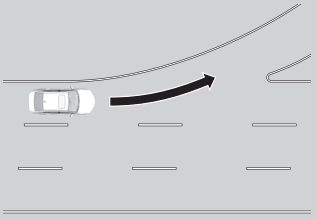
- 車線規制や仮設車線がある区間を走行するとき
- 道路の修復や古い白線(黄線)のため、かすれや重複、タイヤ痕、さまざまな白線(黄線)が道路にあるとき

- 交差点や横断歩道など車線の数が増減している区間や車線が複雑に交差している区間を走行するとき
- 車線幅が極端に狭いときや広いとき、または変化しているとき

- 車線が二重に描かれている道路を走行するとき
- 白線(黄線)と道路表面の区別ができないとき

次ページに続く

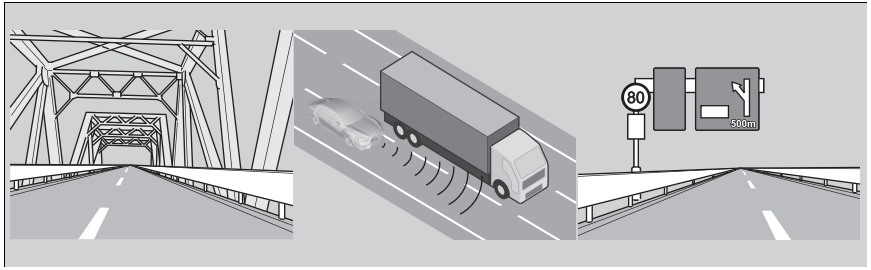
- 一部道路構造(二重構造の道路など)のとき
- 車両などが白線(黄線)の一部を隠しているとき
- 路上のもの(縁石、ガードレール、パイロンなど)を白線(黄線)と認識したとき
- 雪道、未舗装路、荒れた道路やわだちのある道路を走行しているとき
- 急カーブ、うねった道路など走行するとき
- 雨上がりなどで路面がぬれて光っているときや水たまりがあるとき
- 路面に雪が残っていたり湿っているとき
- 雪上路や路上の雪・水溜まりなどで舗装路が部分的に見えているとき
- 分岐・合流路などを走行するとき



線のひかれていない分岐

- 坂道や、丘の頂上に近づいているとき
- 段差などにより車両が大きく揺れたとき

- 車両、歩行者および移動する自転車の周囲に電波を強く反射するものがあるとき(狭い鉄橋を走行しているときなど)



衝突軽減ブレーキ(CMBS)

自車が、前方の車両のほぼ真後ろから追突するおそれがあるときや、対向車両に正面から衝突するおそれがあるとき、歩行者および人が乗車し移動している自転車(移動する自転車)に衝突するおそれがあるときに、運転者のブレーキ操作を支援し、衝突回避を支援したり衝突被害の軽減を支援したりするシステムです。

■システムの作動

自車の車速が約 5km/h 以上になるとフロントセンサーカメラが前方の車両、歩行者および移動する自転車の検知を開始。

自車との速度差が約 5km/h 以上ある車両、歩行者および移動する自転車に対して衝突のおそれがあるときに、CMBS が作動します。

交差点などでの右折時は、自車が約 30km/h 以下で走行中に対向車両に対して正面で衝突するおそれがあるときに、CMBS が作動します。

対向車両、停止車両、歩行者および移動する自転車に対しては、自車が約 100km/h 以下で走行中に衝突のおそれがあるときに、CMBS が作動します。
CMBS が作動し、停車した後または衝突のおそれがなくなったと判断した後に、CMBS は解除されます。
なお、衝突を回避しようとして、運転者がハンドル、ブレーキペダル、アクセルペダルを操作したときは、システムが解除されることがあります。

▶衝突軽減ブレーキ(CMBS)

⚠警告

**衝突軽減ブレーキ(CMBS)は、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況で衝突を回避したり、衝突による被害を軽減できるものではありません。
システムに頼った運転をすると、衝突など思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。
常に周囲の状況を確認し、十分な車間距離を保ち安全運転を心がけて走行してください。**

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。
➡ **Honda SENSING Elite** P.14
➡ **各種センサー** P.252

アクセルペダルの踏み込み量が大きいときに、システムが作動しない場合があります。

■衝突軽減ブレーキ(CMBS)の警告のしかた

以下の方法により、CMBS は衝突のおそれがあることを、運転者に知らせます。
- メーター内の警告やヘッドアップワーニングでの視覚への警告表示や警告ブザーに加え、アクセルペダルに断続的な反力による警告が発生します

CMBS の警報距離を Far・Normal・Near の 3 段階から選択することができます。

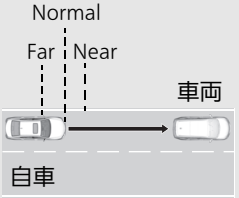
➔ 別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

Far は Normal に対して遠くで警告します。Near は Normal に対して近くで警告します。

次ページに続く

■衝突軽減ブレーキ（CMBS）作動の流れ

CMBSの作動には衝突の可能性に応じ3つの段階があります。しかし、状況によっては途中の段階から作動することがあります。

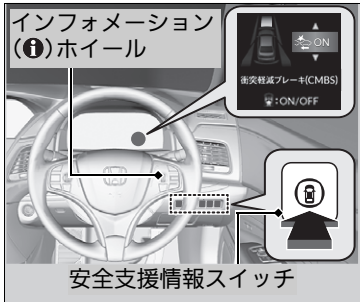
車両と自車の距離		状況	ブザーと表示による警告	E-プリテンショナー/ リアクティブフォースペダル	ブレーキ
第 1 段階		車両への衝突のおそれがでてきた状況	ヘッドアップワーニングと警告表示が 2 回点滅する さらに接近するとヘッドアップワーニング、警告表示およびブザーによる警報を行う ▶ 衝突警報距離を変更することができます。 **➲ 別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**	アクセルペダルに断続的な反力を発生 	—

車両と自車の距離		状況	ブザーと表示による警告	E-プリテンショナー/リアクティブフォースペダル	ブレーキ
第 2 段階		衝突の危険が増し、衝突するまでの余裕が少なくなった状況	ヘッドアップワーニング、警告表示およびブザーによる警報を行う	運転席のシートベルトを数回軽く引き込み、注意をうながす 	軽いブレーキ
第 3 段階		回避が困難な状況		運転席と助手席のシートベルトを強く引き込む 	強いブレーキ

※：衝突軽減ブレーキ（CMBS）によるブレーキが作動しているときは制動灯が点灯します。

次ページに続く

■衝突軽減ブレーキ(CMBS)の ON と OFF



以下の操作でCMBS の ON と OFF を切り替えてください。

1. 安全支援情報スイッチを押す。

2. インフォメーション(i)ホイールを回し、を選択してホイールを押す。

▶切り替わると、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

CMBS を OFF にした状態でパワーモードを OFF にした場合でも、再度パワーモードを ON にすると自動的に ON になります。

▨衝突軽減ブレーキ(CMBS)

マルチインフォメーションディスプレイから「安全支援情報」を選択することもできます。

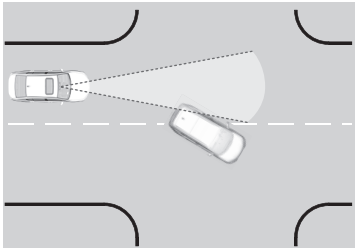
➡ **マルチインフォメーションディスプレイ(右側)** P.111

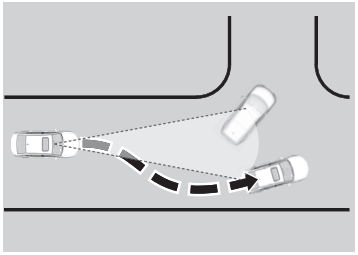
車両の整備や検査の際に、シャシーダイナモやフリーローラーを使用するときは CMBS を OFF にしてください。

■衝突の可能性が高くない場合の作動について

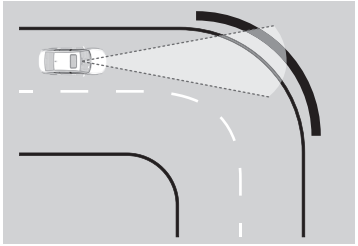
衝突の可能性が高くなくても、以下のとき、衝突軽減ブレーキ（CMBS）が作動することがあります。

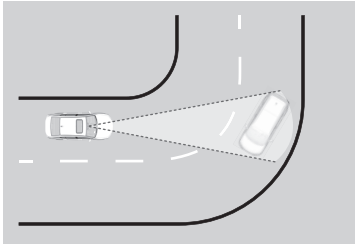
- 左折、または右折している前方車両がいるとき、または右左折待ちの車両がいるとき
- 前走車を追い越すときに車両に接近して走行する場合
- 交差点などで車両に接近して走行する場合





- 低いゲートや狭いゲートなどの間を規制速度を越えるような速度で通過しようとするとき
- カーブ途中の道路脇に標識やガードレールなどがあるとき
- カーブ走行などで自車の正面に対向車がいるとき





- 駐車時など、停止している車両や壁に接近するとき

次ページに続く

■衝突軽減ブレーキ（CMBS）が作動しない事例

以下の場合は衝突軽減ブレーキ（CMBS）が作動しません。

- 車両、対向車両、歩行者および移動する自転車との距離が極端に短いとき
- 自車の前方に車両、対向車両、歩行者および移動する自転車が急に割り込んできたり、飛び出してきたとき
- 歩行者の一部（頭や手足など）が荷物などによりかくれているとき
- 歩行者や移動する自転車が背景に紛れて検知できないとき
- 歩行者が前かがみやしゃがんだ姿勢をとっているとき、手を挙げたり、走っているとき
- 歩行者の身長が約 1m 以下、または約 2m 以上のとき
- 歩行者や移動する自転車が集団で前方にいるとき
- 歩行者や移動する自転車の横断速度が速いとき
- 歩行者や移動する自転車が対向して接近してきたとき
- 歩行者がベビーカーや自転車などを押しているとき
- 車両、対向車両、歩行者および移動する自転車のかたちとしてフロントセンサーカメラが正しく検知できないとき
- 暗がりで前方の車両が無灯火のとき
- 自転車が停止しているとき
- 移動する自転車が、子供用自転車、折り畳み自転車および三輪車などのタイヤ径が小さい自転車やタンデム自転車などの全長が長い自転車のとき

■衝突軽減ブレーキ（CMBS）の制限

衝突軽減ブレーキ（CMBS）には限界があります。
状況に応じて運転操作してください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。
Honda SENSING Elite の制限 P.258

- 二輪車、車いす、特殊な形状の車両などのとき
- 衝突を回避しようとして、運転者がブレーキやハンドルを操作したとき
- 急加速やハンドル操作（右折時を除く）※ をしながら、前方の車両、対向車両、歩行者および移動する自転車に接近したとき
- 前方の車両、対向車両、歩行者および移動する自転車が自車の正面にいないとき
- 車両、対向車両、歩行者および移動する自転車と自車の速度差が大きいとき
- 前方の車両や移動する自転車が急減速したとき
- 自車の前方や先行車との間に別の車両や歩行者、自転車などが割り込んできたとき
- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを改造や変更したとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ルーフに長い荷物を載せてフロントガラス上にかかっているとき

※：右折時に対向車両に対して正面で衝突のおそれがあるときに衝突軽減ブレーキ（CMBS）が作動しますが、急なハンドル操作などによっては作動できない場合があります。

踏み間違い衝突軽減システム

踏み間違い衝突軽減システムは近距離衝突軽減ブレーキ、誤発進抑制機能、後方誤発進抑制機能の 3 つの機能を持ったシステムです。
自車が、壁などの障害物に衝突するおそれがある場合のブレーキ制御や壁などの障害物があるにもかかわらずアクセルペダルを必要以上に強く踏み込んだ場合のパワーシステムの出力抑制により、衝突回避を支援したり衝突被害の軽減を支援したりするシステムです。

≫踏み間違い衝突軽減システム

⚠警告

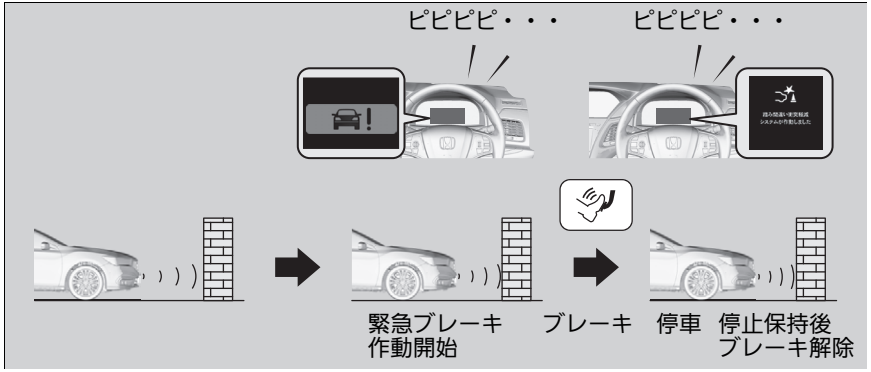
踏み間違い衝突軽減システムは、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況でアクセルペダルの踏み間違いや踏みすぎ、または見落としによる衝突を回避したり、衝突による被害を軽減できるものではありません。
システムに頼った運転をすると衝突など思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。
運転者はシフトポジションやペダルの位置や常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけ走行してください。

踏切内に閉じ込められた場合など、意図しないタイミングで踏み間違い衝突軽減システムが作動したときは、ブレーキペダルを踏み、システムが解除されてから運転を続けてください。

■システムの作動

近距離衝突軽減ブレーキ

約2km/h～約10km/hで走行しているとき、壁などの障害物に衝突するおそれがあるとき運転者のブレーキ操作を支援し、音と表示でお知らせします。



パーキングセンサーシステムをリヤのみ OFF にしている場合は、後退時の近距離衝突軽減ブレーキが作動しません。

➔ **リヤセンサーの OFF** P.372

踏み間違い衝突軽減システム

縁石・輪留め、道路上の段差によりシステムが作動し、駐車や段差を乗り越えることができない場合には機能を OFF にしてください。

システムによりブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

➔ **Honda SENSING Elite** P.14
➔ **各種センサー** P.252

不要な作動を防ぐために、車両の整備や船舶、トラックなどへの積載時、検査の際のシャシーダイナモやフリーローラーを使用するときは OFF にしてください。

次ページに続く

誤発進抑制機能および後方誤発進抑制機能

停車時や約 10 ㎞ /h 以下で走行しているとき、自車のほぼ正面もしくは真後ろの近距離に壁などの障害物があるにもかかわらず、アクセルペダルを必要以上に強く踏み込んだ場合には、音と表示で知らせるとともにパワーシステムの出力抑制をすることで急な前進・後退を防止します。

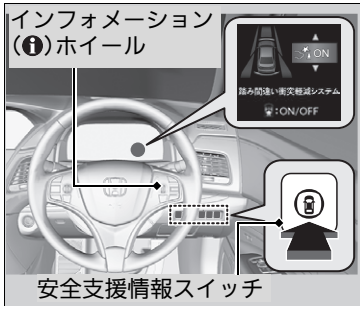
誤発進抑制機能および後方誤発進抑制機能が作動しないとき

前進：急な坂道やシフトポジションが、[P]、[R]、[N]のとき
後退：

- 急な坂道やシフトポジションが[R]以外のとき
- パーキングセンサーシステムをリヤのみ OFF にしているとき

➡ **リヤセンサーの OFF** P.372

■踏み間違い衝突軽減システムの ON と OFF



以下の操作でシステムの ON と OFF を切り換えてください。

1. 安全支援情報スイッチを押す。

2. インフォメーション(i)ホイールを回し、を選択してホイールを押す。

▶切り換わると、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

機能を OFF にした状態でパワーモードを OFF にした場合でも、再度パワーモードを ON にすると自動的に ON になります。

踏み間違い衝突軽減システムの ON と OFF

マルチインフォメーションディスプレイから「安全支援情報」を選択することもできます。

➡ **マルチインフォメーションディスプレイ(右側)** P.111

バッテリー再接続後、踏み間違い衝突軽減システムが一時的に OFF になる場合があります。

車速 20km/h 以上でしばらく走行すると自動で ON になります。

ON にならないときは Honda 販売店で点検を受けてください。

次ページに続く

■作動解除の条件

誤発進抑制機能および後方誤発進抑制機能の解除条件

- アクセルペダルを離したとき
- アクセルペダルを約 4 秒間踏み続けたとき
- ブレーキペダルを踏んだとき
- ハンドルを操作して、衝突を避けようとしたとき

近距離衝突軽減ブレーキの解除条件

近距離衝突軽減ブレーキが作動してから、一定時間経過したとき

■踏み間違い衝突軽減システムの制限

踏み間違い衝突軽減システムには限界があります。
状況に応じて運転操作してください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。
➡ **Honda SENSING Elite の制限** P.258

- 人・雪・布・スポンジなど音波を反射しにくい障害物のとき
- フェンス・自転車・標識の支柱など細い障害物のとき
- 背が低い・小さい障害物のとき
- バンパーのすぐ近くにある障害物のとき
- 地面に対して垂直でない壁などの障害物のとき
- 移動する物体など進路上に飛び出してきた障害物のとき
- 車両が高温または低温の状況にあるとき
- 障害物に対して斜めに接近する場合やハンドルを大きく切っているとき
- 気温・湿度が高いまたは低いとき
- 急勾配の坂道を走行するとき

作動解除の条件

近距離衝突軽減ブレーキ、誤発進抑制機能および後方誤発進抑制機能が一度作動した後は、同じ障害物に近づいた場合は作動しません。
作動後一定距離走行した場合に再作動が可能となります。

近距離衝突軽減ブレーキ、誤発進抑制機能および後方誤発進抑制機能は、前進時と後退時にそれぞれ作動することができます。
（例：前進時に作動し一定距離走行前でも、後退時には作動する）
ただし近距離衝突軽減ブレーキが作動した場合、誤発進抑制機能および後方誤発進抑制機能の再作動には一定距離の走行が必要となります。

- 他の車両のソナーセンサーなど、超音波を発するものが付近にあるとき
- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき

■衝突の可能性が高くない場合の作動について

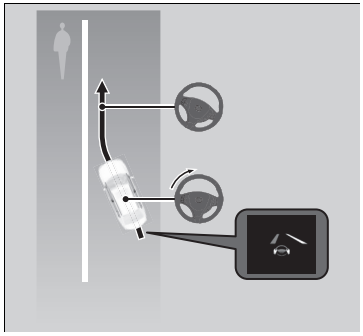
衝突の可能性が高くなくても、以下のとき、踏み間違い衝突軽減システムが作動することがあります。

- 低いゲートや狭いゲートなどの間を通過しようとするとき
- 高い位置に斜めの柱や壁などが突き出しているとき
- 道路脇に障害物があるとき
- 旗や幕、木の枝、踏切や ETC ゲートのバーなどに向かって走行するとき
- 冠水した道を走行するとき

歩行者事故低減ステアリング

路側帯や歩道の歩行者と衝突のおそれがあるとき、衝突を回避するようにハンドル操作を支援するシステムです。

■システムの作動



直線道路の白線内を車速が約 10km/h ～約 40km/h で走行時に、路側帯や歩道の歩行者に衝突するおそれがある場合、システムが歩行者と白線(黄線)や車道との境界をとらえ作動します。

メーターなどの表示、ブザー音とともに、システムによるハンドル操作を行ない運転者の操作を促しながら衝突回避を支援します。

車両と歩行者の位置関係によっては CMBS の作動が優先される場合があります。

機能の作動中に運転者が操作した場合は運転者の操作を優先します。

▶歩行者事故低減ステアリング

⚠警告

歩行者事故低減ステアリングは、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況での歩行者事故を回避したり、軽減できるものではありません。
システムに頼った運転をすると、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。
常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

➔ **Honda SENSING Elite** P.14
➔ **各種センサー** P.252

繰り返し歩行者事故低減ステアリングが作動しても運転者の操作がない場合は警報音が鳴ります。その後、左記の警告を表示し操舵アシストが一時停止して、メーターなどの表示とブザー音のみで警告します。

一時停止状態から数分経過すると、左記の表示とともに歩行者事故低減ステアリングは復帰します。

次ページに続く

■歩行者事故低減ステアリングの ON と OFF

歩行者事故低減ステアリングは、路外逸脱抑制機能が ON のときに作動します。
以下の操作でシステムの ON と OFF を切り換えてください。

1. 安全支援情報スイッチを押す。
2. インフォメーション(i)ホイールを回し、[]を選択してホイールを押す。
   ▶切り換わると、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

»歩行者事故低減ステアリングの ON と OFF

路外逸脱抑制機能の設定で「操舵アシストなし / 警報のみ」を選択した場合は、歩行者事故低減ステアリングはハンドル制御を行いません。

➡ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

マルチインフォメーションディスプレイから「安全支援情報」を選択することもできます。

➡ **マルチインフォメーションディスプレイ(右側)** P.111

■歩行者事故低減ステアリングの作動しない事例

以下の場合は歩行者事故低減ステアリングが作動しません。

- ワイパーが高速で作動しているとき
- 車線内を走行していないとき
- 方向指示器(ウィンカー)を使用しているとき
- 歩行者が飛び出してきたとき
- 歩行者の一部(頭や手足など)が荷物などによりかくれているとき
- 歩行者が背景に紛れて検知できないとき
- 歩行者が前かがみやしゃがんだ姿勢をとっているとき、手を挙げたり、走っているとき
- 歩行者の身長が約 1m 以下、または約 2m 以上のとき
- 歩行者が集団で前方にいるとき
- 歩行者の横断速度が速いとき
- 歩行者が対向して接近してきたとき
- 歩行者がベビーカーや自転車などを押しているとき
- 歩行者のかたちとしてカメラが正しく検知できないとき
- 衝突を回避しようとして、運転者がアクセルやブレーキやハンドルを操作したとき
- 急加速やハンドル操作をしながら歩行者に接近したとき
- 歩行者が自車の正面にいないとき
- 歩行者と自車の速度差が大きいとき
- 歩行者との距離が極端に短いとき
- ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、ハンズオフ機能付車線変更支援機能、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が作動しているとき

次ページに続く

- 緊急時停車支援機能が作動したとき

■歩行者事故低減ステアリングの制限

歩行者事故低減ステアリングには限界があります。
状況に応じて運転操作してください。

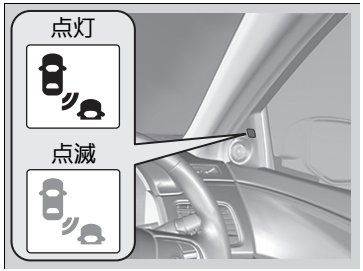
天候や道路状況などにより制限される場合があります。
➔ **Honda SENSING Elite の制限** P.258

- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを改造や変更したとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ルーフに長い荷物を載せてフロントガラス上にかかっているとき

車線変更時衝突抑制機能

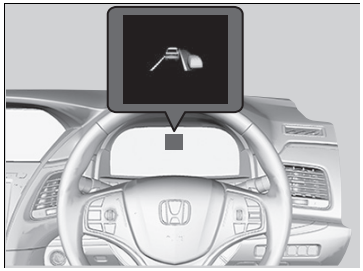
車線内を走行中に、隣接する車線後方に他の車両がいることを表示し、車線変更などの操作時に後側方車両との衝突のおそれがあるとき、表示と警報音で運転者の操作を促し、ハンドル操作を支援するシステムです。

■システムの作動



車速が約 20km/h 以上のときに隣接する車線の後方付近に車両を検知すると、車線変更時衝突抑制機能警告灯が点灯します。

▶方向指示器(ウィンカー)スイッチを操作している場合は車線変更時衝突抑制機能警告灯が点滅し、「ピピピ」とブザーが鳴ります。



車速が約 60km/h ～約 120km/h で自車が車線変更中、後側方車両と衝突のおそれがある場合は、警告灯が点滅し、メーターなどの表示、ブザー音とともに、システムが回避する方向にハンドル操作を支援します。

システムの作動中に運転者が操作した場合は運転者の操作を優先します。

車線変更時衝突抑制機能

⚠警告

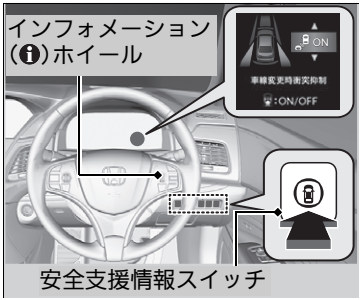
車線変更時衝突抑制機能は、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況での事故を回避したり、軽減できるものではありません。
システムに頼った運転をすると、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。
常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

➔ **Honda SENSING Elite** P.14
➔ **各種センサー** P.252

次ページに続く

■車線変更時衝突抑制機能の ON と OFF



以下の操作でシステムの ON と OFF を切り換えてください。

1. 安全支援情報スイッチを押す。

2. インフォメーション(ⓘ)ホイールを回し、を選択してホイールを押す。

▶切り換わると、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

▶▶車線変更時衝突抑制機能の ON と OFF

操舵アシスト、警報音、警報表示の設定をカスタマイズすることができます。

➡ 別冊のHonda インターナビシステム取扱説明書

マルチインフォメーションディスプレイから「安全支援情報」を選択することもできます。

➡ マルチインフォメーションディスプレイ(右側) P.111

■車線変更時衝突抑制機能の作動しない事例

以下の場合は車線変更時衝突抑制機能が作動しません。

- ワイパーが高速で作動しているとき
- 交差点を右左折しているとき
- 二輪車や小型な車両が検知範囲に入ったときや、電波を反射しないものが検知範囲にあるとき
- 他の車両が隣接する車線よりさらに外側から接近してきたとき
- 旋回や路面の凸凹により車体が傾いているとき
- 自車が隣接する車線を走行する車両を追い越した直後
- 衝突を回避しようとして、運転者がアクセルやブレーキやハンドルを操作したとき
- カーブの内側の車線を大きくはみ出して走行しているとき
- ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、ハンズオフ機能付車線変更支援機能、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能、トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）が作動しているとき
- 緊急時停車支援機能が作動したとき

次ページに続く

■車線変更時衝突抑制機能の制限

車線変更時衝突抑制機能には限界があります。
状況に応じて運転操作してください。

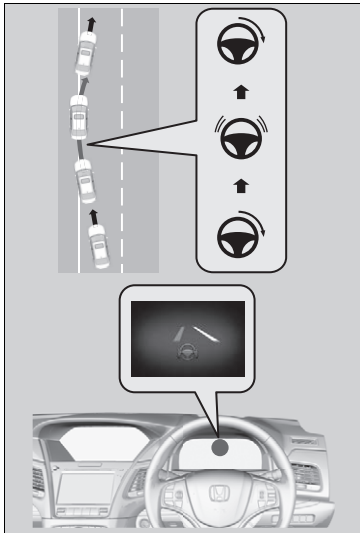
天候や道路状況などにより制限される場合があります。
➡ Honda SENSING Elite の制限 P.258

- 路上の設置物(ガードレール、電柱、木、駐車車両、建物、壁など)を検知したとき
- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを改造や変更したとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ルーフに長い荷物を載せてフロントガラス上にかかっているとき

路外逸脱抑制機能

車線内走行中に車線逸脱のおそれがあるとき、車線逸脱を回避するように運転を支援し表示と警報音などで知らせる機能です。

■システムの作動



システムが左右の白線(黄線)や道路境界をとらえ、方向指示器(ウィンカー)を使用せずに逸脱するおそれがあるとき、作動します。

白線(黄線)の場合

車速が約 60km/h ～約 120km/h のとき
▶ 対向車が走行している場合

車速が約 30km/h ～約 120km/h のとき

路肩が縁石 / 芝 / 砂利の場合

車速が約 30km/h ～約 120km/h のとき

メーターなどの表示とともに、システムによるハンドル振動およびハンドル操作を行ない、運転者の操作を促しながら逸脱回避を支援します。

システムの作動中に運転者が操作した場合は運転者の操作を優先します。

次ページに続く

路外逸脱抑制機能

⚠警告

路外逸脱抑制機能は、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況で路外逸脱を回避できるものではありません。
システムに頼った運転をすると、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。
常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

➔ **Honda SENSING Elite** P.14
➔ **各種センサー** P.252

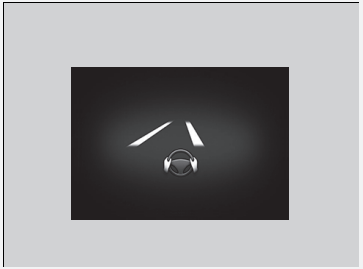
繰り返し路外逸脱抑制機能が作動しても運転者の操作がない場合は警報音が鳴ります。その後、左記の警告を表示し操舵アシストが一時停止して、メータなどの表示とブザー音のみで警告します。

一時停止状態から数分経過すると、左記の表示とともに路外逸脱抑制機能は復帰します。

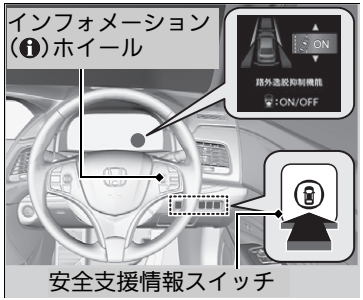
路外逸脱抑制機能

カスタマイズ機能で「アシストタイミング早め」を選択し、車線維持支援システム(LKAS)を作動させていない場合、車線逸脱の可能性を検知すると以下のメッセージの表示とハンドル操作がされます。

別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書



■路外逸脱抑制機能の ON と OFF



以下の操作でシステムの ON と OFF を切り換えてください。

1. 安全支援情報スイッチを押す。

2. インフォメーション(🛈)ホイールを回し、[]を選択してホイールを押す。

▶切り換わると、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

■路外逸脱抑制機能の作動しない事例

以下の場合は路外逸脱抑制機能が作動しません。

- ワイパーが高速で作動しているとき
- カーブの内側の車線を大きくはみ出して走行しているとき
- 逸脱を回避しようとして、運転者がアクセルやブレーキやハンドルを操作したとき
- ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、ハンズオフ機能付車線変更支援機能、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が作動しているとき
- 緊急時停車支援機能が作動したとき

路外逸脱抑制機能の ON と OFF

オーディオ / インフォメーション画面を使用してシステムの設定をカスタマイズすることができます。
カスタマイズ機能で「操舵アシストなし / 警報のみ」を選択した場合、システムはハンドル制御を行いません。

➡ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

マルチインフォメーションディスプレイから「安全支援情報」を選択することもできます。

➡ **マルチインフォメーションディスプレイ(右側)** P.111

次ページに続く

■路外逸脱抑制機能の制限

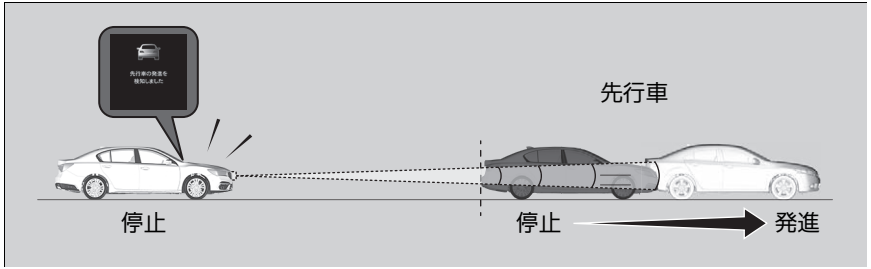
路外逸脱抑制機能には限界があります。
状況に応じて運転操作してください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。
➡ Honda SENSING Elite の制限 P.258

- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを改造や変更したとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ルーフに長い荷物を載せてフロントガラス上にかかっているとき

先行車発進お知らせ機能

信号待ちなどで、先行車が発進したことに気づかず停止し続けたときに、音と表示で運転者に知らせるシステムです。



■システムの作動

先行車に続いて停車(停止状態での車間距離が約10m以内、かつ自車・先行車がしばらく停止)すると先行車を認識し続け、先行車の発進を検知しても自車が停止し続けたときに作動します。

■シフトポジションがDの場合

ブレーキペダルを踏んでいるまたはオートマチックブレーキホールドのブレーキ保持機能が作動している。

先行車発進お知らせ機能

⚠警告

先行車発進お知らせ機能は、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況で安全に発進できる状況を知らせるシステムではありません。
システムに頼った運転をすると、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。
発進するときは、運転者が目視で周囲と前方の安全を十分に確認し、適切な車間距離を保ち運転してください。

先行車発進お知らせ機能を OFF にすることができます。

➔ 別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書

次ページに続く

■シフトポジションがNの場合

ブレーキペダルを踏んでいるまたはパーキングブレーキが作動しているまたはオートマチックブレーキホールドのブレーキ保持機能が作動している。

システムの作動タイミングを標準・早めの2段階から選択することができます。

➔ 別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

標準は先行車が停止状態から約 3m 以上進んだときに作動します。
早めは先行車の発進を検知したときに作動します。

≫先行車発進お知らせ機能

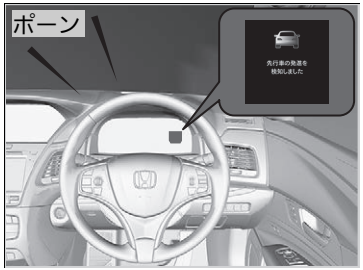
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)警告灯が点灯しているときは、先行車発進お知らせ機能は作動しません。

➔ 警告灯 P.93

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

➔ Honda SENSING Elite P.14
➔ 各種センサー P.252

■システムの作動状態



システムが作動すると、「ポーン」とブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

次ページに続く

■先行車発進お知らせ機能の制限

先行車発進お知らせ機能には限界があります。
状況に応じて運転操作してください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。
➡ Honda SENSING Elite の制限 P.258

- 自車の停車している時間が短いとき
- 先行車の停車している時間が短いとき
- 先行車との距離が極端に短いとき
- 先行車が極端に遅い速度で移動しているとき
- 先行車が右左折や急旋回したとき
- 暗がりで先行車が無灯火のとき
- 歩行者や自転車、二輪車、特殊な形状の車両など
- 自車と先行車の間に別の車両や歩行者、自転車などが割り込んできたとき
- 先行車が自車の正面にいないとき
- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを改造や変更したとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ルーフに長い荷物を載せてフロントガラス上にかかっているとき

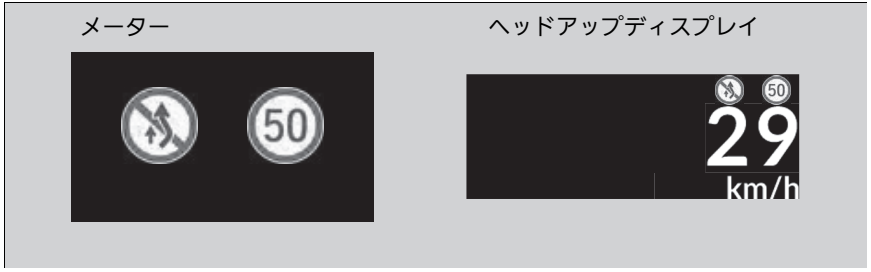
標識認識機能

標識認識機能は走行中に認識した道路標識情報をメーター内またはヘッドアップディスプレイに表示し、運転者にお知らせする機能です。
表示される道路標識は以下の 4 つです。

- 最高速度
- はみ出し通行禁止
- 一時停止
- 車両進入禁止

■作動のしかた

走行中にフロントセンサーカメラや高精度地図で特定の道路標識を認識し、メーターに道路標識情報を表示します。



▨標識認識機能

⚠警告

標識認識機能は、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況で標識を認識したり、運転者の標識の確認や認識を代行して作動するシステムではありません。
システムに頼った運転をすると、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。
常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

この機能は、日本の道路標識を認識するよう設計されていますが、すべての標識が表示されるわけではありません。
また、表示される道路標識であっても新しいデザインの道路標識は表示されません。

パワーシステムを起動後、約 15 秒の間は標識認識機能は作動しません。

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。
➔ **Honda SENSING Elite** P.14
➔ **各種センサー** P.252

次ページに続く

標識認識機能は以下の条件で作動します。
- 最高速度 / はみ出し通行禁止：速度に関係なく作動
- 一時停止 / 車両進入禁止：自車の速度が約 60km/h 以下のとき

以下のときは、道路標識情報が別のものに切り換わります。
- 表示中の最高速度と異なる最高速度標識を認識したとき
- 一時停止標識または、車両進入禁止標識を認識したとき

以下のときは道路標識情報が消えます。
- 最高速度とはみ出し通行禁止は、標識を通過してから標識ごとに設定された距離(数百〜千数百 m)を走行したとき、または終了を示す補助標識を認識したとき
- 一時停止は、標識を通過したとき
- 車両進入禁止は、進入せず標識を通過したとき
- 交差点で方向指示器(ウィンカー)を出しながら右左折したとき

道路標識が認識されない場合や認識できない場合、道路標識は表示されません。

標識認識機能

走行中に認識された最高速度の標識に対して、速度超過したときは表示された最高速度アイコンが点滅します。

別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書

メーター内に「運転支援機能の一部が使用できません　カメラが高温です」が表示されるとき、標識認識機能が作動せず、が表示されます。
- エアコンを使用して車内の温度を下げてください。窓ガラスが曇った場合、必要に応じて、デフロスターを使用してください。
- 車両を走行し、フロントガラスの温度を低下させ、フロントセンサーカメラ周辺の温度を下げてください。

メーター内に「運転支援機能の一部が使用できません　フロントウインドウが汚れています」が表示されるとき、標識認識機能が作動せず、が表示されます。
安全な場所に車を駐車し、フロントガラスの汚れを落としてください。フロントガラスの汚れを落とし、しばらく走行した後でもメッセージが消えない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

■メーター内またはヘッドアップディスプレイの表示

同時に二つまで道路標識情報を表示します。ディスプレイの右側には最高速度または一時停止標識、左側にははみ出し通行禁止または車両進入禁止標識を表示します。

メーター内の表示例

ヘッドアップディスプレイ内の表示例

左側は車両進入禁止、右側は一時停止を優先表示します

メーター内またはヘッドアップディスプレイの表示

車両進入禁止区域に進入すると車両進入禁止アイコンが点滅します。
約5秒間点滅したあと、車両進入禁止アイコンは消えます。

次ページに続く

■標識認識機能の制限

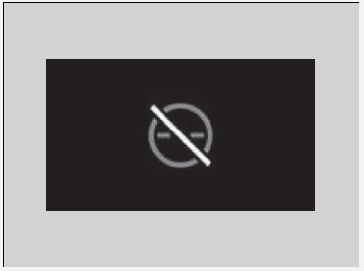
標識認識機能には限界があります。
状況に応じて運転操作してください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。
Honda SENSING Elite の制限 P.258

- ワイパーの拭き残しがあるとき
- 標識の周囲が煩雑で標識を見つけにくい場合
- 自車から遠く離れた位置にある標識
- 自車のヘッドライトの光が届きにくい位置にある標識
- 曲がり角やカーブの先に設置された標識
- 色あせた標識や折れ曲がった標識
- 向きが変えられた標識や破損した標識
- 泥、雪、又は、霜で覆われた標識
- 一部が樹木などで隠れていたり、車両などの陰になった標識
- 標識の表面上に光(街灯など)や影が映り込んでいる場合
- 明るすぎたり、暗い標識(電光式標識)
- 小さいサイズの標識
- 高い速度で走行しているとき
- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを改造や変更したとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ルーフに長い荷物を載せてフロントガラス上にかかっているとき

標識認識機能

標識認識機能が故障した場合はメーター内に が表示されます。
のメッセージが消えないときは、Honda 販売店で点検を受けてください。



以下の場合は、標識認識が正しく作動せず、自車の走路に対する規制内容とは異なる表示をしたり、実際には対象となる標識が無いのに表示したりすることがあります。
(最高速度標識においては、実際の規制速度よりも高い数値を表示したり、低い数値を表示したりすることがあります。)

- 標識の上や下に、規制の地点(始まり、終わりなど)や条件(曜日、時間帯など)を示す補助標識がある場合
- 数字の判別がつきにくい標識(電光式標識、数字がかすれた標識など)
- 自車の走路に対しての標識ではないが、自車の走路付近にあり、標識が自車の走路に向いている場合(側道が本線に合流する地点の一時停止標識など)
- 認識対象の標識の色、形、図形に似たものがある場合(類似の標識、電光掲示板、看板、のぼり旗、構造物など)

次ページに続く

■走行区域などにより正しい速度標識情報を提供できない事例

以下の場合は、自車の走路に対する規制内容とは異なる表示をすることがございます。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。

➔ Honda SENSING Elite の制限 P.258

- 道路や制限速度が新たに制定された場合
- ナビゲーションのデータベースに保存されている制限速度情報が古いもしくは不正確な場合
- 情報を活用できない地域を走行する場合
- 車載センサーが自車進行方法とは異なる動きをした場合
- 自車の走路に対して、隣接した速度の異なる道路が存在する場合
- カメラが一時的な速度標識を認識することができない場合
- トンネル内やビル群周辺など、GNSS の受信精度が低下する場所を走行したとき
- 低速で停止 / 発進が続いたとき
- ナビゲーションの案内とは異なる走行をしたとき
- 急勾配 / カーブが続くとき

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)

高速道路や自動車専用道本線上において設定された車速で定速走行します。
前走車がいる場合は設定車速と設定車間距離を保持しながら加減速、停車を行います。
運転者がアクセルやブレーキを操作せずに走行、停車出来るよう支援するシステムです。
車線維持支援システム(LKAS)と連動して作動します。

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)

⚠警告

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)は、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況で設定した車速で定速走行したり、前走車がいる場合に一定の車間を保持しながら加減速、停車をしたりするシステムではありません。

高速道路や自動車専用道本線ではない道路で使用したり、システムに頼った運転をしたりすると、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

次ページに続く

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)

⚠警告

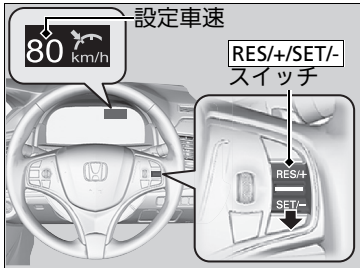
システムの作動中に停車した車両から、適切な駐車操作なしで外に出ると車両が操作なしで動き出す可能性があります。適切な駐車操作なしで動く車両は、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。
システムで停車した車両から絶対に外に出ないでください。

システムによるブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

■渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)の操作方法

ハンドルの(MAIN)スイッチを押すと、メーター内の渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯(ホワイト)が点灯し、渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)がONになります。

▶同時に車線維持支援システム(LKAS)がONになります。



車速 30km/h 以上でブレーキペダルを操作していないときに RES/+/SET/− スイッチを下に押すと現在の車速が設定車速とされ、渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)が作動し、メーター内の渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯(グリーン)と設定車速が表示されます。

▶条件を満たせば、同時に車線維持支援システム(LKAS)が作動します。

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)の操作方法

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

➔ **Honda SENSING Elite** P.14
➔ **各種センサー** P.252

次ページに続く

車速が 30km/h 以下のときは、前走車を検知している場合のみ作動することができ、設定車速は 30km/h に設定されます。
システムの作動中に運転者が操作した場合は運転者の操作を優先します。

■渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)の作動

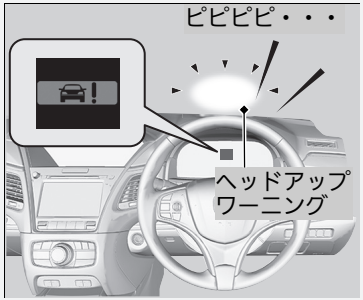
設定した車速で定速走行します。
システムが前走車を検知すると、前走車の車速変化に合わせ、設定車速の範囲内で車間距離を保ちながら追従走行します。前走車が車線変更などでいなくなると、設定車速までゆるやかに加速後、定速走行します。

前走車が停車すると、自車も自動で停車します。
前走車が動き始め発進できるようになったとき、RES/+/SET/−スイッチを上か下に押すか、アクセルペダルを踏むことで発進し、以前の設定車速の範囲内で追従走行します。

▩渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)の作動

アクセルペダルを踏み込むと一時的に解除され車速が上がり、アクセルペダルを離すと再度作動し追従走行または定速走行します。

前走車が急減速したり、遅い車両が割り込んできたときは、警告音が鳴りメーター内の警告やヘッドアップワーニングの警告が表示され、システムが解除される場合があります。
ブレーキを踏み適切な車間距離を保ってください。



オーディオ / インフォメーション画面を使って先行車検知音の有り / 無しを設定できます。

➡ **別冊のHonda インターナビシステム取扱説明書**

次ページに続く

■設定車速を調整するには

手元の RES/+/SET/- スイッチの操作で、設定車速を上げ/下げすることができます。

RES/+ 側

- 1 回押すごとに 1km/h ずつ設定車速が上がる
- 押し続けると 10km/h ずつ設定車速が上がり、手を離したときの設定車速に固定

SET/- 側

- 1 回押すごとに 1km/h ずつ設定車速が下がる
- 押し続けると 10km/h ずつ設定車速が下がり、手を離したときの設定車速に固定

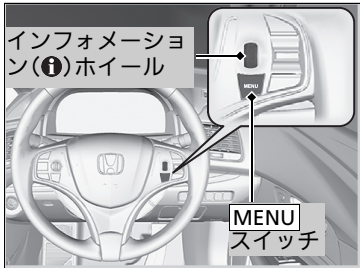
▧渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)の作動

カーブに対して車速が高く、システムが自車の位置を特定した場合、カーブ進入時に減速することがあります。そのときは以下のメッセージが表示されます。

➡ **高精度地図 / 全球測位衛星システム GNSS (Global Navigation Satellite System)**
P.257

合流地点付近では進入車両との状況によりブレーキがかかることがあります。状況に応じた運転操作を行ってください。

■車間距離を設定するには



以下の操作で車間設定ができます。

1. MENU スイッチを押す。

2. インフォメーション(ⓘ)ホイールを回し、 車間設定 を選択してホイールを押す。

▶切り替わると、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

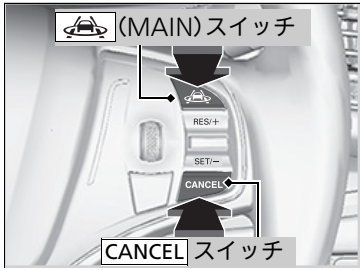
前走車との車間距離設定は、4 段階(最長、長、中、短)に切り換えることができます。適切な車間距離の設定を決定してください。

次ページに続く

車速が低くなるほど、車間距離は短くなります。車間距離の目安は以下の通りです。

車間距離設定		時速 80km/h のとき	時速 100km/h のとき
短		約 25m	約 30m
中		約 33m	約 40m
長		約 47m	約 59m
最長		約 64m	約 80m

■運転者の操作により解除するには



以下のいずれかの操作をすると、渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)が解除されます。

- 車両が前進しているときにブレーキペダルを踏む
- CANCEL スイッチを押す
  ▶この場合はメーター内の渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯と車線維持支援システム(LKAS)表示灯がホワイトになります。

このとき車線維持支援システム(LKAS)が解除されます。

以下の操作をすると、渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)がOFFになります。

- (MAIN)スイッチを押す
  ▶この場合はメーター内の渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯と車線維持支援システム(LKAS)表示灯が消灯します。
  このとき車線維持支援システム(LKAS)がOFFになります。

運転者の操作により解除するには

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)を解除前の設定車速で再度作動させるには：
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)を解除したあと、前走車を検知している場合、停車状態でもRES/+/SET/−スイッチを上に押すとメーター上に表示されている解除前の設定車速(グレー)で作動を開始することができます。
CANCELスイッチまたはブレーキペダルで解除した場合、その直前の設定車速がグレーで表示されます。RES/+/SET/−スイッチを上に押した場合、この車速で作動が開始されます。

以下の場合も渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)が解除されます。

- ハンドルを大きく操作したとき
- アクセルペダルを強く踏み込んだとき

次ページに続く

■渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)の制限

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)には限界があります。状況に応じて運転操作してください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。

Honda SENSING Elite の制限 P.258

- 山岳路や悪路を長時間走行したとき
- 急な勾配の道を走行しているとき
- 急斜面で停車しているとき
- 車両が 10 分以上停車しているとき
- ABS、VSA、衝突軽減ブレーキ(CMBS)または踏み間違い衝突軽減ブレーキが作動したとき
- VSA を OFF にしたとき
- 停車中にパーキングブレーキをかけたとき
- 運転席のシートベルトを外したとき
- 関連するシステムが異常のとき
- システム作動許可状態後、走行距離が規定未満のとき
- 前走車と自車との速度差が大きいとき
- 前走車が二輪車のとき
- 前走車が急減速したとき
- 前走車が、車線の片側にかたよって走行しているとき
- 自車が、車線の片側にかたよって走行しているとき
- メーター内に が表示されたとき
- 前走車が荷物を積んでいないトラックなど前側に対して後ろ側の面積が小さい車両のとき

- インターナビシステムで目的地設定しているときに出口 / 分岐（ジャンクション）や料金所の手前約 200m のとき
  ▶ ただし、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能が作動しなかったときや、自車位置を特定できていないときは解除されません。
- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを改造や変更したとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ルーフに長い荷物を載せてフロントガラス上にかかっているとき

車線維持支援システム(LKAS)

高速道路や自動車専用道本線上の走行時に、システムが左右の白線(黄線)をとらえ、ハンドル操作をアシストし、車線維持走行を支援するためのシステムです。
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)と連動して作動します。

▶車線維持支援システム(LKAS)

⚠警告

車線維持支援システム(LKAS)は、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況でハンドル操作し、車線維持走行をするシステムではありません。

高速道路や自動車専用道本線ではない道路で使用したり、システムに頼った運転をしたりすると、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

➔ Honda SENSING Elite P.14
➔ 各種センサー P.252

■車線維持支援システム(LKAS)の操作方法

ハンドルの (MAIN)スイッチを押すと、メーター内の車線維持支援システム(LKAS)表示灯(ホワイト)が点灯し、車線維持支援システム(LKAS)が ON になります。

▶ このとき渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)が ON になります。

RES/+/SET/- スイッチを下に押すと、車線維持支援システム(LKAS)表示灯(グリーン)が点灯します。

▶ このとき渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)が作動します。

車線維持支援システム(LKAS)の操作方法

車線維持支援システム(LKAS)を無効にすることができます。 MENU スイッチを2度押し、インフォメーション(ⓘ)ホイールを回し、有効/無効を選択してホイールを押してください。
車線維持支援システム(LKAS)を無効にしても車線維持支援システム(LKAS)表示灯(ホワイト)は点灯します。

次ページに続く

両側の白線（黄線）を検知すると、車速 65km/h 以上でメーター内の車線維持表示がグリーンになり車線維持支援システム（LKAS）が作動します。

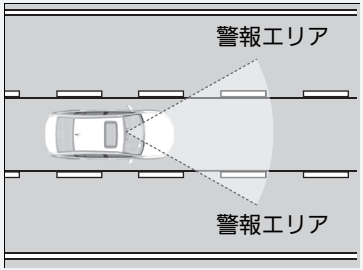
システムの作動中に運転者が操作した場合は運転者の操作を優先します。

■車線維持支援システム(LKAS)の作動

車線中央を走行するようにアシストします。
白線(黄線)に近づくとハンドル操舵力のアシストが強くなります。
警報エリアに入ると警報音とディスプレイ表示で警報します。

▩車線維持支援システム(LKAS)の作動

作動中に自車が警報エリアに入ると車線逸脱の警報を警報音とディスプレイ表示で行います。



車線維持支援システム(LKAS)が作動しているときに一定時間ハンドルをもたないと、メーターなどに警告を表示します。さらにハンドルを持たないと車線維持支援システム(LKAS)が解除されます。

次ページに続く

■運転者の操作により解除するには

以下のいずれかの操作をすると、車線維持支援システム(LKAS)が解除されます。

- 車両が前進しているときにブレーキペダルを踏む
- CANCEL スイッチを押す
  ▶ この場合はメーター内の車線維持支援システム(LKAS)表示灯と渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯がホワイトになります。

このとき渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)が解除されます。

以下の操作をすると、車線維持支援システム(LKAS)が OFF になります。

- (MAIN)スイッチを押す
  ▶ この場合はメーター内の車線維持支援システム(LKAS)表示灯と渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯が消灯します。

このとき渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)が OFF になります。

運転者の操作により解除するには

車線維持支援システム(LKAS)を解除した後、再度作動させるには：
RES/+/SET/- スイッチを上か下に押します。条件を満たすと再度作動します。

以下の場合も車線維持支援システム(LKAS)が解除されます。

- ハンドルを大きく操作したとき
- 方向指示器(ウィンカー)スイッチを保持される位置まで操作したとき
- アクセルペダルを強く踏み込んだとき
- ワイパーが高速で作動したとき
- 両側の白線(黄線)を検知できなくなったとき
- 車速が 60km/h 以下になったとき
- ハンズオフ機能付車線変更支援機能が作動しているとき
- ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能が作動しているとき

前走車を検知している場合やシステムが自車の位置を特定している場合車速 60km/h 以下でも作動します。

■車線維持支援システム(LKAS)の制限

車線維持支援システム(LKAS)には限界があります。状況に応じて運転操作してください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。

Honda SENSING Elite の制限 P.258

- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを改造や変更したとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ルーフに長い荷物を載せてフロントガラス上にかかっているとき

トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)

高速道路や自動車専用道本線上の渋滞時にシステムが加減速・停車・ハンドル操作を支援し、前走車の車速変化に合わせて車間距離を保ちながら同一車線内を走行、停車します。

■トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)の作動

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)と車線維持支援システム(LKAS)が作動しているとき、車速が約 60km/h 以下の渋滞走行時にトラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)が作動します。

システムの作動中に運転者が操作した場合は運転者の操作を優先します。

▶トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)

⚠警告

トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)は、運転者の運転を支援するためのシステムであり、あらゆる状況で渋滞時に加減速、停車やハンドル操作し、前走車との車間保持や車線維持走行をするシステムではありません。

高速道路や自動車専用道本線ではない道路で使用したり、システムに頼った運転をしたりすると、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)

⚠警告

システムの作動により停車した車両から、適切な駐車操作なしで外に出ると車両が操作なしで動き出す可能性があります。適切な駐車操作なしで動く車両は、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。
車両から外に出るときは、必ず適切な駐車操作を行い、周囲の安全を確認してください。

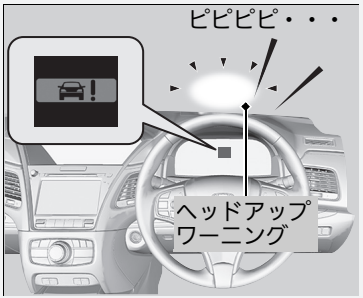
関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

➔ **Honda SENSING Elite** P.14
➔ **各種センサー** P.252

次ページに続く

トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)

前走車が急減速したり、遅い車両が割り込んできたときは、警告音が鳴りメーター内の警告やヘッドアップワーニングの警告が表示され、システムが解除される場合があります。ブレーキを踏み適切な車間距離を保ってください。



■運転者の操作により解除するには

以下のいずれかの操作をすると、トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）が解除されます。

- 車両が前進しているときにブレーキペダルを踏む
- CANCEL スイッチを押す
  ▶ この場合はメーター内の渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）表示灯と車線維持支援システム（LKAS）表示灯がホワイトになります。

このとき渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）と車線維持支援システム（LKAS）が解除されます。

以下の操作をすると、トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）が OFF になります。

- （MAIN）スイッチを押す
  ▶ この場合はメーター内の渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）表示灯と車線維持支援システム（LKAS）表示灯が消灯します。

このとき渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）と車線維持支援システム（LKAS）が OFF になります。

運転者の操作により解除するには

以下の場合もトラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能）が解除されます。

- ハンドルを大きく操作したとき
- 方向指示器（ウィンカー）スイッチを保持される位置まで操作したとき
- アクセルペダルを強く踏み込んだとき
- ワイパーが高速で作動したとき

次ページに続く

■トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)の制限

トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)には限界があります。状況に応じて運転操作してください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。

➔ **Honda SENSING Elite の制限** P.258

- 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)の追従機能や車線維持支援システム(LKAS)の車線維持機能が作動できなくなったとき

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能

高速道路や自動車専用道本線上において設定された車速で定速走行し、車線を維持するようにハンドル操作を支援します。
前走車がいる場合は設定車速と設定車間距離を保持しながら加減速、停車を行います。
運転者がハンドルやアクセル、ブレーキを操作せずに、車線内走行が出来るように支援するためのシステムです。

■ハンズオフ機能付車線内運転支援機能の作動

Honda SENSING Elite
表示灯ハンドル(ブルー)

高速道路や自動車専用道本線上で渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)と車線維持支援システム(LKAS)が作動中のとき、高精度地図や全球測位衛星システム GNSS(Global Navigation Satellite System)、各種センサーの情報を用いてシステムが自車の位置を特定すると作動します。

▶出口/ジャンクションなどに近づくとハンズオフ機能付車線内運転支援機能が終了します。メーターなどの表示にしたがってハンドル操作してください。

システムの作動中に運転者が操作した場合は運転者の操作を優先します。

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能

⚠警告

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能は運転者の運転操作を支援するためのシステムです。あらゆる状況で車線内走行を維持し定速走行や追従走行するための加減速・停車・ハンドル操作をするシステムではありません。

高速道路や自動車専用道本線ではない道路で使用した場合や、システムに頼った運転や操作要求に応じない場合は、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

運転者は常に運転姿勢を保ち周囲の状況を確認し、運転操作をする必要があります。また、システムから操作要求された場合、ただちにしたがってください。

常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

次ページに続く

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

➡ **Honda SENSING Elite** P.14
➡ **各種センサー** P.252

システムによりブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が使用できない区間があります。詳しくはHondaホームページをご覧ください。

カスタマイズ機能でハンズオフ機能付車線内運転支援機能をOFFにすることができます。

➡ **別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書**

■ハンズオフ機能付車線内運転支援機能の作動状態

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能が作動するとメーター表示がグリーンからブルーに切り替わり Honda SENSING Elite 表示灯ハンドル(ブルー)が点灯、ブザーでお知らせします。

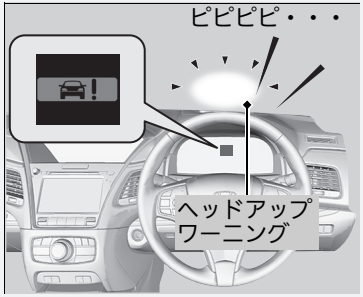
前走車が停車 / 発進すると、自車も前走車に合わせて停車 / 発進します。

▶ 停車中となった場合は、 RES/+/SET/- を上か下に押すか、アクセルペダルを踏むことで発進します。

ドライバーモニタリングカメラで運転者の状態を検知しています。システムが居眠り、わき見などの状態にあると判断した場合メーターなどでお知らせします。

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能の作動状態

前走車が急減速したり、遅い車両が割り込んできたときは、強いブレーキ、運転席と助手席のシートベルトの強い引き込みとともに警告音が鳴りメーター内の警告やヘッドアップワーニングの警告が表示され、操作要求後にシステムが解除される場合があります。
ブレーキを踏み適切な車間距離を保ってください。



次ページに続く

運転者による操作が必要になるときはHonda SENSING Elite表示灯ハンドル(オレンジ)が点滅しメーターなどの表示、ブザーにより操作要求します。

▶ 操作要求にしたがうとハンズオフ機能付車線内運転支援機能が終了します。

メーターなどの表示にしたがって運転操作してください。

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能の作動状態

カーブに対して車速が高く、システムが自車の位置を特定した場合、カーブ進入時に減速することがあります。そのときは以下のメッセージが表示されます。

高精度地図 / 全球測位衛星システム GNSS (Global Navigation Satellite System) P.257

合流地点付近では進入車両との状況によりブレーキがかかることがあります。状況に応じた運転操作を行ってください。

操作要求に応じなかった場合

緊急時停車支援機能 P.352

■運転者の操作により解除するには

以下のいずれかの操作をすると、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能が解除されます。ハンドルを持った状態で操作してください。

- 車両が前進しているときにブレーキペダルを踏む
- CANCEL スイッチを押す
  ▶ この場合はメーター内の渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯と車線維持支援システム(LKAS)表示灯がホワイトになります。

このとき渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)と車線維持支援システム(LKAS)が解除されるため、運転者による運転をしてください。

以下の操作をすると、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能が OFF になります。ハンドルを持った状態で操作してください。

- (MAIN)スイッチを押す
  ▶ この場合はメーター内の渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)表示灯と車線維持支援システム(LKAS)表示灯が消灯します。

このとき渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)と車線維持支援システム(LKAS)が OFF になるため、運転者による運転をしてください。

運転者の操作により解除するには

以下の場合もハンズオフ機能付車線内運転支援機能が解除されます。

- ハンドルを大きく操作したとき
- 方向指示器(ウィンカー)スイッチを保持される位置まで操作したとき
- アクセルペダルを操作したとき
- ワイパーが高速で作動したとき

次ページに続く

■ハンズオフ機能付車線内運転支援機能の作動しない事例

以下の場合はハンズオフ機能付車線内運転支援機能が作動しません。

- ドライバーモニタリングカメラが運転者を正しい運転姿勢でない(居眠り、わき見など)と判断したとき
- 衝突軽減ブレーキ(CMBS)が OFF のとき
- 高精度地図の情報と自車が検知している状態が異なるとき
- ドライバーモニタリングカメラの認識範囲において顔の向きや位置、目などを検知できていないとき
- 高速道路上の標識を認識できていないとき
- 新しい道路情報が高精度地図に反映されていないとき
- トランク内の 12V バッテリーが低温状態のとき
- トランク内の 12V バッテリーの充電量が少ないとき

■ハンズオフ機能付車線内運転支援機能の制限

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能には限界があります。メーターに表示される操作要求のお知らせにしたがってください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。

Honda SENSING Elite の制限 P.258

- 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)の追従機能や車線維持支援システム(LKAS)の車線維持機能が作動できなくなったとき
- インターナビシステムで目的地設定しているときに出口 / 分岐(ジャンクション)手前約 2 ㎞以内のとき
- 料金所の手前にきたとき
- 中央分離帯がない高速道路を走行するとき
- トンネル、遮音壁、谷間など全球測位衛星システムGNSS(Global Navigation Satellite System)が受信困難で自車位置が特定できないとき
- 工事区間など交通規制のある区間を検知したとき
- 合流などで側方車両が接近してきたとき
- 自車付近に人を検知したとき
- 前走車が発進した後もブレーキを踏みつづけたとき
- 急な割込みがあったとき

次ページに続く

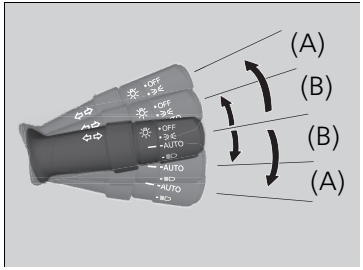
- 車線を逸脱したとき
- 障害物を検知したとき
- 車両が衝撃を検知したとき
- 荒れた路面などでハンドルがとられたとき
- 自車の走行車線が隣接車線と合流(車線減少)するとき
- 路肩に車両が停止しているとき
- ルーフに載せた荷物の影響で自車位置を測位できないとき
- 手袋を着用しているとき
- ステアリングに保護カバーを取り付けているとき
- 目的地キャンセルやリルートのとき
- 車線維持をすることができなくなったとき

ハンズオフ機能付車線変更支援機能

高速道路や自動車専用道本線上で、方向指示器(ウィンカー)スイッチを操作するとシステムが車線変更に伴なう加減速・ハンドル操作を支援します。

■ハンズオフ機能付車線変更支援機能の作動

■ハンズオフ機能付車線変更支援機能の操作方法



操作する前に周辺の安全を確認してください。

ハンズオフ機能付車線変更支援機能表示灯(ホワイト)またはハンズオフ機能付高度車線変更支援表示灯(ブルー)が点灯している状態で、方向指示器(ウィンカー)スイッチを(B)の位置で「ピ」とブザーが鳴るまで軽く押し下げ / 押し上げた状態を保持します。

▶作動条件を満たしている場合に作動します。

▶「ピピピ」とブザーが鳴るときは作動しません。

以下の条件で作動します。

- 車速が約 65km/h 以上で走行しているとき
- 移動先車線の前方後方に車両がいないとき
- 直線または半径 300m 以上のゆるやかなカーブを走行しているとき
- 車線変更する側の車線境界線が破線または実線のとき

ハンズオフ機能付車線変更支援機能

⚠警告

ハンズオフ機能付車線変更支援機能は運転者の運転操作を支援するためのシステムです。あらゆる状況で車線変更に伴なう加減速・ハンドル操作をするシステムではありません。

高速道路や自動車専用道本線ではない道路で使用した場合や、システムに頼った運転をした場合は、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

運転者は常に運転姿勢を保ち車線変更先の状況を含めた周囲の状況を確認し、運転操作をする必要があります。

常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

次ページに続く

ハンズオフ機能付車線変更支援機能表示灯(グリーン)が点灯しているときはハンドル操作が必要なためハンドル操作を続けてください。

ハンズオフ機能付車線変更支援機能

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

➔ **Honda SENSING Elite** P.14
➔ **各種センサー** P.252

システムによりブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

ハンズオフ機能付車線変更支援機能の作動

カスタマイズ機能でハンズオフ機能付車線変更支援機能を OFF にすることができます。

➔ **別冊のHonda インターナビシステム取扱説明書**

目的地設定している場合は、ジャンクションや出口の手前ではハンズオフ機能付車線変更支援機能は作動しません。

車線の色は識別しません。状況に応じた操作をしてください。

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が作動しているときはハンズオフ機能付車線変更支援機能は作動しません。

■ハンズオフ機能付車線変更支援機能の作動状態

ウィンカーが点滅しメーター内のハンズオフ機能付車線変更支援機能表示灯(ブルー/グリーン)と車線変更表示が点灯します。
車線変更が開始されますので周囲の安全確認を続けてください。
車線変更が終わるとウィンカー点滅が終了します。

システムの作動中に運転者が操作した場合は運転者の操作を優先します。

ハンズオフ機能付車線変更支援機能の作動

走行を開始してから遠方の後続車を検知していない場合など、ハンズオフ機能付車線変更支援機能表示灯が点灯しないことがあります。

ハンズオフ機能付車線変更支援機能の作動状態

追越車または後続車が接近するなど状況により車線変更を中止します。
システムが元の車線に戻れないと判断した場合は、車線変更を中止しません。状況に応じた操作をしてください。

次ページに続く

■運転者の操作により解除するには

車線変更を開始した車線内で以下の操作をすると、ハンズオフ機能付車線変更支援機能が解除されます。

- ワンタッチターンシグナル操作をしたとき

このとき車線変更が中止され、車線中央に戻ります。

■ハンズオフ機能付車線変更支援機能の制限

ハンズオフ機能付車線変更支援機能には限界があります。状況に応じて運転操作してください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。

➡ Honda SENSING Elite の制限 P.258

- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを改造や変更したとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ルーフに載せた荷物の影響で自車位置を測位できないとき
- ルーフに長い荷物を載せてフロントガラス上にかかっているとき
- 手袋を着用しているとき
- ステアリングに保護カバーを取り付けているとき

≫運転者の操作により解除するには

以下の場合もハンズオフ機能付車線変更支援機能が解除されます。

- ハンドルを大きく操作したとき
- 車両が前進しているときにブレーキペダルを踏んだとき
- CANCEL スイッチを押したとき
- (MAIN)スイッチを押したとき
- 方向指示器(ウィンカー)スイッチを保持される位置まで操作したとき
- ワイパーが高速で作動したとき

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)と車線維持支援システム(LKAS)が解除される場合があるため、運転者による運転をしてください。

ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能

高速道路や自動車専用道本線上でハンズオフ機能付車線内運転支援機能を作動させているときに、システムが車線変更に伴なう方向指示器(ウィンカー)点滅・加減速・ハンドル操作を支援します。運転者が周囲の状況を確認していることが前提となります。
追い越しやナビゲーションシステム上の目的地に誘導する車線変更を支援するためのシステムです。

ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能

⚠警告

ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能は運転者の運転操作を支援するためのシステムです。あらゆる状況で車線変更に伴なう加減速・ハンドル操作をするシステムではありません。

高速道路や自動車専用道本線ではない道路で使用した場合や、システムに頼った運転をした場合は、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

運転者は常に運転姿勢を保ち車線変更先の状況を含めた周囲の状況を確認し、運転操作をする必要があります。

常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

次ページに続く

■ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能の作動条件

以下の条件で作動します。

- ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能表示灯(ブルー)が点灯しているとき
- 車速が約 65 km/h 以上で走行しているとき
- 移動先車線の前方後方に車両がいないとき
- 直線または半径 500 m 以上のゆるやかなカーブを走行しているとき
- 車線変更する側の車線境界線が破線のとき

ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能

関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

➔ **Honda SENSING Elite** P.14
➔ **各種センサー** P.252

システムによりブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

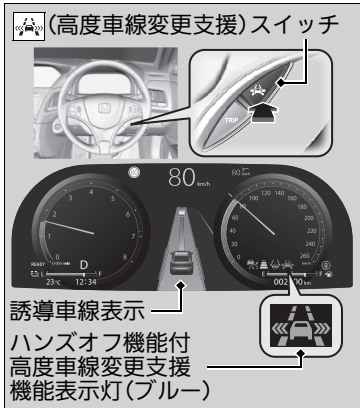
ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能の作動条件

(高度車線変更支援)スイッチは一度押すことで、設定を保持します。ただし、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能表示灯がハンズオフ機能付車線変更支援機能表示灯(ホワイト)になったときや消灯したときは、(高度車線変更支援)スイッチを押してください。

カスタマイズ機能でハンズオフ機能付高度車線変更支援機能を OFF にすることができます。

➔ **別冊のHonda インターナビシステム取扱説明書**

■ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能の ON と OFF



ハンズオフ機能付車線内運転支援機能が作動しているとき、(高度車線変更支援)スイッチを押すと、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能が ON になり、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能表示灯(ブルー)が点灯し誘導車線表示が表示されます。
もう一度押すと OFF になります。

ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能のONとOFF

以下のような場合、誘導車線表示が移動します。

- ナビゲーションで設定した目的地へ向けた車線変更支援が行われるとき
- 運転者の操作により車線変更したとき
- 車線の増減によって自車の走行車線が追い越し車線になったとき
- 追い越し車線でない車線への追い越しであるとき

走行状況、道路環境により誘導車線表示が移動しないことがあります。状況に応じて運転者が運転操作してください。

パワーモードをONにしたときは、後続車がいると、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能を ON にできないことがあります。

走行を開始してから遠方の後続車を検知していない場合など、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能表示灯が点灯しないことがあります。

次ページに続く

■ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能の作動状態

作動条件を満たしているとき、以下の状況で車線変更・追い越しを開始します。

- 前走車が自車の設定車速より遅く走行し、速度差約 15km/h 以上であるとき
- ナビゲーションで設定した目的地に向かうために車線変更が必要なとき
- 車線数が減少する区間で、自車の走行車線がなくなるとき
  ▶ 工事など一時的な車線規制は除きます。

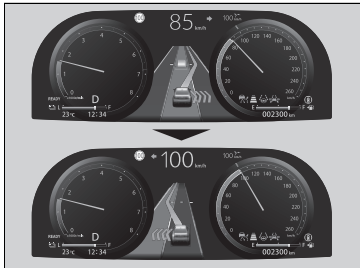
マルチインフォメーションディスプレイに「右車線(左車線)を確認ください　車線変更します」と表示されます。メーターなどの表示と音声ガイドでお知らせします。周辺の安全を確認してください。

システムの作動中に運転者が操作した場合は運転者の操作を優先します。

ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能の作動状態

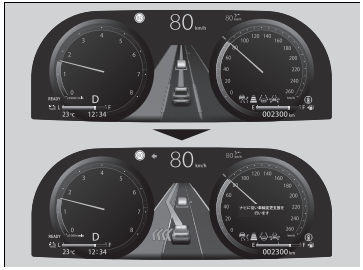
追越車または後続車が接近するなど状況により車線変更を中止します。
システムが元の車線に戻れないと判断した場合は、車線変更を中止しません。状況に応じた操作をしてください。

■追い越し



1. 追い越しを開始できる状況になると、方向指示器(ウィンカー)が点滅し、車線変更をします。
2. 車線変更後、前走車を追い越したあとに車線変更前の車線(誘導車線表示)に戻ります。
   ▶ 道路状況などによりシステムが車線変更しない場合は、状況に応じた運転操作をしてください。

■目的地誘導



1. ナビゲーションで目的地の設定を行なっている場合は、ジャンクションや出口に近づくと誘導車線表示が移動します。
   ▶ 目的地に向かう車線の状況によって車間調整のために必要により速度調整を行われることがあります。
2. 車線変更を開始できる状況になると、方向指示器(ウィンカー)が点滅し、車線変更をします。
   ▶ 目的地に向かう車線の状況によってシステムが車線変更しない場合は、状況に応じた運転操作をしてください。

ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能の作動状態

目的地設定している場合、ジャンクションや出口の手前ではハンズオフ機能付高度車線変更支援機能による追い越しは開始しません。

次ページに続く

■運転者の操作により解除するには

車線変更を開始した車線内で以下の操作をすると、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能が解除されます。

- 逆方向へワンタッチターンシグナル操作をしたとき

このとき車線変更が中止され、車線中央に戻ります。

車線変更を開始した車線内で以下の操作をすると、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能が OFF になります。

- [高度車線変更支援]スイッチを押す
  - ▶ 再度、ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能をONにするには[高度車線変更支援]スイッチを押してください。

このとき車線変更が中止され、車線中央に戻ります。

運転者の操作により解除するには

以下の場合もハンズオフ機能付高度車線変更支援機能が解除されます。

- ハンドルを大きく操作したとき
- 車両が前進しているときにブレーキペダルを踏んだとき
- CANCEL スイッチを押したとき
- [MAIN]スイッチを押したとき
- 方向指示器(ウィンカー)スイッチを保持される位置まで操作したとき
- アクセルペダルを操作したとき
- ワイパーが高速で作動したとき

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)と車線維持支援システム(LKAS)が解除される場合があるため運転者による運転をしてください。

■ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能の作動しない事例

以下の場合はハンズオフ機能付高度車線変更支援機能が作動しません。

- トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）が作動しているとき
- ドライバーモニタリングカメラが運転者を正しい運転姿勢でない（居眠り、わき見など）と判断したとき
- 衝突軽減ブレーキ（CMBS）が OFF のとき
- 高精度地図の情報と自車が検知している状態が異なるとき
- 高速道路上の標識を認識できていないとき
- 新しい道路情報が高精度地図に反映されていないとき
- 高精度地図情報が取得できていないとき
- ドライバーモニタリングカメラの認識範囲において顔の向きや位置、目等を検知できていないとき
- トンネルの入口、出口付近を走行するとき
- トランク内の 12V バッテリーの充電量が少ないとき
- トランク内の 12V バッテリーが低温状態のとき

次ページに続く

■ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能の制限

ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能には限界があります。状況に応じて運転操作してください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。

Honda SENSING Elite の制限 P.258

- 前走車が急ブレーキをかけたとき
- 先隣の車線に車両を検知したとき
- 後続車が非常に近いとき
- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを改造や変更したとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ルーフに載せた荷物の影響で自車位置を測位できないとき
- ルーフに長い荷物を載せてフロントガラス上にかかっているとき
- 手袋を着用しているとき
- ステアリングに保護カバーを取り付けているとき
- 前走車が二輪車のとき
- 目的地キャンセルやリルートのとき

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)

高速道路や自動車専用道本線上の渋滞時にシステムが周辺監視・加減速・ハンドル操作を行なうことで前走車の車速変化に合わせて車間距離を保ちながら同一車線内を走行、停車、再発進します。
走行中に使用制限されていたHondaインターナビシステム一部機能(TV・DVD視聴、NAVIによる目的地設定・検索)が使用できます。
作動中であってもシステムからの操作要求にいつでも応じられるような状態を保ち、操作要求があった場合、運転者はただちに運転操作してください。

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)

⚠警告

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)は、高速道路や自動車専用道本線上の渋滞時に作動条件を満たすことで作動します。システム作動後であっても、システムが作動条件を満たさなくなったと判断した場合、運転者に操作要求を行います。

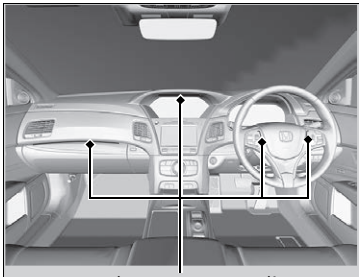
運転者が操作要求に応じない場合は、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがあります。

たとえシステムの作動中であっても、運転者は常に運転姿勢を保ち、操作要求があった場合、直ちに運転操作をしてください。

緊急車両が通行する際はシステムを解除して進路を譲るようにしてください。

次ページに続く

■トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)の作動



ハンズオフ機能付車線内運転支援機能が作動しているとき、車速が約 30km/h 以下になり、かつ前後に車両がいる渋滞で走行しているときトラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が作動します。

▶ 渋滞解消したり、車速が約 50km/h 以上になるとトラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が終了します。メーターの表示にしたがって運転者が周囲の状況を確認し運転操作してください。

システムの作動中に運転者が操作した場合は運転者の操作を優先します。

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)は道路運送車両法の定める自動運行装置を用いた機能です。一定の走行環境条件内において、センサー類やコンピューターを用いて、自動車の操縦に必要な「認知・予測・判断・操作」を行う機能をすべて有し、かつ、作動状態記録装置を備えるものです。

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)

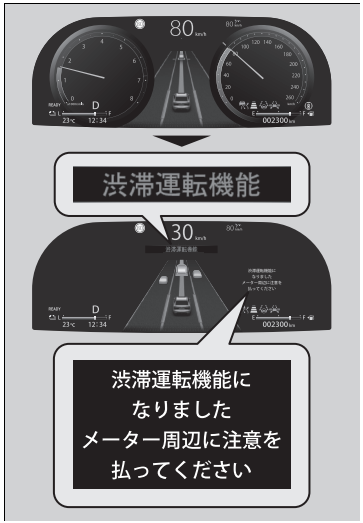
関連する機能・制御センサーの取り扱いやステアリングスイッチと表示については下記を参照してください。

Honda SENSING Elite P.14
各種センサー P.252

システムによりブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が使用できない区間があります。詳しくはHonda ホームページをご覧ください。

■トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)の作動状態



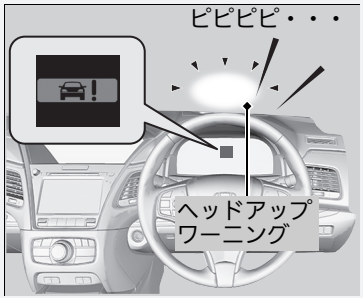
トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が作動するとメーターなどの表示が切り替わりHonda SENSING Elite表示灯ハンドル(ブルー)、オーディオ/インフォメーション画面上部(ブルー)、グローブボックス(ブルー)が点灯、ブザーでお知らせします。

ドライバーモニタリングカメラで運転者の状態を検知しています。システムが居眠り、わき見などの状態にあると判断した場合メーターなどでお知らせします。
渋滞解消などにより、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が終了するときは操作要求を行います。Honda SENSING Elite表示灯ハンドル、オーディオ/インフォメーション画面上部、グローブボックスがオレンジで点灯・点滅し、メーターなどの表示やブザーでお知らせします。

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)の作動状態

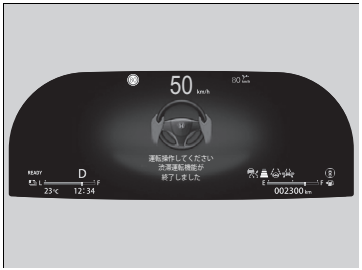
トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)作動中の車間距離は、設定された車間距離とは異なり、一定の車間距離設定となります。

前走車が急減速したり、遅い車両が割り込んできたときは、強いブレーキ、運転席と助手席のシートベルトの強い引き込みとともに警告音が鳴りメーター内の警告やヘッドアップワーニングの警告が表示され、システムが解除される場合があります。
ブレーキを踏み適切な車間距離を保ってください。



操作要求に応じなかった場合
➡ **緊急時停車支援機能** P.352

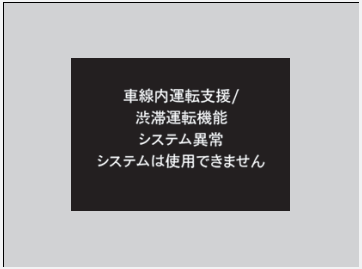
次ページに続く



メーターなどの表示にしたがって運転者が周囲の状況を確認し運転操作してください。

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)の作動状態

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)作動中にシステムが故障したときは音とメッセージが表示されシステムが終了します。



故障したときは運転者が操作してください。
販売店で点検を受けてください。

■運転者の操作により解除するには

以下のいずれかの操作をすると、トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）が解除されます。ハンドルを持った状態で操作してください。

- CANCEL スイッチを押す
- 車両が前進しているときにブレーキペダルを踏む
  ▶ この場合はメーター内の渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）表示灯と車線維持支援システム（LKAS）表示灯がホワイトになります。

このとき渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）と車線維持支援システム（LKAS）が解除されるため、運転者による運転をしてください。

以下の操作をすると、トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）が OFF になります。ハンドルを持った状態で操作してください。

- （MAIN）スイッチを押す。
  ▶ この場合はメーター内の渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）表示灯と車線維持支援システム（LKAS）表示灯が消灯します。

このとき渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール（ACC）と車線維持支援システム（LKAS）が OFF になるため、運転者による運転をしてください。

運転者の操作により解除するには

以下の場合もトラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）が解除されます。

- ハンドルを大きく操作したとき
- 方向指示器（ウィンカー）スイッチを保持される位置まで操作したとき
- アクセルペダルを操作したとき
- ワイパーが高速で作動したとき
- 非常点滅表示灯（ハザードスイッチ）を操作したとき
- シフトポジションが D 以外の時

次ページに続く

■ご使用にあたり

以下の場合はトラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）は使用しないでください。

- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サスペンションを改造や変更したとき
- タイヤチェーンを装着しているとき
- ルーフに載せた荷物の影響で自車位置を測位できないとき
- ルーフに長い荷物を載せてフロントガラス上にかかっているとき
- 手袋を着用しているとき
- ステアリングに保護カバーを取り付けているとき
- 路面が凍結しているとき
- 路面に雪が積もっているとき
- 強い横風が吹いているとき

自動運行装置を用いた運転中であってもシステムからの操作要求にいつでもこたえられるような状態を保ってください。例えば :

- シートを大きくリクライニングしたり、居眠りしたりしないでください。
- メーター、ハンドルなどの表示類やドライバーモニタリングカメラを隠さないでください。
- すぐに運転操作に移れない行為（読書、食事、PC の操作、スマートフォンの操作など）をしないでください。
- 視界を確保するために窓ガラスの曇りを取ってください。

背が低い・小さい障害物に対しては、乗り越えてしまったり回避できないことがあります。
急な割り込みや幅寄せに対しては、回避できないことがあります。

▶ご使用にあたり

トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）を OFF にすることができます。

➡ 別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

■トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)の作動しない事例

以下の場合はトラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)が作動しません。

- 衝突軽減ブレーキ(CMBS)が OFF のとき
- 高速道路上の標識を認識できていないとき
- 新しい道路情報が高精度地図に反映されていないとき
- トランク内の 12V バッテリーが低温状態のとき
- トランク内の 12V バッテリーの充電量が少ないとき

次ページに続く

■トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)の制限

トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)には限界があります。メーターに表示される操作要求にしたがってください。

天候や道路状況などにより制限される場合があります。

➡Honda SENSING Elite の制限 P.258

- ドライバーモニタリングカメラが運転者を正しい運転姿勢でない(居眠り、わき見など)と判断したとき
- 高精度地図の情報と自車が検知している状態が異なるとき
- ドライバーモニタリングカメラの認識範囲において顔の向きや位置、目等を検知できていないとき
- GNSS(Global Navigation Satellite System)の人工衛星の位置により、自車位置の特定ができないとき
- 前走車または後続車との距離が開いたとき
- 前走車および後続車が左右どちらかの同じ方向によって走行しているとき
- 自車付近に人を検知したとき
- 前走車または後続車が車線変更したとき
- 常設の信号機があるとき
- 渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)の追従機能や車線維持支援システム(LKAS)の車線維持機能が作動できなくなったとき
- インターナビシステムで目的地設定しているときに出口 / 分岐(ジャンクション)手前約 2km 以内のとき
- 料金所の手前に来たとき
- トンネルの出口付近を走行するとき

- 中央分離帯がない高速道路を走行するとき
- トンネル、遮音壁、谷間など全球測位衛星システム GNSS（Global Navigation Satellite System）が受信困難で自車位置が特定できないとき
- 合流などで側方車両が接近してきたとき
- 前走車が発進した後もブレーキを踏みつづけたとき
- 急な割込みがあったとき
- 障害物を検知したとき
- 自車が、車線の片側にかたよって走行しているとき
- 車線維持をすることができなくなったとき
- 工事区間など交通規制のある区間を検知したとき
- 車両が衝撃を検知したとき
- 法定速度が 40km/h 以下の道路を走行するとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着してたり、タイヤ空気圧が適切でないとき
- 自車の走行車線が隣接車線と合流（車線減少）するとき
- 路肩に車両が停止しているとき
- 荒れた路面などでハンドルがとられたとき
- 目的地キャンセルやリルートのとき

緊急時停車支援機能

高速道路や自動車専用道本線上を走行中に操作要求に応じなかった場合に、周囲に警告を行いながら自車の減速、停車を支援するシステムです。

減速・停車を行いますが、状況により常に同じように作動するとは限りません。

天候や道路状況などにより正しく作動しない場合があります。
➔ **Honda SENSING Elite の制限** P.258

緊急時停車支援機能

⚠警告

緊急時停車支援機能は、運転者が一定時間システムからの操作要求に応じない場合に作動するシステムです。あらゆる状況で安全な停車、衝突回避や衝突による被害軽減を保証するシステムではありません。

意図的にシステムを作動させると、思わぬ事故につながり、死亡または重大な傷害にいたるおそれがありますので絶対に意図的にシステムを作動させないでください。

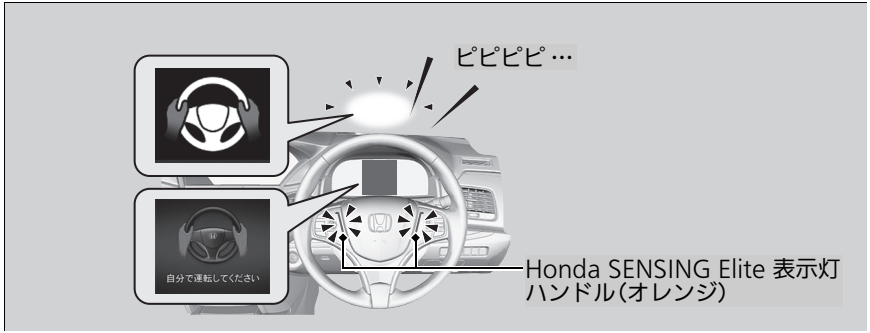
常に周囲の状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

ハンドルにもたれかかるなど操作要求に応じないと判断できない場合はシステムが作動しないことがあります。

システムによりブレーキが作動しているときは、制動灯が点灯します。

運転者が操作要求にしたがったとシステムが判断した場合、緊急時停車支援機能は終了します。

■緊急時停車支援機能の作動



トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)またはハンズオフ機能付車線内運転支援機能が作動しているとき、一定時間運転者が操作要求(オレンジ)に応じなかった場合、緊急時停車支援機能が作動します。

システムが作動すると、操作要求(レッド)が表示され、シートベルトの振動、Honda SENSING Elite 表示灯ハンドル(オレンジ)の点滅、音声ガイドやブザーによりお知らせします。また、非常点滅表示灯を点滅させ、ホーンを鳴らし周辺車両への注意喚起を行い、自車の減速、停車を支援します。

緊急時停車支援機能

システムが作動した後は、再度パワーモードをONモードにするまでは、渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)と車線維持支援システム(LKAS)は作動しません。

ヘルプネット(緊急通報)の設定方法については別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書を参照してください。

➡ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

次ページに続く

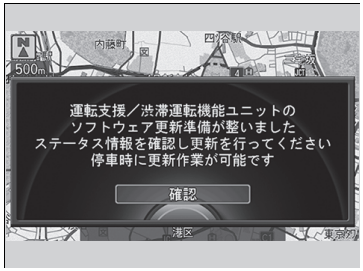
停車した場合は、非常点滅表示灯は点滅し続け、自動でパーキングブレーキがかかり、シフトポジションがPになり、ドアが解錠されます。また、ヘルプネット(緊急通報)の設定をしている場合はコールセンターへ自動接続されます。

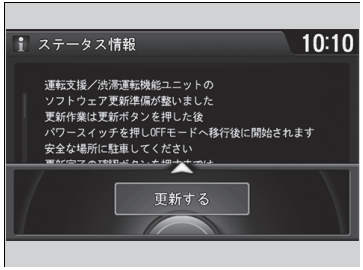
路肩がある場合は、左側車線に向かって減速しながら車線変更しますが、状況により車線変更せずに停車することがあります。

ソフトウェアの更新と確認

無線通信により、Honda SENSING Elite のソフトウェアを更新することができます。また、ソフトウェアのステータス情報や更新履歴を確認できます。

■ソフトウェアの更新





新しいソフトウェアが利用可能になると、オーディオ / インフォメーション画面に更新のお知らせが表示されます。

1. 「確認」を選択しジョイスティックを押す。
   ▶更新プログラムの内容が表示されます。コマンドホイールを回し、更新内容を確認してください。
2. ジョイスティックを下側に倒し、「更新する」を選択し、ジョイスティックを押す。
   ▶パワーモードを OFF モードにすると更新作業が開始されます。
   ▶ソフトウェアの更新完了後、パワーモードをONモードにすると更新完了の通知が画面に表示されます。

ソフトウェアの更新と確認

ソフトウェアの更新は安全な場所に駐車してから行ってください。

新しいソフトウェアがリリースされたら、できるだけ早く更新を行ってください。

ソフトウェアの更新は約 20 分かかります。

ソフトウェアの更新中にパワーモードを ON モードにすると更新が中断されますが更新前の状態で使用することができます。
ソフトウェアを更新するには再度パワーモードを OFF モードにしてください。

ジョイスティック、コマンドホイールの使いかた
➡ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

更新中はエンジンルームの 12V バッテリーを取り外さないでください。

次ページに続く

■ソフトウェアの確認

ステータス情報では、現在利用中のソフトウェアのバージョン、更新完了日と最新バージョンの確認日、確認結果を確認することができます。また、新しいソフトウェアが利用可能なときはステータス情報から更新を行うことができます。

更新履歴では、更新履歴一覧と更新内容の詳細情報を確認することができます。

1. INFO ボタンを押してから MENU ボタンを押す。
2. コマンドホイールを回し「データ管理」を選択しジョイスティックを押す。
3. コマンドホイールを回し「渋滞運転機能ユニット」を選択しジョイスティックを押す。
4. コマンドホイールを回し「ステータス情報」または「更新履歴」を選択しジョイスティックを押す。
   ▶ 更新履歴の詳細情報を確認するにはコマンドホイールを回し、確認したいソフトウェアバージョンを選択しジョイスティックを押してください。

»ソフトウェアの確認

電波環境が悪い場所や高精度地図更新のとき、サーバーメンテナンス中は更新情報が取得できない場合があります。場所や時間を変えて再度確認してください。

ブレーキシステム

■電子制御パーキングブレーキ

主に停車中や駐車時に使用するブレーキです。自動での解除および手動での操作ができます。

■手動で操作するとき

パーキングブレーキスイッチの操作で、パーキングブレーキをかけたり解除したりできます。

急な下り坂の発進時などに、手動でパーキングブレーキを解除すると、スムーズな発進を行うことができます。

■手動でパーキングブレーキをかける

パーキングブレーキスイッチをゆっくりと確実に引き上げてください。

▶パーキングブレーキが作動すると、ブレーキ警告灯(レッド)が点灯します。

■手動でパーキングブレーキを解除する

1. パワーモードがONモードのときに、右足でブレーキペダルをしっかりと踏む。
2. パーキングブレーキスイッチを押す。

▶パーキングブレーキが解除され、ブレーキ警告灯(レッド)が消灯します。

ブレーキシステム

ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキ装置の作動のため、エンジンルームからモーター音などが聞こえることがありますが、異常ではありません。

電子制御パーキングブレーキ

パーキングブレーキをかけたり解除したときに作動音が聞こえます。
これはブレーキシステムが作動している音で異常ではありません。

パーキングブレーキをかけたり、解除するとブレーキペダルが動くことがあります。
これはブレーキシステムの作動によるもので異常ではありません。

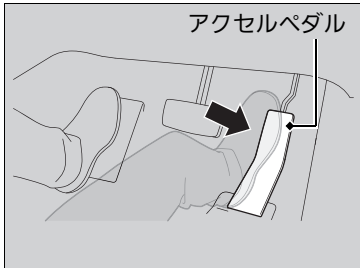
12V バッテリーがあがっているときは、パーキングブレーキをかけたり、解除することはできません。
➡ 12V バッテリーがあがったとき P.465

走行中にパーキングブレーキスイッチを引き続けると、その間はパーキングブレーキがかかります。

次ページに続く

■自動解除するとき

アクセルペダルの操作とパーキングブレーキの解除が連動します。
渋滞や上り坂での発進に便利です。



アクセルペダルをゆっくりと踏んでください。

▶パーキングブレーキが解除され、ブレーキ警告灯(レッド)が消灯します。

パーキングブレーキの自動解除は、次の条件が揃ったときに行えます。

- 運転席シートベルトを着用しているとき
- パワーシステムが起動しているとき
- シフトポジションが P 、 N 以外のとき

≫電子制御パーキングブレーキ

10 分以上渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)またはオートマチックブレーキホールドシステムが作動している状態で停車していると、自動でパーキングブレーキがかかります。

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)またはオートマチックブレーキホールドシステムが作動している状態でシートベルトを外したとき、自動でパーキングブレーキがかかります。

渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)、トラフィックジャムアシスト(渋滞運転支援機能)、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、トラフィックジャムパイロット(渋滞運転機能)またはオートマチックブレーキホールドシステムが作動している状態でパワーモードを OFF モードにしたとき、自動でパーキングブレーキがかかります。

電子制御パーキングブレーキ

パーキングブレーキを自動で解除できないときは、手動で解除してください。

次の警告灯が点灯しているときは、自動解除できません。
- PGM-FI 警告灯
- トランスミッション警告灯

次の警告灯が点灯しているときは、自動解除できないことがあります。
- ブレーキシステム警告灯
- VSA 警告灯
- ABS 警告灯
- エアバッグシステム警告灯

次ページに続く

■フットブレーキ

車の減速や停止をするためのメインのブレーキです。ブレーキペダルで操作します。

緊急制動時により大きな制動力を発生させる電子制御ブレーキアシストが装備されています。

➔ **電子制御ブレーキアシスト** P.364

また、ブレーキのロックを防止する ABS（アンチロックブレーキシステム）で、安全性の向上を図っています。

➔ **ABS（アンチロックブレーキシステム）** P.363

フットブレーキ

水たまりを走行したときは、ブレーキの効き具合を確認してください。

効きが悪いときは、効き具合が戻るまでブレーキペダルを何回か軽く踏んでください。

ブレーキを踏んでいる間、絶えず金属的な摩擦音が聞こえる場合はブレーキパッドを交換する必要があります。

Honda 販売店で点検を受けてください。

長い下り坂でブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱し、ブレーキの効きが悪くなり危険です。

そのため、長い下り坂などではエンジンブレーキを使用します。

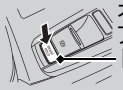
アクセルペダルから足を離し、ギヤを低速にシフトすると、エンジンの回転抵抗で速度が落ちます。

■オートマチックブレーキホールド

停車中に、ブレーキペダルを踏み続けなくても、自動的にブレーキを保持する機能です。保持中にアクセルペダルを操作すると、自動でブレーキが解除され発進することができます。信号待ちなどの一時的に停止したいときの使用に適しています。

■機能を ON させるには

点灯

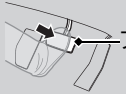


シートベルトを着用し、パワーシステムを起動してからオートマチックブレーキホールドスイッチを押す。

- オートマチックブレーキホールドシステム表示灯が点灯し、機能が ON になります。

■ブレーキを保持させるには

切り換わる



シフトポジションが P R 以外のときにブレーキペダルを踏んで停車する。

- オートマチックブレーキホールド表示灯が点灯し、自動でブレーキが 10 分間保持されます。
- オートマチックブレーキホールド表示灯が点灯後、ブレーキペダルから足を離してください。

■車両を発進させるには

切り換わる

シフトポジションが P N 以外のときにアクセルペダルを踏むと機能が解除し、発進します。

- オートマチックブレーキホールド表示灯が消灯し、自動でブレーキが解除されます。

次ページに続く

▨オートマチックブレーキホールド

⚠警告

急な坂道やすべりやすい路面の場所では、ブレーキペダルから足を離さない。

急な坂道やすべりやすい路面の場所では、オートマチックブレーキホールドが作動していても、ブレーキペダルから足を離したときに車が動くことがあります。

不意に車が動くことにより衝突の原因となり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

⚠警告

駐車をする目的でオートマチックブレーキホールドを作動させない。

不意に車が動くことにより衝突の原因となり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

オートマチックブレーキホールドシステム作動中は絶対に車から離れないでください。駐車する際はシフトポジションを P にしてパーキングブレーキをかけてください。

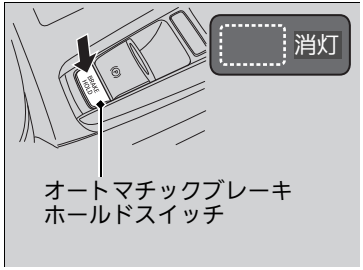
■ブレーキ保持機能が自動的に解除されるとき

- パーキングブレーキスイッチを引いたとき
- シフトポジションが P もしくは R で、ブレーキペダルを踏んでいるとき

以下の状態のときは、パーキングブレーキが自動で作動した後、オートマチックブレーキホールドシステムによるブレーキ保持が解除されます。

- 10 分以上ブレーキを保持したとき
- 運転席のシートベルトを外したとき
- パワーモードを OFF モードにしたとき
- オートマチックブレーキホールドシステムに問題が発生したとき

■機能を OFF させるには



機能が ON のときにオートマチックブレーキホールドスイッチを押します。

▶ オートマチックブレーキホールドシステム表示灯が消灯します。

オートマチックブレーキホールド表示灯が点灯中にOFFにしたいときは、ブレーキペダルを踏みながらオートマチックブレーキホールドスイッチを押します。

▨オートマチックブレーキホールド

⚠警告

オートマチックブレーキホールドを使用する際は、オートマチックブレーキホールド表示灯が点灯するまでブレーキペダルから足を離さない。

不意に車が動くことにより衝突の原因となり、重大な傷害を受けたり、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

オートマチックブレーキホールド表示灯が点灯した後にブレーキペダルから足を離してください。

システムが作動していても通常と同じ手順でパワーシステムの停止が行えます。

駐停車操作 P.366

パワーシステムを停止すると、システムは自動的に OFF になります。

自動洗車機を使用するときは、システムが OFF になっていることを確認してください。

ブレーキ保持中にタイヤの回転を検知すると、ブレーキ力を強めるために作動音が発生する場合があります。

ABS(アンチロックブレーキシステム)

■ ABS とは

ABS(アンチロックブレーキシステム)とは、急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとするための装置です。

■ABS の作動と警告灯

ブレーキペダルを踏んだとき、ブレーキペダルが小刻みに動くことがありますが、これは ABS の正常な動作です。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
なお、低速(車速約 10km/h 以下)では ABS は作動せず、通常のブレーキと同じ作動となります。

ABS 警告灯
パワーモードを ON モードにすると数秒間点灯し消灯するのが正常な状態。

⩙ABS(アンチロックブレーキシステム)

アドバイス

種類やサイズの異なるタイヤが混在していると、ABSが正常に機能しないことがあります。タイヤは必ず、同一指定サイズ、同一種類のタイヤを指定空気圧で使用してください。

ABS 警告灯が運転中に点灯するときは、システムの異常が考えられます。
通常のブレーキ操作には支障はありませんが、ABS が作動していない可能性があります。
ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

ABS は、制動距離を短くするためのものではありません。
ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすいほど長い制動距離が必要になります。ABS が作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、安全運転に心がけてください。また、次のような場合、ABS の装着されていない車両に比べ、制動距離が長くなることがあります。

- 砂利道、深い新雪、凸凹路などの悪路
- 舗装の継ぎ目やマンホールなどの段差
- タイヤチェーン装着時

パワーシステムの起動直後や走行中、システムチェックのためエンジンルームからモーター音が聞こえることがありますが、異常ではありません。

電子制御ブレーキアシスト

■電子制御ブレーキアシストとは

緊急制動時に、より大きな力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。

■電子制御ブレーキアシストの作動

ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。

ブレーキアシストが作動すると、ペダルが小刻みに動いたり、作動音が聞こえたりすることがあります。これはブレーキアシストが作動しているときの現象で異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。

➔ VSA(ビークルスタビリティアシスト) P.243

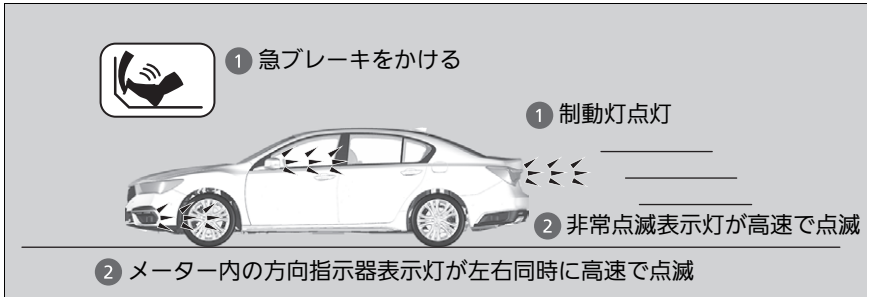
ブレーキアシストの作動と同時に運転席と助手席のシートベルトが引き込まれます。

➔ E- プリテンショナー P.56

エマージェンシーストップシグナル

エマージェンシーストップシグナルは、自車が急ブレーキをかけたことを非常点滅表示灯が自動的に高速で点滅して後続車に知らせ、追突される可能性を低減するシステムです。60ｋm/ｈ以上で走行しているときに急ブレーキをかけると作動します。

■作動のしくみ



エマージェンシーストップシグナルは、以下の状態になると作動が停止します。

- ブレーキペダルを離したとき
- ABS が停止したとき
- 急減速でなくなったとき
- ハザードスイッチを ON にしたとき

エマージェンシーストップシグナル

エマージェンシーストップシグナルは、追突されるおそれを低減するシステムであり、追突を完全に防ぐものではありません。運転するときは不必要な急ブレーキを避け、安全運転を心がけてください。

ハザードスイッチがONのときは、エマージェンシーストップシグナルは作動しません。

ABS が一定時間以上作動しないとき、システムが作動しない場合があります。

駐車する

1. ブレーキペダルをしっかり踏む。
2. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチをゆっくりと確実に引き上げる。
3. シフトポジションを[P]にする。
4. パワーシステムを停止する。
▶ 車から離れるときは必ず施錠してください。

坂道に駐車をするときは、かならずパーキングブレーキをかけてください。

仮眠するときは、パワーシステムを停止してください。
▶ 無意識にシフトポジションを操作したり、アクセルペダルを踏み込んだりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

駐車時はパワーシステムを停止する。
万一、シフトポジションが[P][N]以外の場合、クリープ現象により車が動き出したり、乗り込む際に誤ってアクセルペダルを踏み、急発進するおそれがあります。

⚠注意

停車中の空ぶかしはしない。
万一、シフトポジションが[P][N]以外の場合、思わぬ急発進のもとになります。

シフトポジションを[N]にすると同時に[POWER]スイッチを押さないでください。
[N]ポジションの状態になることがあります。
シフトポジションは[P]にしてください。

枯れ草や紙、油、木材など燃えやすいものがあるところには駐停車しないでください。
排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。

植え込みなどの近くに駐停車するときは、排気ガスが植え込みに当たらないように車の向きを決めてください。

駐停車操作

アドバイス

アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。また、上り坂でP N以外に入れた状態で、アクセルを調節しながら、もしくはクリープ現象で車を停車させたりしないでください。

トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

➔ **クリープ現象** P.232

アドバイス

車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。

トランスミッション破損の原因となります。

駐車する

車内の見えるところに貴重品などを置かないでください。

車内にライターや炭酸飲料缶を放置しないでください。

車内温度上昇によりライターなどの可燃物が自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。

次ページに続く

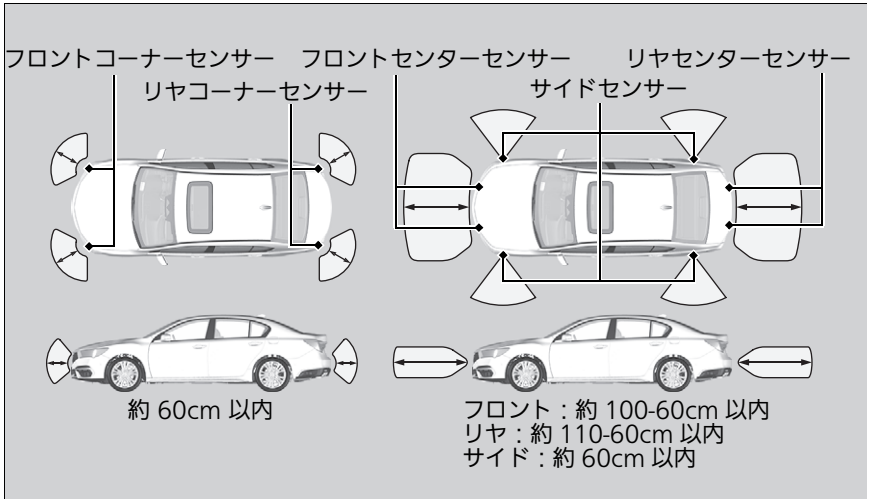
駐車する

寒冷時に、パーキングブレーキをかけると、凍結することがあります。
パーキングブレーキをかけずに輪留めをしてください。
輪留めをしないと車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングセンサーシステム

車両前方のフロントセンターセンサーおよびフロントコーナーセンサーと車両側面のサイドセンサーと車両後方のリヤセンターセンサーおよびリヤコーナーセンサーが障害物を検知し、障害物と車両の距離をブザーとオーディオ / インフォメーション画面で知らせます。

■パーキングセンサーの取付位置と検知範囲



パーキングセンサーシステム

駐車する前に車両の廻りに障害物がないことを確認してください。

次のようなときは、システムが正常に働かないことがあります。

- センサーが雪、氷、泥などで覆われているとき
- 凸凹な路面や、草地、段差があるとき
- 車両が高温または低温の状況にあるとき
- 近くに超音波を発する電子機器があるとき
- 悪天候のとき

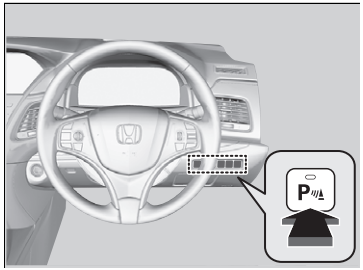
次のようなときは、システムが検知できないことがあります。

- 障害物が細いとき、または低いとき
- 雪、布、スポンジなど吸音しやすい材質があるとき
- バンパーの真下に障害物があるとき
- バンパーのすぐ前に障害物があるとき

センサーの近くにアクセサリーを取り付けない。

次ページに続く

■パーキングセンサーの ON と OFF



パワーモードが ON モードのときに、パーキングセンサーシステムスイッチを押して、システムの ON と OFF を切り換えます。
パーキングセンサーシステムを ON にしたとき、スイッチのインジケーターが点灯します。

フロントコーナーセンサー、およびリヤセンサーは、シフトポジションが R で、車速が 8km/h 以下のとき障害物を検知します。

フロントセンサーは、シフトポジションが P R 以外で、車速が 8km/h 以下のとき障害物を検知します。

Honda パーキングパイロットが作動しているときは、パーキングセンサーシステムが ON になります。
車速が 8km/h 以下で走行しているとき、すべてのパーキングセンサーが障害物を検知します。

パーキングセンサーシステム

車速が 8km/h 以下で走行しているとき、車両前方の障害物を検知し、障害物との距離が近づくと前方のカメラ画像がオーディオ / インフォメーション画面に表示されます。

➡ **マルチビューカメラシステム** P.377

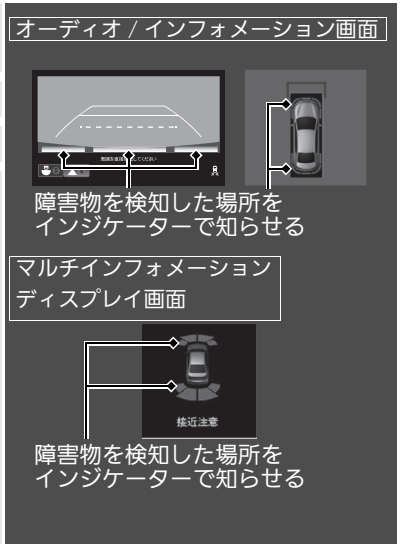
障害物が検知されなくなるか、障害物が検知範囲と非検知範囲の間にある場合、ディスプレイは前の画面に戻ります。
障害物が検知されたときに前方のカメラ画像を表示するかどうかをカスタマイズすることができます。

➡ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

パーキングセンサーの ON と OFF

パワーシステムを起動したときは、パワーモードを OFF する前の状態(ON または OFF)を保持します。

■障害物を検知したときの作動状態

ブザー音の間隔	障害物との距離		インジケーター	オーディオ / インフォメーション画面 / マルチインフォメーション ディスプレイ画面
	コーナーセンサー/ サイドセンサー※2	センターセンサー		
長い	—	フロント：約 100-60 cm リヤ：約 110-60 cm	点灯(イエロー)※1	
短い	約 60-45 cm	約 60-45 cm	点灯(オレンジ)	
非常に短い※3	約 45-35 cm	約 45-35 cm	点灯(オレンジ)※3	
連続※3	約 35 cm 以下	約 35 cm 以下	点灯(レッド)※3	

※1 ：このときは、センターセンサーのみが障害物を検知します。
※2 ：Honda パーキングパイロットが作動しているときは、フロントバンパーとリアバンパーの側面にあるセンサーも作動します。
※3 ：Honda パーキングパイロットが作動しているときは、断続的なブザー音が連続または非常に短く鳴り、インジケータがレッドまたはオレンジで点灯します。

次ページに続く

■リヤセンサーの OFF

1. パーキングセンサーシステムが OFF になっていることを確認する。パワーモードを OFF モードにする。
2. パーキングセンサーシステムスイッチを押しながら、パワーモードを ON モードにする。
3. パーキングセンサーシステムスイッチを 10 秒間押し続け、スイッチのインジケーターが点滅したら手を離す。
▶ このときブザーが 1 回鳴ります。
4. 再度パーキングセンサーシステムスイッチを押すと、スイッチのインジケーターが消える。
▶ ブザーが 2 回鳴り、リヤセンサーが OFF になります。

リヤセンサーを再度ONにするときは、上記の手順を行ってください。センサーが ON になると、ブザーが 3 回鳴ります。

»リヤセンサーの OFF

シフトポジションが R のとき、パーキングセンサーシステムスイッチのインジケーターが点滅し、リヤセンサーが OFF になっていることを知らせます。

後退出庫サポート

駐車場などから後退で出庫するときに、リヤバンパー左右にあるレーダーにより車両後方の左右から接近する他の車両を検知し、運転者に知らせる機能です。

後退出庫サポート

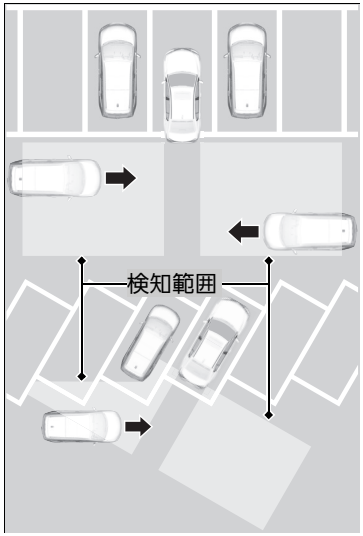
⚠警告

このシステムは出庫時の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。

後退時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転してください。
状況によっては、検知のできない可能性があるため、ブザーや画面の表示やアクセルペダル反力のみを頼って後退すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

次ページに続く

■作動条件と作動タイミング



パワーモードがONモードでシフトポジションがRのときにシステムを ON にしていると、自車の車速が約 5km/h 以下の場合に車両後方の左右から接近する他の車両を検知し、ブザーと画面の表示とアクセルペダル反力でお知らせします。

自車の真後ろから接近する他の車両は検知しません。また、検知している他の車両が自車の真後ろまで到達した時点でお知らせを停止します。

自車から離れていく車両に対しては検知をしません。また、接近する歩行者、自転車、二輪車などに対して検知する場合があります。

≫後退出庫サポート

以下のような状況では、接近する車両を検知できなかったり、検知が遅くなったり、接近する車両がいないのに検知したりする場合があります。

- リヤバンパーの周囲に他の車両や壁などがあり、レーダーの検知範囲が影響を受けたとき
- 自車の車速が約 5km/h を越えているとき
- 接近する他の車両の車速が約 10 ～ 25km/h 以外のとき
- レーダーなどを装備した他の車両が近くにいるとき
- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- リヤバンパー側面に雪や泥などが付着しているとき
- 悪天候で、接近する他の車両をシステムが認識できないとき
- 坂道またはトランクや座席に重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- 壁、ポール、他の車両などに近付くように後退したとき

リヤバンパーに衝撃が加わったり、リヤバンパー周辺の修理を行ったときは、Honda 販売店で点検を受けてください。

リヤバンパー側面にシールなどを貼らないでください。レーダーの電波がさえぎられるため、他の車両を正しく検知できません。

システムを正しく作動させるために、リヤバンパー側面は常にきれいにしておいてください。

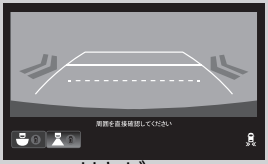
■画面表示について

接近してくる車両を検知している間は、車両検知矢印が表示されます。

車両検知矢印

リヤビュー+グラウンドビュー

リヤワイドビュー



リヤビュー

画面表示について

画面右下のアイコンが から (オレンジ)に変わったときは、リヤバンパー側面に雪や泥などが付着していることにより一時的にシステムが動作しません。リヤバンパー側面の付着物を取り除いてください。

次ページに続く

■後退出庫サポートの ON と OFF

後退出庫サポートアイコンを押して、システムの ON/OFF を切り換えます。
カスタマイズ機能を使用して、車両検知矢印を表示するかどうかをカスタマイズすることができます。

➲ 別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書

≫画面表示について

画面右下のアイコンが上記の表示に変わったときは、システムに異常がありますので、システムを使用せず、Honda 販売店で点検を受けてください。

シフトポジションを R にしても画面が切り換わらないときは、マルチビューカメラシステムに異常があります。このとき、後退出庫サポートも正常に作動できなくなります。Honda 販売店で点検を受けてください。

マルチビューカメラシステム

マルチビューカメラシステムは、運転席から死角となる部分を、オーディオ / インフォメーション画面に映る画像で確認するシステムです。このシステムを補助的に使用することで、次のような場合に運転者の負担を軽減します。

- 見通しの悪い交差点で左右を確認する
  見通しの悪い交差点で左右を確認するには P.386
- 狭い道でのすれ違いや路肩への幅寄せ、車庫入れなどで前方の障害物を確認する
  前方と前方側面の障害物を確認するには P.385
- 後方の障害物を確認する
  後方の障害物を確認するには P.383

マルチビューカメラシステム

⚠警告

周囲の安全は、マルチビューカメラシステムの画像だけに頼らず、目視やミラーなどで直接確かめてください。

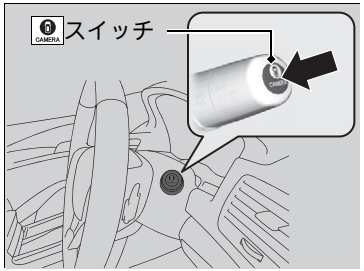
このシステムは運転者の操作をサポートするためのものであり、事故や衝突を防止するためのシステムではありません。

運転操作時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認して運転してください。

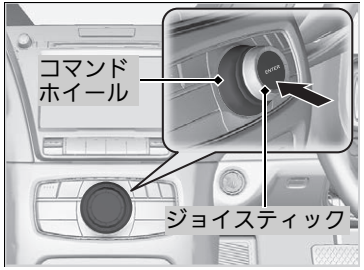
状況によっては、表示できない可能性があるため、画面の表示のみを頼って操作すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

事故防止のため、周囲の安全を確かめてご使用ください。

マルチビューカメラの画像を表示させるには



前方表示：
停車中または速度が 20km/h 以下のときに、CAMERAスイッチを押します。
CAMERAスイッチまたはジョイスティックを押すと画像が切り換わります。



後方表示：
停車中にシフトポジションをRにします。
CAMERAスイッチまたはジョイスティックを押すと画像が切り換わります。

表示設定はカスタマイズできます。
別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書

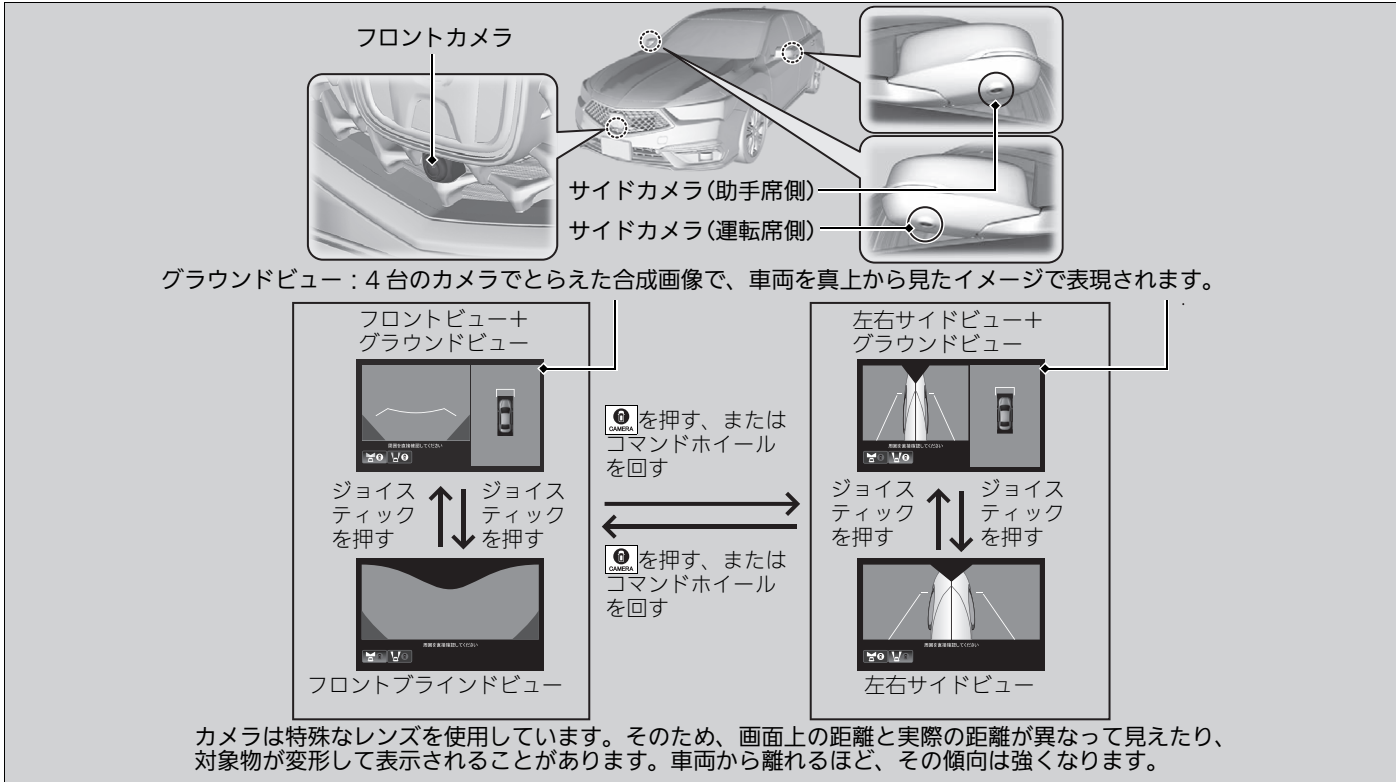
マルチビューカメラの画像を表示させるには

シフトポジションがRのときはナビゲーションシステムを操作できません。

速度が25km/h以上のときにCAMERAスイッチを押すと、待機画面が表示されます。
速度が 20km/h 以下になると、画面がマルチビューカメラシステム画面に戻ります。

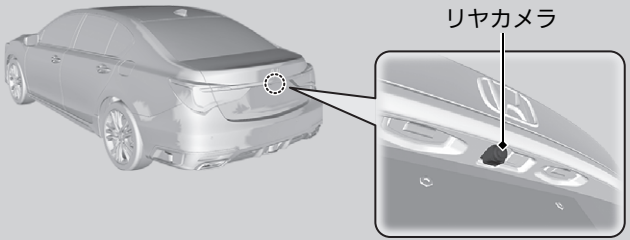
■カメラの設置場所と画像について

車両には4台のカメラが取り付けられています。それぞれのカメラの画像と、4台のカメラの画像を合成したグラウンドビューがあります。

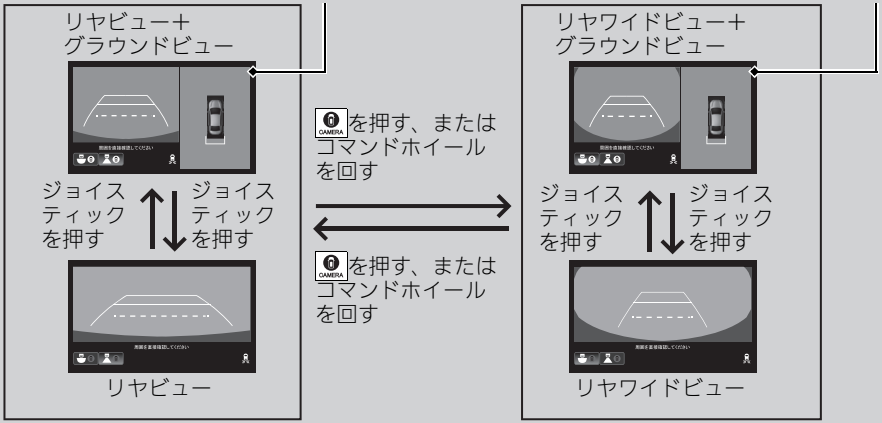


カメラは特殊なレンズを使用しています。そのため、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して表示されることがあります。車両から離れるほど、その傾向は強くなります。

次ページに続く



グラウンドビュー：4台のカメラでとらえた合成画像で、車両を真上から見たイメージで表現されます。



カメラは特殊なレンズを使用しています。そのため、画面上の距離と実際の距離が異なって見えたり、対象物が変形して表示されることがあります。車両から離れるほど、その傾向は強くなります。

カメラの設置場所と画像について

Honda パーキングパイロットが作動している間、カメラが障害物を検知した場所のインジケーターが点灯します。

➔ **カメラの設置場所と画像について** P.379

➔ **Honda パーキングパイロット** P.389

次ページに続く

■目安ガイド線と予測ガイド線表示

マルチビューカメラシステムが起動している状態のときに以下のガイド線を表示できます。

目安ガイド線： 車両からの距離を表示することができます。
この距離は、実際の距離とは異なる場合があります。

予測ガイド線： ハンドル操作に応じて、車両の動く方向を表示することができます。

▶目安ガイド線と予測ガイド線表示

目安ガイド線および予測ガイド線とカメラ画像が示す距離は、車高の変化や路面の状態の影響などにより、実際の距離と異なることがあります。
目安ガイド線および予測ガイド線はあくまでも参考としてお使いください。

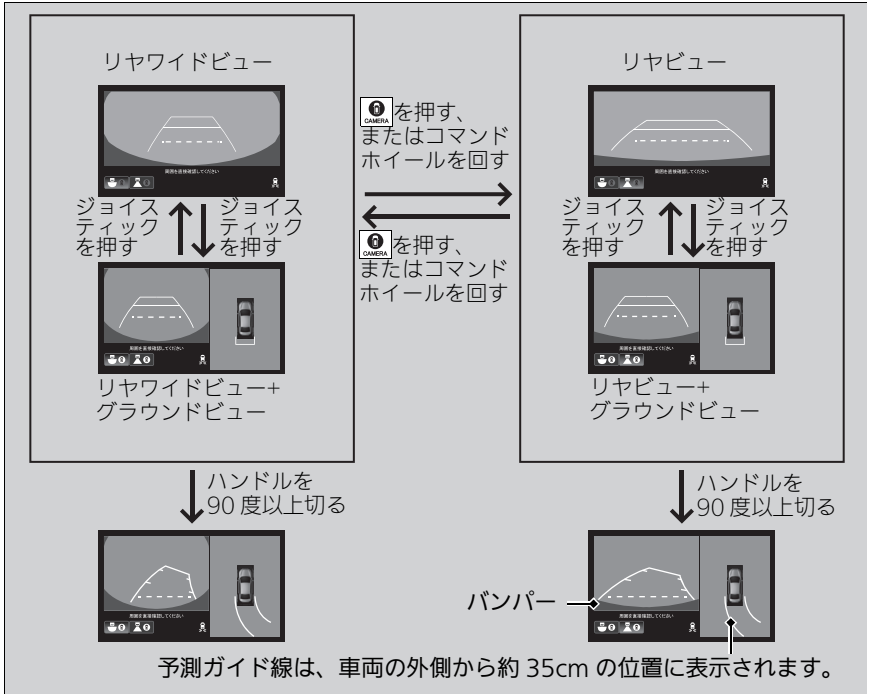
目安ガイド線および予測ガイド線はカスタマイズにより表示 / 非表示を切り換えることができます。

別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書

■マルチビューカメラの使いかた

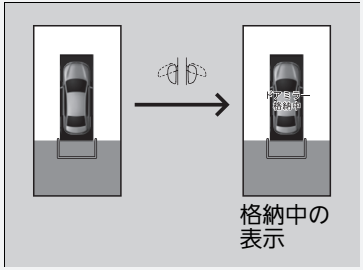
■後方の障害物を確認するには

シフトポジションを[R]にすると、自動的に後方画面表示に切り換わります。



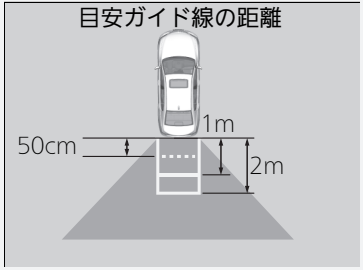
マルチビューカメラの使いかた

ドアミラーを格納してもグラウンドビューは表示されます。ただし、ドアミラー格納中は表示エリアおよび死角が異なりますので注意してください。



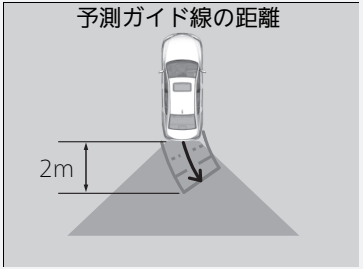
後方の障害物を確認するには

シフトポジションを[R]に切り換えたときに、後方画面表示が遅れて切り換わることがあります。



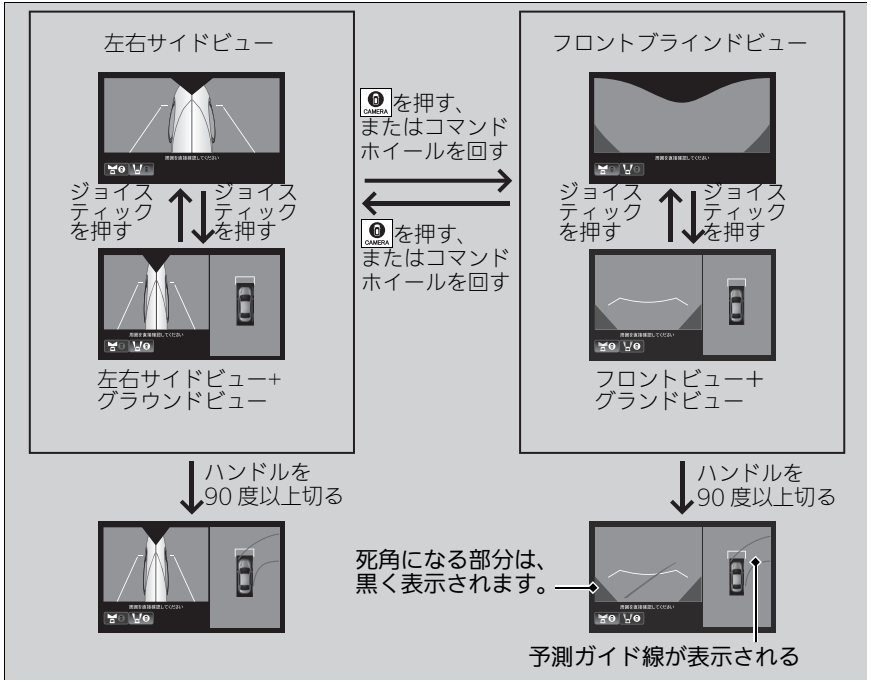
次ページに続く

≫後方の障害物を確認するには



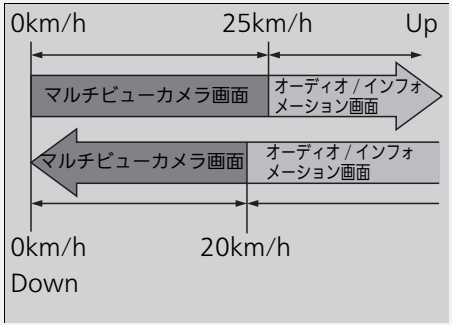
■前方と前方側面の障害物を確認するには

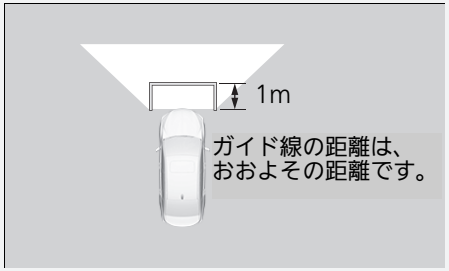
CAMERAスイッチを押すと前方画面表示が表示できます。車速が 20km/h 以下のときにCAMERAスイッチまたはジョイスティックを押すと、画像が以下のように切り換わります。



▩前方と前方側面の障害物を確認するには

車速が 25km/h を超過するとフロントビューまたはサイドビュー画面は自動的にオーディオ / インフォメーション画面に切り換わり、車速が 20km/h 以下になるとフロントビューまたはサイドビュー画面に切り替わります。





次ページに続く

■見通しの悪い交差点で左右を確認するには

フロントブラインドビュー画面は見通しの悪い交差点などで左右を確認する際に使用すると便利です。

前方と前方側面の障害物を確認するには

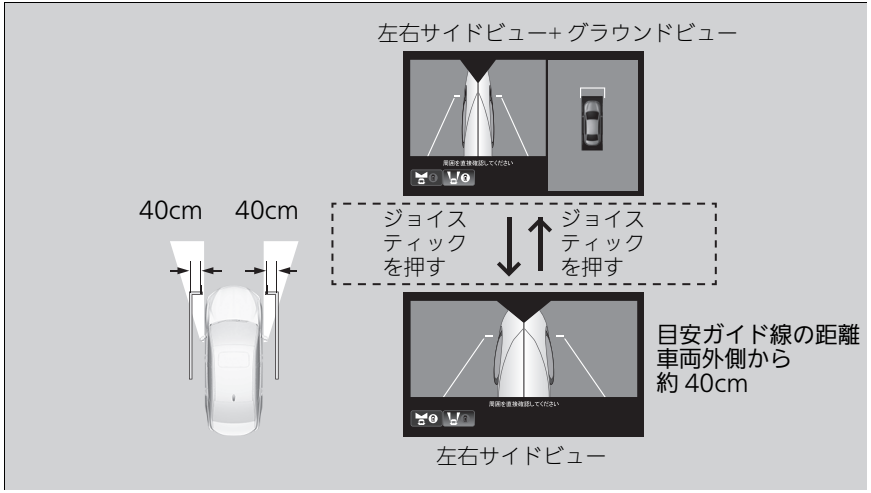
急減速で車速が 20km/h 以下になった場合、再度フロントビューまたはサイドビューが表示されることがあります。

見通しの悪い交差点で左右を確認するには

フロントブラインドビュー画面は広い範囲を写すため、画像は大きくゆがんで表示されます。また障害物との距離が実際より近くまたは遠くに見えることがあります。

■前方側面の障害物を確認するには

左右サイドビュー画面は路肩や料金所に幅寄せしたり、狭い道でのすれ違いの際に使用すると便利です。



≫前方側面の障害物を確認するには

左右サイドビューは、ドアミラーを格納しているときは表示されません。

次ページに続く

■マルチビューカメラシステムの制限

次の状態では、システムは適切に働きません。

状態	考えられる原因	対処のしかた
カメラの画像が見えにくい	次の場合は、画像が見えにくいことがあります。 • 夜間や雨の日、および暗い場所 • カメラのレンズに水滴や虫などがついた場合 • カメラのレンズに傷がついた場合 • カメラが高温になった場合 • 太陽の光など強い光がカメラに直接差し込んだ場合※1 • オーディオ / インフォメーション画面が指紋などで汚れている場合	• オーディオ / インフォメーション画面の汚れを柔らかい布で拭き取ってください。
カメラの画像が不鮮明	カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像が表示されません。	• レンズが汚れたときは、水や中性洗剤、ガラスクリーナーなどで汚れを拭き取ってください。 なお、このときベンジンやシンナー、クレンザーなどの磨き粉類は絶対に使わないでください。レンズが損傷する原因となります。
カメラの位置がずれた	カメラの本体やその周辺部に、強い衝撃や力が加わったことが考えられます。	• 万一、衝撃が加わった場合は、カメラの使用をやめて Honda 販売店にご相談ください。
マルチビューカメラシステムの使用中にエラーメッセージが表示された		Honda 販売店にご相談ください。

※1 ：強い光がカメラに差し込んでいるときに、光源の周囲が白くぼやけるハレーション現象が起きることがあります。

Honda パーキングパイロット

駐車や出庫で運転を支援するシステムです。
マルチビューカメラシステムおよびソナーセンサーによって駐車スペースの検知、駐車や出庫するための経路生成を行います。
また、駐車や出庫の際の加減速、ハンドル操作やシフトチェンジ操作を支援します。

Honda パーキングパイロット

⚠注意

Honda パーキングパイロットは、自動駐車システムではありません。
あくまでも運転者を支援するためのシステムです。

機能に頼った運転をすると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

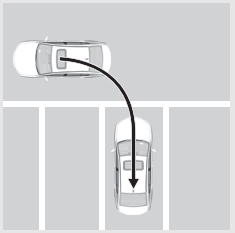
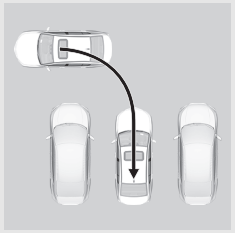
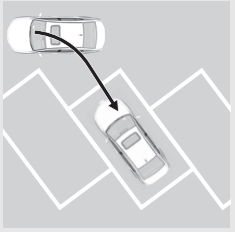
システム作動中に以下の状況になった場合、停車またはシステムの中止などをし、運転者自身の操作で回避してください。

- 障害物や人、他の車両等に接触しそうなとき
- 乗り越えてはいけない縁石や段差、輪留め等に入りそうなとき
- 進入してはいけないエリアに入りそうなとき

通常の駐車時と同様に、必ず目視で周囲の安全を直接確認してください。

次ページに続く

このシステムは以下の場合に使用できます。：

駐車パターン	区画線のある駐車場	区画線のない駐車スペース
バック駐車		
斜めバック駐車※1		—

※1 ：区画線が3本以上あり車両が2台以上の駐車ができるときに駐車候補枠の検知が可能です。

Honda パーキングパイロット

⚠注意

使用に適さない場所では使用しない。
傾斜がある場所や、駐車スペースの形状や状況など、Honda パーキングパイロットの使用に適さない場所では使用しないでください。

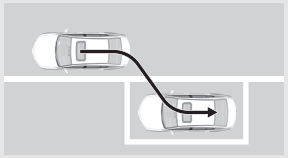
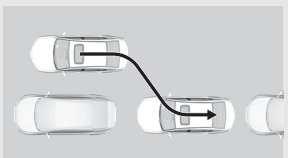
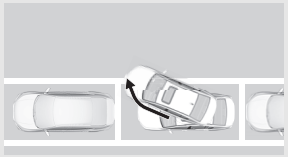
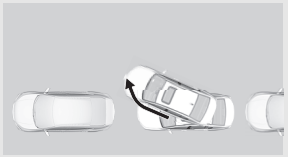
➔ **システムの使用に適さない場所** P.392

マルチビューカメラシステムについては下記を参照してください。

➔ **マルチビューカメラシステム** P.377

ソナーセンサーの取り扱いについては下記を参照してください。

➔ **ソナーセンサー** P.255

駐車パターン	区画線のある駐車場	区画線のない駐車スペース
縦列駐車		
縦列出車 ※1		

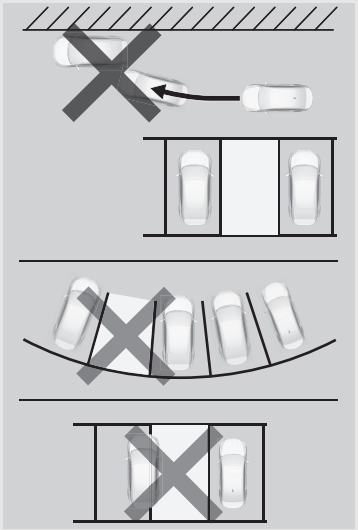
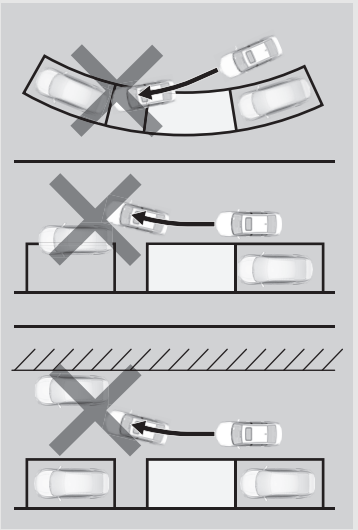
※1 ：前車がある場合に限ります。

次ページに続く

■システムの使用に適さない場所

前進や後退ができない場所、スリップしやすい場所や以下のような駐車スペースは、Honda パーキングパイロットの使用に適しません。

- 傾斜している場所
- 段差や凹凸のある場所
- 砂地や砂利、草地などの舗装されていない場所
- 雪が積もっている場所
- 凍結路など滑りやすい場所
- 通路幅が狭い場合
- 前進する方向に障害物がある場合
- 駐車スペースが湾曲している場合
- 周囲の車両が駐車枠からはみ出している場合

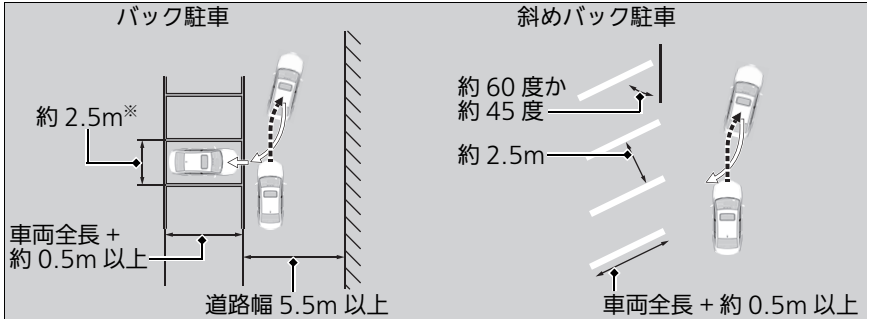
バック駐車	縦列駐車・出庫
	

次ページに続く

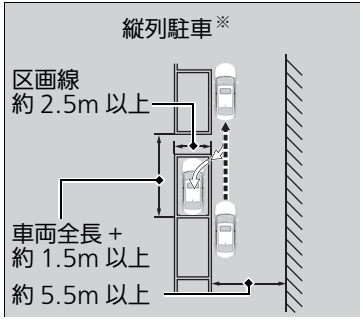
■ Honda パーキングパイロットの使いかた

■駐車場に駐車するには

駐車スペースに以下のような区画線や、それに代わる目安となるものがある場所で使用することができます。目安に対して広すぎたり狭すぎるときは正しく駐車できないことがあります。



※：区画線がない場合、他車両間の距離が約 3.2m 以上



※：区画線がない場合、他車両間の距離が車両全長+約 1.5m 以上

Honda パーキングパイロットの使いかた

⚠注意

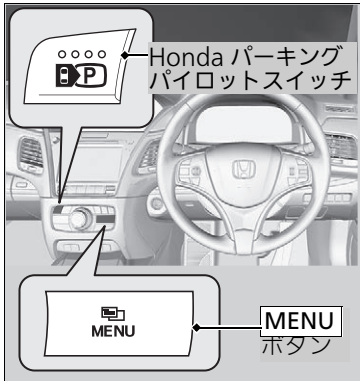
ハンドルに手などが巻き込まれないように注意する。

ハンドルが自動で回ります。手などが巻き込まれないように注意してください。

Honda パーキングパイロット使用中は、オーディオの音量調節はできません。

ジョイスティック、コマンドホイールの使いかた

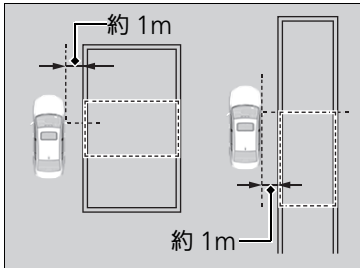
➡ **別冊の Honda インターナビシステム取扱説明書**

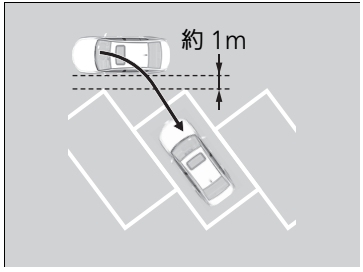


1. Honda パーキングパイロットスイッチを押し、Honda パーキングパイロット画面を表示させる。
▶画面左上に(グレー)が表示されます。
▶出庫モードになっている場合、MENU ボタンを押し、コマンドホイールを回して駐車モードを選択しジョイスティックを押して決定してください。

次ページに続く

駐車
出庫
モード切替画面





2. 駐車したい場所の付近まで車両を移動させ、駐車スペースに対して約1 m の付近を駐車スペースと平行になるようにゆっくり前進する。
画面上に駐車候補枠(グリーン)が表示されたら停車する。
▶駐車候補枠を検知すると音でお知らせします。
▶検知された駐車候補枠(グリーン)は自車位置などにより補正されることがあります。

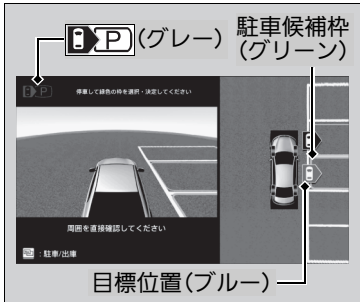
駐車場に駐車するには

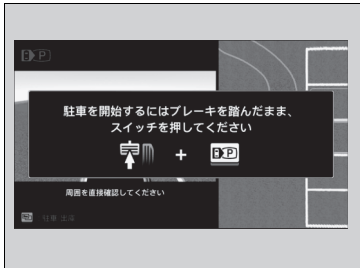
目標位置が表示されない場合は、Honda パーキングパイロットの使用はできません。

駐車候補枠検知のコツ
区画線のある駐車スペース：
運転席が駐車スペースの真横よりやや手前になるよう停車する
区画線のない駐車スペース：
運転席が駐車スペースを少しすぎたところで停車する

駐車スペースを直接確認してから駐車スペースを選択してください。

次ページに続く





3. 停車した状態で、駐車候補枠(グリーン)をコマンドホイールを回して選択し、ジョイスティックを押して決定してください。

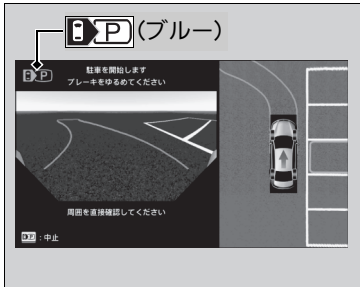
▶バック駐車または縦列駐車を選択する画面が表示される場合は、必要に応じたモードを選択してください。

▶選択・決定した駐車候補枠(グリーン)が目標位置(ブルー)となります。

4. ブレーキペダルを踏んだまま、Hondaパーキングパイロットスイッチを押す。

▶作動開始を知らせる音が鳴り、画面左上の(ブルー)が点滅します。

▶進行方向に応じてシフトポジションが切り替わります。



5. 周囲、画面上の経路、停止位置を確認し、ブレーキペダルを離す。

▶車両が動き始めます。必要に応じてブレーキペダルで速度を調節してください。

▶駐車が終了するとシフトポジションがPになり、パーキングブレーキが自動で作動します。
画面上に『駐車を完了しました』と表示され、アシストが終了します。

▶必要に応じて、駐車位置や駐車姿勢の調整をしてください。

▶駐車後、シフトポジションがPになっていることを確認してください。

駐車場に駐車するには

制御開始後、経路上に障害物が存在する場合はブレーキペダルを踏んで停止してから、Honda パーキングパイロットスイッチを押し、システムの使用を中止してください。

目標位置の近くに移動した後、車両が再び移動して車両位置を調整することがあります。周囲を確認し、必要に応じて車両を停止してください。

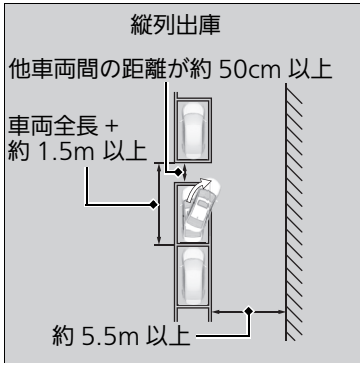
駐車終了時のパーキングブレーキ自動作動についてはカスタマイズで変更できます。

➲ 別冊のHondaインターナビシステム取扱説明書

次ページに続く

■縦列駐車した車両を出庫するには

下図のような駐車スペースで、前方に駐車車両がある場合のみ使用することができます。

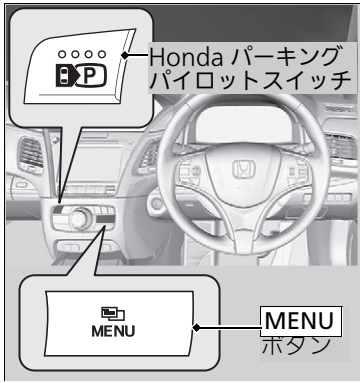


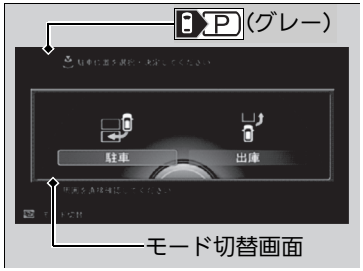
縦列駐車した車両を出庫するには

⚠注意

ハンドルに手などが巻き込まれないように注意する。

ハンドルが自動で回ります。手などが巻き込まれないように注意してください。





1. Honda パーキングパイロットスイッチを押し Honda パーキングパイロット画面を表示させる。

▶画面左上に(グレー)が表示されます。

▶駐車モードになっている場合、MENU ボタンを押し、コマンドホイールを回して出庫モードを選択しジョイスティックを押して決定してください。

▶画面の案内にしたがってブレーキを踏み、シフトポジションを R にしてください。

縦列駐車した車両を出庫するには

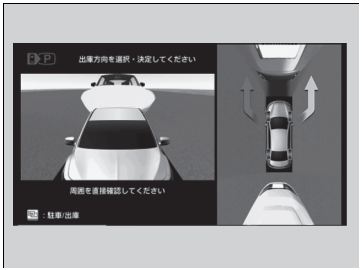
自車の前方に二重駐車されている場合は出庫モードは使用できません。

自車と前後車両との距離が非常に短い場合や車両間に人がいたり障害物がある場合は、出庫モードは使用できません。

作動開始後、パーキングセンサーが人物や障害物を検知した場合でも、出庫モードが作動し続けます。

走行車両が後方から接近している場合は、ブレーキペダルを踏んで停止してください。

次ページに続く



2. ブレーキを踏んだまま、出庫する向きをコマンドホイールを回して選択し、ジョイスティックを押して決定してください。

3. ブレーキペダルを踏んだまま Honda パーキングパイロットスイッチを押す。

▶作動開始を知らせる音が鳴り、画面左上の(ブルー)が点滅します。

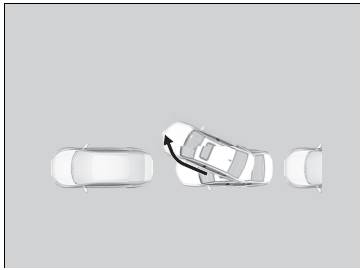
▶進行方向に応じてシフトが切り替わります。

4. ブレーキを踏んだままパーキングブレーキスイッチを解除し、ブレーキペダルを離す。

▶車両が動き始めます。周囲の状況に応じてブレーキペダルで速度を調節してください。

▶出庫する向きの周辺状況に注意してください。

▶出庫アシスト完了位置に到達すると、画面左上に『出庫を完了しますブレーキを踏んでください』と表示されます。



5. 案内に従いブレーキを踏む
▶画面左上に『出庫を完了しました』と表示され、アシストが終了します。
▶ブレーキを離すとクリープ現象により車が動き出します。運転操作を行ってください。

次ページに続く

■Honda パーキングパイロットの中止

システムを中止するには Honda パーキングパイロットスイッチを押してください。
制御開始後、中止する場合はブレーキペダルを踏んで停止してから、Honda パーキングパイロットスイッチを押してください。

システムが中止すると警告音が鳴り、画面左上に『駐車を中止しました』または『出庫を中止しました』と表示されます。

▶ 画面が Honda パーキングパイロットを使用する前の画面に戻ります。システムによる制御はされていないため、ブレーキを離すとクリープ現象により車が動き出します。運転操作をしてください。

中止した場合、再開をさせる事はできません。
最初から操作をやり直すか、運転者自身で運転操作をしてください。

■中止される事例

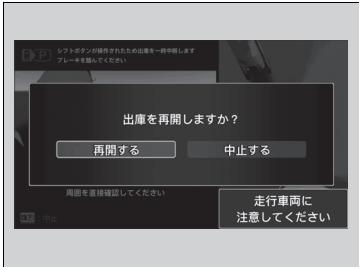
- シフトポジションを P にしたとき
- パーキングブレーキを作動させたとき
- 作動開始から一定の時間が経過したとき
- VSA が作動したとき
- VSA を OFF にしたとき
- 踏み間違い衝突軽減システムが作動したとき
- 衝突軽減ブレーキ(CMBS)が作動したとき
- 何らかの影響で作動車速を超えたとき
- 勾配があり作動できないとき
- 段差があり乗り越えられないとき
- 駐車場所の奥に障害物があり、アシスト開始後に十分なスペースがないことを検知したとき
- 一定回数以上切り返したとき
- ルートから外れたとき、またはルートが案内できないとき
- 異常が検出されたとき

次ページに続く

■Honda パーキングパイロットの中断と再開

システムが途中で中断すると音が鳴り、画面左上に中断メッセージが表示されます。ブレーキを踏んで車両を停車させてください。

中断後、車両がアシストを再開できる状態になると画面上に『駐車・出庫を再開しますか？』と表示されます。ブレーキを踏んだまま画面上の『再開する』をコマンドホイールを回して選択し、ジョイスティックを押して決定するとアシストを再開します。ブレーキペダルを離してください。



- ▶車両が動き始めます。周囲の状況に応じてブレーキペダルで速度を調節してください。
- ▶ブレーキを踏んだまま画面上の『中止する』をコマンドホイールを回して選択し、ジョイスティックを押して決定するとアシストが終了し、画面左上に『駐車・出庫を中止しました』と表示されます。運転者自身で操作してください。
- ▶アシストが再開できない場合、『再開する』を選択できません。

■中断される事例

- 運転者がシートベルトを外したとき
- 進路上に人や障害物を検知したとき
- アクセルペダルを踏んだとき
- ハンドルを操作したとき
- シフトポジションを[D],[R],[N]にしたとき
- ドア、トランクを開けたとき
- ドアミラーを格納したとき

■エラーメッセージ

システムの使用中に次の状態が発生した場合、Honda パーキングパイロットに問題があります。
ブレーキペダルを踏んで車両を停止し、シフトポジションを一度[P]にして、シフトポジションを確認してから手動で車両を操作します。

- 画面が表示されないとき
- [P]が点滅しないとき
- 警告音が鳴らないとき
- [P]!はオレンジ色で、エラーメッセージが画面に表示されているとき

次ページに続く

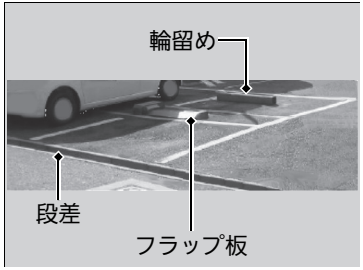
■ Honda パーキングパイロットの条件と制限

次のような場合、正常に作動しないことがあります。
(例：目標位置がずれて認識されるまたは認識されない、駐車できない。また、経路や切り返し位置が適切に設定できないことにより途中で中止されてしまう、障害物の手前で停止できない。)

■環境により正しく検知できない事例

- 駐車枠線がかすれていたり、汚れているとき
- 駐車枠線がロープやブロック、タイルなどのとき
- 駐車枠線と路面とのコントラストが低いとき
- 駐車枠線の幅が極端に細い、太いまたは短いとき
- 駐車枠線が 1 本しか見えないとき
- 駐車スペースが広すぎるもしくは狭すぎるとき
- 駐車エリアに対し停車位置が近すぎる(遠すぎる)とき
- 駐車エリアの路面の色が一様でなかったり、凹凸があるとき
- 駐車エリアに駐車枠線に見えるような影や段差、ペイント、書き直しの枠線などがあるとき
- 夜間や暗い屋内駐車場など、駐車枠線が見にくいとき
- 強い光が駐車スペースの塗装面や路面などに反射しているとき
- 朝日や夕日などの太陽光が直接または間接的にマルチビューカメラシステムに入るとき
- 雪や融雪剤などで駐車枠線が部分的に見えているとき
- 隣接する駐車車両や駐車スペースの付近に影が映っているとき(木々、建物、ガードレール、車両など)
- 穴、溝、崖や突起物があるとき
- 他の車両のソナーセンサーなど、超音波を発するものが付近にあるとき

- 悪天候(雨、霧、雪など)のとき
- 建物などで複数の窓サッシなど同じような形状のものが並んでいるとき
- コインパーキングのフラップ板、ストッパー、付随する構造物などがあるとき



■自車の状態により正しく検知できない事例

- 駐車エリアに対し、自車が傾いて停車しているとき
- マルチビューカメラシステムのレンズが汚れ、曇り、雨粒、泥、湿った雪、シール、アクセサリー、ステッカーやフィルムにより覆われているとき
- ソナーセンサーが汚れているとき(雪、氷、泥などで覆われているとき)
- ソナーセンサーが傷ついていたり、角度がずれているとき
- 車両が高温または低温の状況にあるとき
- トランクやリヤシートに重い荷物を積んで、車が傾いているとき
- サイズや種類、構造の違うタイヤやホイールを装着していたり、タイヤ空気圧が適切でないとき

次ページに続く

■障害物を正しく検知できない事例

- 人・雪・布・スポンジなど音波を反射しにくい障害物のとき
- フェンス・自転車・標識の支柱など細い障害物のとき
- 背が低い・小さい障害物のとき
- 縁石、車止め、段差や路面に取り付けられている障害物のとき
- バンパーのすぐ近くにある障害物のとき
- 地面に対して垂直でない壁などの障害物のとき
- 移動する物体など進路上に飛び出してきた障害物のとき
- 高い位置に障害物が存在したり、高い位置に斜めの柱や壁などが突き出しているとき
- 他車両を含めた障害物が特殊な形状のとき
- トラックなど前側に対して後側の高さが低い、もしくは幅が狭い車両のとき
- 前方の車両の最低地上高が極端に高いとき
- 車両側方にある障害物のとき
- 他車両を含めた障害物の位置が、自車に対して近すぎるまたは離れているとき

指定燃料について

■指定燃料

無鉛プレミアムガソリン
プレミアムバイオ混合ガソリン(E10/ETBE22)

■タンク容量 57 リットル

指定燃料について

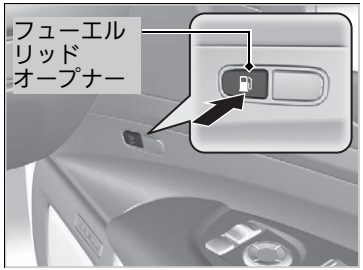
指定燃料以外の燃料(粗悪ガソリン、軽油、灯油など)を補給したり、不適切な燃料添加剤を使用しないでください。
以下のような状態になるおそれがあります。

- 触媒装置などの損傷
- エンジンや燃料系などの損傷
- エンジンなどへの悪影響

プレミアムガソリンが入手できない場合にはレギュラーガソリンをお使いになることもできますが、この場合、エンジンの性能を十分に発揮できません。さらにエンジン始動時やアクセルペダルを踏み込んだ時に、異音が聞こえることがあります。

給油のしかた

給油口にフューエルキャップがない燃料タンクです。フューエルリッドを開けて、給油ノズルを直接差し込むことにより給油することができます。給油ノズルを引き抜くと、給油口が密閉します。



1. 助手席側にガソリンスタンドの給油機がくるように車を停める。
2. パワーシステムを停止させる。
3. 運転席ドアにあるフューエルリッドオープナーを押してフューエルリッドを開ける。

≫給油のしかた

⚠警告

燃料補給時は火気厳禁。
燃料や燃料蒸気は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。燃料を扱っているときは下記の項目を厳守してください。
- パワーシステムは常に停止させる
- 炎、火花を近づけない
- たばこを吸わない
- 燃料の取り扱いは屋外で行う
- こぼれた燃料はすみやかに拭き取る

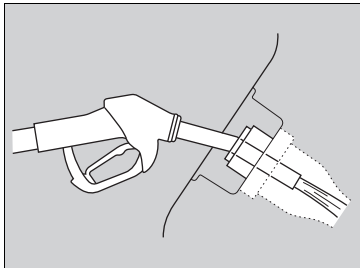
ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

⚠警告

燃料補給作業は、フューエルリッドを開ける前に車体などの金属に触れて身体の静電気を除去してから行う。
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

燃料補給は、静電気を放電した人のみで行ってください。
燃料補給中に車内に戻ると、再び帯電することがあります。再度、静電気を放電してください。

燃料蒸気を吸わないでください。
燃料成分には有害物質を含んでいる場合があります。



4. 給油ノズルをゆっくりとしっかり奥まで差し込み、給油する。
▶給油中はノズルを動かさないでください。
5. 給油ノズルの自動停止後、約5秒待ってから給油ノズルを抜く。
6. フューエルリッドは、手で押さえ付けて閉める。

給油のしかた

⚠注意

給油ノズルの自動停止後は、追加補給しない。
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

フューエルリッドが確実に閉まっていることを確認する。
閉まっていないと燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

自動停止後に追加補給をすると、燃料が満タン容量以上に入ることがあります。

携行缶を使って給油しなければならない場合は、工具セットに添えつけの給油用じょうごをお使いください。
➡ **携行缶から給油するとき** P.492

メンテナンス

この章では、基本的なメンテナンスについて記載しています。

メンテナンスの前に
- 点検整備について 415
- メンテナンスを安全に行うために 416
- メンテナンスに関する注意事項..... 417

エンジンルーム / トランク内のメンテナンス
- エンジンルーム / トランク内のメンテナンス項目.....418
- ボンネットを開ける..... 419
- エンジンルームカバーの取り外し.....420
- 推奨エンジンオイル..... 421
- ウィンドウォッシャー液の補給..... 422

電球の交換..... 423
ワイパーブレードラバーの点検と整備 .. 427
タイヤの点検と整備
- タイヤの点検 430
- タイヤのローテーション 433
- 冬期のタイヤ 434

Honda スマートキー
- Honda スマートキーの取り扱いと電池交換.....435

エアコンのお手入れ
- エアクリーンフィルター 437

清掃
- 車内の清掃 439
- 車外の清掃 441

アクセサリーと改造 444

点検整備について

道路運送車両法により、法定点検と日常点検が義務づけられています。正しい点検整備で、車を安全・快適にお使いください。
普段と違う点(音、におい、ブレーキフルードの不足、地面に油のあとが残っているなど)に気づいたら、Honda 販売店で点検を受けてください。
点検整備の詳細については、別冊のメンテナンスノートも併せてご覧ください。

■点検整備の種類

■日常点検
長距離走行前や洗車・給油時などに、お客様自身の判断で行う点検です。

■定期点検
12か月および24か月ごとに実施する点検です。法律で定められているものと、Honda が指定するものがあります。

■その他
新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。

点検整備について

作業に不慣れな場合や難しい場合は Honda 販売店にご相談ください。

メンテナンスを安全に行うために

メンテナンスを行う際は、メンテナンスノートと下記の安全に関する注意事項をよくお読みのうえ、安全を確保して行ってください。
お客さま自身でメンテナンスを実施したときは、メンテナンス点検整備記録簿のメンテナンスレコードに記録してください。

■メンテナンスを行う場所や備品についての安全事項

- 火災や爆発防止のため、タバコの火、火花、炎を引火性の液体やガスから遠ざける。
- エンジンルーム内の、タオルや可燃物の置き忘れに注意する。
  ▶ 火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジンの排気ガスに含まれる一酸化炭素の毒作用に注意する。
  ▶ エンジンを始動するときは必ず十分な換気を行ってください。

■車についての安全事項

- エンジンルーム内を点検するときは、冷却ファンが止まってから行ってください。
  ▶ エンジンの温度が高い状態でエンジンを停止したとき、冷却ファンが自動的に作動することがあります。
- 熱くなった部品によるやけどに注意する。
  ▶ 部品に触れる前に、エンジンと排気システムを十分に冷やしてください。
- 可動部品によるけがに注意する。
  ▶ 指示されたとき以外は、パワーモードを OFF モードにして作業してください。ONモードでは、ガソリンエンジンが自動的に動き出したり、エンジン停止中でも冷却ファンが回りだすことがあります。

メンテナンスを安全に行うために

⚠警告

適切なメンテナンスを行い、走行前に故障がないようにする。
走行時に故障がある状態や、適切なメンテナンスがなされていないと、重大な傷害や死亡に至る事故を引き起こす可能性があります。
必ず、取扱説明書に記載されている点検とメンテナンスに関する注意事項や別冊のメンテナンスノートに記載の点検時期を守ってください。

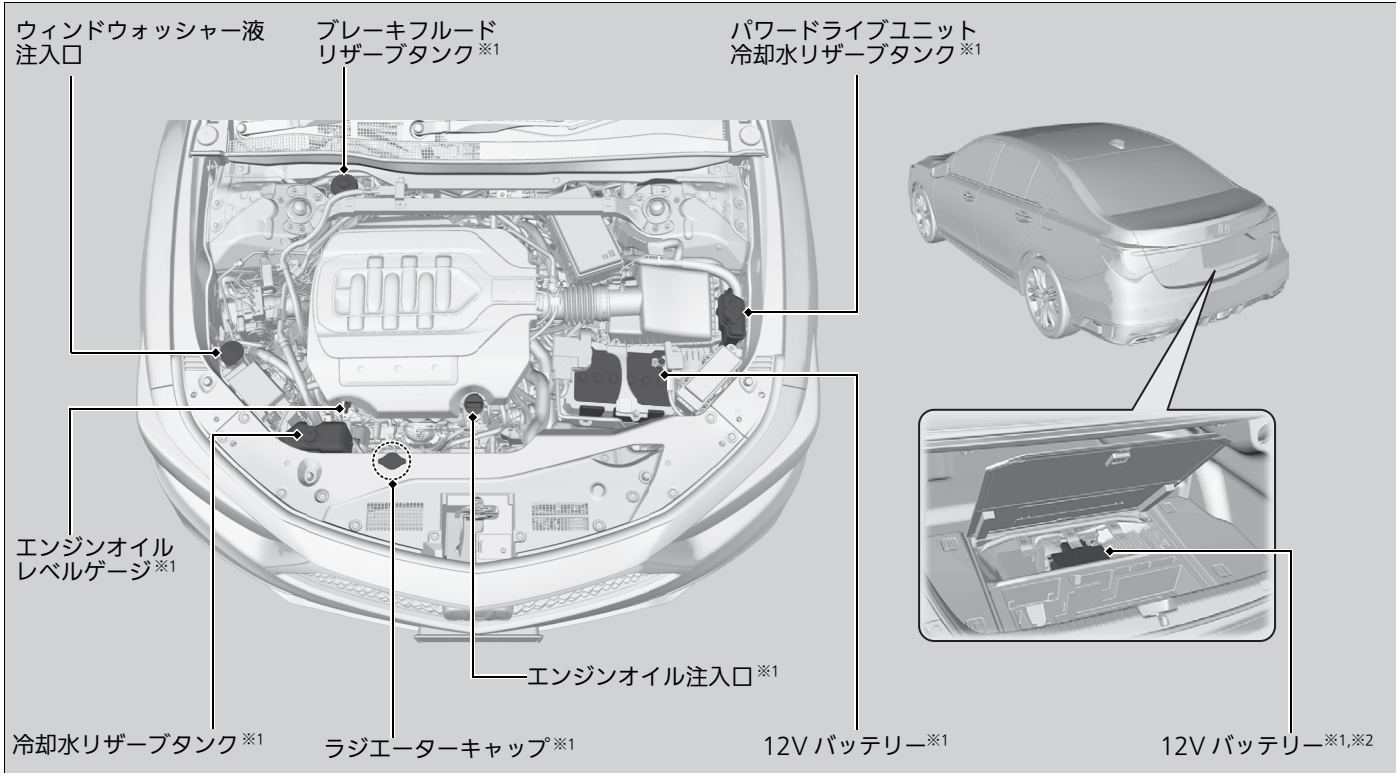
メンテナンスは、指示と注意事項を守って行う。
メンテナンスの指示と注意事項を守らないと重大な傷害や死亡のおそれがあります。
必ず、取扱説明書に記載されている手順と注意事項を守ってください。

メンテナンスに関する注意事項

■メンテナンスサービスで使用する部品やオイル

メンテナンスサービスを受けるときは、Honda 純正部品やオイル類を使用することをおすすめします。Honda 純正部品は、車で使われている部品と同じ高品質の基準に基づいて製造されているため、性能と耐久性の面で安心です。

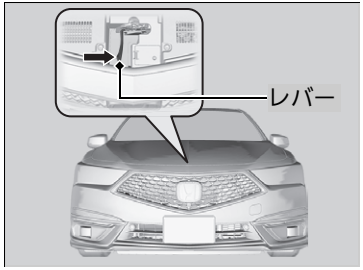
エンジンルーム / トランク内のメンテナンス項目



※1 ：点検整備については、別冊の「メンテナンスノート点検整備について」をご覧ください。
※2 ：トランク内の 12V バッテリーは専用品です。バッテリー端子を外すと Honda SENSING Elite の一部が使用できなくなります。
点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

ボンネットを開ける

1. 車を停め、パーキングブレーキをかける。
2. 運転席足元にある、ボンネット解除ノブを引く。
▶ ボンネットが少し浮き上がります。



3. ボンネット中央のレバーを右に押してロック機構を解除し、ボンネットを開ける。

4. ボンネットを全開にする。

閉めるときは、ボンネットを下げ、ボンネット中央前端のロック部を手でおさえつけるように閉めます。

ボンネットを開ける

⚠注意

ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意する。

アドバイス

ワイパーアームを起こした状態で、ボンネットを開けないでください。
ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷することがあります。

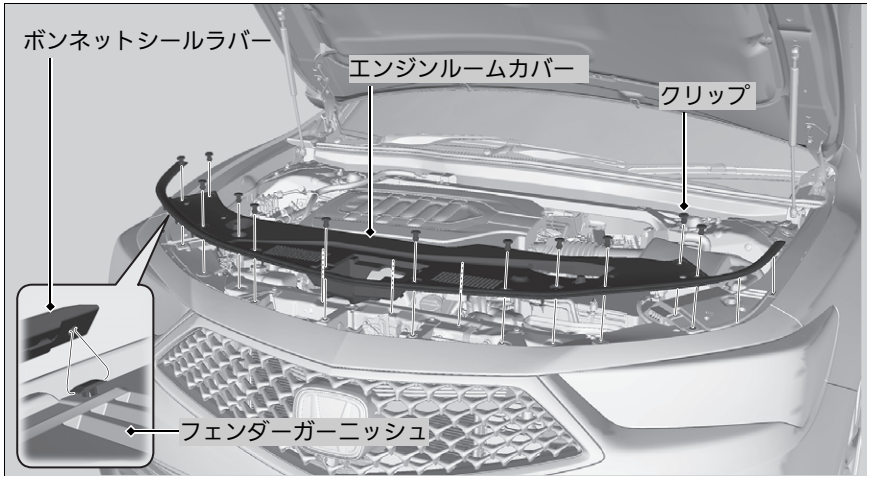
ボンネットを閉めたときは、ボンネットが確実にロックされていることを確認してください。

エンジンルームカバーの取り外し

エンジンルーム内の部品を保護するためにカバーがついています。メンテナンスを行う際に、カバーを取り外すことがあります。

■エンジンルームカバーの脱着方法

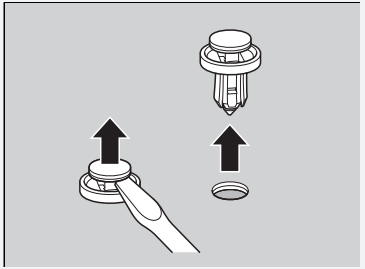
1. クリップを外します。
2. ボンネットシールラバーを前後に動かして、フェンダーガーニッシュから取り外します。
3. エンジンルームカバーを持ち上げ、ピンから取り外します。
取り付ける際は、逆の手順で行ってください。



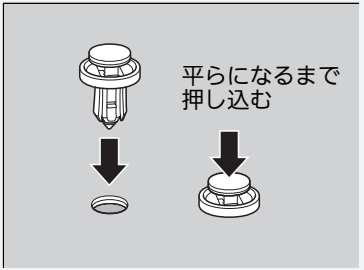
エンジンルームカバーの取り外し

クリップ

クリップを外すときは、マイナスドライバーを差し込んで、中央部のピンを起こして取り外します。



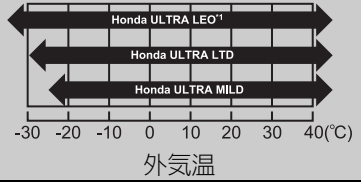
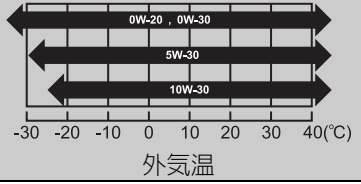
クリップを取り付けるときは、クリップ中央部のピンを起こしたまま差し込み、ピンを平らになるまで押してください。



推奨エンジンオイル

純正および市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを表にもとづきお使いください。

エンジンオイルは、量が少なかったり劣化したものを使用していると、エンジンの不調や破損につながることがあります。

純正エンジンオイル	市販エンジンオイル
Honda 純正油 • Honda ULTRA LEO*1 • Honda ULTRA LTD • Honda ULTRA MILD	API SM 級以上かオイル缶に API CERTIFICATION（エーピーアイサーティフィケーション）マークの入ったエンジンオイル
	

*1：最も省燃費性に優れた Honda 純正オイルです。

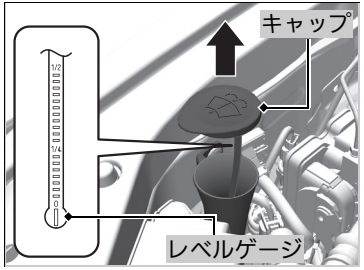
推奨エンジンオイル

冬期はエンジンオイルの劣化が激しくなります。
冬期に主として短距離、市街地を運転する場合は、早めに交換してください。

API CERTIFICATION（エーピーアイサーティフィケーション）マークは下記のとおりです。

ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



減っていた場合は、ウォッシャー液キャップを外し、ウォッシャータンクに補給します。

ウィンドウォッシャー液が少なくなると、マルチインフォメーションディスプレイにメッセージが表示されます。

ウィンドウォッシャー液の補給

ウォッシャー液以外の液体を、タンクに入れないでください。
ウォッシャー液は必要に応じて水(軟水)で薄めてください。

冬期はウォッシャー液の凍結を防ぐため、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

ヘッドライト電球

ロービームヘッドライト、ハイビームヘッドライトは LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

フロントサイドマーカーライト電球

フロントサイドマーカーライトは LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯電球

前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯は LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

車幅灯 / デイタイムランニングライト電球

車幅灯 / デイタイムランニングライトは LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯電球

側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯は LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

制動灯 / 尾灯、後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯、後部側方灯電球

制動灯 / 尾灯、後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯、後部側方灯は LED を使用しています。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

尾灯、後退灯電球

尾灯、後退灯はLED を使用しています。点検、交換はHonda 販売店に依頼してください。

番号灯電球

番号灯はLED を使用しています。点検、交換はHonda 販売店に依頼してください。

ハイマウントストップランプ電球

ハイマウントストップランプはLED を使用しています。点検、交換はHonda 販売店に依頼してください。

車外ドアハンドルランプ電球

車外ドアハンドルランプはLED を使用しています。点検、交換はHonda 販売店に依頼してください。

フロントアクセサリーランプ電球

フロントアクセサリーランプはLEDを使用しています。点検、交換はHonda販売店に依頼してください。

リヤアクセサリーランプ電球

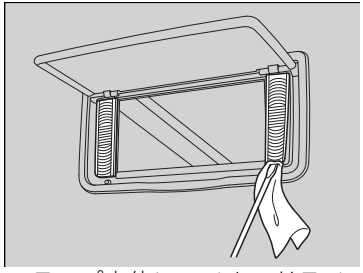
リヤアクセサリーランプはLEDを使用しています。点検、交換はHonda販売店に依頼してください。

その他の電球

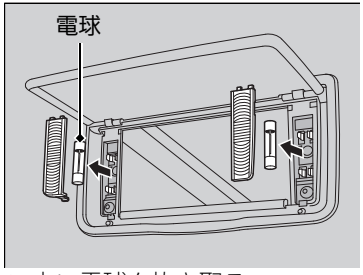
■バニティミラー照明灯電球

下記の電球をご使用ください。

バニティミラー照明灯：12V−1.4W



1. ランプ本体にマイナスドライバーの先端を差し込み、押し開ける。
▶ ランプが傷付かないよう、ドライバーに布などを巻き付けてください。

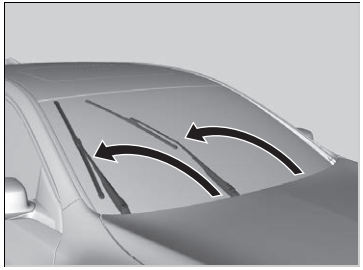


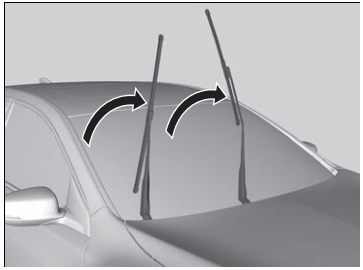
2. 古い電球を抜き取る。
3. 新しい電球を差し込む。

ワイパーブレードラバーの点検

ワイパーブレードラバーが傷んでいると、拭きムラになったり、ウィンドーガラスを傷つけたりします。定期的にワイパーブレードラバーの状態を点検し、傷んでいる場合は交換してください。

ワイパーブレードラバーの交換





1. パワーモードを OFF モードにする。

2. ワイパースイッチのレバーを**MIST**の位置に押し上げたまま、パワーモードを ON モードにし、すぐにパワーモードを OFF モードにする。

▶両方のワイパーアームが、ワイパーメンテナンスポジションにセットされます。

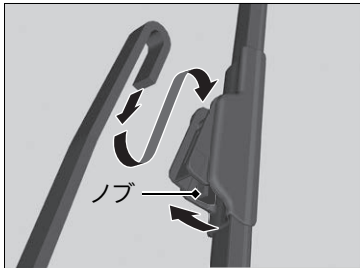
3. 両方のワイパーアームを起こす。

» ワイパーブレードラバーの交換

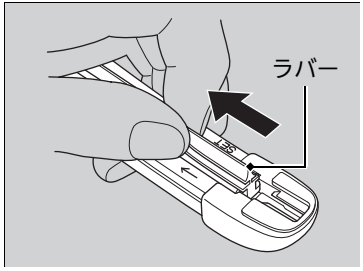
アドバイス

ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けたりワイパーを作動させたりすると、ボンネットとワイパーアームを損傷します。

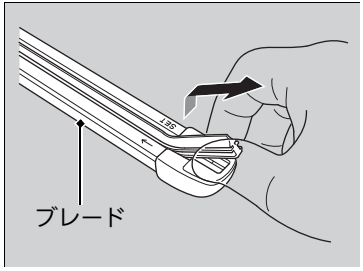
次ページに続く



4. ノブを押し上げながら、アームからブレードをスライドさせて外す。



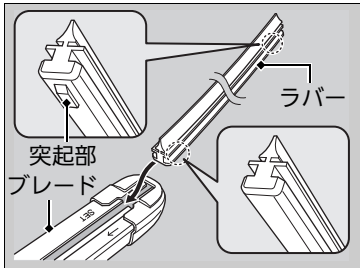
5. ラバーのストッパーがブレードのツメから外れるまで引き、そのままラバーをブレードから引き抜く。



≫ワイパーブレードラバーの交換

アドバイス

ブレードを外した状態でワイパーアームが倒れると、ガラスが損傷するおそれがあります。



6. ラバーを突起部のない側を下にしてブレードに沿って差し込む。
▶ブレードをワイパーアームに取り付け、ラバーの突起部がブレード先端の溝に挿入されるまで差し込み、確実に固定します。
7. 両方のワイパーアームを戻す。
8. パワーモードを ON モードにする。
9. ワイパースイッチのレバーを**MIST**の位置に押し上げて、両方のワイパーアームを通常の位置に戻す。

タイヤの点検

■タイヤの点検について

タイヤが摩耗・損傷していたり、適正な空気圧でないと、安全な走行ができないばかりか乗り心地も損なわれます。
安全な走行のために求められるタイヤの条件は下記のとおりです。

- 種類とサイズが適正であること
- 接地面の状態が良好であること
- 空気圧が適正であること
- 摩耗、傷、亀裂、異物などがないこと

これらの条件を満たすために下記の点検を行い、常にタイヤを最適な状態に保ってください。

■日常的な点検

乗車前に必ず行う点検です。下記の項目を確認し、状況によってはメンテナンスをしてください。

- タイヤがつぶれているように見えないか？
  ▶ つぶれているように見えたら、すぐに空気圧をチェックしてください。
- 激しい摩耗、傷、亀裂、異物はないか？
  ▶ 状況に応じて、タイヤを交換してください。

▶タイヤの点検について

⚠警告

摩耗が激しいタイヤ、空気圧が適正でないタイヤを使用しない。
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

指定空気圧は、運転席横の車体に貼ってあるラベルにも記載されています。
取扱説明書が手元にない場合は、車のラベルをご覧ください。

■空気圧測定器による点検

すべてのタイヤの空気圧を測定してください。空気圧が下がっている場合は、パンクを入念に調べます。

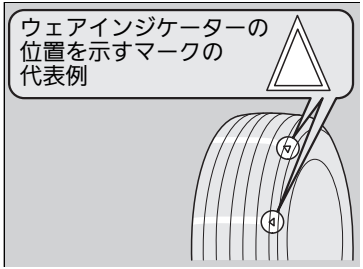
タイヤの指定空気圧は、巻末の資料を参照してください。

➡ **仕様** P.494

■損傷、異物、摩耗の点検

下記の項目を点検してください。

- タイヤの接地面と側面の突起、膨らみが正常か？
  ▶ 異常が見られた場合は、タイヤを交換する必要があります。
- タイヤ側面に、裂け目、亀裂がないか？
  ▶ 裂け目や亀裂がある場合は、タイヤを交換する必要があります。
- 接地面とウェアインジケーターが同じ高さになっていないか？



ウェアインジケーター（摩耗限界表示）

ウェアインジケーターはタイヤの接地面にあり、他の部分より溝が 1.6mm 浅くなっています。

接地面が摩耗して、ウェアインジケーターと同じ高さになったら、タイヤを交換してください。

タイヤの点検について

タイヤの空気圧は、タイヤ温度が低いときに測定してください。

必要な場合は、指定空気圧になるまで空気を注入または排出してください。

タイヤが高温のときに空気圧を測っても、低温のときより高めになるため正しく測定できません。

タイヤとホイールの交換

タイヤは、四輪とも同一指定サイズ、同一種類、同一銘柄および摩耗差のないタイヤをお使いください。サイズ、種類、銘柄や摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると、運転に関わるシステムが正常に機能しなくなったり、動力伝達装置に悪影響を与えたりします。

同時にすべての４つのタイヤを交換することをお勧めします。それができない場合は、前輪または後輪タイヤの左右を一緒に交換してください。

専用のタイヤ空気圧警報システムセンサーを装備したホイールを使用していますので、純正ホイールを使用してください。
タイヤやホイールを交換するときは、付け替えたホイールにタイヤ空気圧警報システムセンサーを装着してください。
センサー装着に関しては販売店にご相談ください。

タイヤとホイールの交換

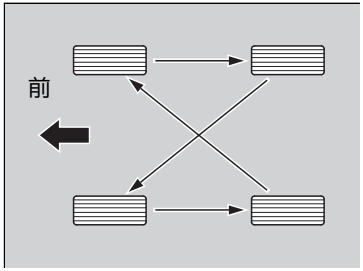
⚠警告

必ず、サイズと種類が適切なタイヤを使用する。
不適切なタイヤを使用すると、重大な傷害や死亡に至る事故につながるおそれがあります。

タイヤのローテーション

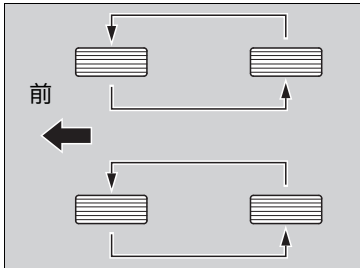
5,000km 走行したときタイヤローテーションをしてください。
タイヤローテーションを行うのは、特定のタイヤが摩耗するのを防ぐためです。

■回転指示マークがないタイヤの場合



図のように、タイヤをローテーションさせます。

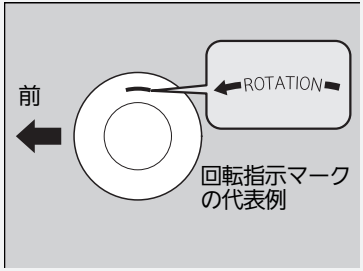
■回転指示マークがあるタイヤの場合



図のように、タイヤをローテーションさせます。

タイヤのローテーション

タイヤ回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ回転指示マークがあります。
図のように回転指示マークが前へ向くように取り付けてください。



締め付けトルク：127 N・m（13 kgf・m）

冬期のタイヤ

雪道や凍結した道路を走行する場合は、スノータイヤやタイヤチェーンを装着し、速度を落として十分に車間距離をとって運転してください。
また、横滑りの原因となりますのでハンドルやブレーキの操作は、特に慎重に行ってください。

タイヤチェーンおよびスノータイヤは、走行条件や法令により装着が必要とされた場合に使用します。
装着する場合は、下記のポイントを参照してください。

■スノータイヤの場合：

- 四輪とも同じ種類、指定サイズのタイヤを選ぶ
- 四輪すべてにスノータイヤを装着する

■タイヤチェーンの場合：

- Honda 純正スチールチェーンを、付属の取扱説明書にしたがって前輪に装着する
- タイヤサイズに適合したチェーンを装着する
- ブレーキラインやサスペンションと接触していないか確認する
- ゆっくり走行する

≫冬期のタイヤ

アドバイス

サイズが不適切なチェーンを装着したり、装着のしかたが不適切だと、車のブレーキライン、サスペンション、ボディー、ホイールを損傷するおそれがあります。
チェーンが車のどこかに当たる場合、ただちに走行をやめてください。

タイヤチェーンは前輪に装着します。
後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

タイヤチェーンを装着したときは、30km/h以下の速度で走行してください。
なお、乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したまま走行するのは避けてください。タイヤチェーンの摩耗を早めます。

Honda スマートキーの取り扱いと電池交換

■取り扱いについて

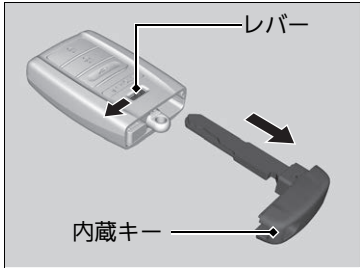
Honda スマートキーの取り扱いは、下記の点に注意してください。

- 発信器を落としたり投げたりしない
- 温度が極端に高い / 低い場所に置かない
- 液体にひたさない

■電池交換のしかた

作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられます。
ボタンを押したときにインジケーターが点灯しない場合は、電池切れです。電池を交換してください。

■Honda スマートキー



ボタン電池 CR2032

1. レバーを引きながら、内蔵キーを取り出す。

取り扱いについて

Honda スマートキーをなくした場合は、Honda 販売店へご連絡ください。

電池交換のしかた

⚠警告

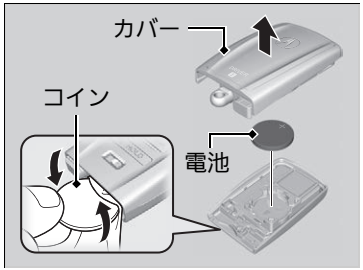
ボタン電池は、お子さまが飲み込まないように注意する。
重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。
飲み込んだ時は、ただちに医師の診察を受けてください。

電池交換の際は、破損などのおそれがあるため、Honda 販売店での交換をおすすめします。

電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。
確実に取り付けられていないと、耐水性能の低下や故障の原因となります。

電池は Honda 販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

次ページに続く



2. カバーを外す。
- ▶ ボタンを紛失しないよう丁寧に取り外してください。
- ▶ カバーに傷が付かないように、コインに布などを巻いてカバーを取り外します。

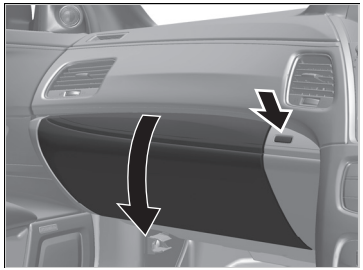
3. ⊕と⊖を間違えないよう、電池を交換する。

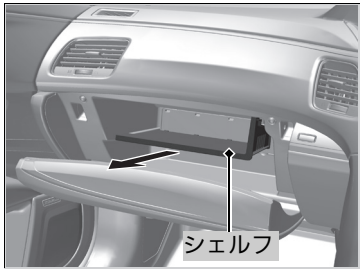
エアクリーンフィルター

■エアクリーンフィルターの交換時期

エアクリーンフィルターは、通常 1 年または 15,000km ごとに交換してください。
粉じんなどの多い場所で使用される場合は、早めの交換をおすすめします。

■エアクリーンフィルターの交換





1. グローブボックスを開け、シェルフを外す。

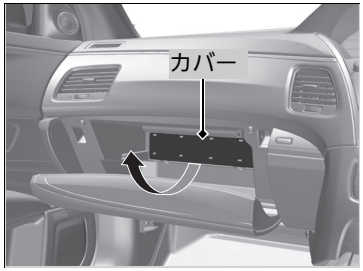
エアクリーンフィルター

芳香剤を使用すると脱臭効果が弱くなり、脱臭寿命が短くなることがあります。

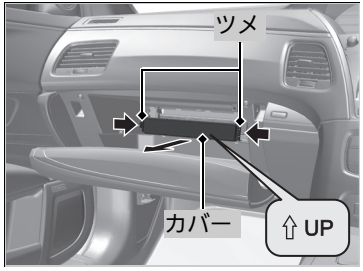
エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときは、フィルターの目詰まりが考えられます。フィルターを交換してください。

アレルフリー高性能脱臭フィルターは、空気中の花粉・粉じんを集じんし、アレルゲンを処理、排気ガス臭も低減します。

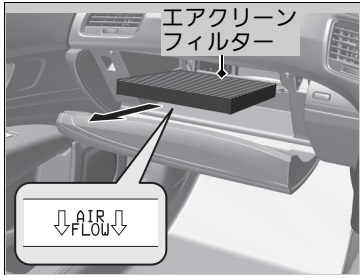
次ページに続く



2. グローブボックスの内側に付いているカバーを外す。



3. 左右にあるツメを押しながら、エアクリーンフィルターケースのカバーを外す。



4. エアクリーンフィルターを引き出す。

5. 新品と交換する。

▶「AIR　FLOW」マークの矢印が、下向きになるように取り付けます。

車内の清掃

内装の清掃は、掃除機で塵やほこりを取り除いてから汚れを落としてください。
ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものを柔らかい布に軽く含ませ、固く絞って汚れを落とします。その後、真水を含ませたきれいな布で、洗剤分をきれいに落としてください。

■シートベルトの清掃

ぬるま湯に中性洗剤を溶かしたものをブラシにつけて清掃し、その後空気乾燥させます。

車内の清掃

室内に水をかけないでください。
室内の部品に水がかかると故障や、さびの原因となります。

オーディオ、スイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。
故障や車両火災の原因となるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda 販売店にご相談ください。

ケミカル類、液体芳香剤は成分により、樹脂部品、布材の変色、しみ、ひび割れなどを起すことがあります。
ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤、酸、アルカリ性の溶剤は使用しないでください。

ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。
使用した布をそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

液体芳香剤は、こぼさないよう確実に固定してください。

次ページに続く

■ガラスのお手入れ

ガラスクリーナーなどで拭いてください。

■本革のお手入れ

塵やほこりを掃除機や乾いた布で取り除いてください。
ウール用中性洗剤の 10% 水溶液を柔らかい布に軽く含ませ汚れを落とします。その後、真水を含ませた柔らかい布を固く絞り、洗剤分をきれいに拭き取ります。乾いた布で水分を拭き取り、風通しをよくして日陰で乾燥させます。濃色のデニムなど、衣類の染料が本革に移ってしまうことがあります。
汚れが付着したらすぐに拭き取ってください。

▶ガラスのお手入れ

リヤガラスは、ガラスの内側に電熱線やアンテナ線が装着されています。
傷付けないよう、これに沿って柔らかい布で拭いてください。

フロントセンサーカメラのカバーや周辺に水やガラスクリーナーなどの液体がかからないようにしてください。
➔ **フロントセンサーカメラ** P.253

車外の清掃

走行後は、塗装面に付着したほこりなどを毛はたきなどで払い落としてください。飛び石などによる塗装面の傷は錆の原因になります。見つけたら早めに補修してください。

■洗車について

月に一度は洗車をするようにしてください。以下の場合は、必ず洗車をしてください。

- 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき
- 海岸地帯を走行したとき
- コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などが付いたとき

■自動洗車機を使うとき

- 自動洗車機に記載されている指示にしたがう
- ドアミラーを格納する
- ワイパースイッチを OFF にする

■高圧洗浄機を使うとき

- 洗車ノズルと車体の距離を十分に離す
- ドアガラスやドアまわりなど開閉部分は、特に注意する
  ▶ 近づけすぎると室内に水が入ることがあります。
- エンジンルームには水をかけない。

車外の清掃

故意に空気取り入れ口に水をかけないでください。
故障の原因になります。

フューエルリッドを開けた状態で、給油口に水をかけないでください。
燃料システムもしくはエンジンを損傷する可能性があります。

ワイパーアームを起こす場合は、ワイパーアームをワイパーメンテナンスポジションにセットしてください。
➔ **ワイパーブレードラバーの交換** P.427

次ページに続く

■ワックスをかけるとき

ワックスは、月に1回程度または水をはじかなくなったときにかけてください。洗車した後や、車体表面が体温以下に下がっているときにかけるようにしてください。

■バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品に、ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着するとしみや塗膜はがれの原因となります。付着した場合は、すぐに柔らかい布で拭き取ってください。

■ガラスのお手入れ

ガラスクリーナーなどで拭いてください。

■はっ水ガラスについて

前席ウィンドー(ドアガラス)にはっ水膜がコーティングしてあり、水滴をはじきます。水洗いするか、柔らかい湿った布などで拭き取ってください。

ガラスクリーナーを使うと一時的に水はじきが悪くなることがありますが、水洗いをすれば元に戻ります。水はじきが悪くなったときは、Honda 販売店にご相談ください。

≫ワックスをかけるとき

アドバイス

みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは、使わないでください。塗装面に細かい傷が残ることがあります。

ワックスは Honda 純正ケミカル用品をお使いください。

≫バンパーなどの樹脂塗装部品のお手入れ

樹脂塗装部品の補修をする場合は、Honda 販売店にご相談ください。

不適当な塗料を使うと塗膜を傷めます。

フロントグリルやバンパーを補修する場合は、Honda 販売店にご相談ください。

適切な手法で補修を行わないと、Honda SENSING Elite が正常に作動しないおそれがあります。

≫ガラスのお手入れ

水滴をはじく効果の持続時間には限りがあります。長持ちさせるために次のことをお守りください。

- 泥などの汚れがひどいときは、開閉をなるべく行わない
- みがき粉(コンパウンド)入りガラスクリーナーやワックス、洗剤等は使わない
- 金属製のもので霜取りなどを行わない
- 自動洗車機を使うときは、先に泥などの汚れを落とす

■アルミホイールのお手入れ

アルミは塩分や汚れを嫌います。道路凍結防止剤や海水が付いたときは、柔らかい布やスポンジに中性洗剤を含ませ汚れを早めに落としてください。
洗車後は、水が乾かないうちに拭きとってください。

■ヘッドライト、制動灯の曇り

ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などにより、レンズ面が一時的に曇ることがあります。また、ランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。
これは雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の自然現象で、機能上の問題ではありません。
また、ランプの構造上、レンズの縁に水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。但し、ランプ内に水がたまっている場合や大粒の水滴が付いている場合はHonda販売店で点検を受けてください。

アルミホイールのお手入れ

この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換は、Honda 販売店にご相談ください。

硬いブラシやコンパウンド(研磨剤)の入った洗剤などは使わない。
変色やしみ、光沢の変化の原因になったり、傷をつけるおそれがあります。

アクセサリー

アクセサリーを取り付ける場合は、下記の項目を確認してください。

- アクセサリーをフロントガラスに取り付けていないか？
  ▶ アクセサリーの揺れる動きが車外の状況認識を遅らせることがあります。また、吸盤がレンズのはたらきをして、火災につながるおそれがあります。
- フロントガラス、ドアガラスやフロント、センター、リヤの各ピラーまわりにアクセサリーを取り付けていないか？
  ▶ サイドカーテンエアバッグの作動の妨げになるので、上記の場所にはアクセサリーを取り付けないでください。

≫アクセサリーと改造

⚠警告

不正改造は、法律に触れることはもちろん、思わぬ事故につながる可能性があります。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故につながる可能性があります。
電装品の分解、改造は行わないでください。故障や火災など思わぬ事故につながる可能性があります。

⚠警告

高電圧バッテリーは、純正品の使用をおすすめします。純正品以外のバッテリーを使用した場合、過充電や火災など思わぬ事故につながる可能性があります。

改造や部品交換について

車の改造はしないでください。
Honda 純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
Honda が国土交通省に届け出をした部品以外のものを装着すると、違反になることがあります。

診断コネクター は、故障診断用の診断装置などの機器のみを接続するためのものです。
それ以外の機器を接続すると、車の電子機器に悪影響をおよぼしたり、バッテリーがあがるなど、思わぬトラブルを招くおそれがあります。

無線装置などの取り付けの際には、必ず Honda 販売店にご相談ください。装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。

アクセサリーと改造

車の性能、品質を維持するために、Honda 車に最も適した Honda 純正部品をお使いください。
純正部品には下記のマークが付いています。

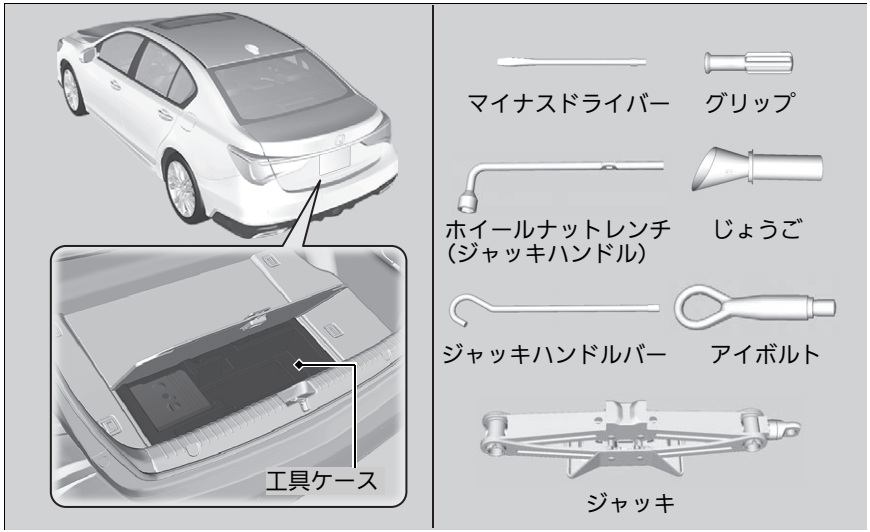
お求め、装着に際しては、Honda 販売店にご相談ください。

万一の場合には

この章では、万一の場合の対応方法について記載しています。

工具、発炎筒 447
パンクしたとき 448
ジャッキの取り扱い 459
パワーシステムが起動しない
パワーシステムの確認 461
Honda スマートキーの電池が切れたとき 463
緊急時のパワーシステム停止方法 464
12V バッテリーがあがったとき 465
オーバーヒート 469
警告灯の点灯 / 点滅 472
ヒューズ
ヒューズの設置場所 479
ヒューズの点検と交換 488
けん引 489
フューエルリッドが解錠できないとき 490
トランクが開かないとき 491
給油 492

工具の種類



発炎筒

高速道路や踏切などの危険な場所で故障したときに使います。
発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- 使いかた
- 使用上の注意
- 発炎時間
- 有効期限

➔ **発炎筒** P.2

工具の種類

工具はトランクルーム内に収納されています。

発炎筒

⚠警告

ガソリンなどの燃えやすいもののそばで使わない。
火災や爆発のおそれがあります。

⚠注意

発炎筒を使うときは、以下のことに注意する。

- お子さまにさわらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 顔や身体に向けないでください。思わぬ事故ややけどの原因になります。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

パンクしたタイヤの応急修理

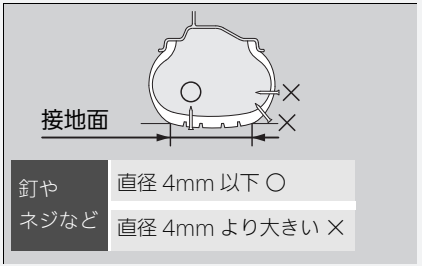
スペアタイヤの装備はありません。
タイヤの損傷が激しい場合は、乗り物をけん引する必要があります。
単にタイヤに小さな穴がある場合、永久的な修理をするために最寄りの販売店へ運転することができるよう、損傷を一時的に補修するタイヤパンク応急修理キットで応急修理ができます。
パンクしたときは、ハンドルをしっかり握り徐々にブレーキをかけてスピードを落とし安全な場所に停車してください。

1. 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。
2. パーキングブレーキをかける。
3. シフトポジションを[P]にする。
4. 非常点滅表示灯を点滅させ、パワーモードを OFF モードにする。

▶▶パンクしたタイヤの応急修理

以下のような場合、タイヤパンク応急修理キットは使用できません。Honda販売店またはロードサービスにご連絡ください。

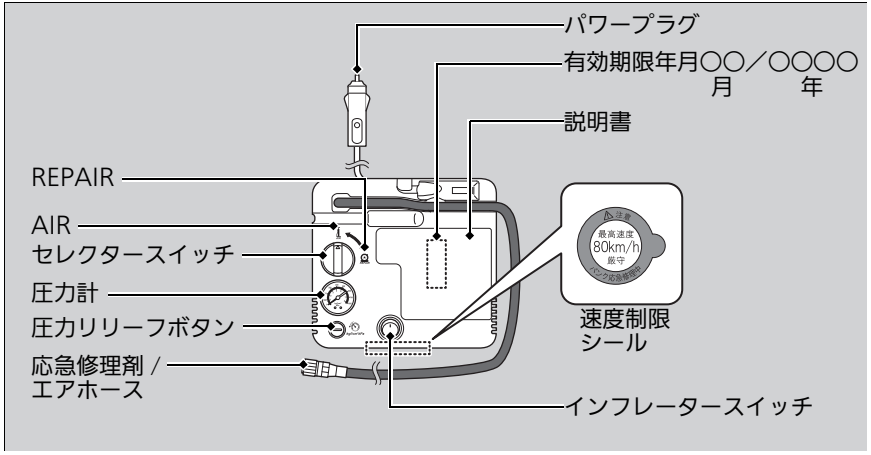
- 応急修理剤の有効期限が切れているとき
- タイヤが 2 本以上パンクしているとき
- 約 4mm 以上の切り傷や刺し傷によるパンクのとき
- 路面接地部以外が損傷を受けパンクしたとき



- ほとんど空気が抜けた状態で走行したとき
- タイヤがホイールから外れているとき
- ホイールが破損しているとき

タイヤに刺さったクギなどは抜かないでください。
抜いてしまうと、タイヤパンクの応急修理キットでは応急修理が不可能になる場合があります。

■タイヤ応急修理の準備



タイヤ応急修理の準備

アドバイス

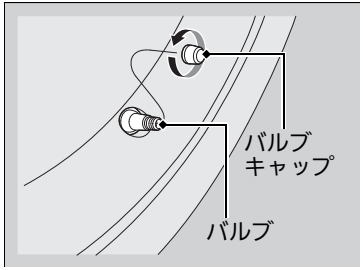
車両に付属した応急修理剤以外を使用しないでください。他の修理剤を使用するとタイヤ空気圧センサーを破損するおそれがあります。

応急修理をスムーズに行うため、タイヤパンク応急修理キットに付属の説明書をお読みください。

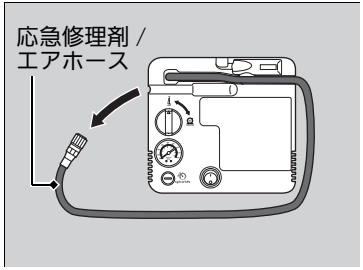
次ページに続く

1. ハンドルを引き上げ、カーゴリッドを開ける。
2. タイヤパンク応急修理キットを取り出す。
3. 交通から遠ざけ、パンクしたタイヤ付近にキットを水平に置く。
▶ キットの側面を立てて置かないでください。

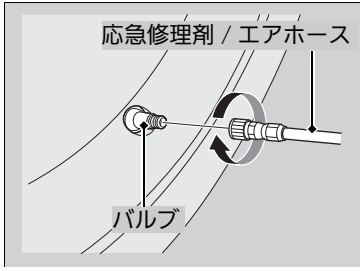
■応急修理剤とエアの注入



1. バルブからバルブキャップを取り外す。



2. 応急修理剤 / エアホースを応急修理キットから取り外す。



3. タイヤのバルブに応急修理剤 / エアホースをきつく締め付ける。

次ページに続く

▨応急修理剤とエアの注入

⚠警告

応急用修理剤は、飲用すると有害で、致命的になりうる物質を含んでいます。

誤って飲用した場合、

- できるだけたくさんの水を飲んでください。
- ただちに医師の診察を受けてください。

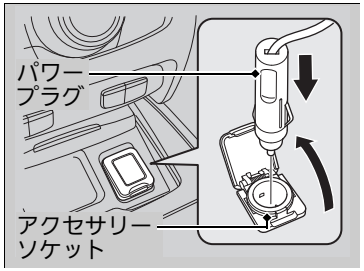
目に入ったり皮膚に付いた場合

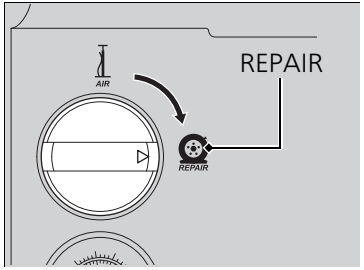
- 水でよく洗い流してください。
- 異常を感じたときはただちに医師の診察を受けてください。

お子さまが誤って手を触れないよう、保管、取り扱いに注意してください。

外気温が氷点下以下のときは応急修理剤は容易に流れないかもしれません。使用前に約5分間暖めてください。

応急修理剤が衣類などに付着すると、落ちないおそれがありますのでご注意ください。





4. エアコンプレッサーの電源コードのパワープラグを、アクセサリーソケットに差し込む。
▶ドアや窓にコードをはさまないように注意してください。

5. パワーシステムを起動する。
▶応急修理剤 / エアを注入しているときはパワーシステムを停止しないでください。
➡ **一酸化炭素について** P.89

6. セレクタースイッチを「REPAIR」にする。

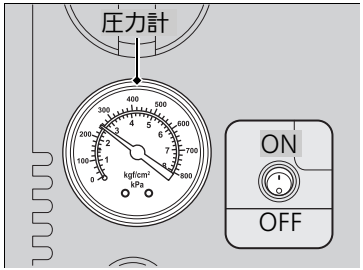
応急修理剤とエアの注入

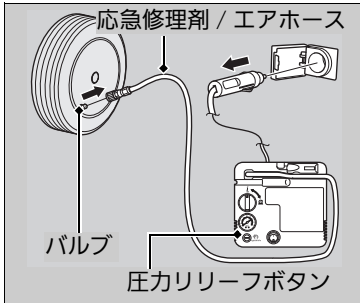
⚠警告

一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。
一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。
密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、パワーシステムを起動したままにしない。
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。
エンジンが始動している場合は、車両の周囲の雪を取り除くなどして下さい。

アドバイス
15分以上エアコンプレッサーを使用しないでください。
エアコンプレッサーは過熱し、破損するおそれがあります。





7. エアコンプレッサーのインフレータースイッチを ON にする。
▶ エアコンプレッサーはタイヤに応急修理剤とエアを注入し始めます。
▶ 応急修理剤の注入が完了すると、エアのみ注入されます。

8. 空気圧を 250 kPa まで高め、エアコンプレッサーのインフレータースイッチを OFF にする。

9. エアコンプレッサーの電源コードのパワープラグを、アクセサリーソケットから外す。

10. タイヤバルブから応急修理剤 / エアホースを外しバルブキャップを取り付ける。

11. 圧力リリーフボタンを押して、圧力計が 0 kPa になるまでエアを抜く。

応急修理剤とエアの注入

アクセサリーパワーソケットは以下の2箇所にあります。
- コンソールコンパートメントの中
- フロントコンソール

応急修理剤が注入されている間、圧力は一時的に高くなります。注入が完了すると圧力は落ちますが、再度上昇します。これは正常です。
正しい空気圧を測定するためには、応急修理剤が注入された後にエアコンプレッサーのインフレータースイッチを OFF にしてください。

10 分以内に指定空気圧にならないときは、応急修理剤による応急修理はできません。
Honda 販売店やロードサービスに連絡してください。

タイヤパンク応急修理剤の購入および空きボトルの適切な処分については Honda 販売店にお尋ねください。

次ページに続く

■点検走行

1. 速度制限シールを、運転者のよく見える位置に貼る。
2. 点検走行を開始する。
▶法定速度を守ってください。高速道路では 80km/h 以下を厳守してください。
3. 10 分または 5km 走行したあと安全な場所に車を停める。
4. タイヤのバルブに応急修理剤 / エアホースをきつく締め付ける。

≫点検走行

⚠警告

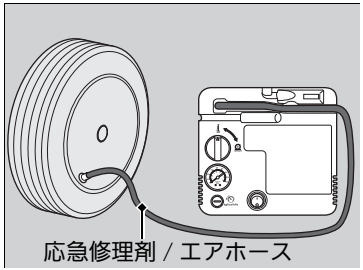
一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。
一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。
密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、パワーシステムを起動したままにしない。
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。
エンジンが始動している場合は、車両の周囲の雪を取り除くなどしてください。

⚠注意

ハンドルのパッドにシールを貼らない。
SRS エアバッグが正常に機能しなくなります。

警告灯やスピードメーターが見えない位置に貼らない。
安全運転の妨げとなります。



5. セレクタースイッチを「AIR」にする。
▶ エアコンプレッサーのインフレータースイッチを ON にしないでください。

6. エアコンプレッサーに付属の圧力計で空気圧を測定する。
- 空気圧が 130 kPa 未満の場合：
  応急修理剤では修理はできません。
  運転を中止して Honda 販売店またはロードサービスに連絡してください。
- 空気圧が 250 kPa の場合：
  応急修理は完了です。
- 空気圧が130 kPa以上、250 kPa以下の場合：
  エアコンプレッサーを使って指定空気圧まで高める。
  Honda 販売店または専門修理工場に到着するまで、ステップ 2 から 6 までを繰り返す。

▶ 高速道路では80km/h以下で、法定速度を守って指定の Honda 販売店または専門修理工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

点検走行

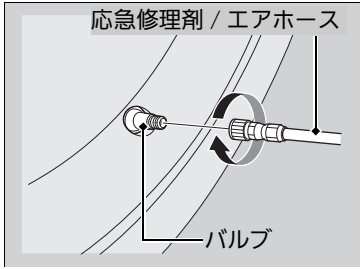
走行前に、エアコンプレッサーなどの積み忘れがないか、しっかりと確認してください。

次ページに続く

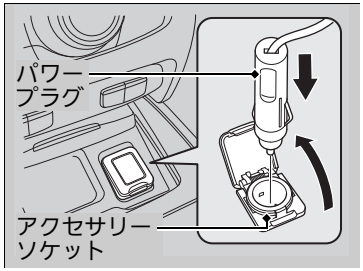
7. タイヤバルブから応急修理剤 / エアホースを外しバルブキャップを取り付ける。
8. 圧力リリーフボタンを押して、圧力計が 0 kPa になるまでエアを抜く。
9. キットを車両に戻す。

■タイヤ空気圧の補充

装備されているエアコンプレッサーを使用して、パンクしていないタイヤの空気圧を補充することができます。



1. エアコンプレッサーを準備する。
2. 交通から遠ざけ、空気を補充するタイヤ付近にキットを水平に置く。
3. バルブからバルブキャップを取り外す。
4. バルブにエアコンプレッサーのホースを確実に取り付ける。



5. エアコンプレッサーの電源コードのパワープラグを、アクセサリーソケットに差し込む。
▶ ドアや窓にコードをはさまないように注意してください。
6. パワーシステムを起動する。
▶ エアを注入しているときはパワーシステムを停止しないでください。

➔ **一酸化炭素について** P.89

タイヤ空気圧の補充

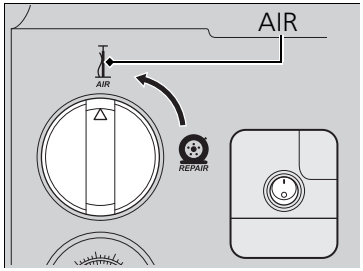
⚠警告

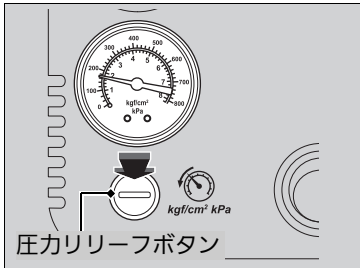
一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業を避ける。
一酸化炭素は有毒です。一酸化炭素を吸い込むと意識不明になったり、死亡したりするおそれがあります。
密閉された場所での作業や、一酸化炭素を吸い込む危険性のある作業はしないでください。

降雪時や積雪のある場所では、パワーシステムを起動したままにしない。
周囲に積もった雪により排気ガスが滞留し車内に入ってくると、重大な傷害や死亡にいたるおそれがあります。
エンジンが始動している場合は、車両の周囲の雪を取り除くなどしてください。

エアコンプレッサーの電源を ON にすると、振動して音が聞こえますが、故障ではありません。

次ページに続く





7. セレクタースイッチを「AIR」にする。
8. エアコンプレッサーのインフレータースイッチを ON にする。
▶ エアコンプレッサーを起動すると、エアがタイヤに注入されます。
9. 指定空気圧になるまでエアの補充をする。

10. エアコンプレッサーのインフレータースイッチを OFF にする。
▶ エアコンプレッサーの圧力計を確認してください。
▶ もし空気圧が高ければ、圧力リリーフボタンを押して減圧します。
11. エアコンプレッサーの電源コードのパワープラグを、アクセサリーソケットから外す。
12. タイヤバルブから応急修理剤 / エアホースを外しバルブキャップを取り付ける。
13. 圧力リリーフボタンを押して圧力計が 0 kPa になるまで空気を抜く。
14. キットを車両に戻す。

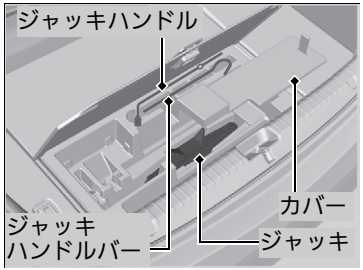
タイヤ空気圧の補充

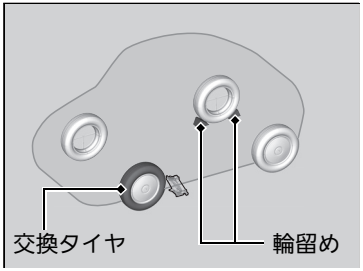
備え付けのコンプレッサーは、乗用車タイプの空気充填用です。取り扱いの際には、以下の点にご注意ください。

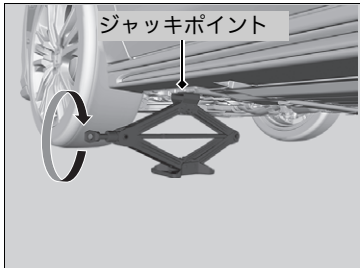
- エアコンプレッサーの電源は自動車用　12V 専用です。他の電源は使用しないでください。
- 使用中、エアコンプレッサーの表面が熱くなります。15 分以上は連続して使用しないでください。また、再使用する場合は、エアコンプレッサーが冷えてからお使いください。

タイヤの空気圧を空気圧計で確認するときは、エアコンプレッサーの電源を OFF にしてください。

ジャッキのかけかた







1. 地面が固く、滑らない、水平なところに車を停める。
2. パーキングブレーキをかける。
3. シフトポジションを P にする。
4. パワーモードを OFF モードにする。
5. カーゴリッドを開けてカバーを外す。
6. ジャッキ、ジャッキハンドルバー、ジャッキハンドルを取り出す。
7. 交換するタイヤの対角線上にあるタイヤの前後に、石などで輪留めをする。
8. 交換するタイヤにもっとも近いジャッキポイントの下にジャッキを置く。
9. ジャッキの上部がジャッキポイントに接触するまで図の部分を矢印の方向に回す。
   ▶ ジャッキの溝にジャッキポイントがはまったことを確認します。

次ページに続く

ジャッキのかけかた

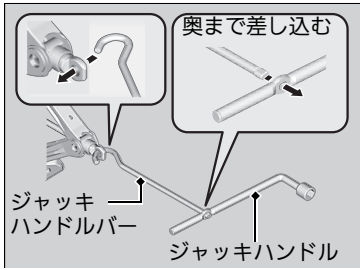
⚠警告

車がジャッキだけで支えられているときは、車の下に入らない。
車がジャッキから外れて、車の下にいる人が重大な傷害を負うおそれがあります。

⚠注意

ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守る。
- パワーシステムを起動したままにしない
- 地面が固い平らなところ以外では使用しない
- ジャッキポイント以外にかけない
- 人や荷物を乗せたままにしない
- ジャッキ使用中に車内に入らない
- ジャッキの上や下にものを入れたりしない

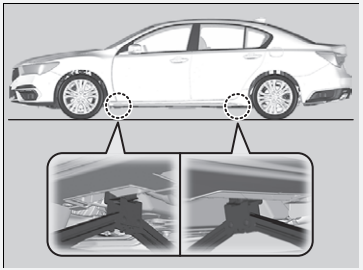
この車に搭載されているジャッキをお使いください。
他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。



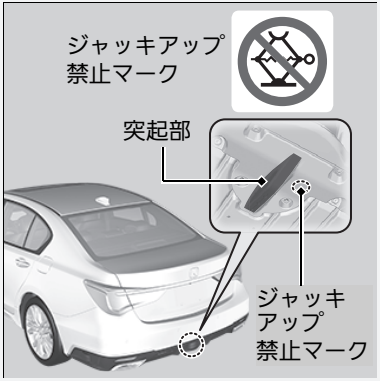
10.ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤが地面から離れるまで車体を上げる。

ジャッキのかけかた

ジャッキポイントは、下記の通りです。



ジャッキアップ禁止マーク付近の突起部にガレージジャッキなどをかけてジャッキアップしないでください。



パワーシステムの確認

READY 表示灯が点灯せず、「走行可能です」がマルチインフォメーションディスプレイに表示されない場合、以下のことが考えられます。項目を確認し、適切な処置を行ってください。

パワーシステムの確認

すぐに車を動かす必要がある場合は、ブースターバッテリーを利用してジャンプスタートさせます。

ジャンプスタートの方法 P.465

項目	状況	対処のしかた
関連した警告灯か警告メッセージが表示されるかどうかを確認する	「外気温が低いために起動できません パワーモードを OFF にしてお持ちください」と表示される	バッテリーの温度が上がるまでお待ちください。または温度の高い所へ移動してください。必要に応じてHonda 販売店にご相談ください。
	「キーの Honda エンブレムでスイッチに触れてください」と表示される ▶Hondaスマートキーの作動範囲を確認します。 **POWER スイッチの作動範囲** P.160	**Honda スマートキーの電池が切れたとき** P.463
	パワーシステム警告灯が点灯する	Honda 販売店で点検を受けてください。
	トランスミッション警告灯が点滅し、「トランスミッション異常 停車時はパーキングブレーキを確実にかけてください」のメッセージが表示されているとき	応急的にパワーシステムを起動できる場合があります。 **トランスミッション警告灯が点滅しメッセージが表示した** P.478
室内灯の明るさを確認する	室内灯などが非常に暗い、または全く点灯しない場合	Honda 販売店で12Vバッテリーの点検を受けてください。
	室内灯などの明るさに問題がない場合	全てのヒューズを確認するか、Honda 販売店で点検を受けてください。 **ヒューズの点検と交換** P.488
シフトポジションを確認する	P 以外のシフトポジションが選択されている	シフトポジションを P にしてください。

次ページに続く

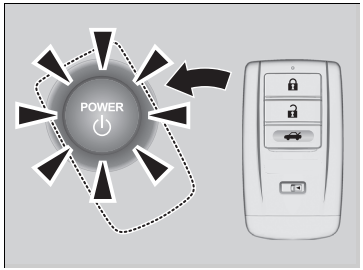
項目	状況	対処のしかた
パワーシステム起動の手順を実行する	もう一度、正しいパワーシステム起動操作をしてみてください。	**パワーシステムの起動** P.225
イモビライザーシステム表示灯を確認する	イモビライザーシステム表示灯が点滅しているときは、パワーシステムの起動ができません。	**イモビライザーシステム** P.151 **イモビライザーシステム表示灯** P.103

以上の確認をしてもパワーシステムが起動しない場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

Honda スマートキーの電池が切れたとき

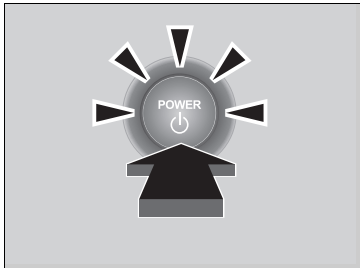
ブザーが鳴り、マルチインフォメーションディスプレイに「キーのHondaエンブレムでスイッチに触れてください」とメッセージが表示されるか、 POWER が点滅しているときは、READY 表示灯が点灯しません。

以下の手順でパワーシステムを起動してください。



1. POWER を押す。
▶「ピーピーピーピーピーピー」とブザーが鳴り、 POWER が約 30 秒間点滅します。

2. POWER が点滅している間に、Honda スマートキーのHondaエンブレムをスイッチに接触させる。
▶「ピッ」とブザーが鳴り、 POWER が約 10 秒間点灯します。



3. POWER が点灯している間に、右足でブレーキペダルを踏みながら、 POWER を押す。
▶ ブレーキペダルを踏んでいないときは、アクセサリーモードになります。

緊急時のパワーシステム停止方法

POWER スイッチは走行中、緊急事態の場合にパワーシステムを停止するために使用することができます。
パワーシステムを停止しなければならない場合は、以下のいずれかを行ってください：

- POWER を約 2 秒以上押す
- POWER を連続して 3 回押す

このときハンドルはロックしません。

パワーシステムが停止すると、パワーモードはアクセサリーモードになります。
車が停止すると、自動的にシフトポジションが P になり、パワーモードが OFF モードになります。

緊急時のパワーシステム停止方法

緊急時など必要な場合以外は、走行中に POWER を押さないでください。

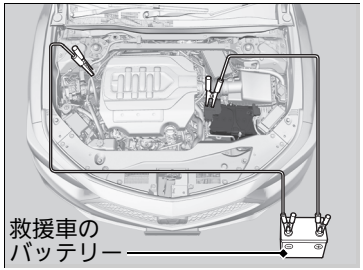
走行中に POWER を押すとブザーが鳴ります。

トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能）、ハンズオフ機能付車線内運転支援機能、ハンズオフ機能付車線変更支援機能（表示灯がブルーのとき）およびハンズオフ機能付高度車線変更支援機能が作動中にこの操作を行うと、システムが操作要求を行うとともに、緊急時停車支援機能が作動します。ただちに操作要求にしたがってください。
操作要求に応じるとパワーシステムが停止します。

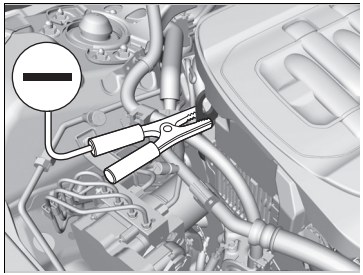
ジャンプスタートの方法

■処置のしかた

まず、ボンネットを開け、12V バッテリーの状態を確認します。バッテリー液が凍っている場合はバッテリー液が溶けるまでジャンプスタートはできません。
次に、オーディオやライトなどの電源を OFF にしてください。
ブースターケーブルのクリップは、エンジンの振動などで外れないように確実に固定してください。また、ケーブルの巻き込みに注意してください。



1. 自車と救援車のパワーモードを OFF モードにする。
2. ブースターケーブルを、自車の12Vバッテリーの ⊕ 端子に接続する。
3. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊕ 端子に接続する。
▶ 救援車には、12V のバッテリーを装着している車を使用してください。
▶ 自動車用充電器を使用する場合は、電圧を 15V 以下に設定してください。



4. もう1本のブースターケーブルを、救援車のバッテリーの ⊖ 端子に接続する。
5. ケーブルの反対側を、自車のエンジンハンガーに接続する。
6. 救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにする。
7. 自車のパワーシステムを起動する。

次ページに続く

» ジャンプスタートの方法

⚠警告

ジャンプスタートは、正しい手順で慎重に行う。
ジャンプスタートの操作を間違えると、12V バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けるおそれがあります。
タバコの火、火花、炎を 12V バッテリーから遠ざけ、正しい手順で行ってください。

アドバイス

気温が極端に低い場所に 12V バッテリーを長時間にわたって置くと、内部のバッテリー液が凍結するおそれがあります。
バッテリー液が凍結した 12V バッテリーでジャンプスタートすると、12V バッテリーが壊れることがあります。

寒冷時は、12V バッテリーの性能が低下します。
エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

ジャンプスタートの方法

金属どうしがきちんと接続されているか確認してください。

ケーブルをエンジンハンガー以外に接続しないでください。

バッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。

12V バッテリー内部の劣化が進むおそれがあります。

■システム起動後の作業

自車のパワーシステムが起動したら、下記の手順でブースターケーブルを取り外します。

1. 自車のエンジンハンガーからケーブルを外す。
2. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊖ 端子から外す。
3. 自車の 12V バッテリーの ⊕ 端子からケーブルを外す。
4. ケーブルの反対側を、救援車のバッテリーの ⊕ 端子から外す。
5. 12V バッテリーの電圧が回復するまでアイドリングしてください。
- ▶ READY 表示灯が点灯すれば走行可能です。
- ▶ ブレーキ、ブレーキシステム、ABS、VSA の警告灯が点灯し消灯しない場合は、パワーシステムを OFF にして、再度、自車のパワーシステムを起動してください。警告灯が消灯しない場合は、異常が考えられますので、販売店で点検してください。
- ▶ パワーシステムが起動しないときは、ジャンプスタートを繰り返してください。

Honda 販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。

次ページに続く

システム起動後の作業

⚠警告

12V バッテリーを扱うときは、火気を近づけない。
12V バッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると、12V バッテリーが爆発し、重大な傷害を受けたり死亡したりするおそれがあります。
12V バッテリーを扱うときは、保護衣・保護面を着用するか、Honda 販売店で 12V バッテリーのメンテナンスを受けてください。

バッテリー液の取り扱いに注意する。
バッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。
- 万一、付着したときはすぐに多量の水で少なくとも 5 分間以上洗浄する
- 飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲む

応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

ブースターケーブルの端子どうしが接触しないよう注意してください。

システム起動後の作業

⚠警告

トランク内 12V バッテリーは専用品を使用する。

- 専用品以外を使用すると、Honda SENSING Elite が正しく作動しない場合があります。
- 専用品以外を使用すると、12V バッテリーから発火する可燃性ガスが室内に侵入したり、引火して爆発するおそれがあります。

トランク内 12V バッテリーを充電、交換する際は Honda 販売店に依頼してください。

この車は、エンジンルームとトランクに 12V バッテリーを搭載しています。トランク内の 12V バッテリーは、Honda SENSING Elite に使用しています。

バッテリーの端子を外すと、Honda SENSING Elite の一部が使用できなくなります。

誤って外してしまった場合は、Honda 販売店にご相談ください。

オーバーヒートしたときの対処方法

次のようなときは、オーバーヒートです。

- マルチインフォメーションディスプレイに「パワーシステム高温　急発進・急加速・高速走行を避けてください」と表示される
- マルチインフォメーションディスプレイに「エンジン冷却水高温　安全な場所に停車し運転を停止してください」と表示される
- エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

オーバーヒートしたときの対処方法

⚠警告

蒸気が出ている場合は、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けない。
ラジエーターから噴き出る蒸気や熱湯に触れると、重大な傷害を受けるおそれがあります。

エンジンが熱いうちにラジエーターキャップを外さない。
冷却水が噴き出し、重大な傷害を受けるおそれがあります。必ずラジエーターが十分に冷えてからキャップを外してください。

アドバイス

マルチインフォメーションディスプレイに「エンジン冷却水高温　安全な場所に停車し運転を停止してください」とメッセージが表示された状態で運転すると、エンジンを著しく損傷するおそれがあります。

冷却水がもれている場合は、Honda 販売店に修理を依頼してください。

次ページに続く

■マルチインフォメーションディスプレイに「パワーシステム高温　急発進・急加速・高速走行を避けてください」とメッセージが表示されたとき

パワーシステムが高温になると、マルチインフォメーションディスプレイに「パワーシステム高温　急発進・急加速・高速走行を避けてください」とメッセージが表示されます。

1. 車を安全な場所に停める。

▶ パーキングブレーキをかけ、シフトポジションを P に入れます。すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させます。

2. パワーシステムを起動したまま、警告メッセージが消えるのを待つ。

▶ 警告メッセージが消えない場合は、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

■マルチインフォメーションディスプレイに「エンジン冷却水高温　安全な場所に停車し運転を停止してください」とメッセージが表示されたとき

■最初にすること

1. ただちに車を安全な場所に停める。

▶ パーキングブレーキをかけ、シフトポジションを P に入れます。

2. すべてのアクセサリーの電源を切り、非常点滅表示灯を点滅させます。

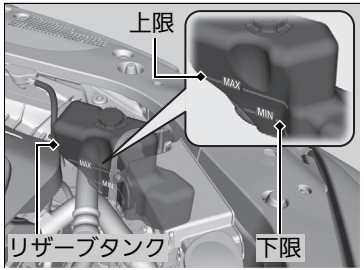
▶ **蒸気が出ていない場合：** パワーシステムを起動させたままボンネットを開ける。

▶ **蒸気が出ている場合：** パワーシステムを停止し、蒸気が出なくなってからボンネットを開ける。

▶マルチインフォメーションディスプレイに「パワーシステム高温　急発進・急加速・高速走行を避けてください」とメッセージが表示されたとき

加速しにくくなります。また、上り坂などでの発進が困難になる場合があります。

■次にすること



1. 冷却ファンの作動を確認し、マルチインフォメーションディスプレイに「エンジン冷却水高温　安全な場所に停車し運転を停止してください」のメッセージが表示されなくなったらパワーシステムを停止する。
   ▶ 冷却ファンが作動していない場合は、すぐにパワーシステムを停止します。
2. エンジンが冷えてから冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検する。
   ▶ 冷却水量が不足していたら、ラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。

■最後にすること

- パワーシステムを起動しマルチインフォメーションディスプレイの「エンジン冷却水高温　安全な場所に停車し運転を停止してください」の表示が消えている場合は、運転を再開します。表示が残っているときは、Honda 販売店に修理を依頼します。

「エンジン油圧異常」の警告メッセージが表示された

■表示の理由

エンジン内部を潤滑しているオイルの油圧が低下すると表示されます。

■表示されたらすぐにすること

1. ただちに車を水平で安全な場所に停車する。
2. 非常点滅表示灯を点滅させる。

■車を停車してからすること

1. パワーシステムを停止し、3分間ほど放置する。
2. ボンネットを開け、エンジンオイルの量を確認する。
   ▶必要に応じて、エンジンオイルを補給してください。
3. パワーシステムを起動する。
   ▶**「エンジン油圧異常」の警告メッセージが消えた：**運転を再開してください。
   ▶**「エンジン油圧異常」の警告メッセージが消えない：**パワーシステムを停止させ、ただちにHonda販売店に修理を依頼してください。

▶「エンジン油圧異常」の警告メッセージが表示された

アドバイス

油圧が低い状態でエンジンを回転させると、エンジンが破損するおそれがあります。

12V バッテリー充電警告灯が点灯した

■点灯の理由
12V バッテリーが充電されていないと点灯します。

■点灯したらすること
安全な場所に停車して、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

»12V バッテリー充電警告灯が点灯した

一時的に停車する場合は、パワーシステムを停止させないでください。
パワーシステムの起動は、12V バッテリーを使用しますので、再起動できなくなるおそれがあります。

PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した

■点灯 / 点滅の理由
- エンジンの排気ガス制御システムが異常のとき点灯します。
- エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。

■点灯したときは
高速走行を避けて、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

■点滅したときは
枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10 分以上エンジンを停止して冷えるまでお待ちください。

»PGM-FI 警告灯が点灯 / 点滅した

アドバイス

点灯したときは
PGM-FI 警告灯が点灯したまま運転すると、排気ガス制御システムとエンジンを損傷する場合があります。

点滅したときは
エンジン再始動後、警告灯が再び点滅するときは、50km/h以下の速度で最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。

ブレーキ警告灯(レッド)が点灯 / 点滅した

■点灯の理由

- ブレーキフルードが減っているときに点灯します。
- ブレーキ配分機能が異常のときに点灯します。

■走行中に点灯したらすること

- ブレーキペダルを軽く踏んで、ペダルの圧力を確認する。
- ブレーキフルード量を確認する。

■点滅の理由

- 電子制御パーキングブレーキが異常のときに点滅します。

■点滅したときは

パーキングブレーキを使用せずに、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

▶ブレーキ警告灯(レッド)が点灯 / 点滅した

ただちに、Honda 販売店に修理を依頼してください。
ブレーキフルードが減っている状態で運転することは危険です。

ブレーキペダルに抵抗がない場合は、ただちに安全な場所に車を停めてください。必要に応じて、ギヤを落とします。
ABS 警告灯と同時に点灯した場合は、急ブレーキ時に車両が不安定になる可能性があります。高速走行や急ブレーキを避けてください。ただちに、Honda 販売店に修理を依頼してください。

ブレーキシステム警告灯(オレンジ)の点灯と同時に点滅した場合は、パーキングブレーキが作動しないことがあります。パーキングブレーキを使用せずに、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

➔ **ブレーキシステム警告灯(オレンジ)の点灯と同時にブレーキ警告灯(レッド)が点灯または点滅した** P.476

EPS(電動パワーステアリング)システム警告灯が点灯した

■点灯の理由

- EPS が異常のときに点灯します。

■点灯したらすること

- 安全な場所に停車し、パワーシステムを再起動する

その後も走行中に点灯する場合は、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

ブレーキシステム警告灯(オレンジ)の点灯と同時にブレーキ警告灯(レッド)が点灯または点滅した

(オレンジ)

(レッド)

■ブレーキシステム警告灯(オレンジ)の点灯と同時にブレーキ警告灯(レッド)が点灯または点滅したときは

手動または自動でパーキングブレーキを解除してください。

➡ **電子制御パーキングブレーキ** P.357

- ブレーキ警告灯(レッド)が同時に点灯または点滅し続けているときは、ただちに安全な場所に停車し Honda 販売店へご連絡ください。
  ▶ 車両が動き出さないように、シフトポジションを P にしてください。

- ブレーキ警告灯(レッド)だけが消灯したときは、パーキングブレーキを使用せずに、ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

ブレーキシステム警告灯(オレンジ)の点灯と同時にブレーキ警告灯(レッド)が点灯または点滅した

パーキングブレーキをかけると、パーキングブレーキが解除できなくなることがあります。

ブレーキ警告灯(レッド)が同時に点灯しているときは、パーキングブレーキが作動しています。

ブレーキ警告灯(レッド)が同時に点滅しているときは、システムの点検中でパーキングブレーキが作動していない可能性があります。

タイヤ空気圧警報システム警告灯が点灯 / 点滅した

■点灯 / 点滅の理由

タイヤの空気圧が著しく低いときに点灯します。タイヤ空気圧警報システムに異常があるときに約 1 分間点滅したあと、点灯します。

■点灯したらすること

- 安全な場所に停車します。タイヤの空気圧を点検し、指定空気圧までエアを注入します。
- タイヤの指定空気圧は、巻末の資料を参照してください。

➔ **仕様** P.494

■点滅のあと点灯したらすること

ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。

タイヤ空気圧警報システム警告灯が点灯 / 点滅した

アドバイス

タイヤの空気圧が低い状態で走行するとタイヤが過熱する場合があります。過熱した状態で走行を続けるとタイヤが損傷することがあります。タイヤは常に適正空気圧を保つようにしてください。

指定空気圧は、運転席横の車体に貼ってあるラベルにも記載されています。
この取扱説明書が手元にない場合は、車のラベルをご覧ください。

トランスミッション警告灯が点滅しメッセージが表示した

■点滅の理由

トランスミッションが故障すると表示します。

■点滅したらすること

- ただちに Honda 販売店で点検を受けてください。
- パワーシステムを起動したときは、シフトポジションを N にします。
  - ▶ 表示灯の N が点灯 / 点滅しているのを確認してください。
  - ▶ パーキングブレーキがかかっていないと起動しません。

パワーシステムの起動 P.225

トランスミッション警告灯が点滅しメッセージが表示した

システムを起動できないことがあります。

停車するときは、確実にパーキングブレーキをかけてください。

走行できないときは、専門業者に連絡してください。

非常時のけん引 P.489

ヒューズの設置場所

電気装置が作動しない場合、パワーモードをOFFモード にして、ヒューズが切れていないか確認します。ヒューズは、エンジンルームと室内のヒューズボックスに入っています。

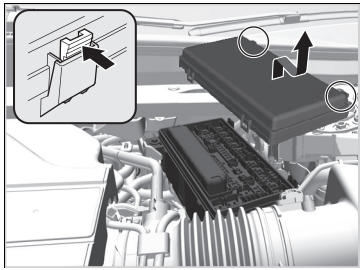
■エンジンルーム内のヒューズボックス

エンジンルーム内には 4 つのヒューズボックスがあります。

■ヒューズボックス A

ヒューズボックスのフタに、ヒューズの場所が表示してあります。
ヒューズ番号とフタの表示で、該当するヒューズの位置を確認してください。

エンジンルーム内の助手席側に付いているエアクリーナーケースの後ろにあります。タブを押して開けてください。



■各ヒューズの装備と容量

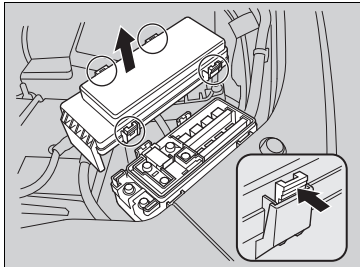
	表示	装備	容量
1		A/C W/P	10 A
2		ADS	10 A
3		AC ジェネレーター	15 A
4		VB ソレノイド	10 A
5		TDU	10 A
6		ENG R ECU	10 A
7		EPS1	5 A
8		IGP2	15 A
9		ドライブバイワイヤー	15 A
10		IGP	15 A
11		イグニッションコイル	15 A
12		IMA モーター	15 A
13		シフトバイワイヤー	5 A
14		Honda スマートキーシステム	10 A
15		ラジオバックアップ	10 A
16		バックアップ	10 A
17	RE	右側ヘッドライトハイビーム	10 A

次ページに続く

	表示	装備	容量
18	LED	左側ヘッドライト ハイビーム	10 A
19		非常点滅表示灯	10 A
20		AD ECU	10 A
21		ACC LT	10 A
22	—	—	—
23		B1 ECU	10 A
24		ウォッシャー	15 A
25		バッテリーセンサー	10 A
26	RED	右側ヘッドライト ロービーム	15 A
27	LED	左側ヘッドライト ロービーム	15 A
28		バックアップ SS SW	10 A
29		ACM	20 A
30		サブヒューズ ボックスメイン	20 A
31		ワイパー	30 A

■ヒューズボックス B

エンジンルーム内の助手席側に付いている、12V バッテリーの隣にあります。タブを押して開けてください。



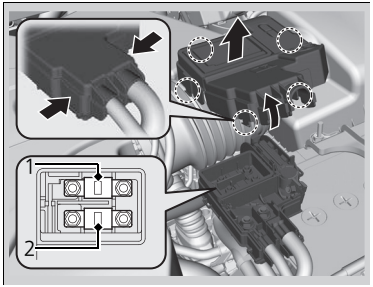
■各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		メインヒューズ	200 A
2		メインヒューズ B メイン	40 A
		リヤデフロスター	40 A
		運転席側ヒューズ ボックスメイン 1	60 A
		助手席側ヒューズ ボックスメイン 1	60 A
		リレーボックス メイン 3	50 A
		運転席側ヒューズ ボックスメイン 2	60 A
		—	(30 A)
		ヒーターモーター	40 A

	表示	装備	容量
3		リレーボックス メイン 1	60 A
		助手席側ヒューズ ボックスメイン 2	60 A
		リレーボックス メイン 2	60 A
		ESB	40 A
		イグニッション メイン 1	30 A
		イグニッション メイン 2	30 A
		TCU HC1	20 A
		スターターリレー	40 A
4		EOP	30 A
5		TCU HC2	20 A
6		TCU GA1	30 A
7		インジェクター	20 A
8		IGA2 モニター	5 A
9		IGP2 SUB	7.5 A
10	—	—	—
11	—	—	—

■ヒューズボックス C

エンジンルーム内の助手席側に付いている、12Vバッテリーの⊕端子の隣にあります。タブを押して開けてください。



■各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		ラジエーターファン	50 A
2		EPS	60 A

次ページに続く

■ヒューズボックス D

助手席側のフロントバンパー裏にあります。

このヒューズの交換については、Honda 販売店にお問い合わせください。

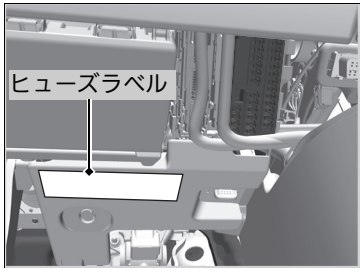
■各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1	—	—	—
2		ホーン	10 A
3		フロントデアイサー	20 A

■室内運転席側のヒューズボックス

■ヒューズボックス

ダッシュボードの下にあります。



アンダーパネルに貼ってあるラベルに、ヒューズの場所が表示してあります。
ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

■各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1	L SIDE	助手席側ドアロック	10 A
2	R SIDE	運転席側ドアロック	10 A
3	—	—	—
4	L SIDE	助手席側ドア アンロック	10 A
5	R SIDE	運転席側ドア アンロック	10 A
6	RR	サンシェード	20 A
7	MAIN	ドアロック	20 A
8	—	—	—
9		チルト / テレスコ 1	20 A
10		メーター	10 A
11	—	—	—
12		FR CRU	10 A
13		ACC	5 A
14	—	—	—
15		運転席パワーシート (前後スライド)	20 A
16		サンルーフ	20 A
17	RR DR	後席運転席側パワー ウィンドー	20 A
18		チルト / テレスコ 2	20A
19	DR	運転席側パワー ウィンドー	20 A
20	RR	リヤシートヒーター	20 A
21		フューエルポンプ	20 A
22		AD ECU	10 A
23		スターターカット	5 A
24		IG11 FR	10 A
25		Start DIAG	5 A
26		エアコン	5 A
27		デイタイム ランニングライト	5 A
28		ACC	5 A
29	DR	運転席ランバー サポート	10 A
30		AS ECU	10 A
31		室内灯	5 A
32		パワートランク クローザー	20 A
33		パワートランク	40 A
34	—	—	—

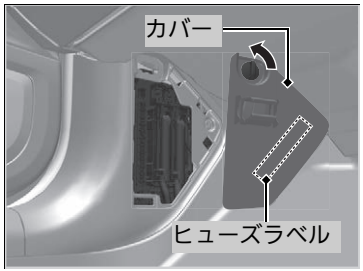
次ページに続く

■室内助手席側のヒューズボックス

助手席側ロアーサイドパネルにあります。

1. カバーから発炎筒を外し、ノブを左に回してロックを解除する。

2. カバーを手前に引いて取り外す。



カバーに貼ってあるラベルに、ヒューズの場所が表示してあります。

ヒューズ番号とラベルの番号で、該当するヒューズの位置を確認してください。

■各ヒューズの装備と容量

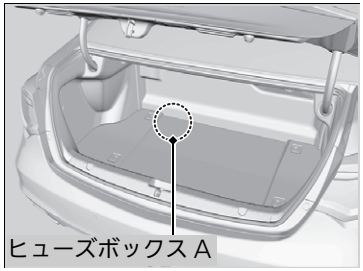
	表示	装備	容量
1	—	—	—
2		アクセサリーソケット（センターポケット内）	20 A
3	RR AS	後席助手席側パワーウィンドー	20 A
4	AS	助手席ランバーサポート	10 A
5		リヤアームレスト	10 A
6		車幅灯	10 A
7	AS	助手席パワーシート（前後スライド）	20 A
8	AS	助手席パワーシート（リクライニング）	20 A
9		アクセサリーソケット（センターコンソール内）	20 A
10	FR	フロントシートヒーター/AVS	20 A
11		助手席側E-プリテンショナー	20 A
12	DR	運転席パワーシート（リクライニング）	20 A
13		IMA2	15 A
14		Fly Start	15 A
15		LID	10 A
16	—	—	—
17	—	—	—
18	AS	助手席側パワーウィンドー	20 A
19		SRS エアバッグ	10 A
20		PT1	10 A
21		BATT ECU	5 A
22		FLOOR ECU	10 A
23		LIDAR MAIN	20 A
24		FR LIDAR	10 A
25		室内イルミネーション	5 A
26		運転席側E-プリテンショナー	20 A
27		IMA1	10 A
28		オーディオアンプ	40 A

■トランクルーム内のヒューズボックス

トランクルーム内には 3 つのヒューズボックスがあります。

■ヒューズボックス A

カーゴリッドの下にあります。



このヒューズの交換については、Honda 販売店にお問い合わせください。

■各ヒューズの装備と容量

容量に( )がついているヒューズは、装備が無い場合でもヒューズが入っている場合があります。

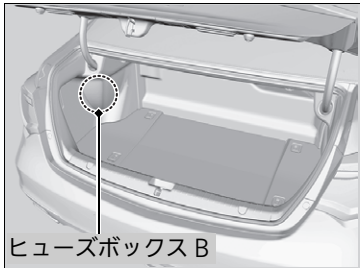
	表示	装備	容量
1		—	(60 A)
		ABS/VSA FSR	30 A
		—	(50 A)
		—	(30 A)
		—	(30 A)
		—	(30 A)
		—	(125 A)
2		—	(70 A)
		+B2 イグニッション メイン 1	30 A
		ABS/VSA モーター	40 A
		—	(60 A)
		左側電子制御 パーキングブレーキ	30 A
		右側電子制御 パーキングブレーキ	30 A
3	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
4	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
	—	—	—
5	—	—	—
6		AD ECU	10 A
7		バッテリーセンサー	10 A
8		CAN	5 A
9		制動灯	5 A
10	—	—	—
11	—	—	—
12		+B2 イグニッション コイル	5 A
13		ACC RED2	5 A
14		メーター	10 A
15		ステアリング ヒーター	10 A
16		バッテリーセンサー2	5 A
17		IGB2	10 A

次ページに続く

	表示	装備	容量
18	—	—	—
19	—	—	—
20	—	—	—
21	—	—	—
22	—	—	—
23	—	—	—
24	—	—	—
25	📖	CAN	5 A
26	📖	AD ECU	5 A
27	📖	電子制御 パーキングブレーキ	5 A
28	📖	VSA	10 A
29	📖	RR CRU	10 A
30	📖	FWRU	5 A
31	—	—	—
32	—	—	—
33	—	—	—

■ヒューズボックス B

トランクルーム内の助手席側にあります。


ヒューズボックス B

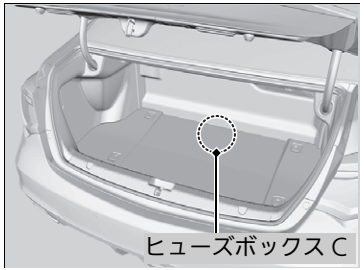
このヒューズの交換については、Honda 販売店にお問い合わせください。

■各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1	—	RR LIDAR	10 A
2	—	LVU	10 A
3	—	IG SYNC	5 A
4	—	D/V	5 A

■ヒューズボックス C

カーゴリッドの下にある、12V バッテリーの ⊕ 端子の隣にあります。

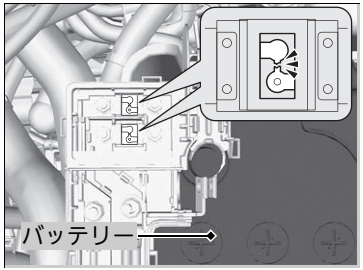


このヒューズの交換については、Honda 販売店にお問い合わせください。

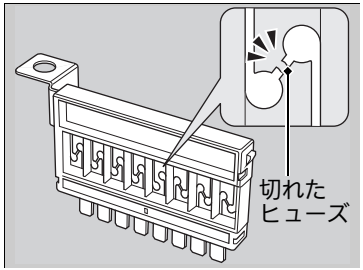
■各ヒューズの装備と容量

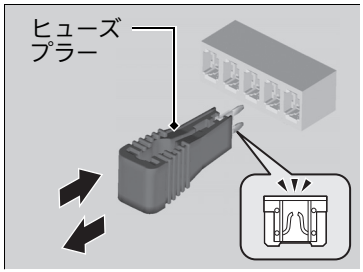
	表示	装備	容量
1	📖	+B2 メインヒューズ	125 A
2	📖	EPS2	70 A
3	📖	—	(80 A)
4	📖	—	(70 A)
5	📖	—	(70 A)
6	📖	D/V2	50 A

ヒューズの点検と交換



1. パワーモードを OFF モードにし、ヘッドライトとすべてのアクセサリーを OFF にする。
2. 12V バッテリーの ⊕ 端子の隣にあるカバーを開ける。
3. 内部のヒューズを点検する。
▶切れているヒューズがあったら、Honda 販売店に修理を依頼してください。
4. ヒューズボックスのフタを取り外す。
5. エンジンルーム内の大きいヒューズを点検する。
▶切れているヒューズがあったら、プラスドライバーでネジを外し、新しいものと交換してください。





6. エンジンルーム内と、室内の小さいヒューズを点検する。
▶切れているヒューズがあったら、ヒューズプラーで引き抜き、新しいものと交換してください。

ヒューズの設置場所

アドバイス

規定容量より大きいヒューズに交換すると、電気系統を損傷する危険性が高くなります。交換したあと、すぐにヒューズが切れるような場合は、Honda 販売店で点検を受けてください。

ヒューズは同じ規定容量のヒューズと交換してください。

各ヒューズの装備と容量 P.479、483

エンジンルーム内のヒューズボックスAには、中にヒューズプラーがついています。

ヒューズプラーは、切れている小さいヒューズを引き抜くときに使います。

非常時のけん引

けん引するときは、Honda 販売店にご連絡ください。

けん引は、専門業者に依頼して四輪を持ち上げて行ってください。

なお、この車は他車をけん引することはできません。

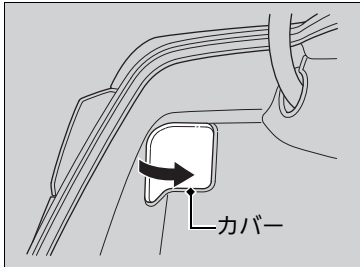
非常時のけん引

アドバイス

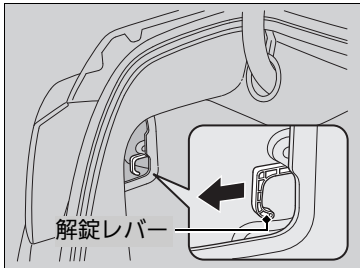
バンパーで車を持ち上げたり、けん引すると、バンパーがいちじるしく損傷します。
バンパーは車の重量を支えるようにはできていません。

■解錠できないときの対処方法

万一、フューエルリッドが解錠できなくなったときは、応急処置として次の方法で解錠してください。



1. トランクを開け、左側面にあるカバーを開ける。



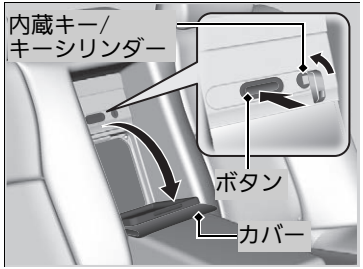
2. 解錠レバーを図の方向に引く。
▶ 解錠レバーを引くとフューエルリッドが解錠されます。

≫解錠できないときの対処方法

応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。

■開かないときの対処方法

万一、トランクを開けることができなくなったときは、応急処置として次の方法で開けてください。



1. リヤシートのアームレストを引き下げる。
2. 内蔵キーをキーシリンダーに差し込み、キーを左に回して解錠する。
3. ボタンを押し、カバーを開ける。

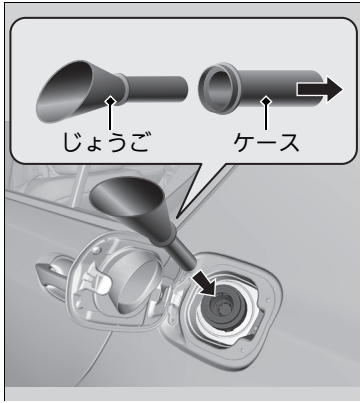
4. 仕切りを引き上げ、トランク解錠ハンドルを矢印の方向に引き下げる。
▶トランクが開きます。
▶カバーを閉めるときは、カバーが確実にロックされるまで押し込み、キーを右に回して施錠してください。

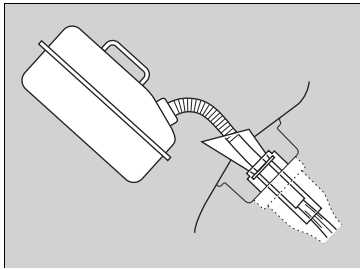
≫開かないときの対処方法

応急処置後は、Honda 販売店で点検を受けてください。

携行缶から給油するとき

携行缶を使って給油をするときは、車載のじょうごを使用してください。





1. パワーシステムを停止する。
2. 運転席ドアにあるフューエルリッドオープナーを押す。
   ▶ フューエルリッドが開きます。
3. 工具ケースから、じょうごを取り出す。
   ➡ **工具の種類** P.447
4. じょうごをケースから取り外す。
5. 図のようにじょうごを給油口へ差し込む。
   ▶ じょうごの先端が給油口の奥までしっかりと差し込まれていることを確認してください。
6. 携行缶から燃料を補給する。
   ▶ まわりにこぼさないように注意して補給してください。
7. 給油が終わったらじょうごを給油口から引き抜く。
   ▶ じょうごに付いた燃料はしっかり拭き取ってください。
8. フューエルリッドを手で閉める。

≫携行缶から給油するとき

⚠警告

燃料補給時は火気厳禁。
燃料や燃料蒸気は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。燃料を扱っているときは下記の項目を厳守してください。

- エンジンは停止させる
- 炎、火花を近づけない
- たばこを吸わない
- 燃料の取り扱いは屋外で行う
- こぼれた燃料はすみやかに拭き取る

アドバイス

車載のじょうご以外を使用して給油しないでください。給油口を損傷することがあります。
工具などを使用して給油口やシールをこじ開けたり押し開けたりしないでください。
給油口やシールを損傷することがあります。

給油するときは、携行缶の中身がガソリンであることを確認してください。

資料

この章には、仕様に関する情報が記載されています。

仕様 494
ソフトウェアに関する重要なお知らせ .. 495

仕様

■仕様

名称	LEGEND
排気量	3,471 cm³
車体形状	4 ドアセダン
乗車定員	5 名

■点火プラグ

NGK	DILZKR7B11G

点火プラグは、イリジウムプラグを使用しています。
交換時期は「メンテナンスノート」をご覧ください。

■確認

ブレーキペダル	遊び	1-5mm
	床板とのすき間	136mm 以上 { 約 196N (20kgf) の力 }
	カーペットとのすき間 (参考値)	118mm 以上 { 約 196N (20kgf) の力 }

■燃料

燃料種類	無鉛プレミアムガソリン プレミアムバイオ混合ガソリン (E10/ETBE22)
燃料タンク容量	57 L

■エアクリーナーエレメント

タイプ	湿式

■ 12V バッテリー

容量 / タイプ	55Ah(5), 72Ah(20)/80D26L※1 36Ah(5), 45Ah(20)/EN LN1※2

※1 ： エンジンルーム内 12V バッテリー
※2 ： トランク内 12V バッテリー
トランク内 12V バッテリーは専用品です。点検、交換は Honda 販売店に依頼してください。

■ウォッシャー液

タンク容量	2.5 L

■電球

ヘッドライト (ロービーム)	LED
ヘッドライト (ハイビーム)	LED
フロントアクセサリーランプ	LED
フロントサイドマーカーライト	LED
前面方向指示器 / 前面非常点滅表示灯	LED
車幅灯 / デイタイムランニングライト	LED
側面方向指示器 / 側面非常点滅表示灯	LED
尾灯 / 制動灯	LED
後面方向指示器 / 後面非常点滅表示灯	LED
後部側方灯	LED
尾灯	LED
リヤアクセサリーランプ	LED
後退灯	LED
ハイマウントストップランプ	LED
番号灯	LED
トランク照明灯	LED
前席室内灯 / 前席マップランプ	LED
後席室内灯 / 後席マップランプ	LED
アンビエントランプ	LED
バニティミラー照明灯	12V-1.4W
ドアポケットランプ	LED
センターポケットランプ	LED
ドリンクホルダーランプ	LED
ドア開閉灯	LED
コンソールボックスランプ	LED
グローブボックス照明灯	LED
前席 / 後席フットランプ	LED
車内ドアハンドルランプ	LED
車外ドアハンドルランプ	LED
コインポケットランプ	LED
スマートウェルカムランプ	LED

■ブレーキフルード

指定液	Honda 純正ウルトラ ブレーキフルード DOT3 または DOT4

■トランスミッションフルード

指定液	Honda 純正 ウルトラ ATF DW-1	3.5 L (交換時)

■ツインモーターユニットフルード

指定液	Honda 純正ウルトラ ATF DW-1	
規定量	オイル交換時	2.42 L

■エンジンオイル

推奨	・Honda ULTRA LEO※1 ・Honda ULTRA LTD ・Honda ULTRA MILD ・API SM 級以上 0W-20, 0W-30, 5W-30, 10W-30	
規定量	オイル交換時	4.0 L
	オイル、オイルフィルター同時交換時	4.3 L

※1 ： 最も省燃費性に優れたオイルです。

■冷却水

指定液	Honda 純正ウルトラ e クーラント
規定濃度	50%
規定量	7.86 L (交換時 : リザーブタンク 0.85 L 含む)

■パワードライブユニット冷却水

指定液	Honda 純正ウルトラ e クーラント
指定濃度	50%
規定量	1.23 L (交換時 : リザーブタンク 0.11 L 含む)

■タイヤ

サイズ	245/40R19 94Y	
空気圧 (kPa[kgf/cm²])	前輪	250 (2.5)
	後輪	250 (2.5)
リムサイズ	19X8J	

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

■情報

本製品に組み込まれたソフトウェアは、オープンソースソフトウェアを含みます。オープンソースソフトウェアの詳細に関しては、下記を参照してください。

- This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
- Portions of this software are copyright 1996-2002, 2006. The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
- 本製品には、GNU General Public License2 (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。

お客様には、当 GPL/LGPL 適用ソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があります。
開示条件が適用されるソースコードの入手を希望されるお客様には、弊社ホームページより提供しております。
各オープンソースライセンスとソースコードの入手方法につきましては、以下の URL にアクセスしてください。

http://hondaopensource4.com/us/en/user-support/oss-1/index.html

ドライバーモニタリングカメラ

本製品には、オープンソースのソフトウェアが含まれています。
ライセンス条文全文は以下の URL を参照ください。
http://www.embedded-carmultimedia.jp/RTOS/License/oss/DMS_0301/

TCU Open Source License

Free/Open Source Software 情報
この製品は、Free/Open Source Software (FOSS) を含みます。
FOSS のライセンス情報及びソースコードは下記 URL を参照ください。
https://www.denso.com/global/en/opensource/tcu/honda/

MD5

https://tools.ietf.org/html/rfc1321#appendix-A.2

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the “RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm” in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as “derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm” in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided “as is” without express or implied warranty of any kind.

OpenSSL Ver.1.0.2n

https://www.openssl.org/source/license-openssl-ssleay.txt

Copyright (c) 1998-2019 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
“This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”

4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
“This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed.
i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Protocol Buffers Ver.2.6.1
https://github.com/protocolbuffers/protobuf/blob/2.6.1-artifacts/LICENSE

Copyright 2008 Google Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
* Neither the name of Google Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Code generated by the Protocol Buffer compiler is owned by the owner of the input file used when generating it. This code is not standalone and requires a support library to be linked with it. This support library is itself covered by the above license.

SHA

https://tools.ietf.org/html/rfc6234#section-8.1.1

Copyright (c) 2011 IETF Trust and the persons identified as authors of the code. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of Internet Society, IETF or IETF Trust, nor the names of specific contributors, may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

zlib
https://zlib.net/zlib_license.html

Copyright (C) 1995-2017 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software.
If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly　Mark Adler
jloup@gzip.org　madler@alumni.caltech.edu

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

eT-Kernel
Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley.
The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS” AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Copyright (c) 1983, 1990, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Portions Copyright (c) 1993 by Digital Equipment Corporation.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Digital Equipment Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND DIGITAL EQUIPMENT CORP. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1982, 1985, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1990, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Chris Torek.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

local.h 8.3 (Berkeley) 7/3/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1987, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1988, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1990, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Chris Torek.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1987, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1983, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

random.c:

Copyright (c) 1988 Regents of the University of California.
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1990, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1992, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.
(c) UNIX System Laboratories, Inc.
All or some portions of this file are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

assert.h 8.2 (Berkeley) 1/21/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1994
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Andrew Hume of AT&T Bell Laboratories.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

bm.h 8.6 (Berkeley) 6/21/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1989 The Regents of the University of California.
All rights reserved.
(c) UNIX System Laboratories, Inc.
All or some portions of this file are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ctype.h 5.3 (Berkeley) 4/3/91

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

err.h 8.1 (Berkeley) 6/2/93

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1982, 1986, 1989, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.
(c) UNIX System Laboratories, Inc.
All or some portions of this file are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

from: errno.h 8.5 (Berkeley) 1/21/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1992, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

fnmatch.h 8.1 (Berkeley) 6/2/93

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1988, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

limits.h 8.2 (Berkeley) 1/4/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1991, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

locale.h 8.1 (Berkeley) 6/2/93

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1990, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ansi.h 8.2 (Berkeley) 1/4/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1992, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Ralph Campbell.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

from: types.h 8.3 (Berkeley) 1/5/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1988, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

limits.h 8.3 (Berkeley) 1/4/94

OpenBSD: param.h,v 1.9 1997/04/30 09:54:15 niklas Exp

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1988 University of Utah.
Copyright (c) 1992, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by the Systems Programming Group of the University of Utah Computer Science Department and Ralph Campbell.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

from: Utah Hdr: machparam.h 1.11 89/08/14
from: param.h 8.1 (Berkeley) 6/10/93

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1992, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Ralph Campbell.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

types.h 8.3 (Berkeley) 1/5/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1989, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

paths.h 8.1 (Berkeley) 6/2/93

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1990, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Chris Torek.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

stdio.h 8.5 (Berkeley) 4/29/95

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1990, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

stdlib.h 8.5 (Berkeley) 5/19/95

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1990, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

string.h 8.1 (Berkeley) 6/2/93

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1991, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Berkeley Software Design, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

cdefs.h 8.8 (Berkeley) 1/9/95

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1987, 1991, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

endian.h 8.1 (Berkeley) 6/11/93

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1983, 1990, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.
(c) UNIX System Laboratories, Inc.
All or some portions of this file are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

fcntl.h 8.3 (Berkeley) 1/21/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1982, 1986, 1989, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.
(c) UNIX System Laboratories, Inc.
All or some portions of this file are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

param.h 8.3 (Berkeley) 4/4/95

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1982, 1986, 1989, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.
(c) UNIX System Laboratories, Inc.
All or some portions of this file are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

stat.h 8.12 (Berkeley) 8/17/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1988, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

syslimits.h 8.1 (Berkeley) 6/2/93

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1982, 1986, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

time.h 8.5 (Berkeley) 5/4/95

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1982, 1986, 1991, 1993, 1994
The Regents of the University of California.
All rights reserved.
(c) UNIX System Laboratories, Inc.
All or some portions of this file are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

types.h 8.4 (Berkeley) 1/21/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1989, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.
(c) UNIX System Laboratories, Inc.
All or some portions of this file are derived from material licensed to the University of California by American Telephone and Telegraph Co. or Unix System Laboratories, Inc. and are reproduced herein with the permission of UNIX System Laboratories, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

time.h 8.3 (Berkeley) 1/21/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1988, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to Berkeley by Arthur David Olson of the National Cancer Institute.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

tzfile.h 8.1 (Berkeley) 6/2/93

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1983, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1982, 1986, 1990, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

in.h 8.3 (Berkeley) 1/3/94

Constants and structures defined by the internet system, Per RFC 790, September 1981, and numerous additions.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1997, 1998 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1997,98 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by J.T. Conklin.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1997, 1998 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code was contributed to The NetBSD Foundation by Klaus Klein.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

rt_locale.h: definitions to enable retargetting of locale mechanism

Copyright 1999 ARM Limited. All rights reserved.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

RCS $Revision: 103989 $
Checkin $Date: 2006-10-25 15:18:33 +0100 (Wed, 25 Oct 2006) $
Revising $Author: statham $

Copyright (c) 2000 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Dieter Baron and Thomas Klausner.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 2001 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Klaus Klein.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1997 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Klaus Klein.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1996 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by J.T. Conklin.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1998 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Klaus Klein.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 2000, 2001 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Jun-ichiro itojun Hagino and by Klaus Klein.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1998, 2000 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Klaus J. Klein.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1998, 1999 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Klaus Klein.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1991, 1993, 1994
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

unistd.h 8.12 (Berkeley) 4/27/95

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1997 Christos Zoulas. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by Christos Zoulas.
4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 2004 T-Engine Forum
Version 1.00.00 Jan.30,2004

This product is modified from T-Kernel source code released by T-Engine Forum under the T-License.
eSOL Co.,Ltd.
Registered number of distributor of modification TKDMA4001
T-Kernel : Copyright (C) 2004 Ken Sakamura

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

TCP stack(PrConnect pro)
Copyright (c) 1995, 1996 Carnegie-Mellon University.
All rights reserved.

Author: Chris G. Demetriou

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided that both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.

CARNEGIE MELLON ALLOWS FREE USE OF THIS SOFTWARE IN ITS “ “AS IS” ” CONDITION.CARNEGIE MELLON DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE.

Carnegie Mellon requests users of this software to return to

Software Distribution Coordinator or Software.Distribution@CS.CMU.EDU
School of Computer Science
Carnegie Mellon University
Pittsburgh PA 15213-3890

any improvements or extensions that they make and grant Carnegie the rights to redistribute these changes.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c)1999 Citrus Project,
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc.
All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Julian Coleman.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c)1999 Citrus Project,
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

citrus Id: wctype.h,v 1.4 2000/12/21 01:50:21 itojun Exp

$KAME: in6.h,v 1.83 2001/03/29 02:55:07 jinmei Exp $

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (C) 1995, 1996, 1997, and 1998 WIDE Project.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

in6.h 8.3 (Berkeley) 1/3/94

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1994 Winning Strategies, Inc.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.
4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1983, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (C) 1995, 1996, 1997, and 1998 WIDE Project.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1983, 1987, 1989
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 2004 by Internet Systems Consortium, Inc. (“ “ISC” ”)
Portions Copyright (c) 1996-1999 by Internet Software Consortium.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “ “AS IS” ” AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS.
IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1985, 1988, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1989, 1993, 1995
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1983, 1989, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2004 by Internet Systems Consortium, Inc. ("ISC")
Copyright (c) 1996-1999 by Internet Software Consortium.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

THE SOFTWARE IS PROVIDED “ “AS IS” ” AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS.
IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

FILENAME: ttyio.c

Copyright 1997- 2006 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Portions Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Portions Copyright 1984 by the Massachusetts Institute of Technology

Copyright (c) 1982, 1986, 1988 Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley.
The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED “ “AS IS” ” AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Rights, responsibilities and use of this software are controlled by the agreement found in the “ “LICENSE.H” ” file distributed with this source code. “ “LICENSE.H” ” may not be removed from this distribution, modified, enhanced nor references to it omitted.

FILENAME: task.c

Copyright 1999- 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1984 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: icmp.h

Copyright 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990,1993 by NetPort Software.
Portions Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Portions Copyright 1983 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: ip.h

Copyright 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990, 1993 by NetPort Software.
Portions Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Portions Copyright 1983 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: netbuf.h

Copyright 1998- 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990-1993 by NetPort Software.
Portions Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Portions Copyright 1983 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: nptypes.h

Copyright 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990-1997 by NetPort Software.
Portions Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Portions Copyright 1983 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: q.h

Copyright 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990-1994 by NetPort 10/13/90
Portions Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Portions Copyright 1983 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: udp.h

Copyright 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990, 1993 by NetPort Software.
Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Copyright 1983 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: icmp.c

Copyright 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990-1994 by NetPort Software.
Portions Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Portions Copyright 1984 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: ip.c

Copyright 1997-2002 InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990 by NetPort Software.
Portions Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Portions Copyright 1984 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: ipdemux.c

Copyright 1997- 2001 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990-1996 by NetPort Software.
Portions Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Portions Copyright 1984,1985 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: ipnet.c

Copyright 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990-1994 by NetPort Software
Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Copyright 1984, 1985 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: udp.c

Copyright 1997- 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990, 1993 by NetPort Software.
Portions Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Portions Copyright 1984 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: q.c

Copyright 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1993 by NetPort Software
Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Copyright 1984 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: udp_open.c

Copyright 2000-2007 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990 by NetPort Software
Copyright 1986 by Carnegie Mellon
Copyright 1984,1985 by the Massachusetts Institute of Technology

FILENAME: socket.h

Copyright 1997 - 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

FILENAME: sockvar.h

Copyright 1997-2003 by InterNiche Technologies Inc. All rights reserved.

FILENAME: syslog.h

Copyright 2004 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

FILENAME: tcp.h

Copyright 1997- 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

FILENAME: ipopt.c

Copyright 1997- 2002 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved
This file contains the code to handle IP multicast options

FILENAME: in_pcb.c

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

FILENAME: in_pcb.h

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

Additional Copyrights:
Copyright (c) 1982, 1986 Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. [rescinded 22 July 1999]
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

FILENAME: protosw.h

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: sockcall.c

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: socket.c

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: tcpip.h

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: tcp_fsm.h

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: tcp_in.c

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: tcp_out.c

Copyright 1997-2000 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: tcp_seq.h

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: tcp_subr.c

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: tcp_timr.c

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: tcp_timr.h

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: tcp_usr.c

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: tcp_var.h

Copyright 1997-2007 By InterNiche Technologies, Inc. All rights reserved.

FILENAME: ipstart.c

Copyright 1996- 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Portions Copyright 1990 - 1994 by NetPort Software
Portions Copyright 1986 by Carnegie Mellon

FILENAME: igmp.c

Copyright 1997- 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

Additional Copyrights:
Copyright (c) 1988 Stephen Deering.
Copyright (c) 1982, 1986 Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. [rescinded 22 July 1999]
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1980, 1983, 1988, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Portions Copyright (c) 1993 by Digital Equipment Corporation.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Digital Equipment Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED " "AS IS" " AND DIGITAL EQUIPMENT CORP. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS.
IN NO EVENT SHALL DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Portions Copyright (C) 1995, 1996, 1997, and 1998 WIDE Project.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.
4. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
--Copyright--

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1985, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Portions Copyright (c) 1993 by Digital Equipment Corporation.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies, and that the name of Digital Equipment Corporation not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the document or software without specific, written prior permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED ""AS IS"" AND DIGITAL EQUIPMENT CORP. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS.
IN NO EVENT SHALL DIGITAL EQUIPMENT CORPORATION BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Copyright (c) 2004 by Internet Systems Consortium, Inc. (""ISC"")
Portions Copyright (c) 1996-1999 by Internet Software Consortium.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED ""AS IS"" AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS.
IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1985, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1985, 1989, 1993
The Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 2005 by Internet Systems Consortium, Inc. (“ “ISC” ”)
Portions Copyright (c) 1996-1999 by Internet Software Consortium.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “ “AS IS” ” AND ISC DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS.
IN NO EVENT SHALL ISC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

FILENAME: igmp.h

Copyright 1997- 2000 By InterNiche Technologies Inc. All rights reserved

FILENAME: igmp.h

Internet Group Management Protocol (IGMP) definitions.

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

Copyright (c) 1988 Stephen Deering.
Copyright (c) 1982, 1986 Regents of the University of California.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. [rescinded 22 July 1999]
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

igmp.h 8.1 (Berkeley) 6/10/93

QNX

本製品に組み込まれたソフトウェアは、オープンソースソフトウェアを含みます。オープンソースソフトウェアの詳細に関しては、以下のウェブサイトをご覧ください。
https://www.denso.com/global/en/opensource/meter/honda/

数字

12Vバッテリー充電警告灯 94, 473
7速マニュアルシフトモード 238
7速マニュアルシフトモード表示 126
7速マニュアルシフトモード表示灯 102

A

A/C(エアコン) 207
ABS(アンチロックブレーキシステム) 363
ABS警告灯 96, 363
ACC
(アダプティブ・クルーズ・コントロール)
ACC警告灯 98
ACC表示灯 104

C

CMBS(衝突軽減ブレーキ) 264

E

EPS警告灯 95, 475
ETC車載器 ..... 別冊

G

Global Navigation Satellite System
(全球測位衛星システムGNSS) 257

H

Honda SENSING Elite 14
Hondaインターナビシステム ..... 別冊
Hondaスマートキー 132, 133, 134
Hondaスマートキー持ち去り警告 162
POWERスイッチ 160
電池交換のしかた 435
Hondaパーキングパイロット 389

I

ISOFIX/i-Size チャイルドシート 78, 83

L

LKAS(車線維持支援システム) 312
LKAS警告灯 98
LKAS表示灯 104

M

M(7速マニュアルシフトモード)
M 表示 126
M 表示灯 102
MIST 170

P

PGM-FI警告灯 94, 473
POWERスイッチ 160

R

READY表示灯 106

S

SH-AWD駆動力配分表示 129
SPORT HYBRID SH-AWD
(Super Handling All-Wheel-Drive) 38
SPORTモードスイッチ 240
SPORTモード表示灯 106
SRSエアバッグ 61
エアバッグシステム警告灯 70, 96

V

VSA(ビークルスタビリティアシスト) 243
VSA OFF警告灯 97
VSA警告灯 96, 243
VSA OFFスイッチ 244

W

W(ワット数) 494

ア

アクセサリー 444
アクセサリーソケット 197
アジャイルハンドリングアシスト 245

安全支援情報..... 116
安全支援情報警告灯(オレンジ)..... 99, 100
安全支援情報表示灯(グリーン/グレー).. 105
安全に関する表示..... 47
安全のための確認事項..... 51
アンチロックブレーキシステム(ABS)..... 363
ABS警告灯 96, 363

イ

一酸化炭素の危険性..... 89
イモビライザーシステム..... 151
表示灯 103
イルミネーションコントロール 174
インフォメーション表示灯 102

ウ

ウィンカー..... 165
ウィンドーの開閉..... 155
ウィンドウォッシャー
ウィンドウォッシャー液の補給..... 422
ウィンドウォッシャースイッチ..... 170
ウェアインジケーター..... 431
運転
シフト操作..... 233
パワーシステムの起動 225
ブレーキ操作 357

エ

エアクリーナーエレメント..... 494
エアコン 206, 437
エアクリーンフィルター..... 437
エアコンの使いかた..... 207
後席エアコン..... 215, 217
窓の曇りや霜の取りかた..... 216
モード切り換えスイッチ..... 207
エアバッグ..... 61
SRSエアバッグ..... 61
運転席ニーエアバッグ 64
エアバッグシステム警告灯 70, 96
エアバッグのお手入れ 70
サイドエアバッグ..... 66
サイドカーテンエアバッグ 68
エマージェンシーストップシグナル 365
エンジンオイル..... 421, 494
推奨エンジンオイル..... 421, 494
油圧警告メッセージ..... 472
エンジンの始動
12V バッテリーがあがったとき 465
エンジンルーム内のメンテナンス..... 418
ウィンドウォッシャー液の補給 422
エンジンルームカバーの取り外し 420
エンジンルーム内のメンテナンス項目 ... 418
推奨エンジンオイル..... 421, 494
ボンネットを開ける..... 419
冷却水の点検と補給..... 469
エンジン冷却水..... 494

オ

応急修理剤(タイヤパンク)..... 448
オーディオ装置..... 220
オートエアコン..... 207
オートハイビーム 167
オートハイビーム表示灯 101
オートマチックブレーキホールド 361
オートマチックブレーキホールド
システム表示灯 105
オートマチックブレーキホールド
表示灯..... 105
オートワイパー..... 171
オーバーヒート..... 469
オドメーター..... 109
**オンデマンド・マルチユース・
ディスプレイ** 208
温度センサー..... 108

カ

カーゴフック..... 200
外気温表示..... 108
鍵(かぎ)..... 132
ガソリン..... 411, 494
下部取付金具..... 83

キ

キー
Hondaスマートキー 132, 133, 134
キー閉じ込み防止装置 140
キーナンバータグ 133
キーの種類と機能 132
キーレスエントリー 138
後席ドアが開かない 45
電池交換のしかた 435
ドアが開かない 45
内蔵キー 132
キー閉じ込み防止装置 140
キーナンバータグ 133
キーレスエントリー 138
電池交換のしかた 435
キックダウン 232
給油 411, 492
給油のしかた 412
携行缶から給油するとき 492
指定燃料 411, 494
燃料計 107
緊急時停車支援機能 352

ク

空気圧 494
駆動力配分表示 128
グラブレール 3
クリープ現象 232
車の改造 445
グローブボックス 191
バレット機能 192

ケ

経過時間表示 114
計器 90
警告灯 93
12Vバッテリー充電警告灯 94, 473
ABS警告灯 96, 363
EPS警告灯 95, 475
PGM-FI警告灯 94, 473
VSA OFF警告灯 97
VSA警告灯 96
安全支援情報警告灯(オレンジ) 99, 100
エアバッグシステム警告灯 70, 96
シートベルト非着用警告灯 96
車線維持支援システム(LKAS)警告灯(オレンジ) 98
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)警告灯(オレンジ) ... 98
タイヤ空気圧警報システム警告灯 97
トランスミッション警告灯 95, 478
燃料残量警告灯 94
パワーシステム警告灯 94
ブレーキ警告灯(レッド) 93, 474, 476
ブレーキシステム警告灯(オレンジ) 94, 476
けん引 489

コ

交換
後退灯電球 424
後部側方灯電球 424
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯電球 424
車外ドアハンドルランプ電球 424
車幅灯電球 423
制動灯/尾灯電球 424
前面方向指示器/前面非常点滅表示灯電球 423
側面方向指示器/側面非常点滅表示灯電球 423
ハイマウントストップランプ電球 424
バニティミラー照明灯電球 426
番号灯電球 424
尾灯電球 424
フロントサイドマーカーライト電球 423
ヘッドライト電球 423
ワイパーブレードラバー 427
工具 447
交差点案内表示 115, 127
高精度地図 257
後席エアコン 215, 217
航続可能距離表示 113
後退出庫サポート 373
後退灯 424

高電圧バッテリー 249
高電圧バッテリーの特性 249
高電圧バッテリー残量計 108
後部側方灯 424
後面方向指示器/後面非常点滅表示灯 424
コートフック 198
コンソール 194
コンパス表示 115, 127

サ

サイドエアバッグ 66
サイドカーテンエアバッグ 68
サングラスボックス 199
サンシェード 201
電動リヤサンシェード 201
リヤドアサンシェード 202
サンバイザー 3
サンルーフ 158

シ

シートの調節
アームレスト 188
フロントシート 182
ヘッドレスト 185
メモリーボタン 177
シートヒーター 204
フロントシートヒーター/
ベンチレーション 204
リヤシートヒーター 205
シートベルト 53
E-プリテンショナー 56
シートベルトの着用 57
シートベルトの点検 60
シートベルト非着用警告灯 96
シートベルトプリテンショナー 55
シートベルトリマインダー 54
妊娠中のかたのシートベルト
着用のしかた 59
時刻の設定 131
室内装備品 189
室内灯 189
指定燃料 494
自動格納/展開ドアミラー 181
シフトインジケーター
シフトインジケーター表示 126
シフトインジケーター表示灯 102
シフトスイッチ 239
シフト操作 233
シフトポジション表示灯 102
車外ドアハンドルランプ 424
車外の清掃 441
車間距離設定表示灯 105
車線維持支援システム(LKAS) 312
車線維持支援システム(LKAS)警告灯
(オレンジ) 98
車線維持支援システム(LKAS)表示灯
(ホワイト/グリーン/ブルー) 104
車線変更時衝突抑制機能 283
ジャッキ 459
車内の清掃 439
車幅灯 163, 423
車両接近通報装置 242
ジャンプスタート 465
渋滞運転機能
(トラフィックジャムパイロット) 343
渋滞運転支援機能
(トラフィックジャムアシスト) 318
渋滞追従機能付アダプティブクルーズ
コントロール(ACC)/車線維持支援
システム(LKAS)表示 126
渋滞追従機能付アダプティブクルーズ
コントロール(ACC) 301
渋滞追従機能付アダプティブクルーズ
コントロール(ACC)警告灯(オレンジ) ... 98
渋滞追従機能付アダプティブクルーズ
コントロール(ACC)表示灯
(ホワイト/グリーン/ブルー) 104
収納装備 191
瞬間燃費表示 113
ショートカット 213
後席エアコン 215
前席エアコン 214
仕様 494
衝突軽減ブレーキ(CMBS) 264
ショルダーアンカー 59

ス

スイッチ
SPORTモードスイッチ 240
オートマチックブレーキホールドスイッチ 361
パーキングブレーキスイッチ..... 357
ライトスイッチ 163
スイッチ操作
イルミネーションコントロール 174
ヒーテッドドアミラースイッチ 173
リヤデフロスタースイッチ 173
ワイパー/ウォッシャースイッチ 170
ステアリング 178
ステアリングヒーター 203
スノータイヤ 434
スパークプラグ 494
スピードメーター 107, 126
スリーアクセスコンソール 194

セ

清掃 439
制動灯 424
セキュリティシステム 151
イモビライザーシステム 151
セキュリティアラームシステム 151
表示灯 103
セレクトポジション 233
全球測位衛星システムGNSS(Global Navigation Satellite System) 257
先行車発進お知らせ機能 291
センターポケット 195
前面方向指示器/ 前面非常点滅表示灯 423

ソ

側面方向指示器/側面非常点滅表示灯 423
ソナーセンサー 255
その他の室内装備品 197
ソフトウェアに関する重要なお知らせ 495
ソフトウェアの更新と確認 355

タ

タイヤ 430
TPMS 247
ウェアインジケーター 431
空気圧警報システム空気圧モニター 115
空気圧警報システム警告灯 97, 477
指定空気圧 494
タイヤの点検 430
タイヤのローテーション 433
タイヤパンク応急修理キット 448
冬期のタイヤ 434
パンク 448
タイヤ空気圧警報システム(TPMS) 247
タイヤチェーン 434
タコメーター 107, 126

チ

チェーン 434
チャイルドシート 74
ジュニアシート 88
乳児のチャイルドシート 75
幼児のチャイルドシート 76
チャイルドプルーフ 143
駐停車操作 366
超音波センサー 154

テ

停止表示板入れ 195
デイタイムランニングライト 165
デフロスター
リヤデフロスタースイッチ 173
点火プラグ 494
電子制御パーキングブレーキ 357
電子制御ブレーキアシスト 364
電池交換 435
電動リヤサンシェード 201

ト

ドアの施錠と解錠
Hondaスマートキー 132, 133, 134
キー閉じ込み防止装置 140
キーナンバータグ 133
キーの種類と機能 132

キーレスエントリー 138
後席ドアが開かない 45
車外でのドアの施錠/解錠 135
車内での施錠/解錠 141
チャイルドプルーフ 143
ドアが開かない 45
ドアミラー 180
ドアミラーウィンカー 4
冬期のタイヤ 434
スノータイヤ 434
タイヤチェーン 434
時計 110, 131
トップテザーストラップ 84
トップテザー取付金具 84
ドライバーモニタリングカメラ 256
ドライビングポジションシステム 176
トラフィックジャムアシスト（渋滞運転支援機能） 318
トラフィックジャムパイロット（渋滞運転機能） 343
トラブルシューティング
12V バッテリーがあがったとき 465
アクセルペダルを踏んでもパーキングブレーキが自動で解除できない 46
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る 45
オーバーヒートした 469
警告灯が点灯/点滅した 472
けん引してもらいたい 489
後席ドアが開かない 45
走行するとブザーが鳴る 45
ドアが開かない 45
パーキングブレーキスイッチを押してもパーキングブレーキが解除できない 46
パワーシステムが起動しない 461
パンクした 448
ヒューズが切れた 479
ブレーキを踏むと音がする 46
ブレーキを踏むと振動する 45
トランク
トランクオープナー 146
トランクが開かないとき 491
トランクの開閉 145
パワートランク 148
トランスミッション警告灯 95, 478
トランスミッションフルード 494
トリップメーター 109
ドリンクホルダー 196

ナ

内蔵キー 132, 133
ナビゲーション表示 115, 127

ニ

ニーエアバッグ 64

ネ

燃料 411, 494
燃料計 107
燃料残量警告灯 94

ハ

パーキングセンサーシステム 369
排気ガスの危険性 89
ハイビーム 164
電球の交換 423
ハイビーム表示灯 101
ハイマウントストップランプ 424
ハザードスイッチ ..... **表紙ウラ**
発炎筒 447
バッテリー
12V/バッテリーがあがったとき 465
12V/バッテリー充電警告灯 94, 473
高電圧バッテリー 249
容量 494
発話スイッチ 1
バニティミラー 3
バニティミラー照明灯 426
バレット機能 192
パワーウィンドーの開閉 155
パワーシステム警告灯 94
パワーシステムの起動 225
パワーシステムが起動しない 461
パワートランク 148

パワーモード 160
パワーモード警告ブザー 161
パンク 448
番号灯 424
ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能 335
ハンズオフ機能付車線内運転支援機能 323
ハンズオフ機能付車線変更支援機能 331
ハンズオフ機能付車線変更支援機能
警告灯(オレンジ) 98
ハンドル 178
ハンドル位置調節スイッチ 178

ヒ

ヒーテッドドアミラー 173
非常点滅表示灯スイッチ ..... **表紙ウラ**
尾灯 424
ヒューズ
各ヒューズの
装備と容量 479, 480, 483, 484
ヒューズの設置場所 479
ヒューズの点検と交換 488
標識認識機能 295
表示 110, 127
表示灯 101
M(7速マニュアルシフトモード)
表示灯 102
READY表示灯 106
SPORTモード表示灯 106
安全支援情報表示灯(グリーン/グレー) .. 105
イモビライザーシステム表示灯 103
インフォメーション表示灯 102
オートハイビーム表示灯 101
オートマチックブレーキホールド
システム表示灯 105
オートマチックブレーキホールド
表示灯 105
シフトインジケーター表示灯 102
シフトポジション表示灯 102
車間距離設定表示灯 105
車線維持支援システム(LKAS)表示灯
(ホワイト/グリーン/ブルー) 104
渋滞追従機能付アダプティブクルーズ
コントロール(ACC)表示灯
(ホワイト/グリーン/ブルー) 104
セキュリティアラームシステム
作動表示灯 103
ハイビーム表示灯 101
ハンズオフ機能付高度車線変更支援機能
表示灯(ホワイト/ブルー) 105
ハンズオフ機能付車線変更支援機能
表示灯(ホワイト/グリーン/ブルー) 104
方向指示器/非常点滅表示灯 101
ライト点灯表示灯 101

フ

ブースターケーブル 465
ブザー
運転席ドアを開けるとブザーが鳴る 45
走行するとブザーが鳴る 45
踏み間違い衝突軽減システム 272
フューエルリッド
フューエルリッドが解錠できないとき ... 490
フューエルリッドの開けかた 412
フューエルリッドの開けかた 412
ブレーキシステム 357
ABS(アンチロックブレーキシステム) ... 363
アクセルペダルを踏んでもパーキング
ブレーキが自動で解除できない 46
エマージェンシーストップシグナル 365
オートマチックブレーキホールド 361
電子制御パーキングブレーキ 357
電子制御ブレーキアシスト 364
パーキングブレーキスイッチを押しても
パーキングブレーキが解除できない 46
フットブレーキ 360
ブレーキ警告灯(レッド) 93, 474, 476
ブレーキシステム警告灯
(オレンジ) 94, 476
ブレーキを踏むと音がする 46
ブレーキを踏むと振動する 45
ブレーキフルード 494
ブレーキ警告灯(レッド) 93, 474
ブレーキシステム警告灯(オレンジ) 94

フロントアクセサリーランプ..... 166, 425
フロントガラス熱線スイッチ..... 173
フロントサイドマーカーライト..... 423
フロントシートヒーター..... 204
フロントシート..... 182
フロントシートヒーター/ベンチレーション..... 204
フロントシートヘッドレスト 182, 185
フロントパワーシート 182
フロントセンサーカメラ..... 253

へ

平均車速表示..... 114
平均燃費表示..... 113
ヘッドアップディスプレイ 118, 175
SH-AWD駆動力配分表示..... 129
駆動力配分表示..... 128
渋滞追従機能付アダプティブクルーズコントロール(ACC)/車線維持支援システム(LKAS)表示..... 126
スピードメーター 126
タコメーター/シフトインジケーター/M(7速マニュアルシフトモード)表示.. 126
ナビゲーション表示/コンパス表示..... 127
標識認識機能表示 127
表示内容の切替..... 124
ヘッドアップディスプレイ表示選択..... 117
ヘッドライト..... 163, 164
オートハイビーム 167
電球の交換 423
ハイビーム表示灯 101
ライト点灯表示灯 101
ヘッドレスト
フロントシート 182, 185
リヤシート 185, 186
ベンチレーション..... 204

ホ

ホーンスイッチ..... 1
ホイールサイズ..... 494
方向指示器(ウィンカー) 165
方向指示器表示灯 101
歩行者事故低減ステアリング 278
ポップアップフードシステム 71

マ

マスタードアロックスイッチ 142
マップランプ 190
マルチインフォメーションディスプレイ ... 111
安全支援情報..... 116
経過時間表示..... 114
航続可能距離表示..... 113
瞬間燃費表示..... 113
タイヤ空気圧警報システム空気圧モニター..... 115
ナビゲーション 115
表示の切り換えかた..... 112
平均車速表示 114
平均燃費表示 113
ヘッドアップディスプレイ表示設定 117
リヤシートベルト使用状況表示 115
マルチビューカメラシステム..... 1, 377

ミ

ミラー..... 179
ドアミラー..... 180
バニティミラー 3
ルームミラー 179

メ

メーター..... 7, 107
オドメーター/トリップメーター 109
外気温表示..... 108
高電圧バッテリー残量計 108
スピードメーター..... 107
タコメーター 107
時計 110
燃料計..... 107
標識認識機能表示..... 110
マルチインフォメーションディスプレイ..... 111
メモリーボタン..... 177
メンテナンス..... 414
Hondaスマートキー 435
エアコンのお手入れ 437

エンジンルーム内のメンテナンス..... 418
清掃..... 439
タイヤの点検と整備..... 430
メンテナンスに関する注意事項..... 417
メンテナンスを安全に行うために..... 416
ライト類の点検と整備..... 423
ワイパーブレードラバーの点検と整備.... 427

モ

モード切り換え(エアコン)..... 207

ユ

油圧警告メッセージ..... 472

ラ

ライダーセンサー..... 252
ライトスイッチ..... 163
オートハイビーム..... 167
オートハイビーム表示灯..... 101
ハイビーム表示灯..... 101
ライト点灯表示灯..... 101
ライト類の点検と整備..... 423
後退灯電球..... 424
後部側方灯電球..... 424
後面方向指示器/
後面非常点滅表示灯電球..... 424
車外ドアハンドルランプ電球..... 424
車幅灯電球..... 423
制動灯/尾灯電球..... 424
前面方向指示器/
前面非常点滅表示灯電球..... 423
側面方向指示器/
側面非常点滅表示灯電球..... 423
ハイマウントストップランプ電球..... 424
バニティミラー照明灯電球..... 426
番号灯電球..... 424
尾灯電球..... 424
フロントサイドマーカーライト電球..... 423
ヘッドライト電球..... 423
ラジエーター..... 469, 471

リ

リアクティブフォースペダル..... 241
リザーブタンク..... 471
リバース連動ドアミラー..... 181
リムサイズ..... 494
リヤアームレスト内蔵
コントロールパネル..... 217
リヤアクセサリーランプ..... 166, 425
リヤサンシェード..... 201
電動サンシェード..... 201
ドアサンシェード..... 202
リヤシートアームレスト..... 188
リヤシートヒーター..... 205
リヤデフロスタースイッチ..... 173

ル

ルームミラー..... 179

レ

冷却水..... 469, 471, 494
オーバーヒート..... 469
補給..... 471
レーダーセンサー..... 254

ロ

ロービーム..... 163
電球の交換..... 423
路外逸脱抑制機能..... 287

ワ

ワイパー/ウォッシャー..... 170
ワイパーブレードラバー..... 427

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まずHonda販売店にお気軽にご相談ください。
下記アドレスより最新のHonda販売店を検索することが可能です。
Hondaホームページ　https://www.honda.co.jp
（Hondaホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください）

携帯電話からは、携帯電話用Hondaホームページをご覧ください。
https://shopsearch.honda.co.jp/auto/area/
※：QRコード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右のQRコードをご利用ください。
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。
QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　0120-112010（イイフレアイオ）

受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00
〒351-0188　埼玉県和光市本町8ー1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速に対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
② 車種名、タイプ名、走行距離　③ ご購入年月日　④ 販売店名